

和歌山市
子供の生活実態調査
結果報告書

平成 31 年 3 月

和歌山市

目 次

1. 調査の概要.....	1
2. 子供調査の結果.....	8
3. 保護者調査の結果.....	90
4. 地域ブロック別の分析.....	171
5. 和歌山市長期総合計画に即した本市の課題.....	175

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

和歌山県が、子供の生活実態や学習環境、支援制度の利用状況やニーズを把握するとともに、各施策や支援制度についての検証を行い、和歌山県の子供の貧困対策をより効果的に推進していくことを目的として子供の生活実態調査を実施したことに合わせ、同様の目的の下、特に和歌山市における実情を把握し、子ども・子育て支援事業計画への反映をはじめとして、今後の和歌山市の取り組みを検討する上での基礎資料とするために、県の調査から和歌山市のデータのみを抽出して集計・分析を行いました。

(2) 調査対象

和歌山県の調査では、県内の小中学校に在籍し、県内に居住する小学5年生と中学2年生の全数が対象となっています。本報告書では、その中から和歌山市に居住すると回答したサンプルを抽出しています。

(3) 調査の方法と回収状況

本調査は、和歌山県内の小中学校を通じて調査票を配付し、各家庭で子供と保護者がそれぞれ記入の後、郵送で調査票を回収しています。子供と保護者の調査票をペアにして回収し、相互に関連付けた分析ができるようにしています。

和歌山市分の回収状況は以下のとおりです。

■和歌山県子供の生活実態調査における和歌山市の配付・回収状況

学年	学校種別	配付数	子供		保護者		備考
			回収数	回収率	回収数	回収率	
小学5年生	市立小学校	2,823	1,152	40.8	1,140	40.4	義務教育学校を含む
	国立小学校	96	53	55.2	53	55.2	
	私立小学校	84	34	40.5	33	39.3	一部各種学校を含む
	支援学校小学部	41	8	19.5	8	19.5	盲・ろう学校を含む
	不明	-	34	-	51	-	
	合計		3,044	1,281	42.1	1,285	42.2
中学2年生	市立中学校	2,362	686	29.0	683	28.9	義務教育学校を含む
	県立中学校	160	58	36.3	58	36.3	
	国立中学校	140	64	45.7	64	45.7	
	私立中学校	641	183	28.5	183	28.5	一部各種学校を含む
	支援学校中学部	57	13	22.8	13	22.8	盲・ろう学校を含む
	不明	-	22	-	29	-	
	合計		3,360	1,026	30.5	1,030	30.7

(4) 世帯区分について

子供の生活実態調査の主な目的は、家庭の経済状況が子供や家族の生活にどのような影響を及ぼしているかを明らかにした上で、効果的な支援を行うための課題を示すことです。特に経済的に厳しい状況の世帯を区分し、その状況を明らかにすることが課題となります。そこで、本報告書の全体を通じ、全体の結果を示すとともに、回答者を世帯の経済状況に基づいて次のように区分し、その回答状況を併せて示すこととします。

国の国民生活基礎調査では、1人当たりの「等価可処分所得」が中央値の2分の1である線を「貧困線」とし、貧困線を下回る収入しかない世帯を「相対的貧困世帯」としています。本報告書では、同様の考え方を本調査の和歌山市分の調査結果に当てはめて、世帯の経済状態を区分しています。

①世帯人員一人当たりの等価可処分所得の算出

世帯収入（保護者調査問32）に関する質問において、回答された選択肢の範囲の中央値を世帯収入と仮定（50万円未満は50万円、1,500万円以上は1,500万円と仮定）します。

問32 前年(2017年)のあなたの世帯の家族全員の収入の合計額(いわゆる手取り収入)は、およそいくらでしたか。

※収入は、税金や社会保険料を払ったあとの額でお答えください。働いて得た給料だけでなく、株式配当や副収入を含めて合計してください。

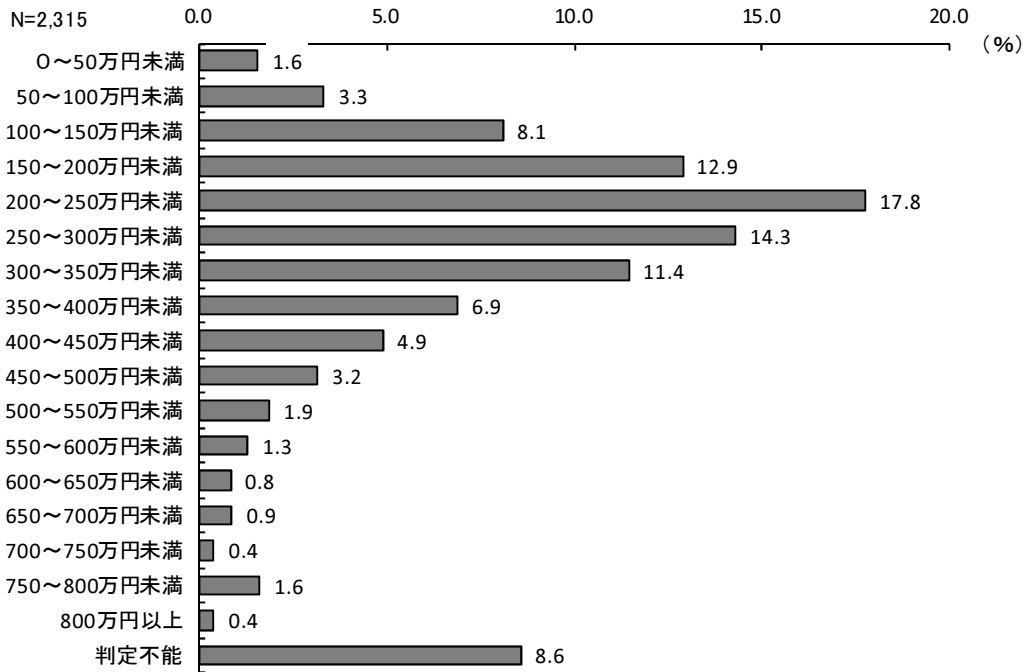
※また、公的な援助・手当や養育費・仕送りを含んだ額でお答えください。

(あてはまる番号1つに○)

1	50万円未満	10	450～500万円未満	19	900～950万円未満
2	50～100万円未満	11	500～550万円未満	20	950～1,000万円未満
3	100～150万円未満	12	550～600万円未満	21	1,000～1,100万円未満
4	150～200万円未満	13	600～650万円未満	22	1,100～1,200万円未満
5	200～250万円未満	14	650～700万円未満	23	1,200～1,300万円未満
6	250～300万円未満	15	700～750万円未満	24	1,300～1,400万円未満
7	300～350万円未満	16	750～800万円未満	25	1,400～1,500万円未満
8	350～400万円未満	17	800～850万円未満	26	1,500万円以上
9	400～450万円未満	18	850～900万円未満		

等価可処分所得とは、世帯の可処分所得を世帯人員の平方根で除した数値として定義されています。世帯人員ではなく世帯人員の平方根で除するのは、世帯人数が増加するほど生活の効率が上がる（例えば世帯人員が倍になっても家財を倍にする必要はない）と考えられるからです。

上記の世帯収入は手取り収入を尋ねているため、この金額を世帯人員（保護者調査問5）の平方根で除した数値が、1人当たりの等価可処分所得となります。和歌山市の等価可処分所得の分布は以下のとおりです。



※小学5年生と中学2年生を合わせた数値を示しています。

②本調査の所得分布に基づく貧困世帯

本調査において、和歌山市における等価可処分所得の中央値は257.1万円でした。中央値の半分は128.6万円となり、これが本調査における、和歌山市の貧困線となります。中央値以上を所得段階Ⅰ、中央値未満で貧困線以上を所得段階Ⅱ、貧困線未満を所得段階Ⅲ（相対的貧困世帯）としました。それぞれの世帯区分の割合は以下のとおりです。

	所得範囲	件数	%	%(除判定不能)
小学5年生	全体	1,285	100.0	100.0
所得段階Ⅰ (中央値以上)	257.1万円以上	593	46.1	50.3
所得段階Ⅱ (中央値未満、中央値の半分以上)	257.1万円未満 128.6万円以上	472	36.7	40.0
所得段階Ⅲ (中央値の半分未満:相対的貧困世帯)	128.6万円未満	115	8.9	9.7
判定不能	—	105	8.2	—
中学2年生	全体	1,030	100.0	100.0
所得段階Ⅰ (中央値以上)	257.1万円以上	498	48.3	53.1
所得段階Ⅱ (中央値未満、中央値の半分以上)	257.1万円未満 128.6万円以上	353	34.3	37.7
所得段階Ⅲ (中央値の半分未満:相対的貧困世帯)	128.6万円未満	86	8.3	9.2
判定不能	—	93	9.0	—

※平成28年国民生活基礎調査では、わが国の子供の貧困率は13.9%とされています。本調査の所得段階Ⅲの割合は上記のとおりですが、調査対象や方法が異なるため、単純な比較はできません。

※判定不能は、当該の質問のいずれかに無回答があり、「なし」と判断できないものです（以下同様）。

(5) 家庭の経済的困難の状況に注目した分析

所得段階は世帯収入と世帯人員に注目した区分ですが、これだけでは経済的な困難の実情を十分に把握できない可能性があります。そこで調査結果に基づき、実際に経済的に困窮している状況があるかどうか注目した分析軸を設定します。具体的には、①生活必需品の購入困難経験、②料金等の支払い困難経験、③生活必需品の非所有、の3つの観点から、家庭の経済的困難の実情を反映した世帯類型を設定します。

①生活必需品の購入困難経験

経済的な理由で、生活に必要な食料または衣料を購入できなかった経験（保護者調査問 28・29）が、「よくあった」または「ときどきあった」世帯を「生活必需品の購入困難経験あり」とします。

問28 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。 (あてはまる番号1つに○)

1 よくあった 2 ときどきあった 3 まれにあった 4 まったくなかった

問29 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類を買えないことがありましたか。 (あてはまる番号1つに○)

1 よくあった 2 ときどきあった 3 まれにあった 4 まったくなかった

■生活必需品の購入困難経験

	件数	%	% (除判定不能)
購入困難経験あり	85	3.7	3.7
購入困難経験なし	2,204	95.2	96.3
判定不能	26	1.1	-

※小学5年生と中学2年生の調査を合算した結果を示しています（以下同様）。

②料金等の支払い困難経験

一般的な生活を送る上で支払う必要がある料金等（下図の1～8）について、いずれか1つ以上を経済的な理由で支払えないことがあった世帯を「料金等の支払い困難経験あり」とします（保護者調査問 30）。

問30 過去1年の間に、経済的な理由で、以下の料金について、支払えないことがありましたか。どれもあてはまらない場合は、「9 あてはまるものはない」に○をつけてください。 (あてはまる番号すべてに○)

1 電気料金	4 電話料金	7 公的年金, 健康保険料
2 ガス料金	5 家賃	8 子供の学校で必要なお金
3 水道料金	6 税金	9 あてはまるものはない

■料金等の支払い困難経験

	件数	%	% (除判定不能)
支払い困難経験あり	147	6.3	6.5
支払い困難経験なし	2,130	92.0	93.5
判定不能	38	1.6	-

③生活必需品の非所有

下図の1～13までの13項目について、いずれか1つ以上がないと回答したものを「生活必需品の非所有」とします。一般的な生活を送る上で、通常所有しているものについて、経済的な理由で所有していない世帯の状況（保護者調査問31）は、以下のとおりです。

なお、パソコンと新聞の定期購読については、必ずしも生活必需品としてみなすことができないと考えられるため、非所有物の対象から除外しています。

問31 次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか。どれもあてはまらない場合は、「16 あてはまるものはない」に○をつけてください。（あてはまる番号すべてに○）

1 子供の年齢に合った本	9 電子レンジ
2 子供用のスポーツ用品・おもちゃ	10 電話(固定電話・携帯電話のどちらか)
3 子供が自宅で宿題をすることができる場所	11 世帯専用のおふろ
4 洗濯機	12 世帯人数分のベッドまたは布団
5 炊飯器	13 急な出費のための貯金(5万円以上)
6 掃除機	14 パソコン(タブレット含む)
7 暖房機器(エアコンを含む)	15 新聞の定期購読(インターネット含む)
8 冷房機器(エアコンを含む)	16 あてはまるものはない

■生活必需品の非所有

	件数	%	% (除判定不能)
非所有あり	279	12.1	12.5
非所有なし	1,954	84.4	87.5
判定不能	82	3.5	-

④経済的困難世帯

上記の3つ（①生活必需品の購入困難経験、②料金等の支払い困難経験、③生活必需品の非所有）のいずれか1つ以上が「あり」に該当する世帯を「経済的困難世帯」と定義します。経済的困難世帯の状況は、以下のとおりです。

■経済的困難世帯

	件数	%	%（除判定不能）
経済的困難世帯	346	14.9	15.5
非経済的困難世帯	1,885	81.4	84.5
判定不能	84	3.6	-

なお、所得段階と経済的困難世帯との関係については、以下のとおりとなっています。最も経済的困難世帯の割合が高いのは所得段階Ⅲですが、所得段階Ⅰ及びⅡに経済的困難世帯が一定数含まれており、所得段階と経済的困難世帯が必ずしも一致していません。

■所得段階別に見た経済的困難世帯の割合

	経済的困難世帯		非経済的困難世帯		経済的困難判定不能	
	件数	%	件数	%	件数	%
所得段階Ⅰ	44	4.0	1013	92.9	34	3.1
所得段階Ⅱ	169	20.5	639	77.5	17	2.1
所得段階Ⅲ	107	53.2	91	45.3	3	1.5
所得段階判定不能	26	13.1	142	71.7	30	15.2
合計	346	14.9	1885	81.4	84	3.6

(6) 実態調査の基本的な分析軸

結果報告においては、ここまでに示した等価可処分所得に基づく所得段階による分類に加え、経済的困難世帯を設定し、報告書の全体を通じて、それぞれの調査結果を示します。また、小学5年生と中学2年生では、回答の状況が異なることから、子供調査、保護者調査ともに、学年別に調査結果を示します。

子供調査と保護者調査では回収数が異なる（一部に子供のみ、保護者のみの回収がある）ため、それぞれの世帯区分別の件数と割合を以下に示します。

■基本的な分析軸となる世帯区分別の件数【子供調査】

	所得・経済状況	全体	小学5年生	中学2年生
所得段階Ⅰ	等価可処分所得が全体の中央値以上の世帯	1082	588	494
所得段階Ⅱ	等価可処分所得が中央値未満、中央値の2分の1以上の世帯	814	463	351
所得段階Ⅲ	等価可処分所得が中央値の2分の1未満の世帯	200	114	86
経済的困難世帯	生活必需品の購入困難、料金等の支払い困難、生活必需品の非所有のいずれかに該当する世帯	(342)	(188)	(154)
全体	世帯区分ができなかった世帯を含む全数	2,307	1,281	1,026

■基本的な分析軸となる世帯区分別の件数【保護者調査】

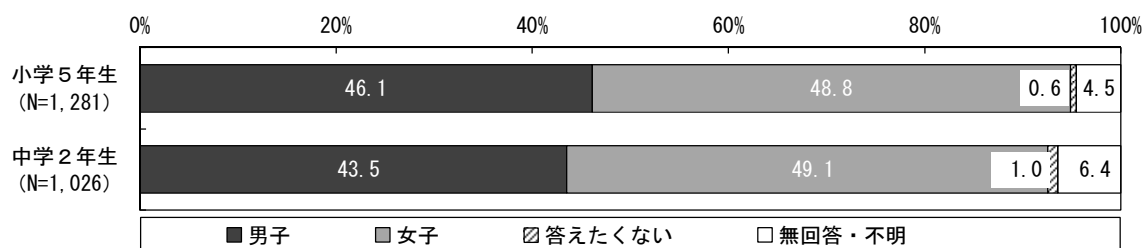
	所得・経済状況	全体	小学5年生	中学2年生
所得段階Ⅰ	等価可処分所得が全体の中央値以上の世帯	1091	593	498
所得段階Ⅱ	等価可処分所得が中央値未満、中央値の2分の1以上の世帯	825	472	353
所得段階Ⅲ	等価可処分所得が中央値の2分の1未満の世帯	201	115	86
経済的困難世帯	生活必需品の購入困難、料金等の支払い困難、生活必需品の非所有のいずれかに該当する世帯	(346)	(192)	(154)
全体	世帯区分ができなかった世帯を含む全数	2,315	1,285	1,030

※所得段階Ⅰ～Ⅲのいずれかと経済的困難世帯の両方にカウントされている世帯があることや、全体の件数には無回答があるために世帯区分ができなかった世帯を含んでいるため、各世帯区分の合計は全体の件数と一致しません（以下同様）。

2. 子供調査の結果

問1 あなたの性別を教えてください。

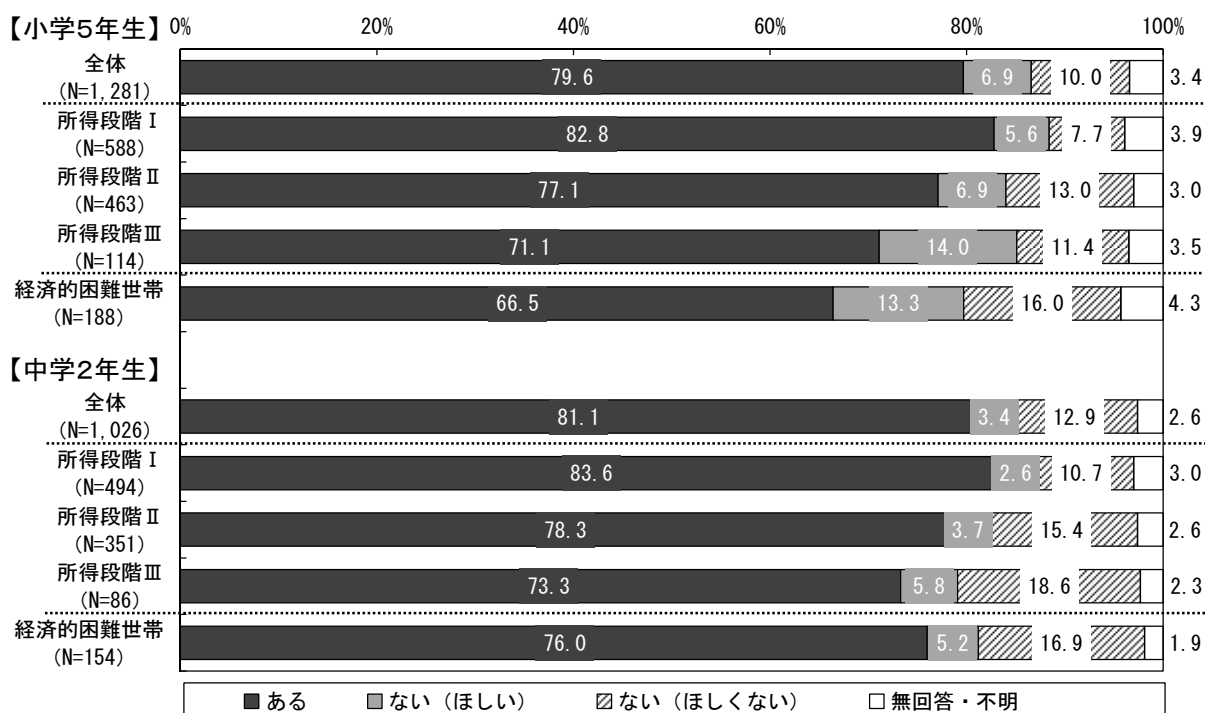
小学5年生、中学2年生とも、女子の回答がやや多くなっています。



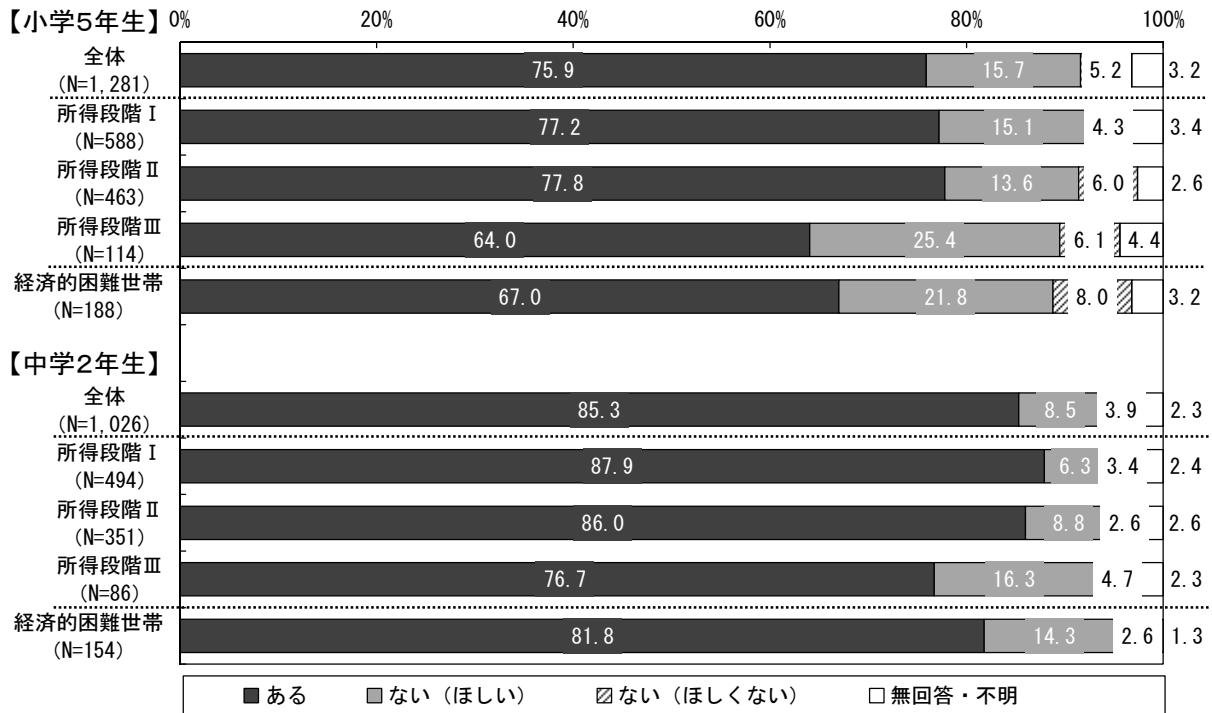
問3 あなたには、次のものの中に自分が使うことができるものがありますか。ある場合は「1 ある」に○をつけてください。ない場合は、それがほしいものであれば「2 ほしい」、いらないと思うものであれば「3 ほしくない」に○をつけてください。

「自分だけの本」「子供部屋」「インターネットにつながるパソコンやタブレット」「自分専用の勉強机」「スポーツ用品」「友だちと同じような服」で所得段階Ⅲ・経済的困難世帯の所持率が低くなっています。「ゲーム機」「自転車」小学5年生の「携帯電話、スマートフォン」では差がありません。

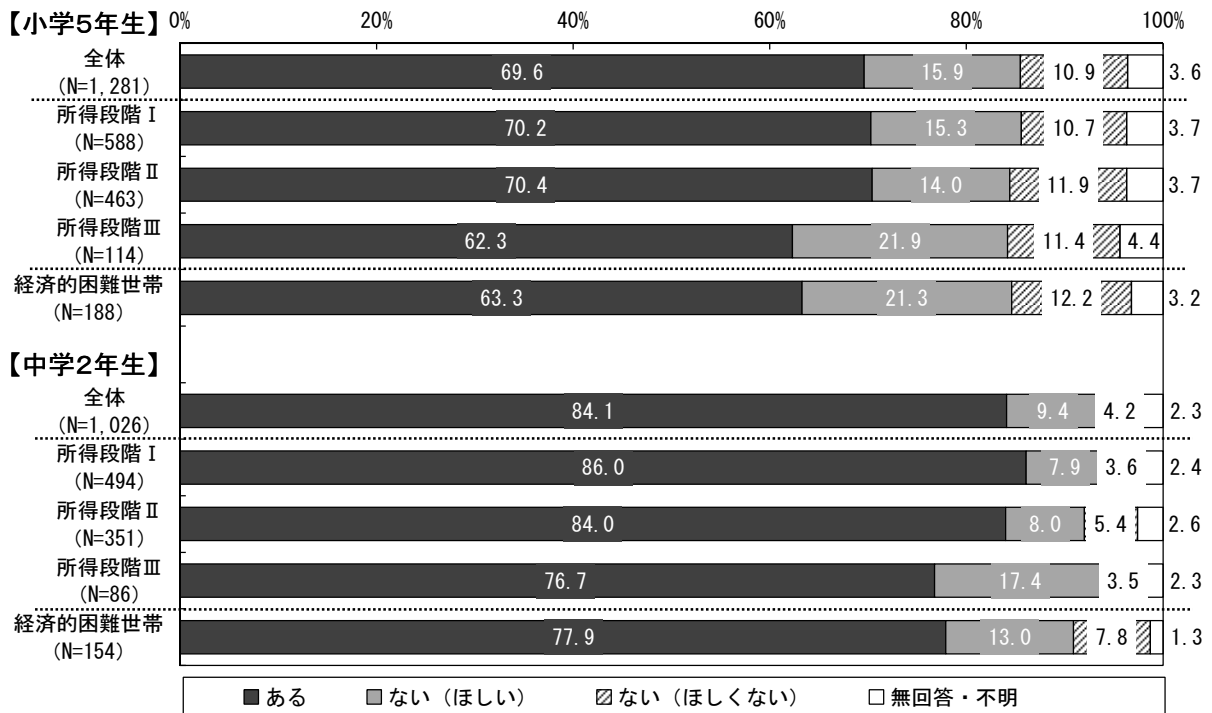
A 自分だけの本（学校の教科書、雑誌やマンガはのぞく）



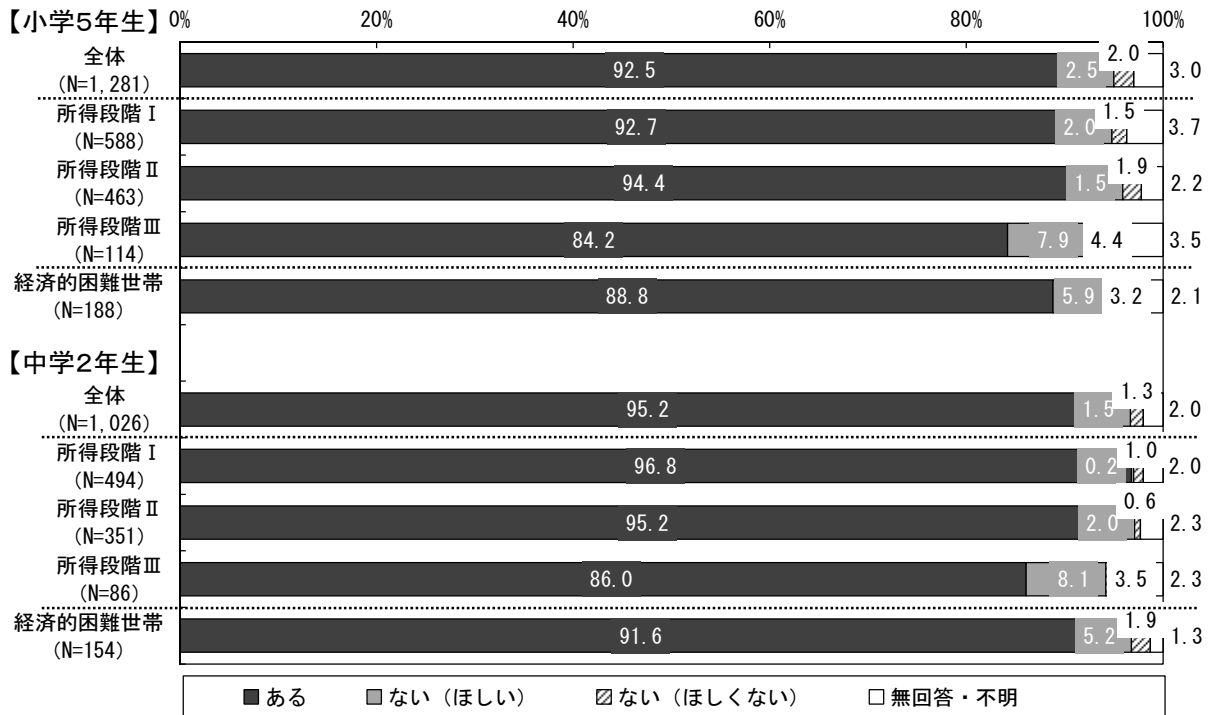
B 子供部屋（兄弟姉妹といっしょに使っている場合もふくむ）



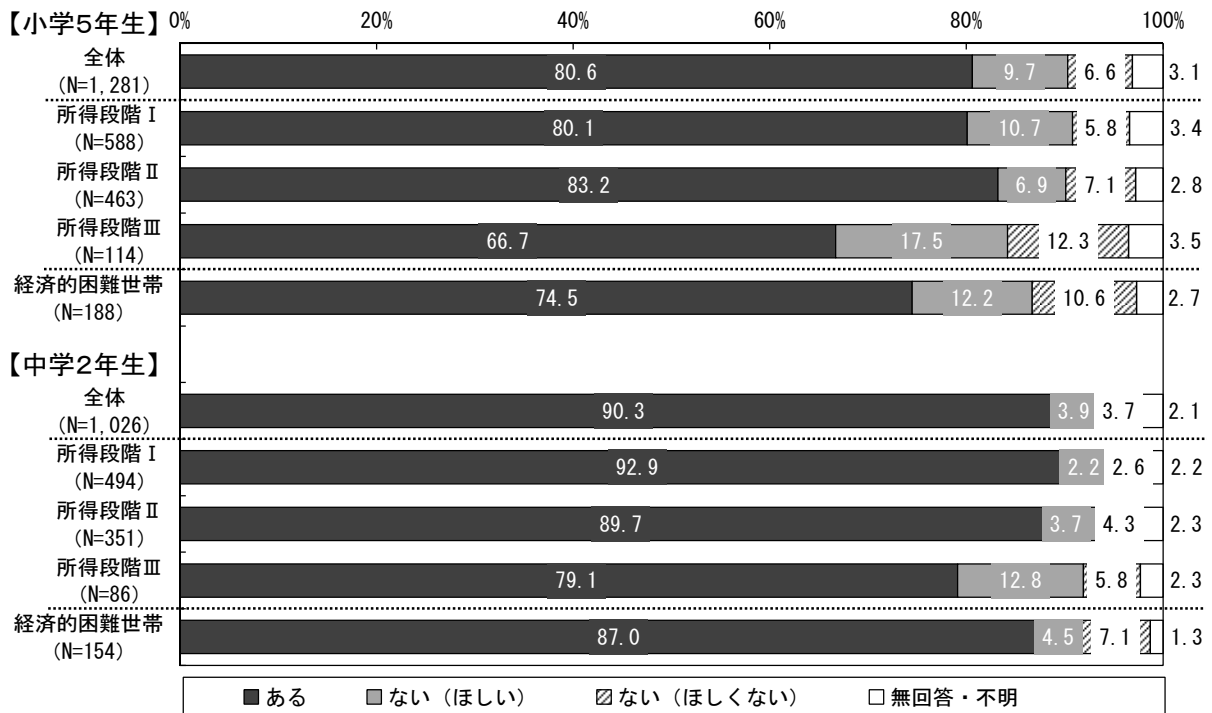
C （自宅）インターネットにつながるパソコンやタブレット



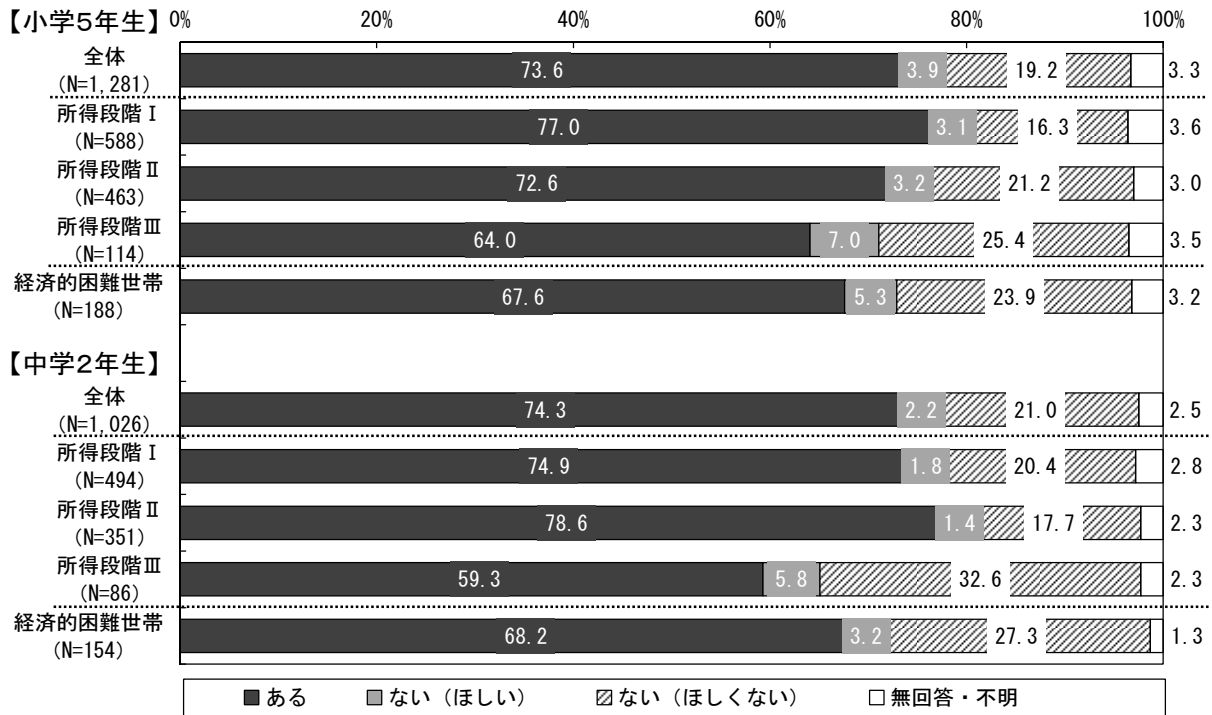
D 自宅で宿題をすることができる場所



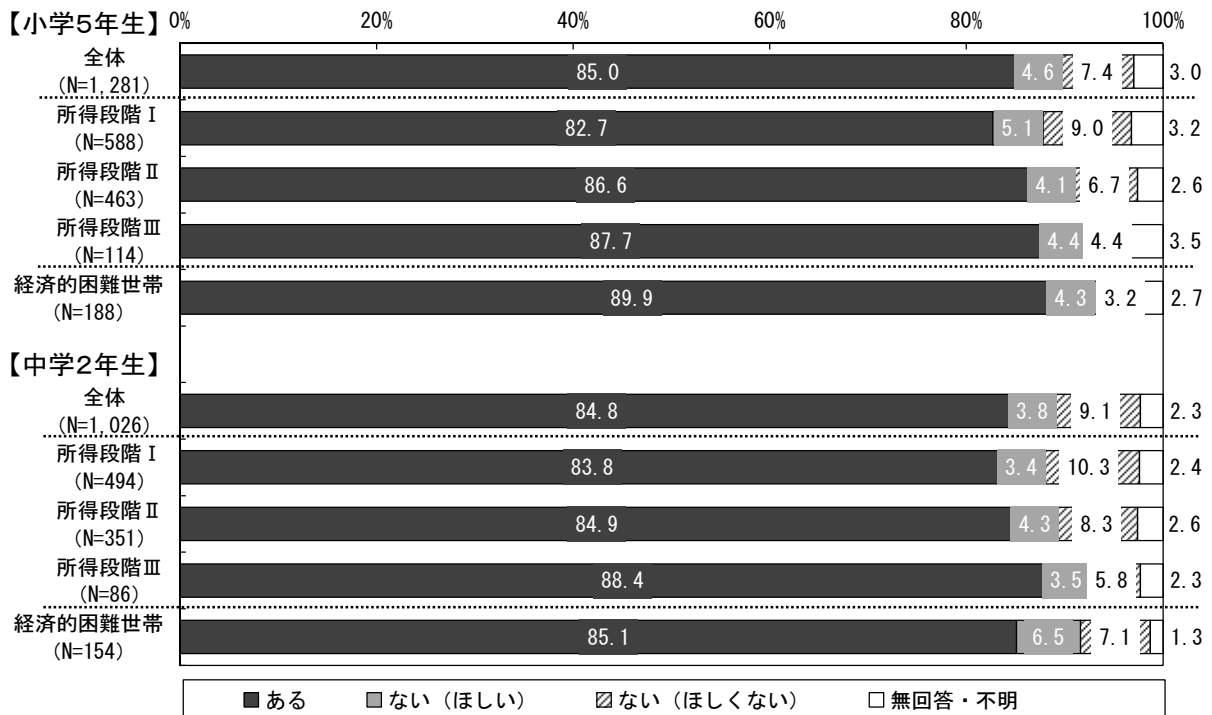
E 自分専用の勉強机



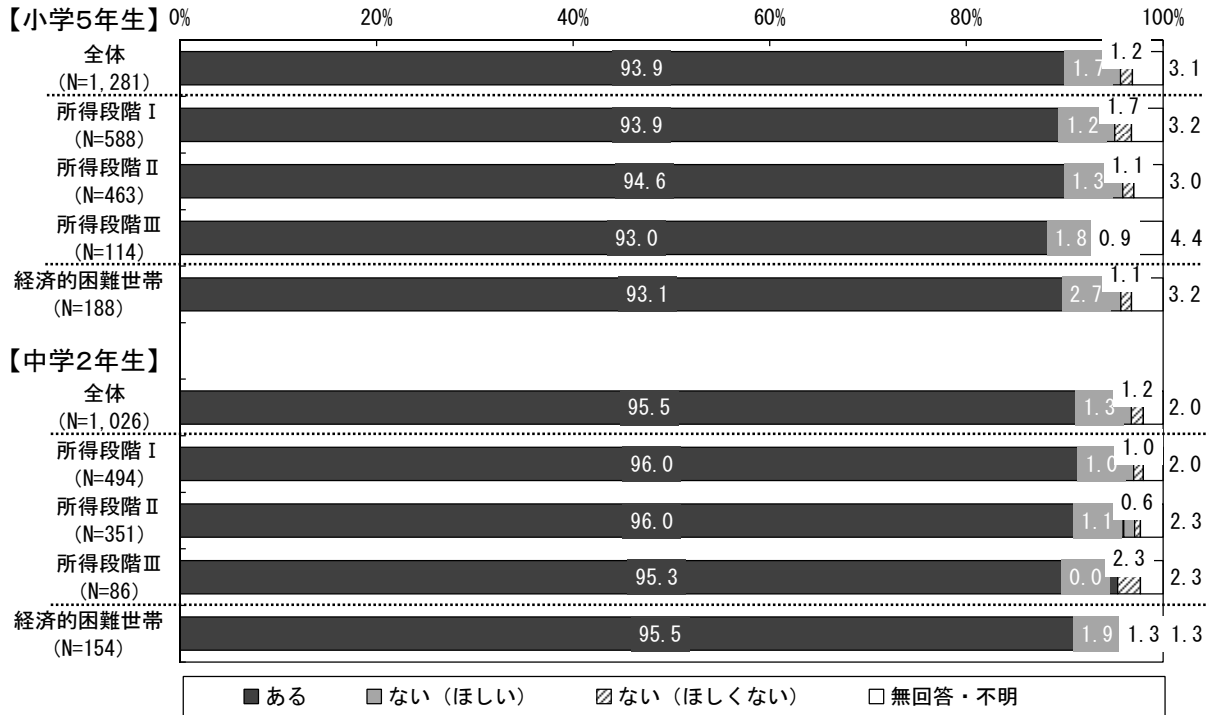
F スポーツ用品（野球のグローブやサッカーボールなど）



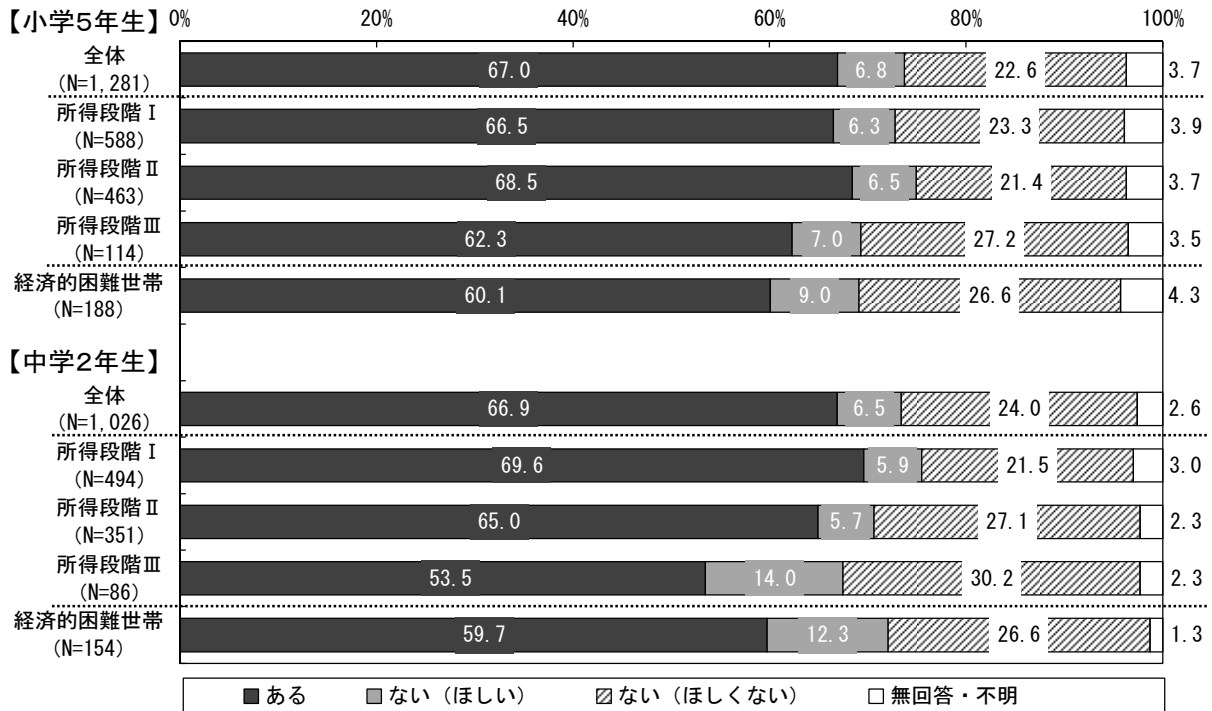
G ゲーム機



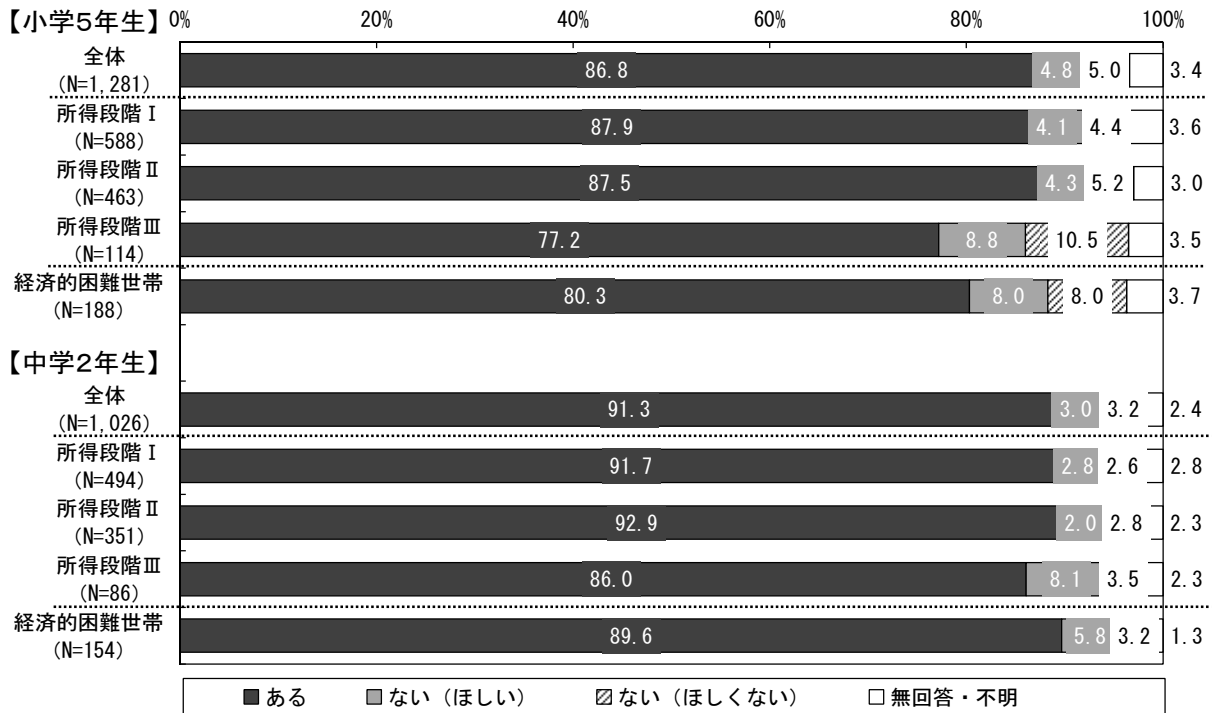
H 自転車



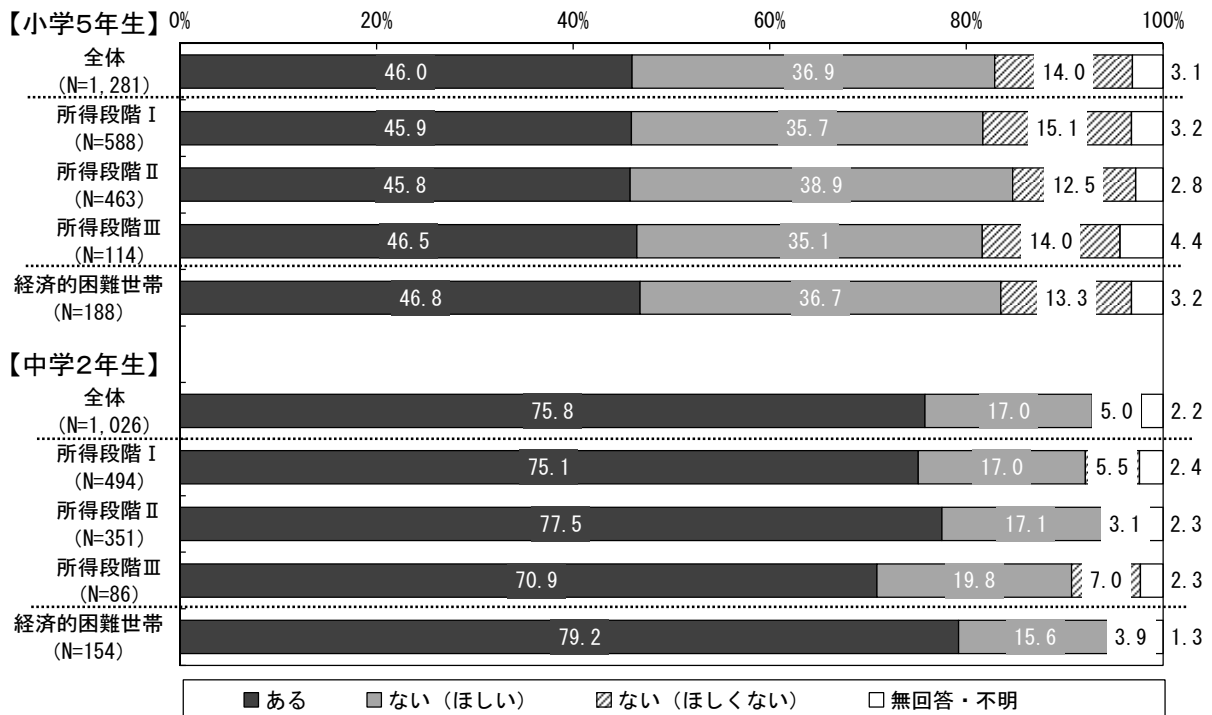
I 友だちと同じような服



J 2足以上のサイズのあった靴



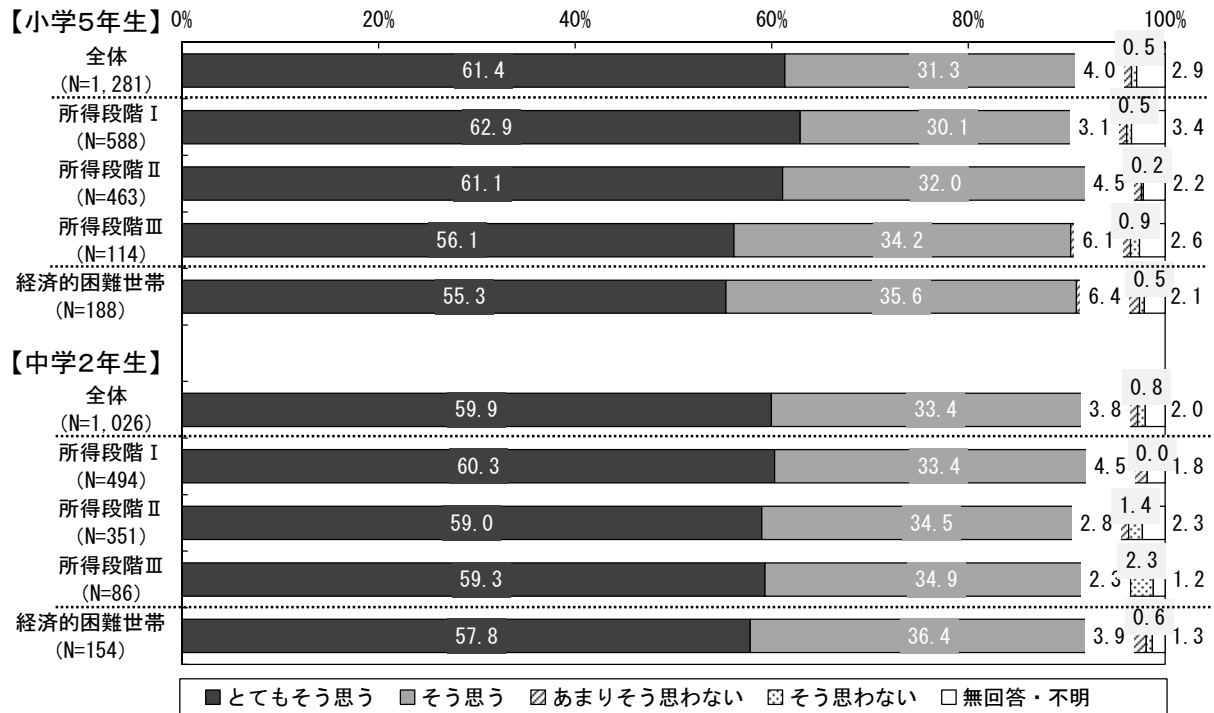
K 携帯電話、スマートフォン



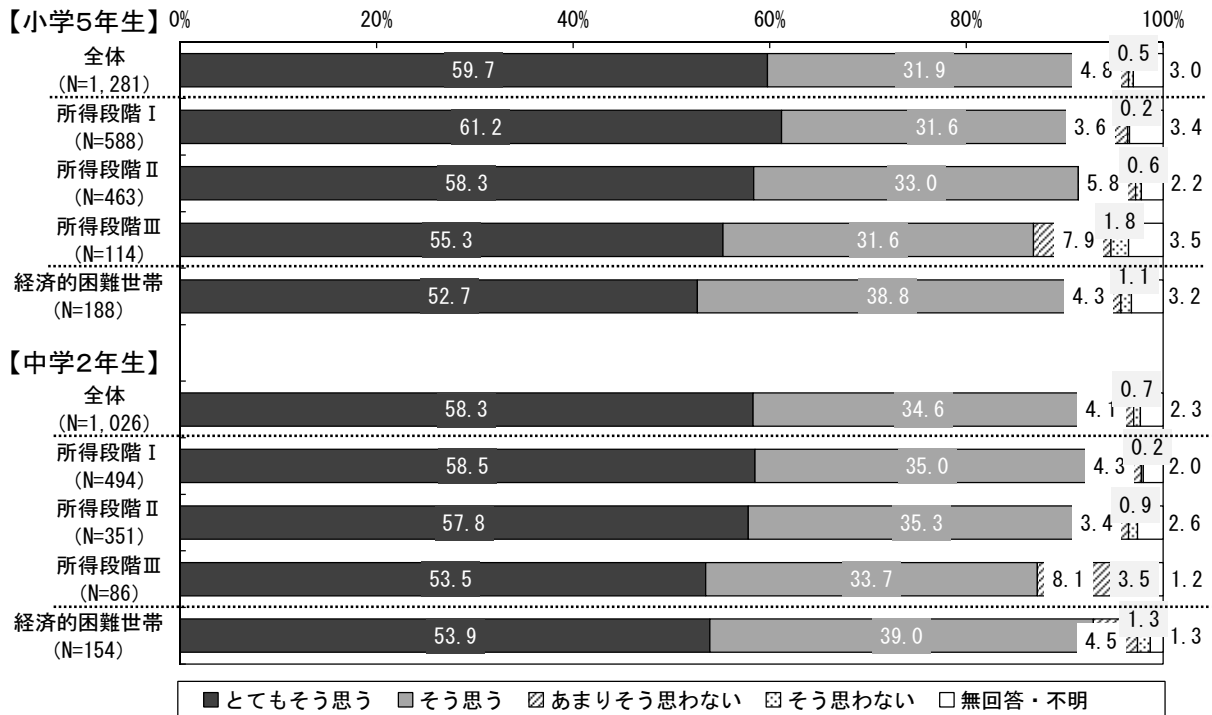
問4 あなたの家族はあなたに対していつもどのようにしていますか。もっとも近いと思うものに○をつけてください。

所得段階Ⅲでは、「自分が喜ぶことをしてくれる」や小学5年生の「いっしょに楽しい時間を過ごしている」で「とてもそう思う」がやや少ない一方、「悪いことをするとしかられる」や中学2年生の「やらなければいけないことを何度も言われる」は「とてもそう思う」がやや多くなっています。

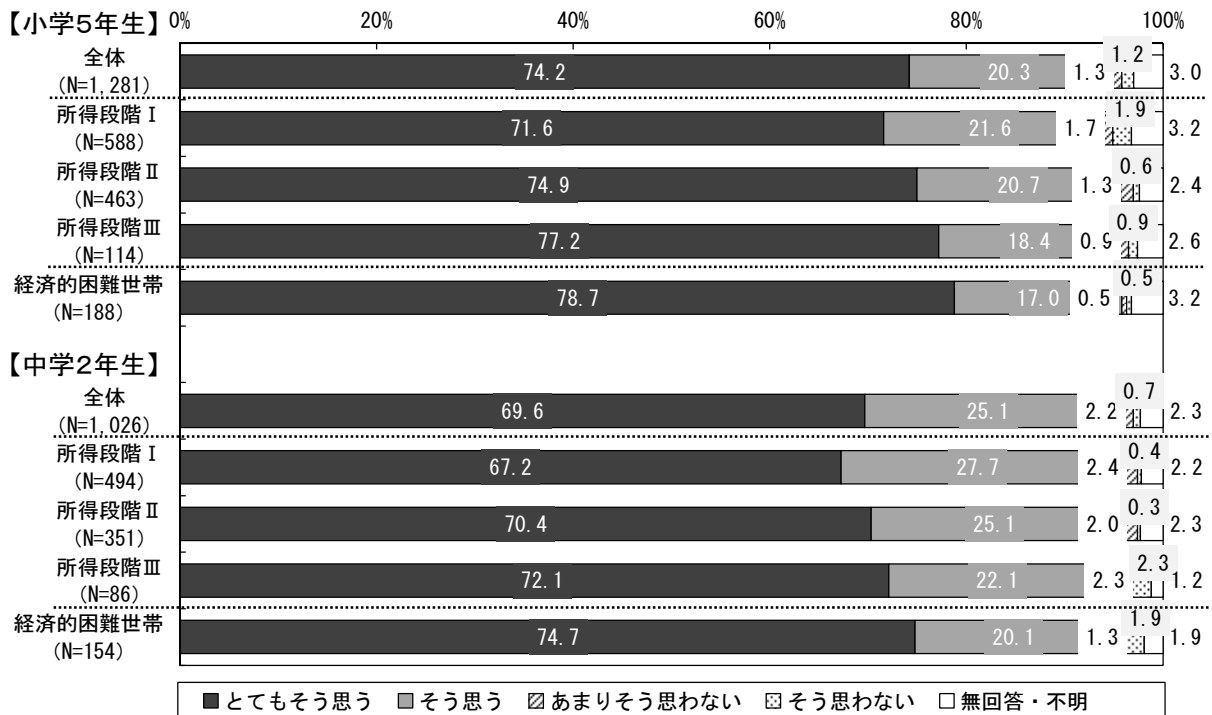
A いっしょに楽しい時間を過ごしている



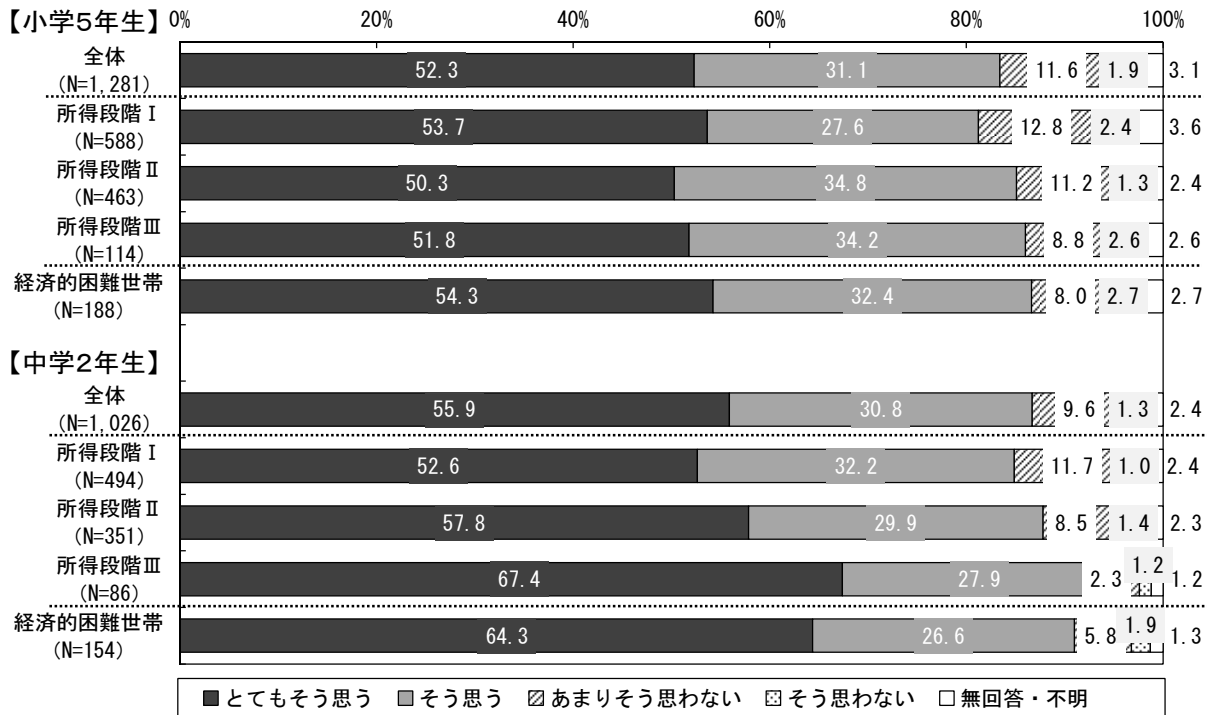
B 自分が喜ぶことをしてくれる



C 悪いことをするとしかられる

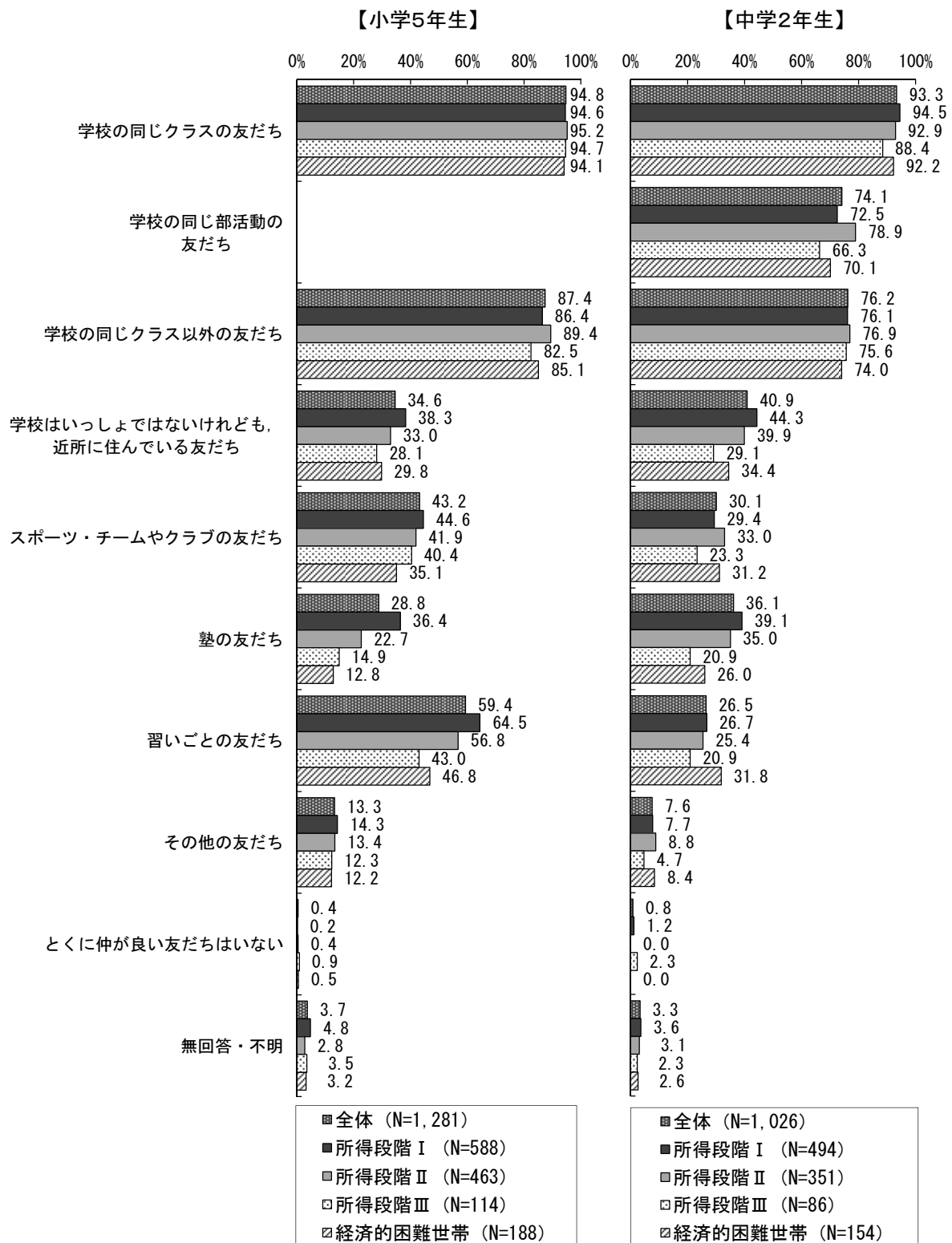


D やらなければいけないことを何度も言われる



問5 あなたにはどんな友だちがいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。【複数回答】

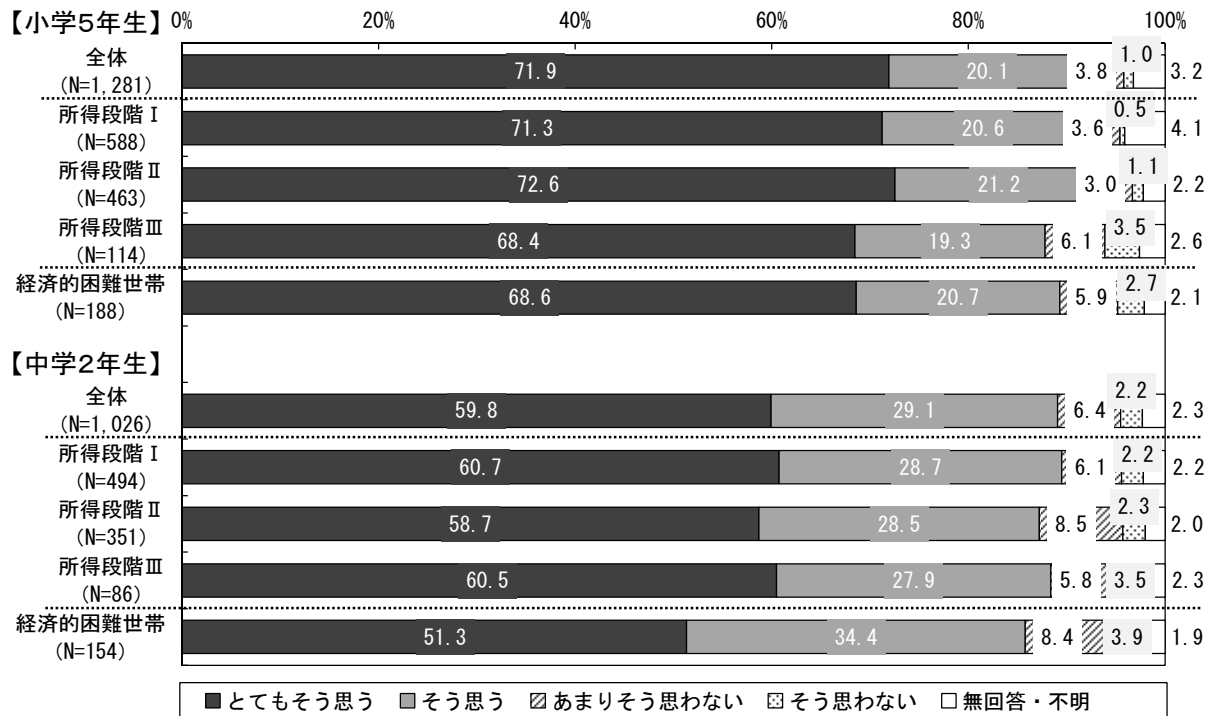
所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では学校以外の友だちの回答が少ない傾向です。



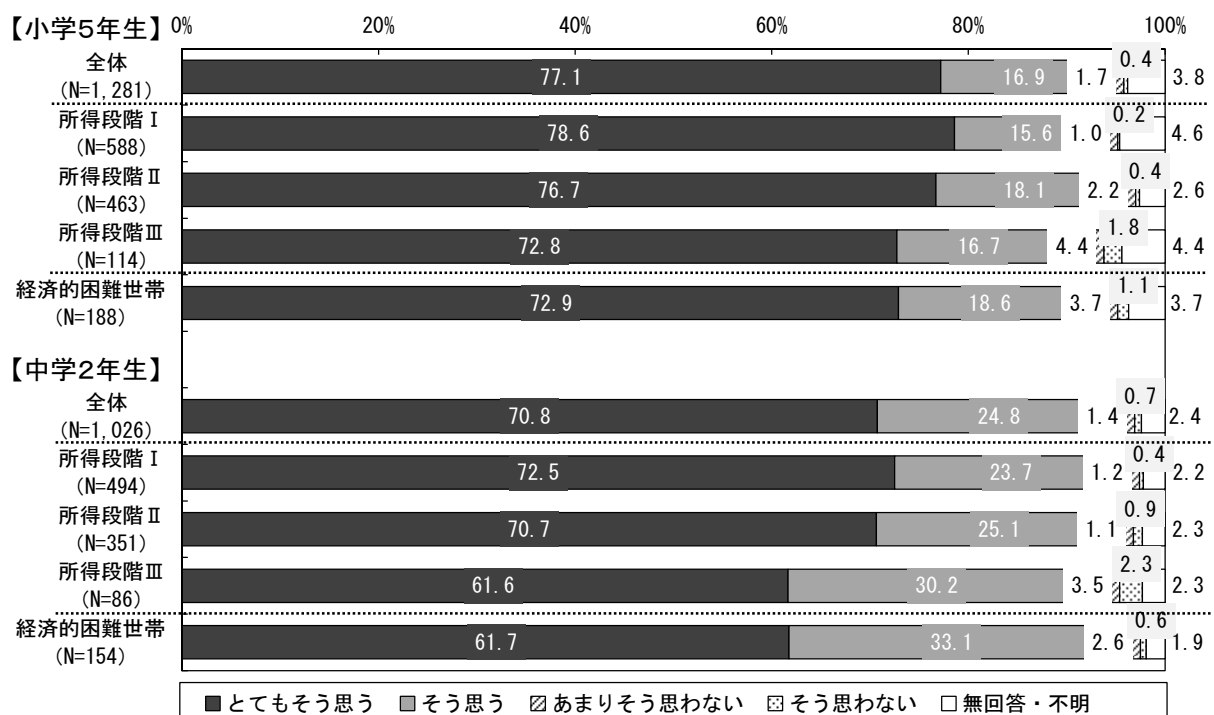
問6 あなたと友だちの関係について、どのように思いますか。もっとも近いものに○をつけてください。

所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では、「とてもそう思う」または「そう思う」がやや少ない傾向があり、友人関係がうまくいっていないと感じている割合が比較的多くなっています。

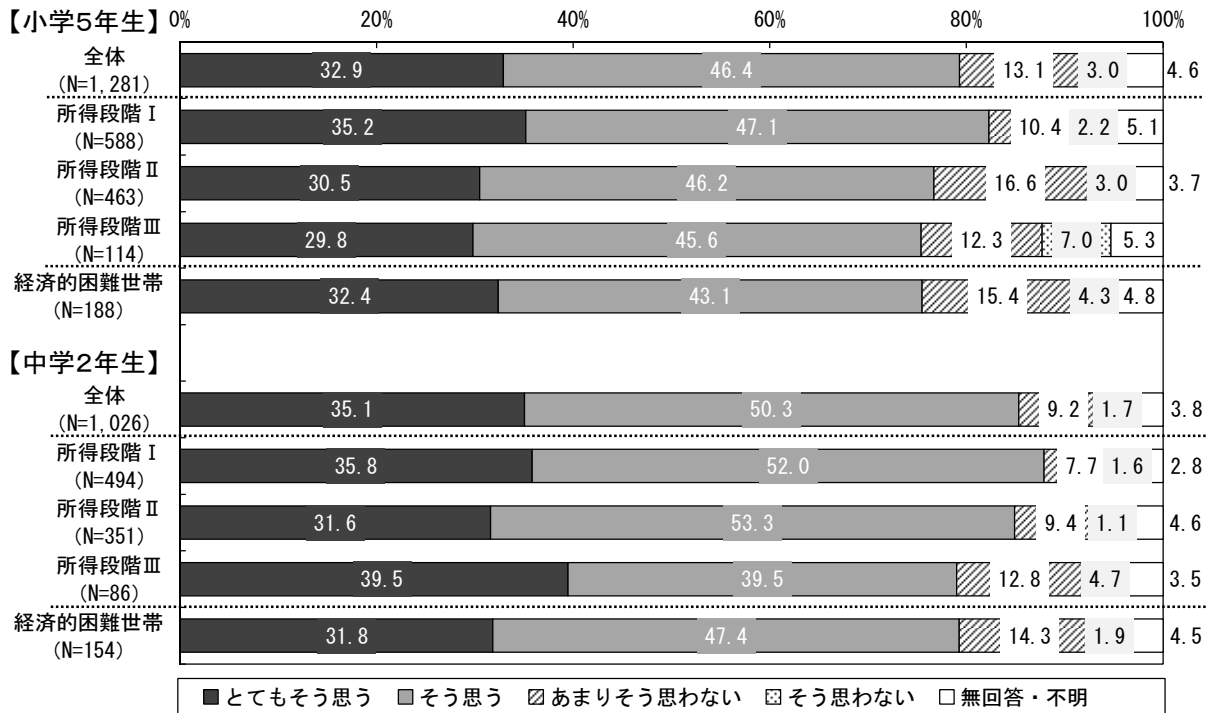
A 友だちといっしょによく遊んでいる



B 友だちと仲良くしている

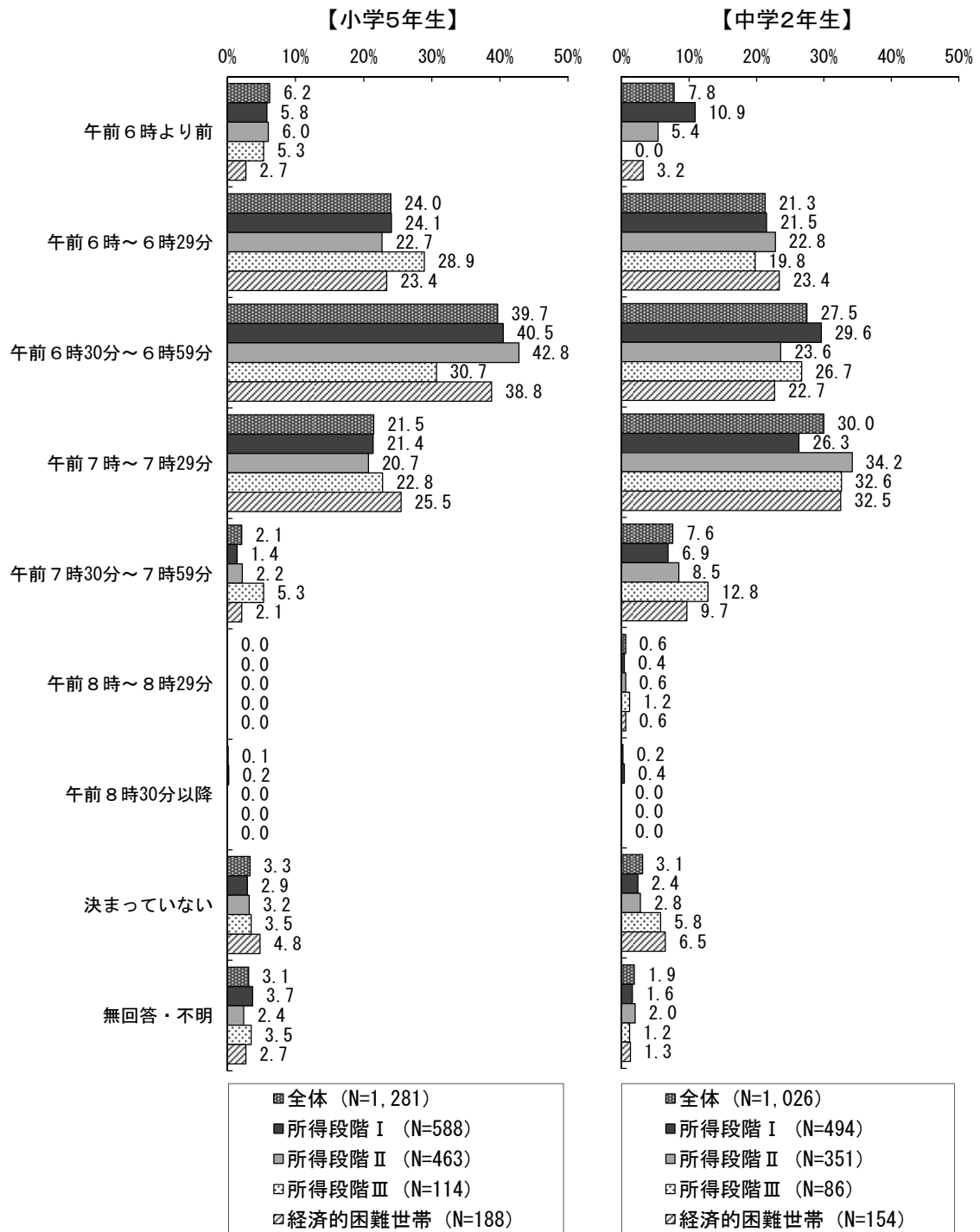


C 友だちに好かれている

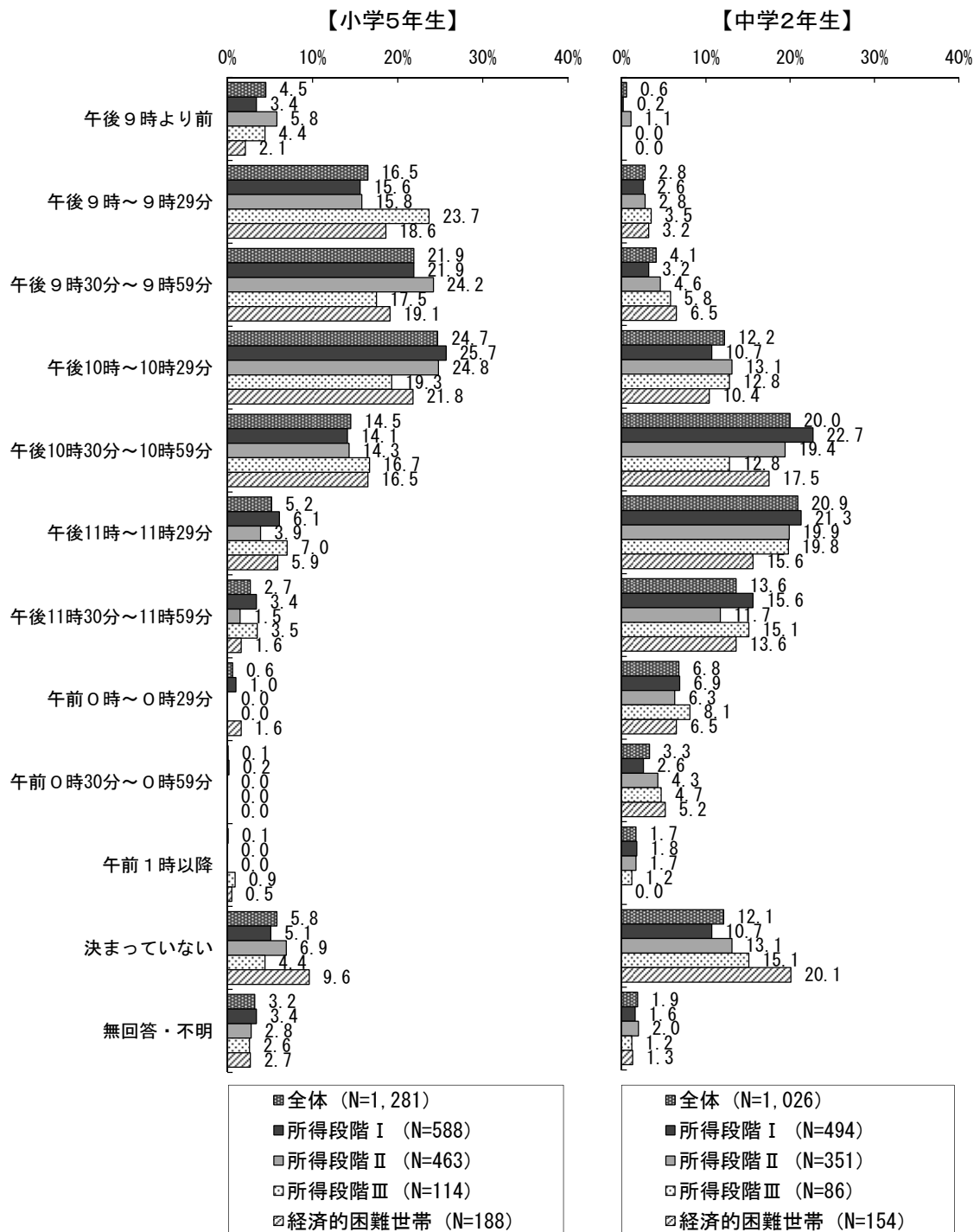


問7 あなたは、学校がある日はだいたい朝何時ごろに起きますか。

学校がある日の起床・就寝時刻については、明確な差はみられません。

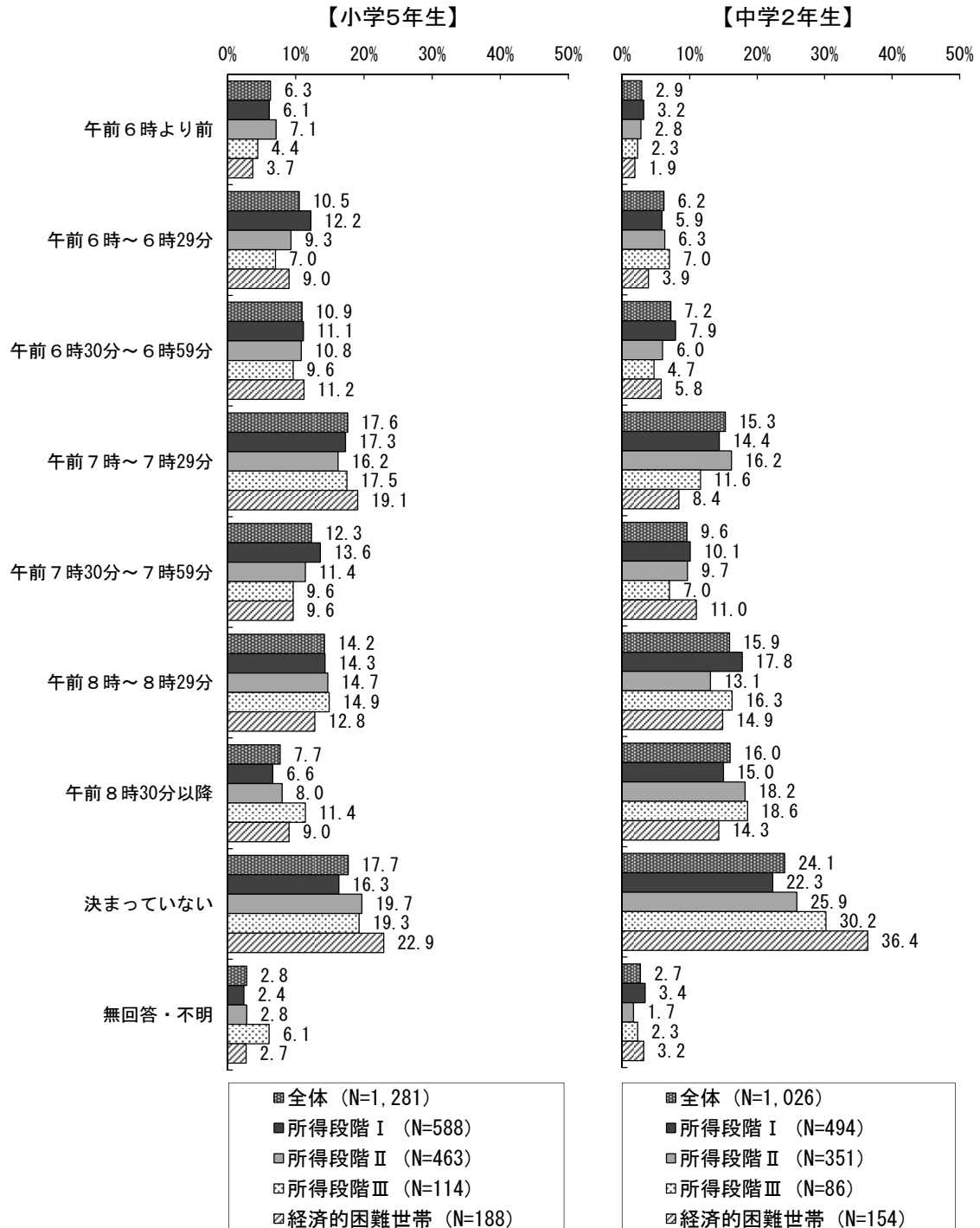


問8 あなたは、次の日に学校がある日は、だいたい何時ごろに寝ますか。

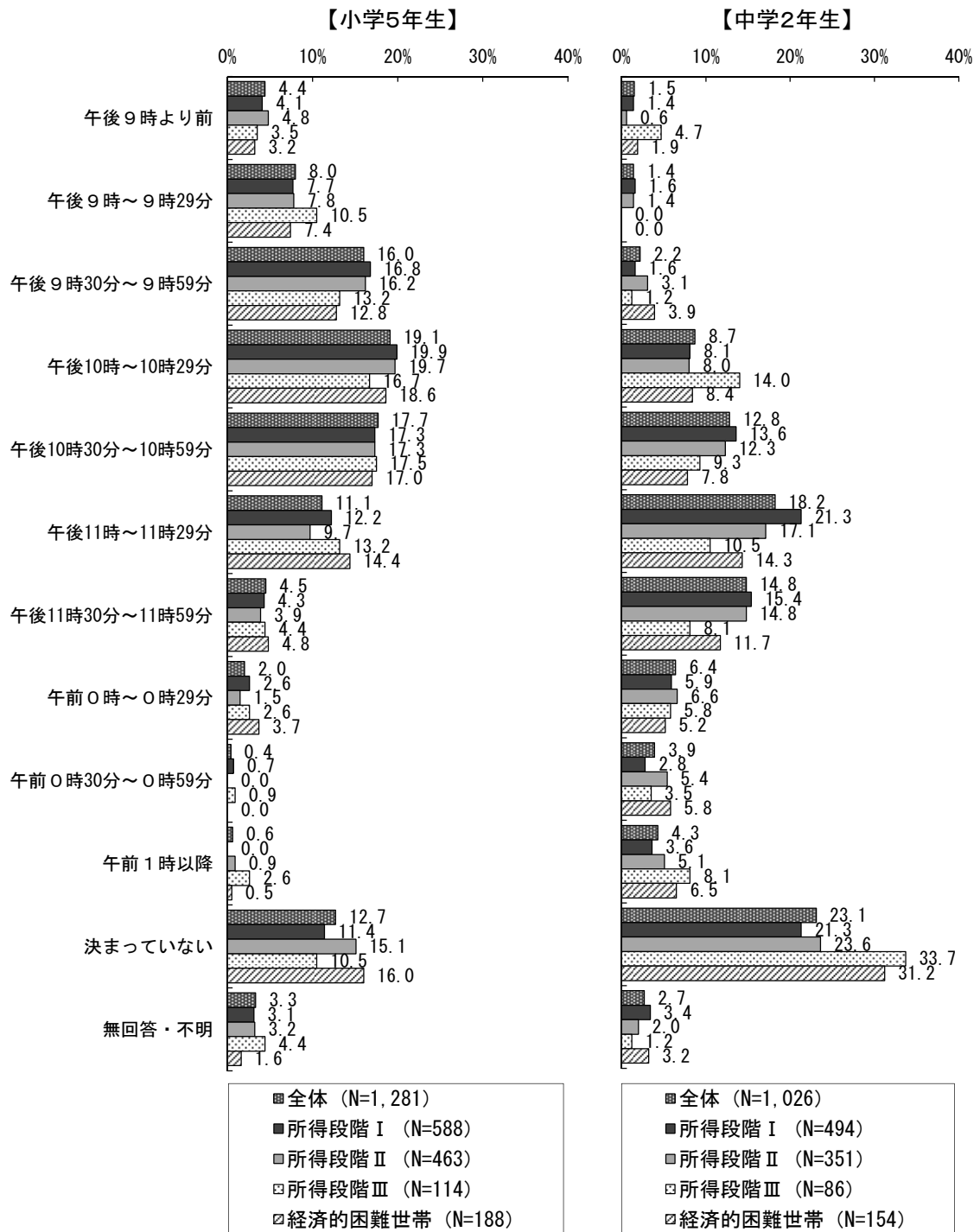


問9 あなたは、休日や夏休みなど学校がない日はだいたい朝何時ごろに起きますか。

休日の起床時刻や休日前の就寝時刻（問10）については、中学2年生の所得段階Ⅲ・経済的困難世帯で「決まっていない」がやや多くなっています。



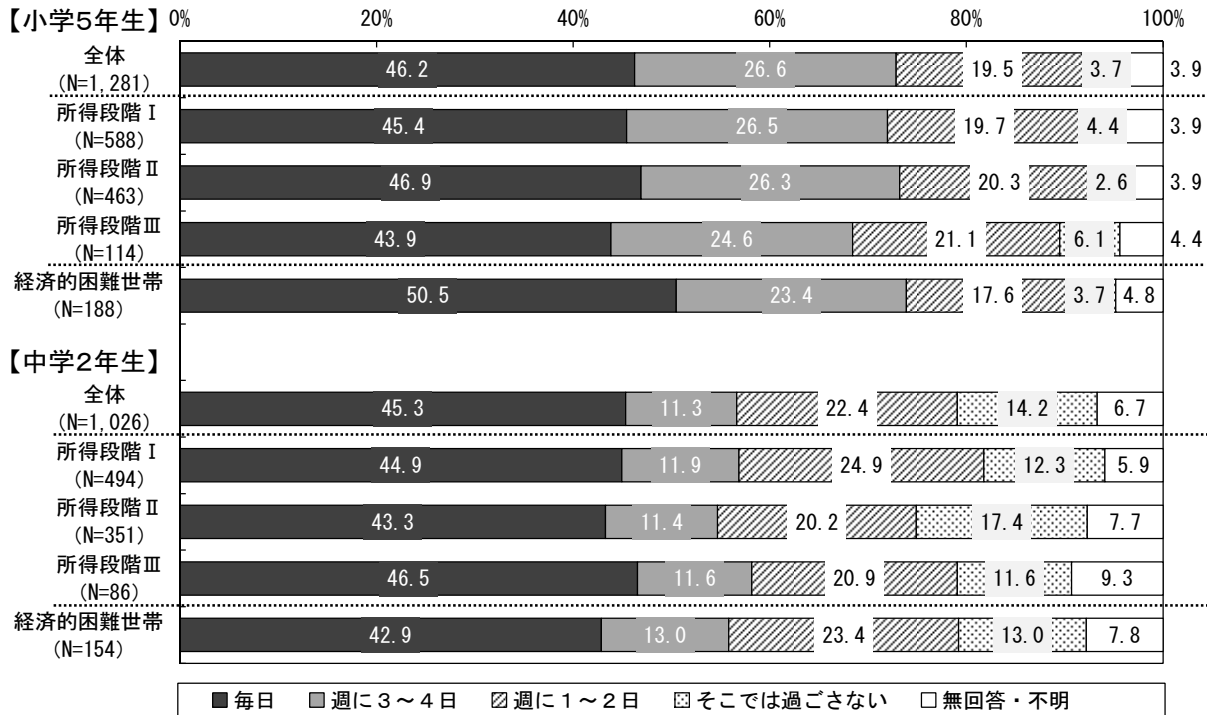
問 10 あなたは、休日や夏休みなどで、次の日に学校がない日は、だいたい何時ごろに寝ますか。



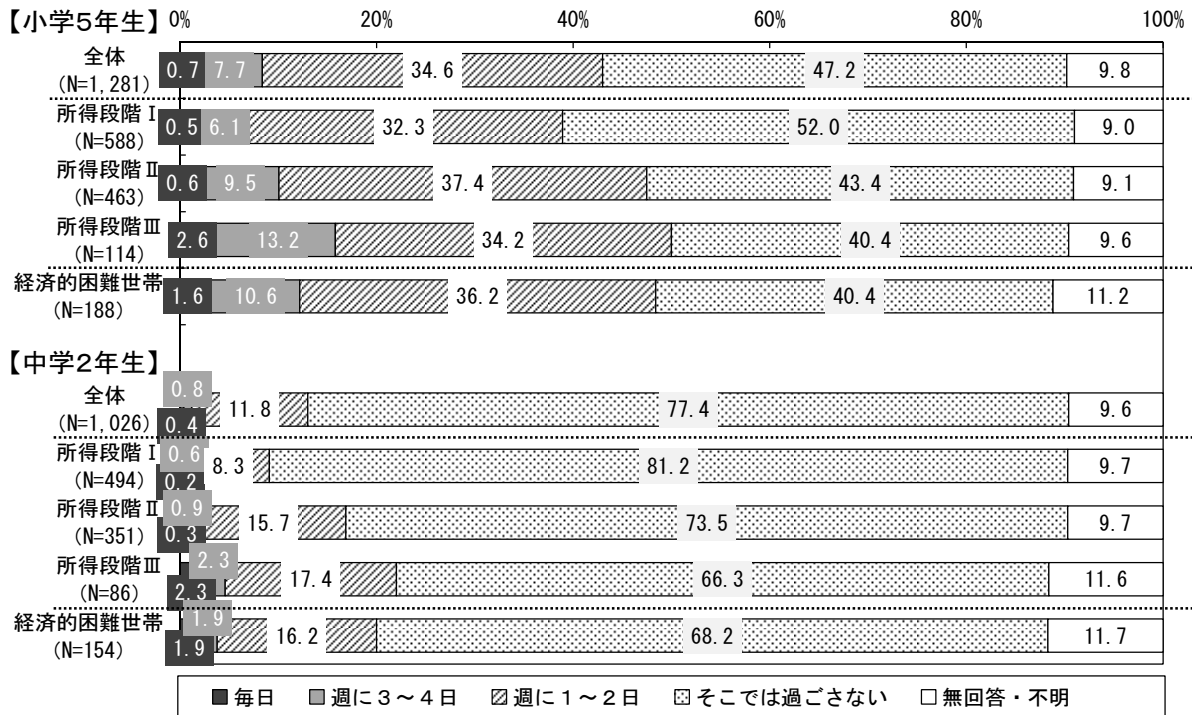
問 11 あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）どこで過ごしますか。1週間のうち、そこで過ごすおおよその日数に○をつけてください。

所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では、「友だちの家」「学校（放課後児童クラブをふくむ）」「公園や広場」「商店街やショッピングモール」で過ごしている頻度がやや高い一方、「塾や習いごとをする場所」の頻度が低くなっています。

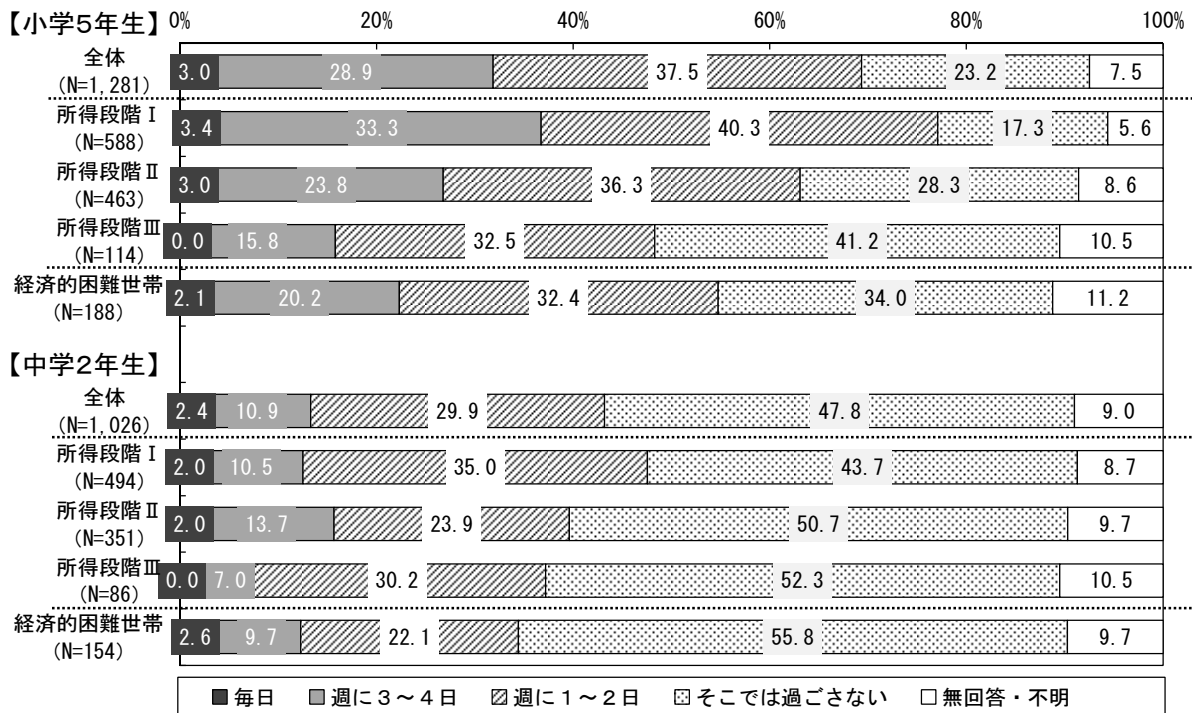
A 自分の家



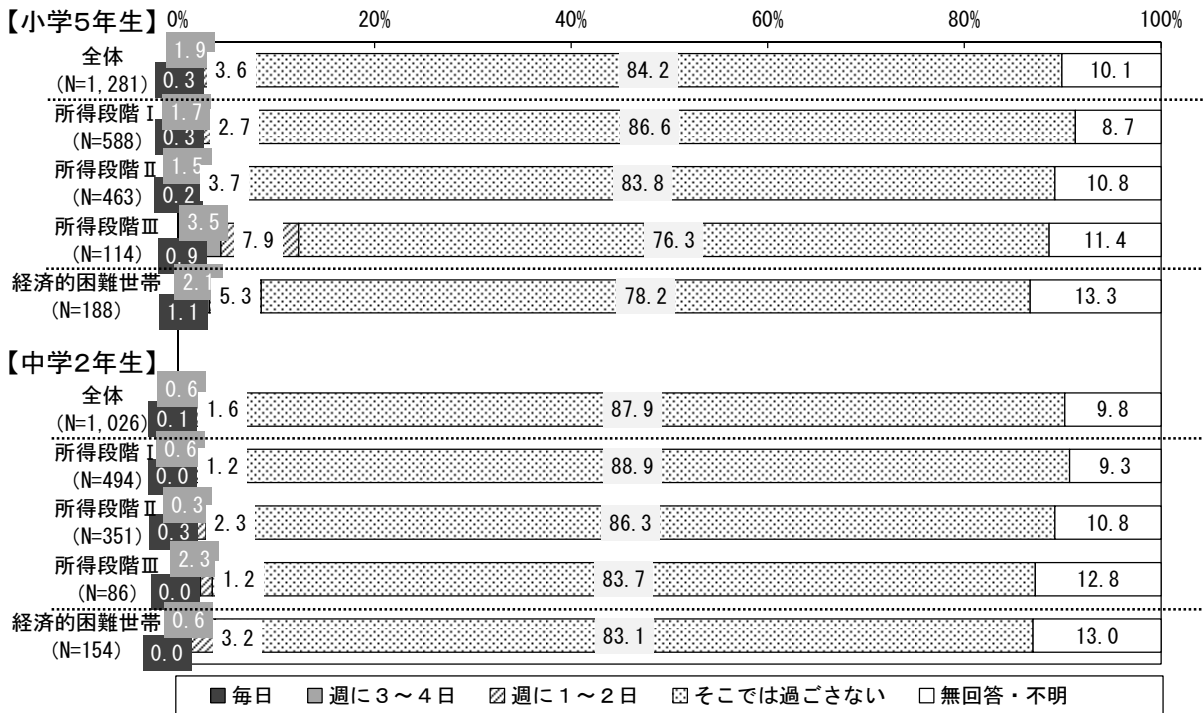
B 友だちの家



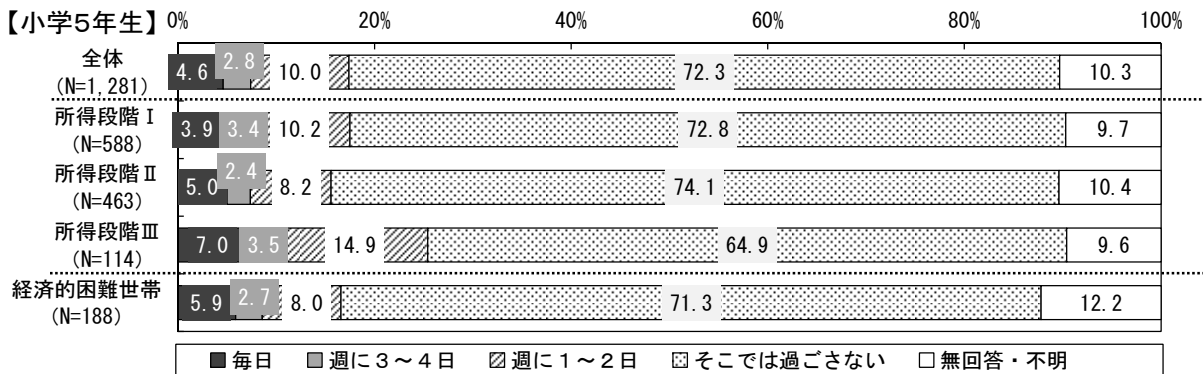
C 塾や習いごとをする場所



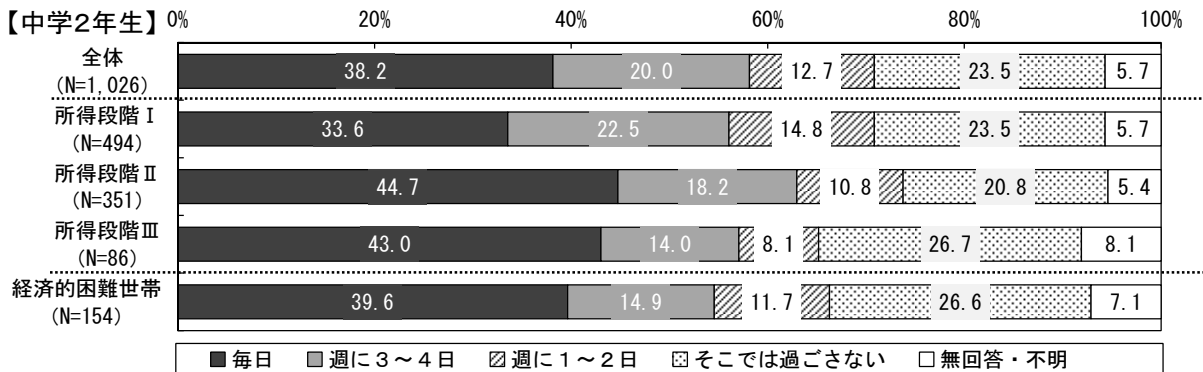
D 児童館・公民館・その他の施設（放課後児童クラブ、子ども会をふくむ）



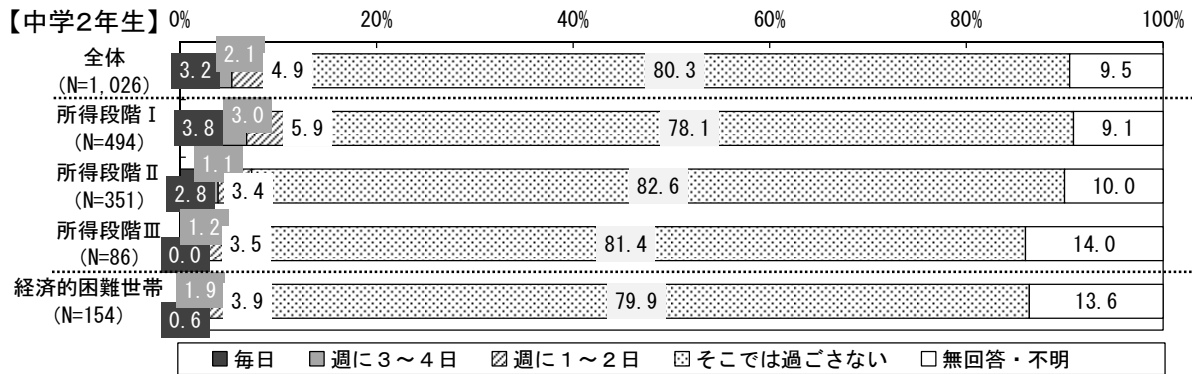
E 学校（放課後児童クラブをふくむ）【小学5年生のみ】



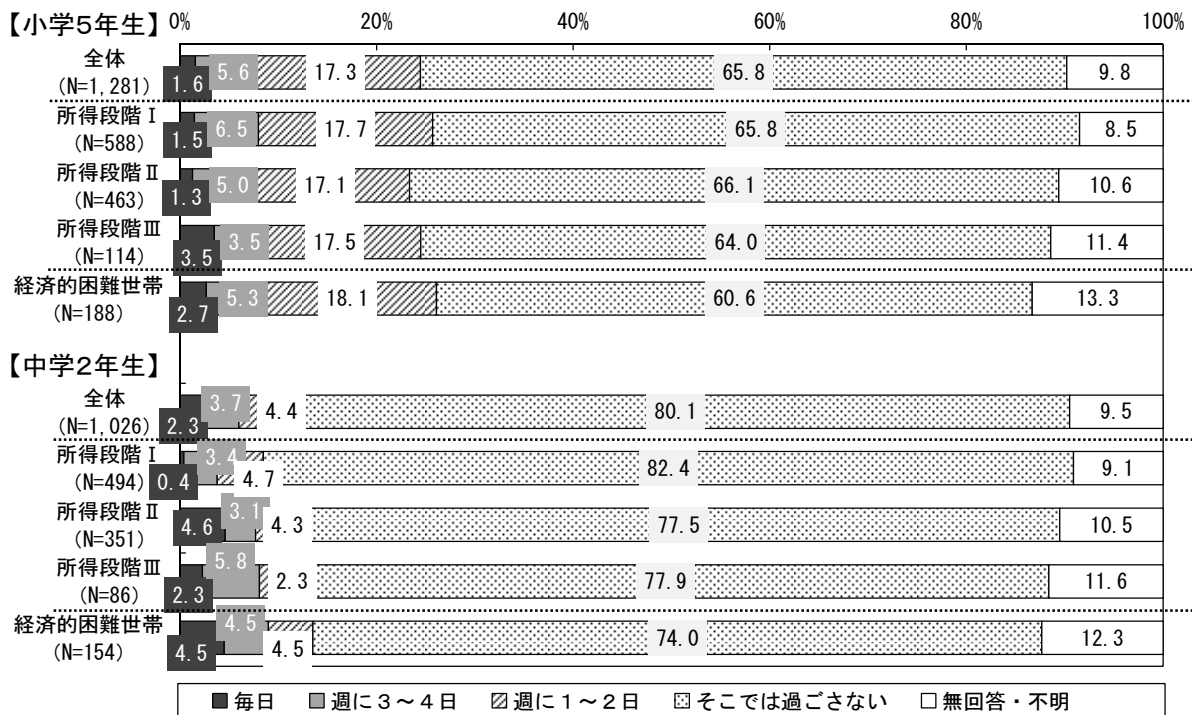
F 学校の部活動【中学2年生のみ】



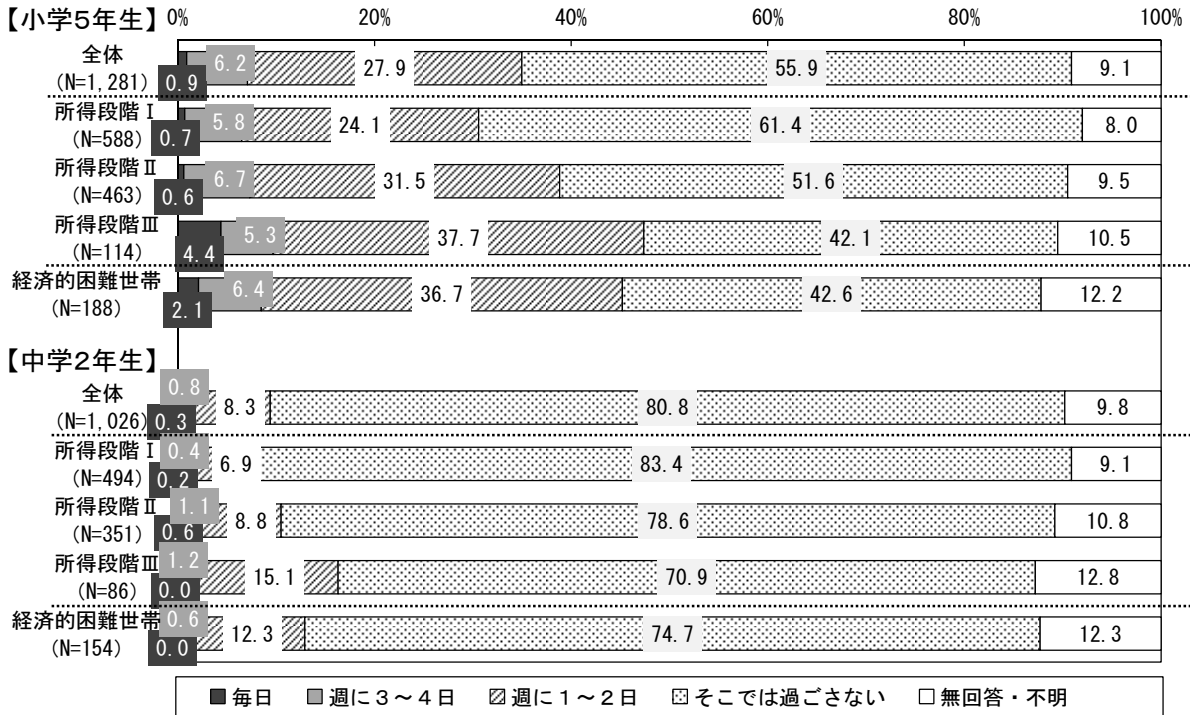
G 部活動以外の学校【中学2年生のみ】



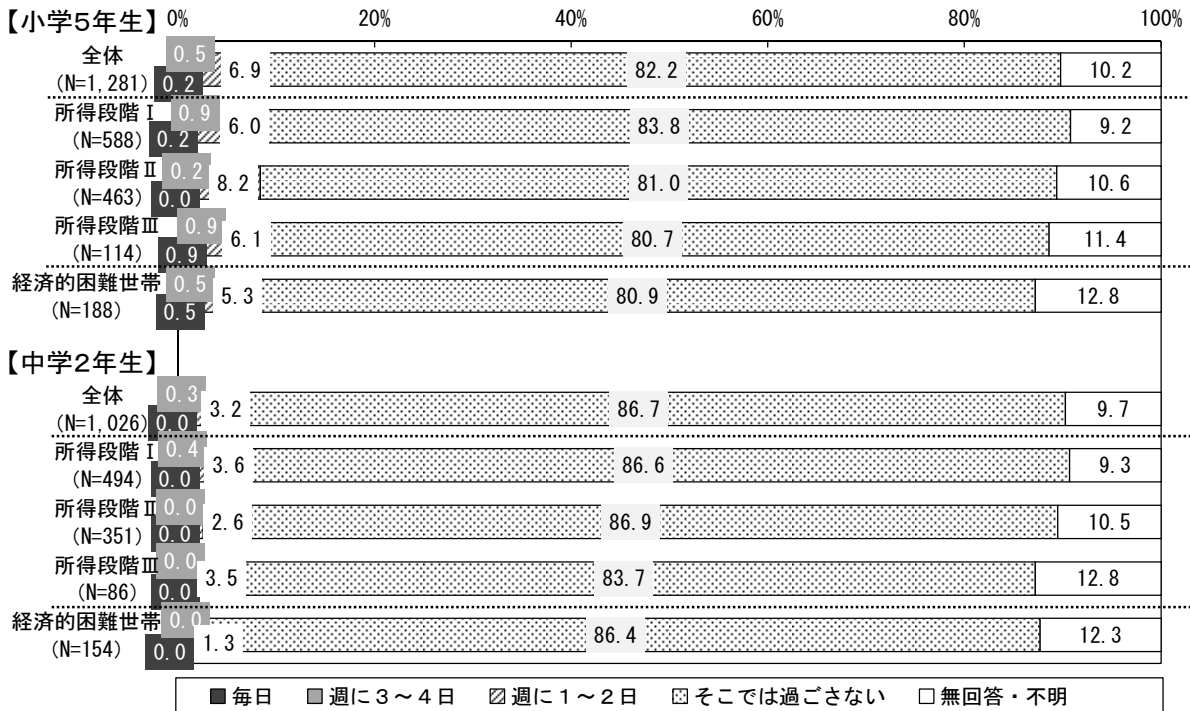
H スポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場など）



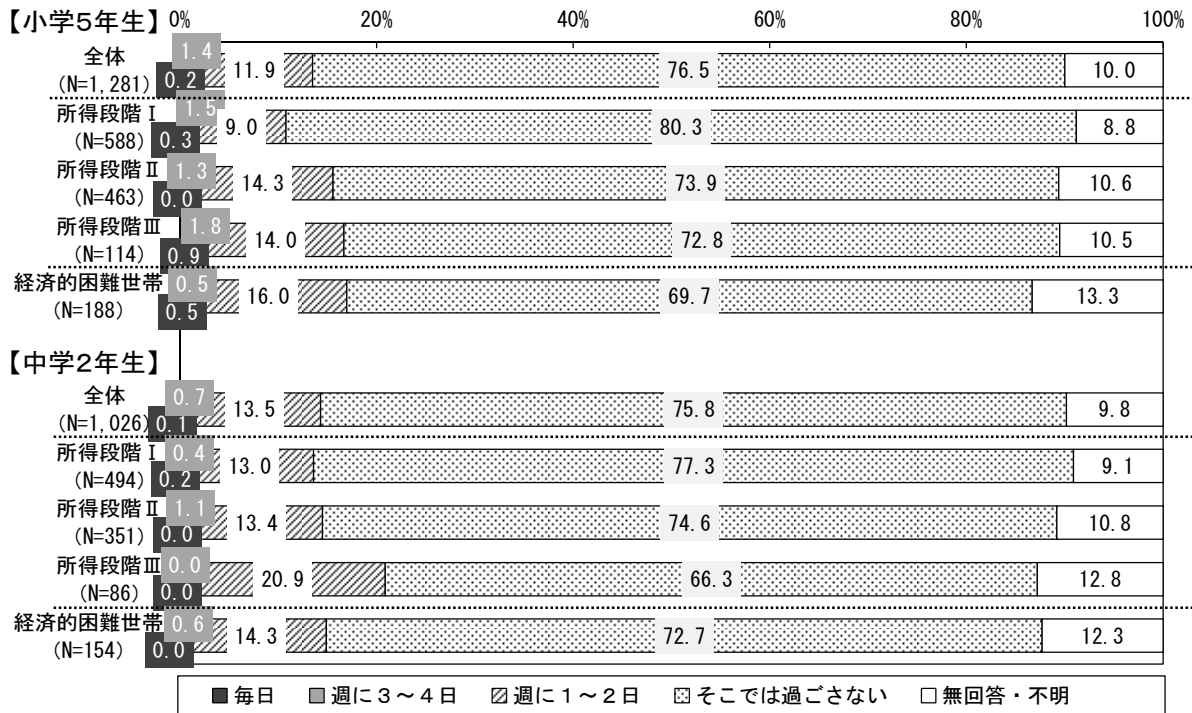
I 公園や広場



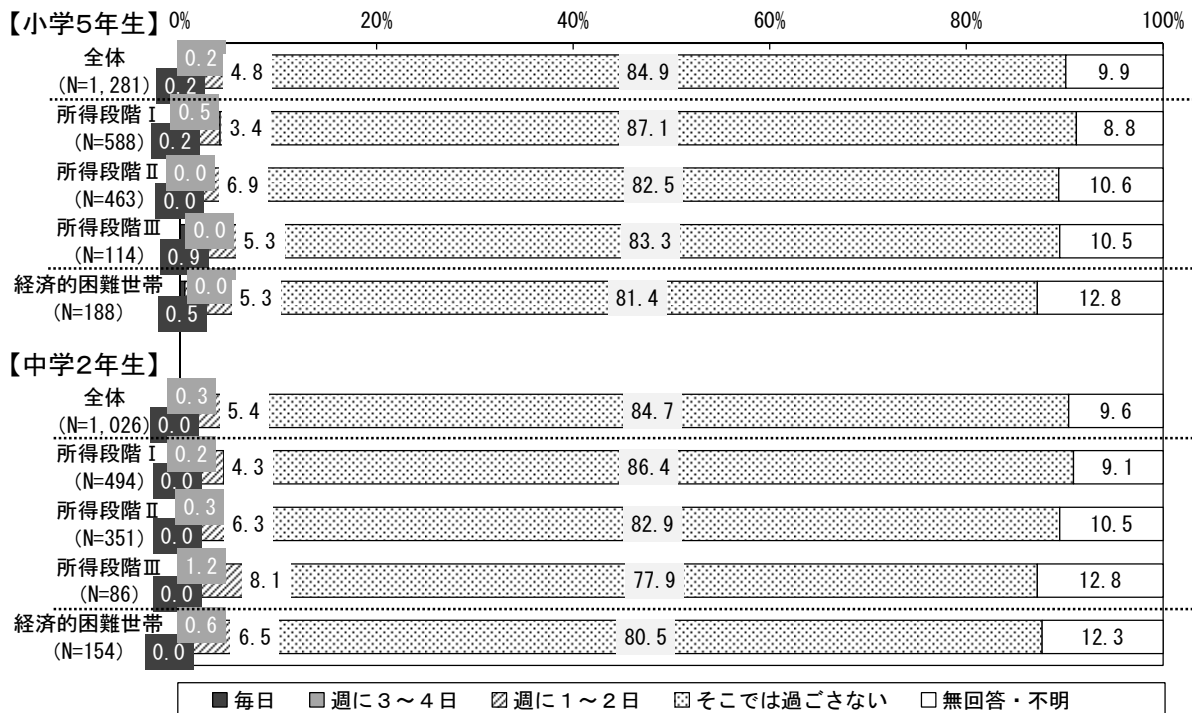
J 図書館



K 商店街やショッピングモール

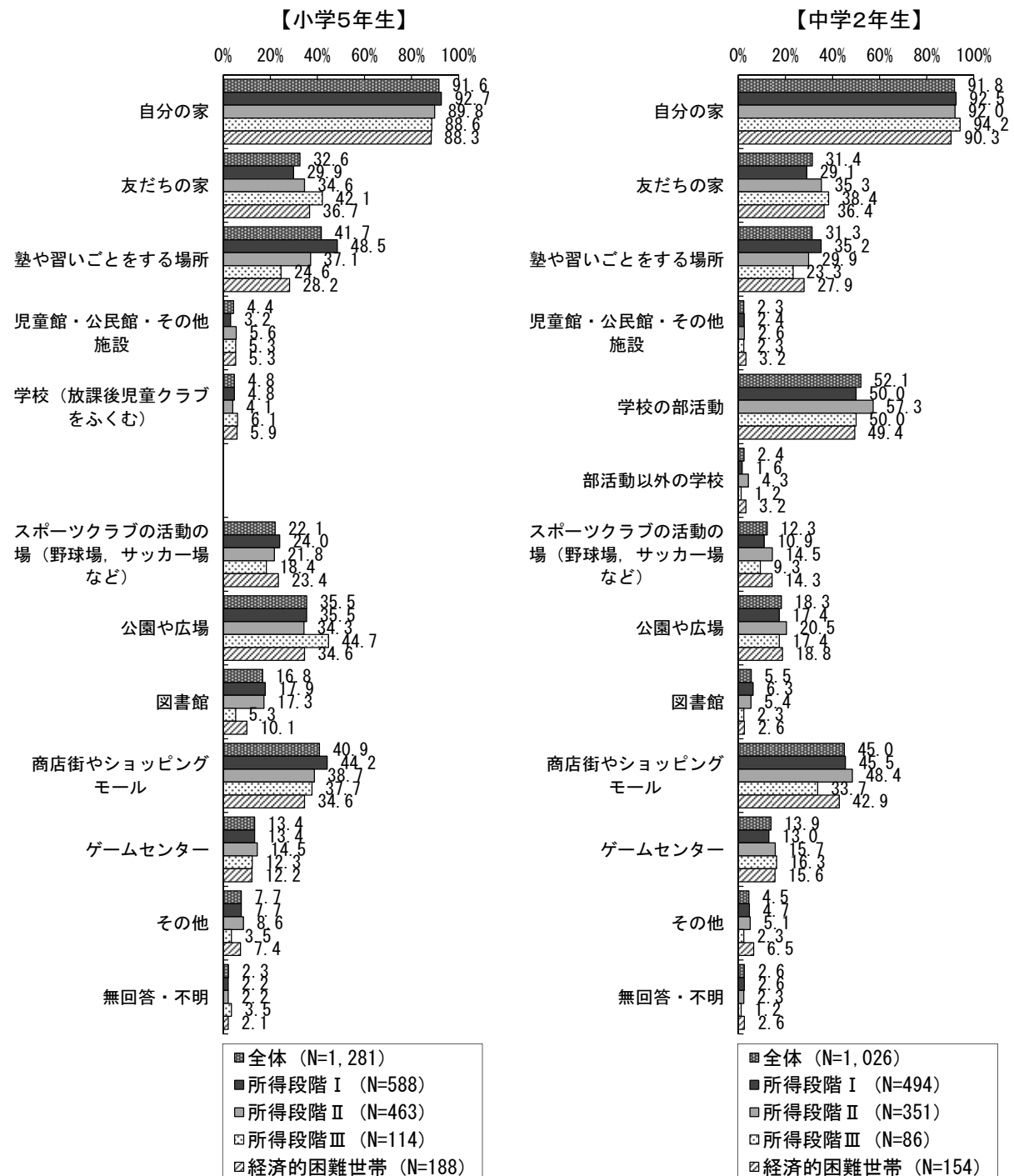


L ゲームセンター



問 12 あなたは、休日（学校がお休みの日）の昼間（外が明るい時間）は、どこで過ごしますか。月に1回以上過ごすところすべてに○をつけてください。【複数回答】

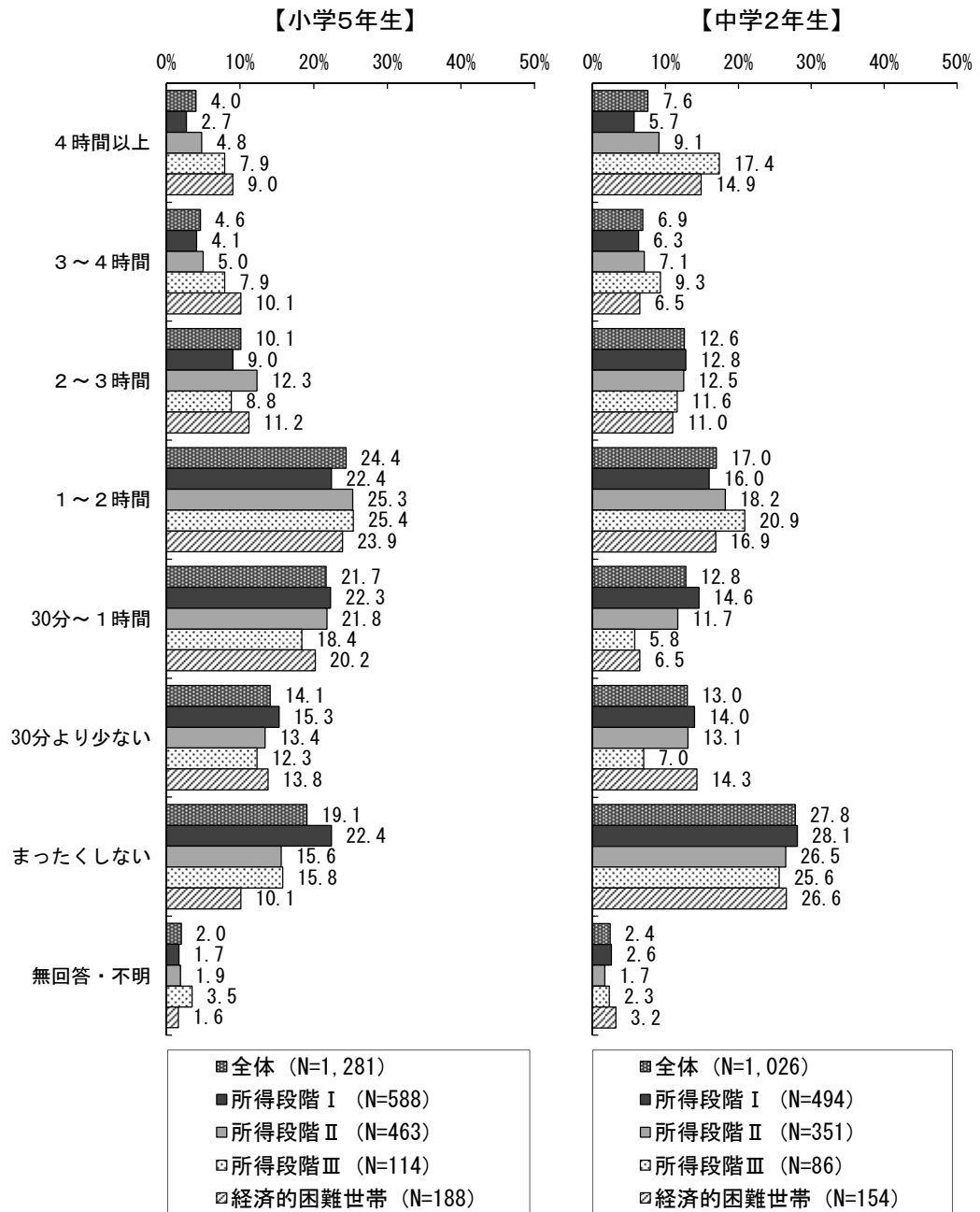
所得段階Ⅲでは、「友だちの家」や小学5年生の「公園や広場」がやや多く、「塾や習い事をする場所」や中学2年生の「商店街やショッピングモール」が少なくなっています。



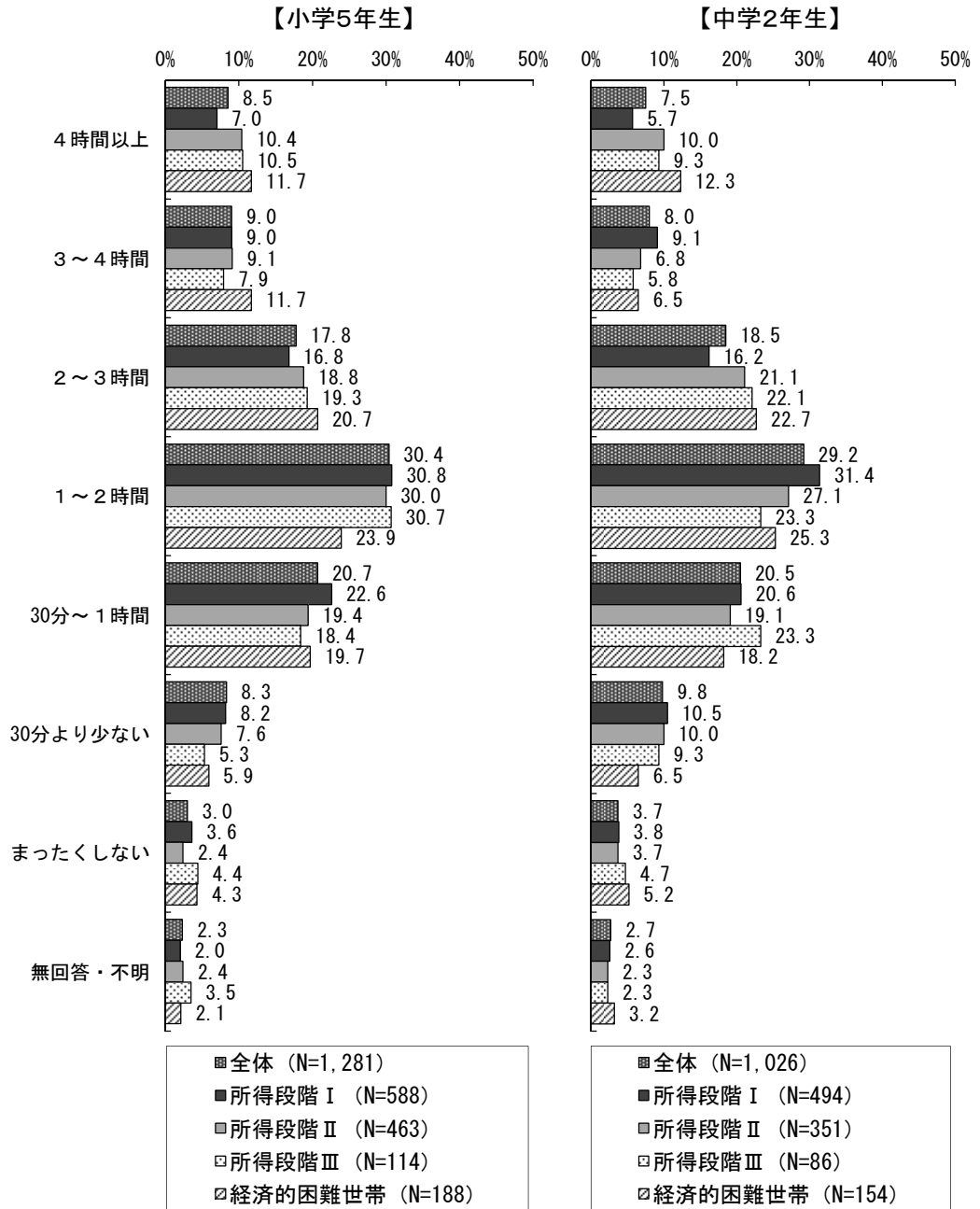
問 13 あなたはふだん（月曜日から金曜日）、次の活動を、1日当たりどれくらいの時間しますか。

所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では、特に中学2年生で「ゲーム機で遊ぶ」「電話やメール、インターネットをする」時間が長い傾向です。

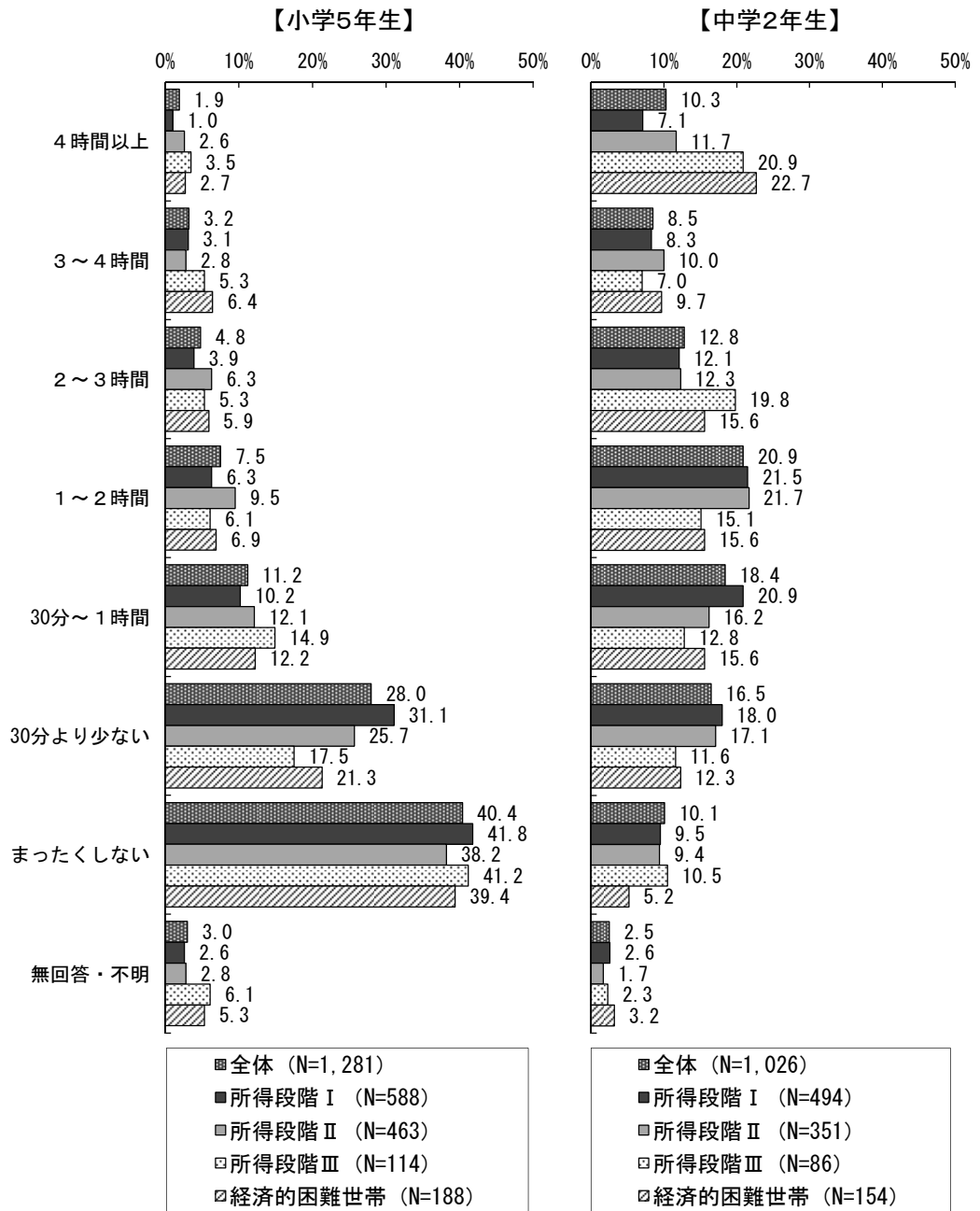
A ゲーム機（コンピュータゲーム、携帯式のゲームをふくむ）で遊ぶ



B テレビやビデオ・DVD を見る（勉強のために見る時間やゲームの時間はのぞきます）



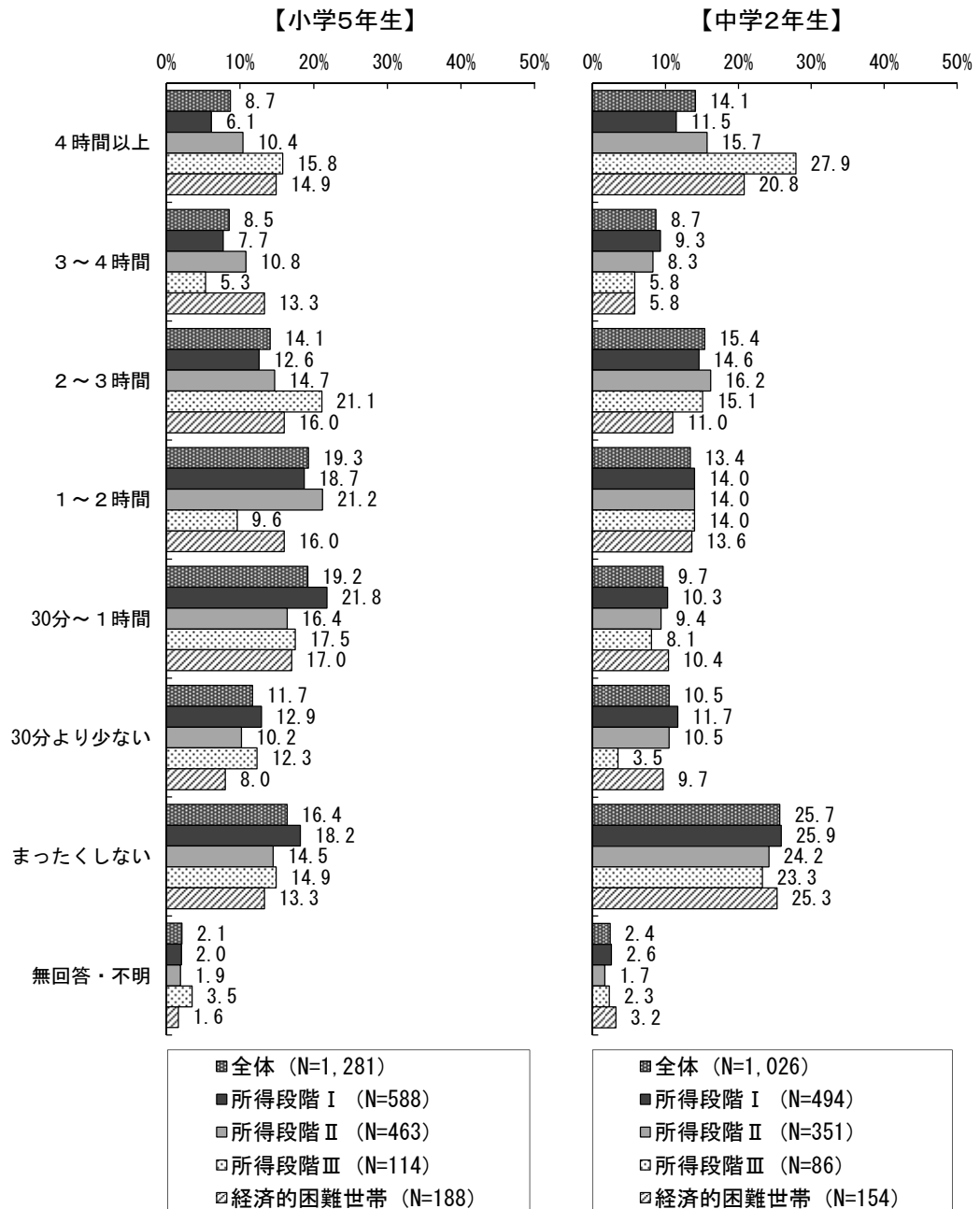
C 電話やメール、インターネットをする（携帯電話やスマートフォン、パソコンなど）



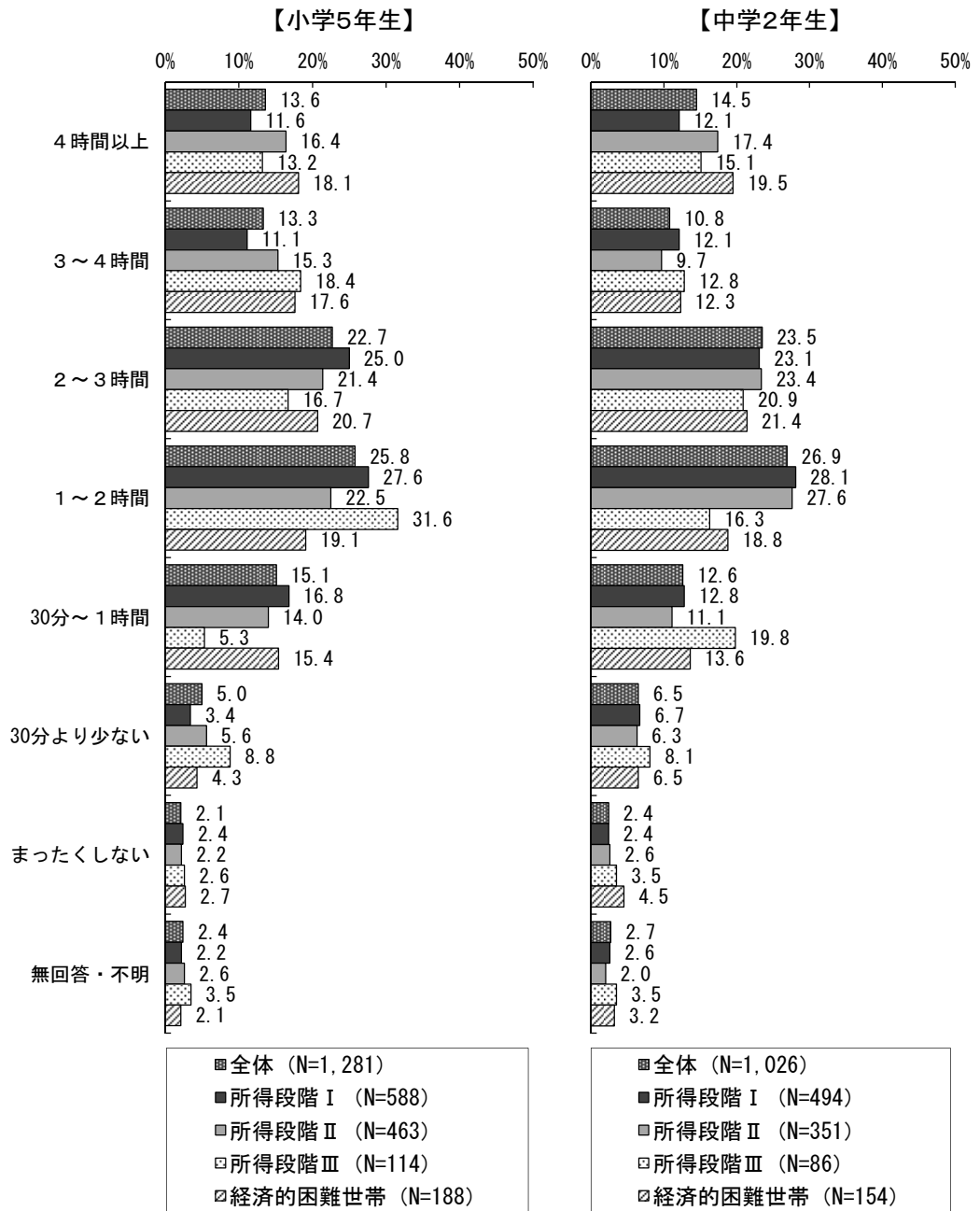
問 14 あなたは、休日や夏休みなど学校がない日には、次の活動を、1日当たりどれくらいの時間しますか。

所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では、特に中学2年生で「ゲーム機で遊ぶ」「電話やメール、インターネットをする」時間が「4時間以上」という回答が多くなっています。

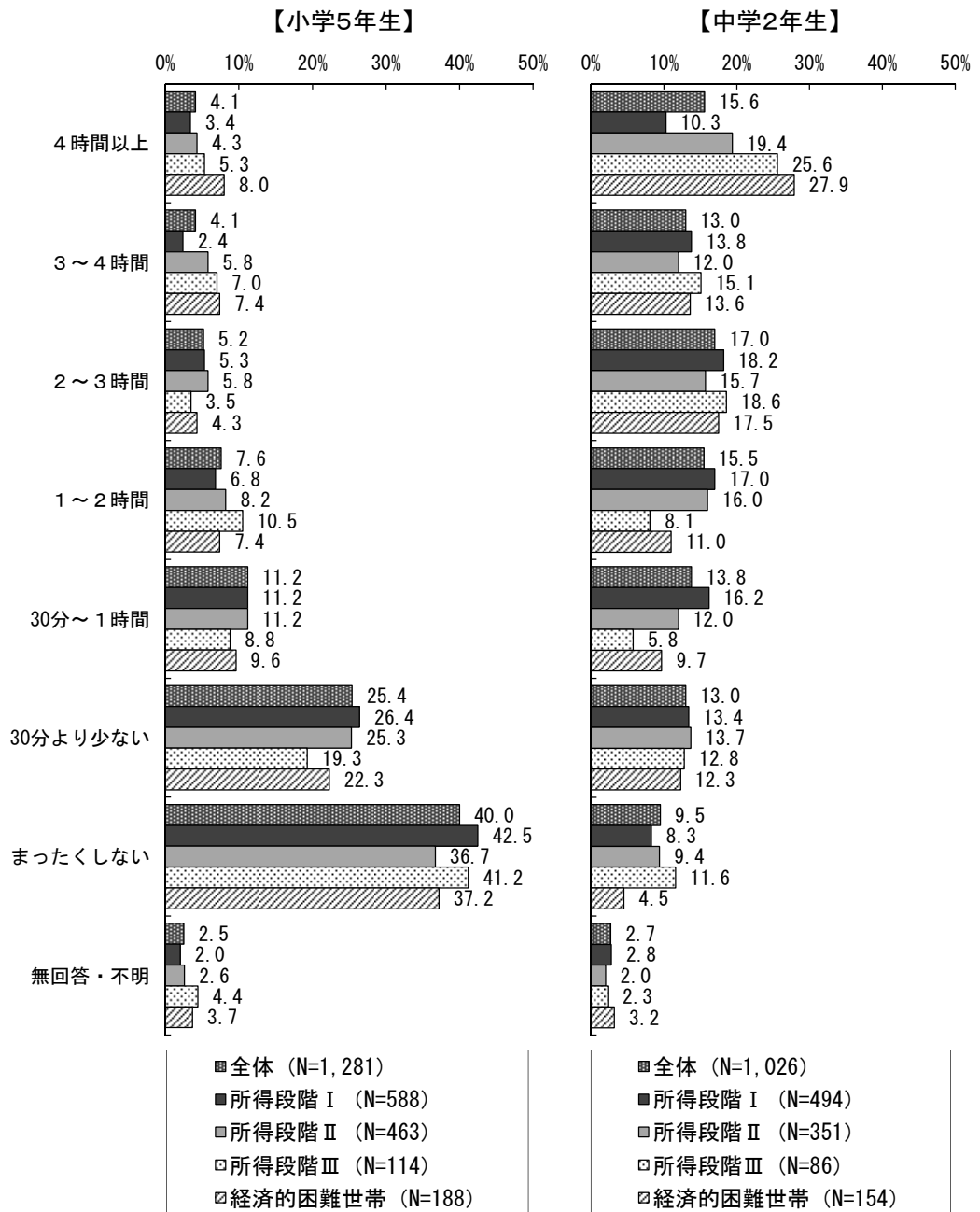
A ゲーム機（コンピュータゲーム、携帯式のゲームをふくむ）で遊ぶ



B テレビやビデオ・DVD を見る（勉強のために見る時間やゲームの時間はのぞきます）



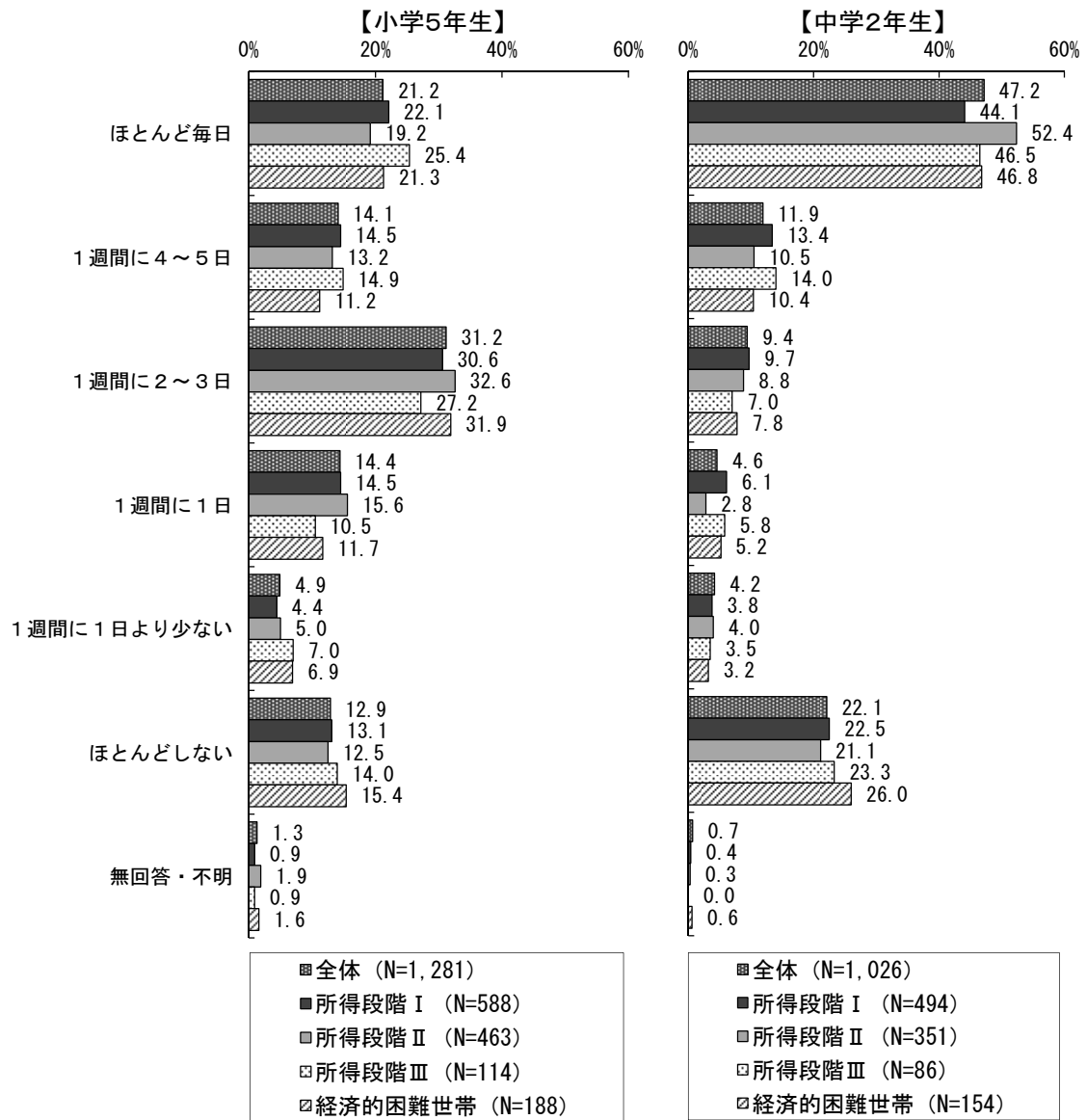
C 電話やメール、インターネットをする（携帯電話やスマートフォン、パソコンなど）



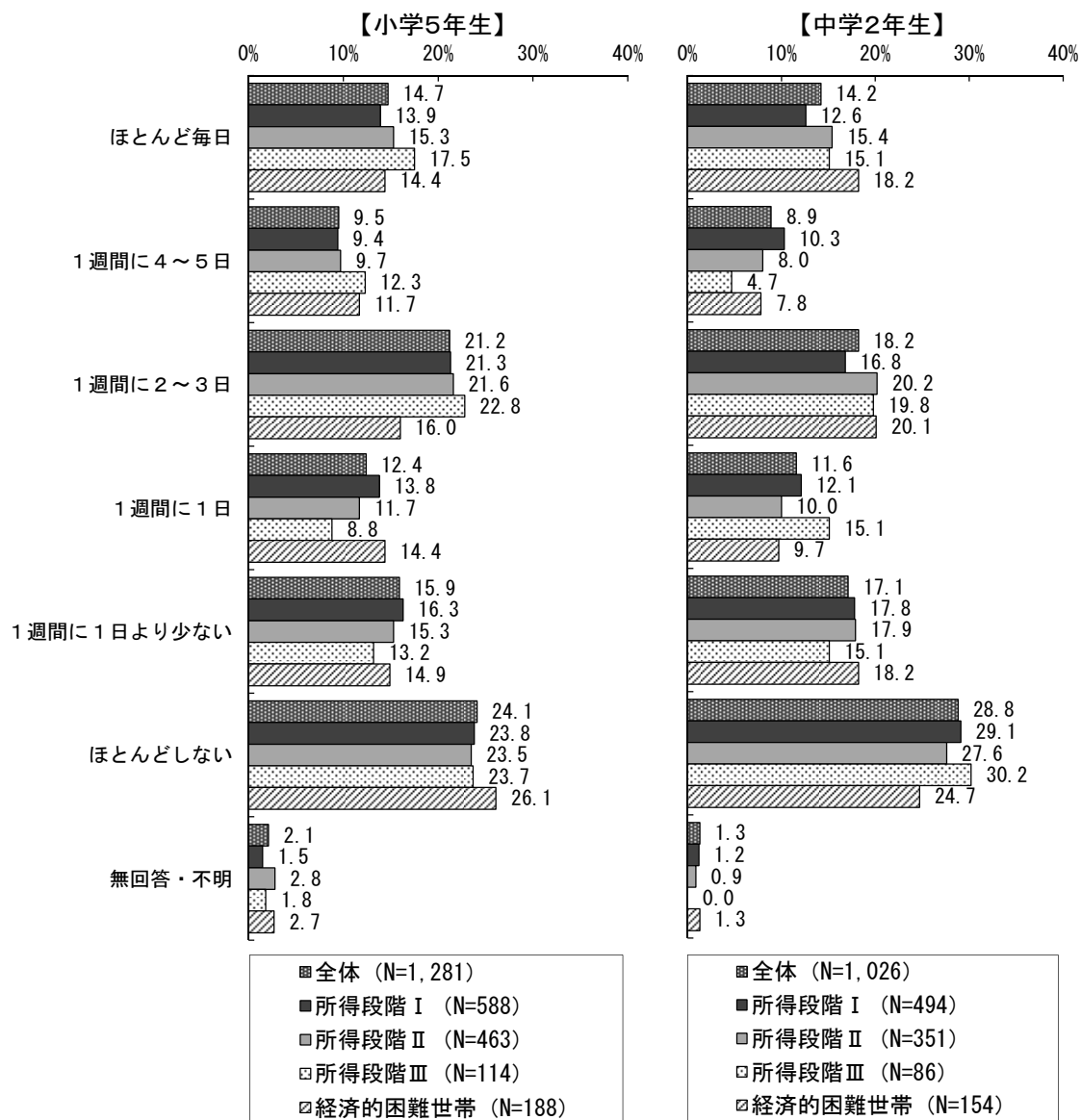
問 15 あなたはふだん、次の活動をどれくらいしますか。

世帯の経済状況による差はあまりみられません。

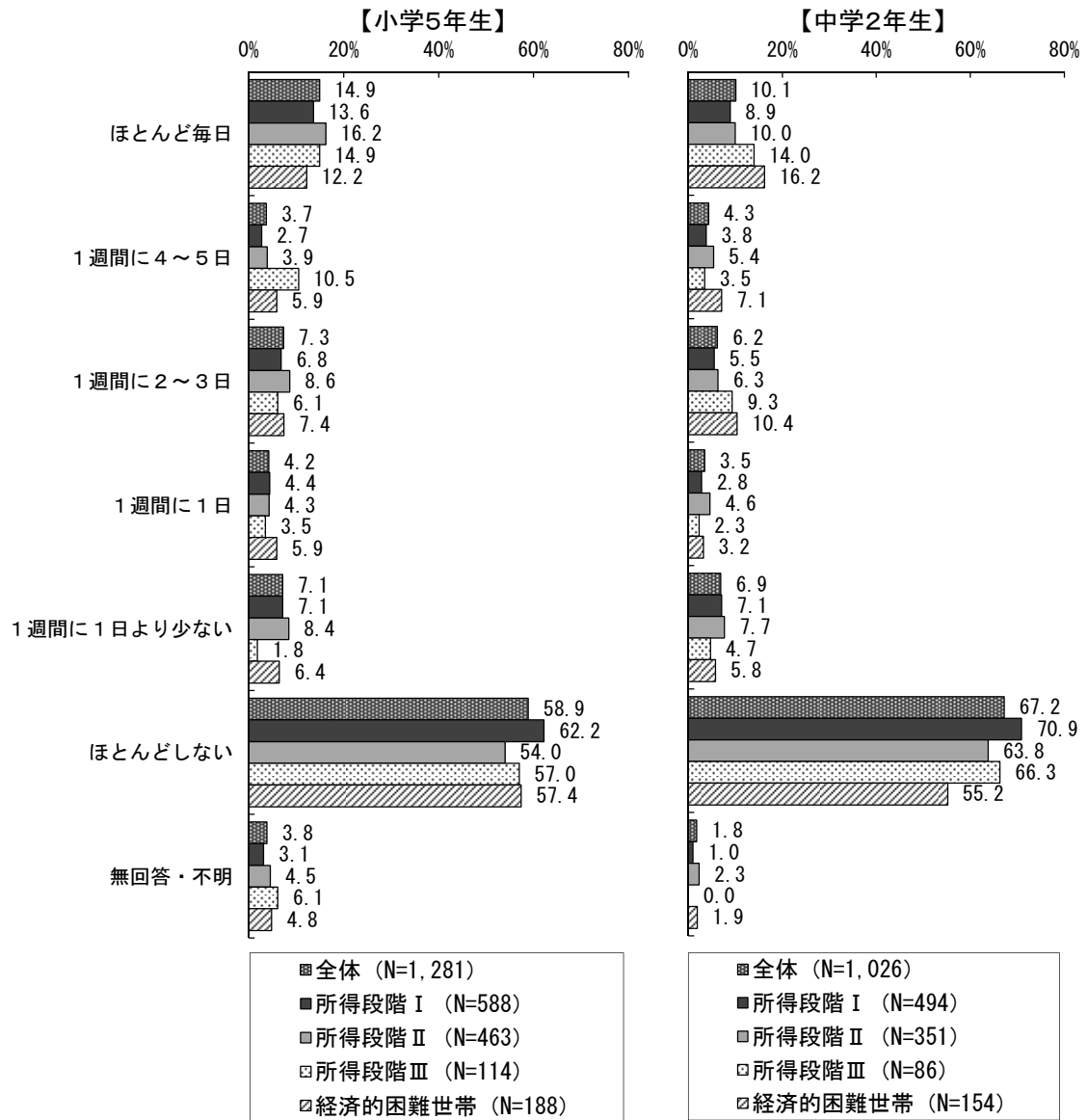
A 30分以上身体を動かす遊びや習いごと



B 家事（洗濯、掃除、料理、片付けなど）

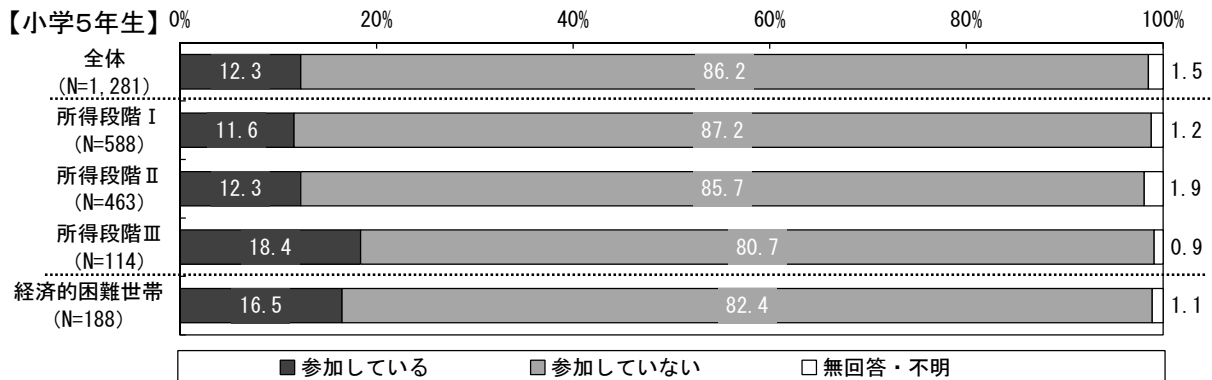


C 兄弟姉妹の世話や家族の介護



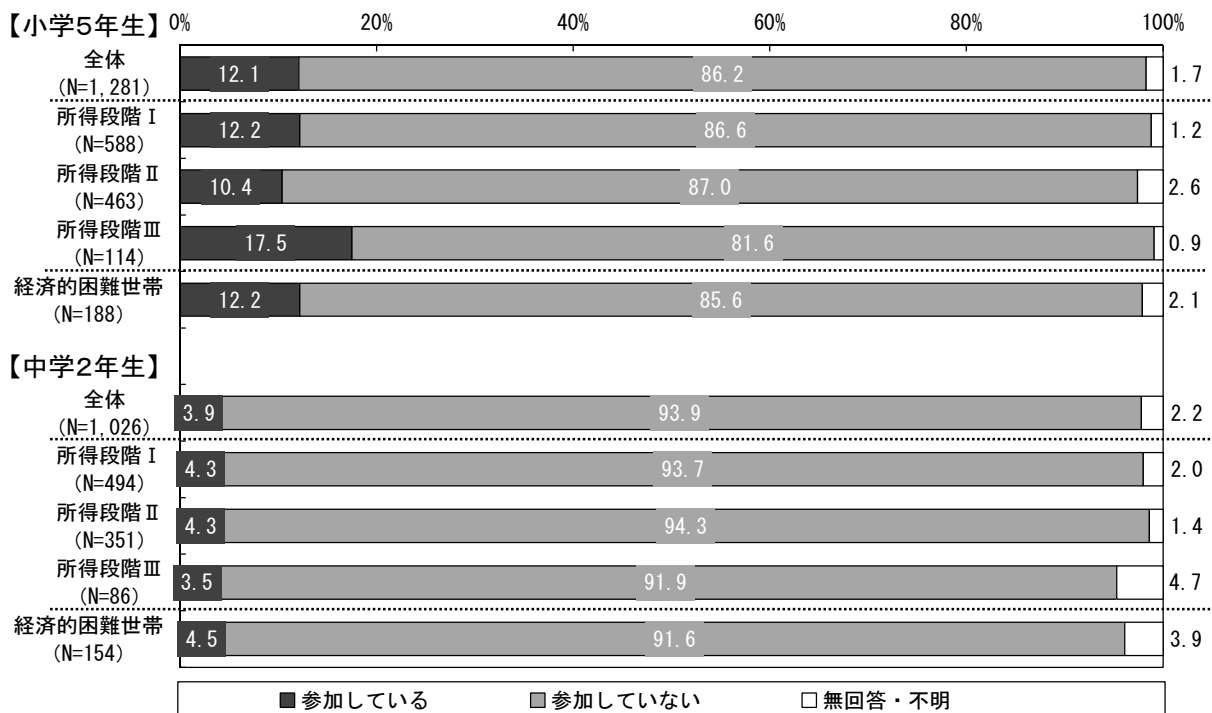
問 16 あなたは、放課後児童クラブに参加していますか。【小学5年生のみ】

所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では「参加している」がやや多くなっています。



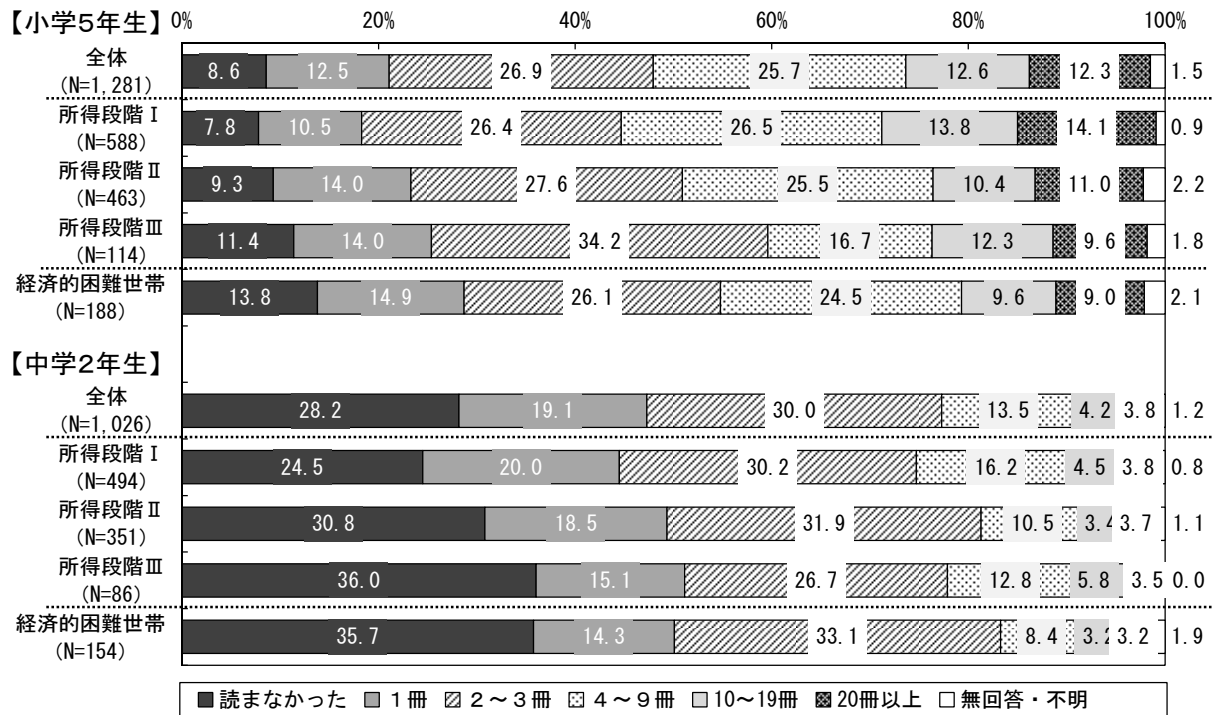
問 17 あなたは、地域の子ども会に参加していますか。

小学5年生の所得段階Ⅲでは「参加している」がやや多くなっています。



問 18 あなたは、この1か月の間に本を何冊くらい読みましたか。

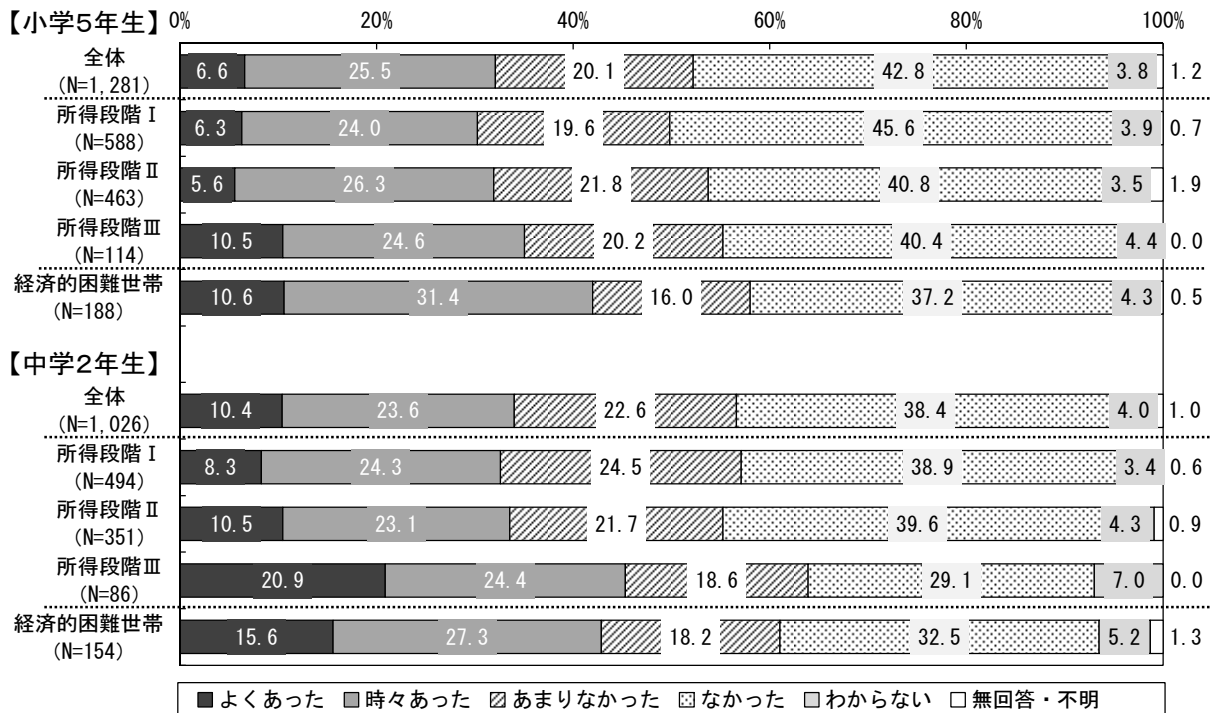
所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では、読んだ本の数がやや少ない傾向です。



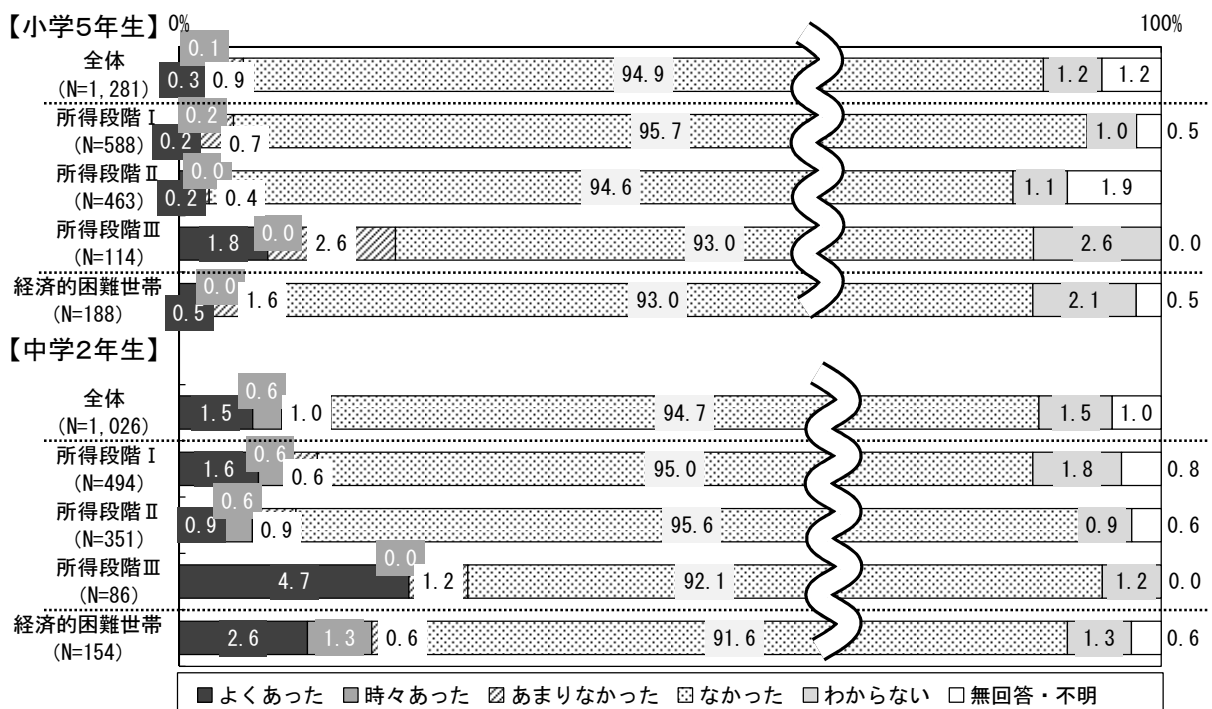
問 19 あなたは、これまでに次のようなことがありましたか。

所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では、「学校に行きたくないと思った」で「よくあった」または「時々あった」が多くなっており、頻度は少ないものの、「1か月以上学校を休んだ」「夜遅くまで子供だけで過ごした」についても同様の傾向がみられます。

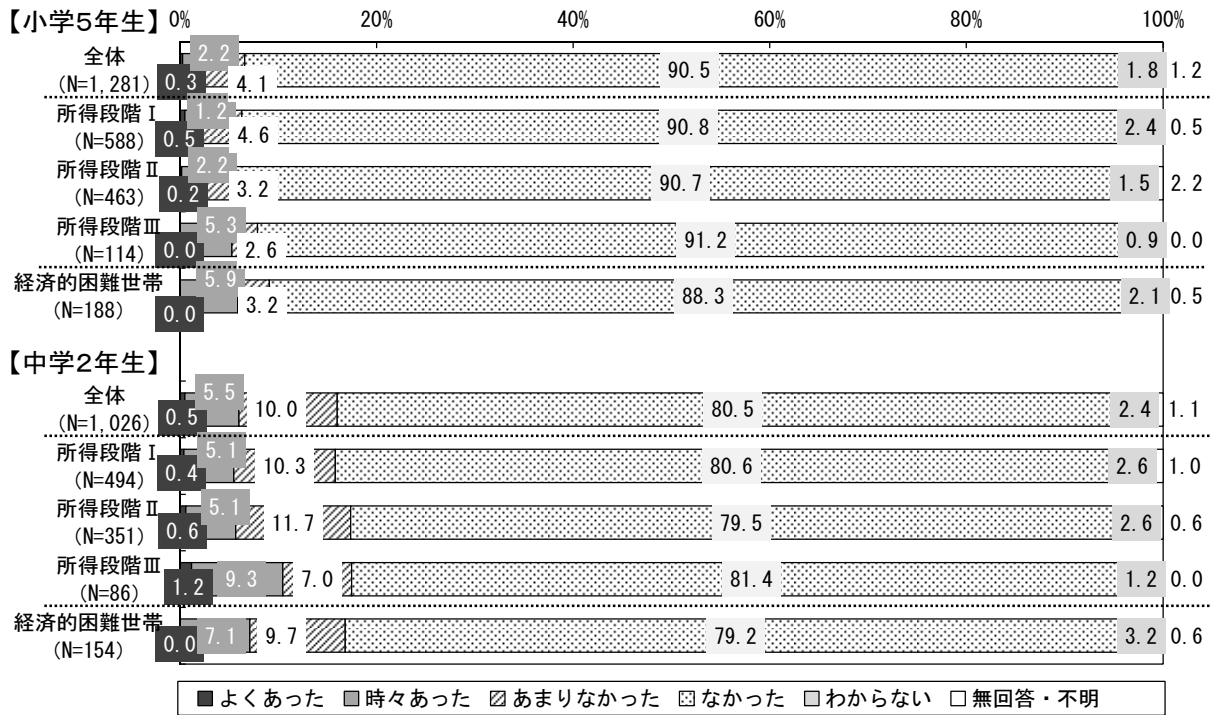
A 学校に行きたくないと思った



B 1か月以上学校を休んだ（病気やけがのときをのぞく）



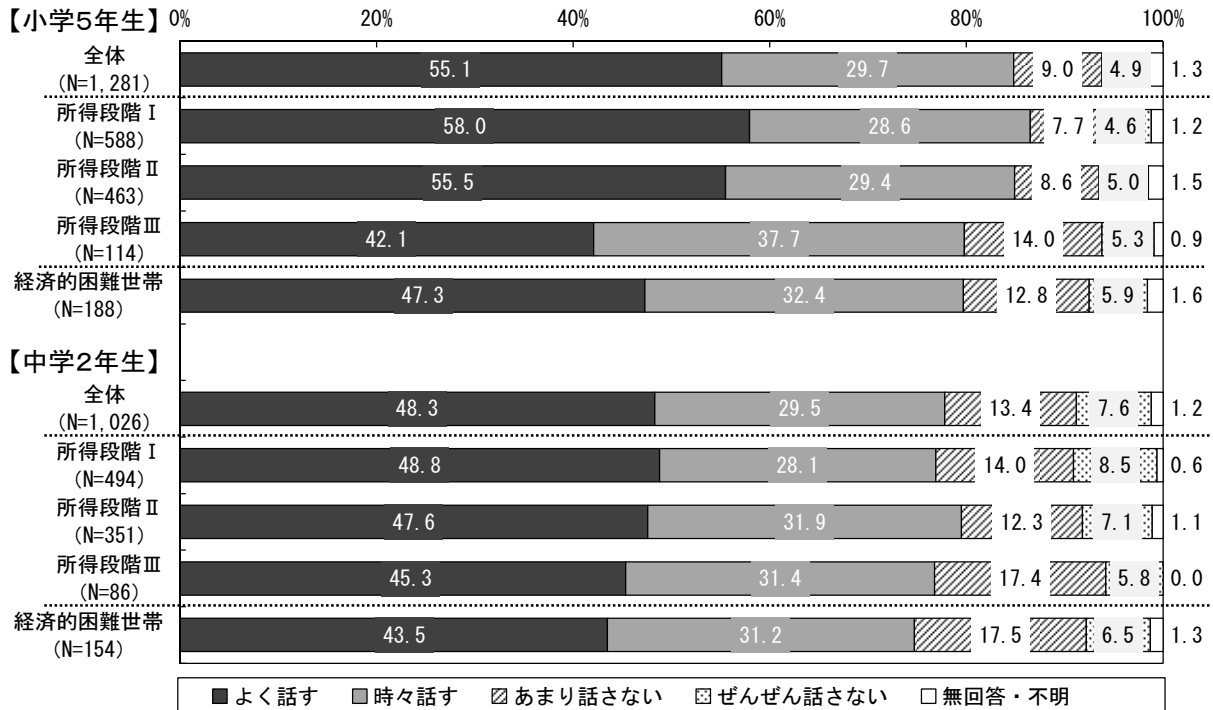
C 夜遅くまで子供だけで過ごした



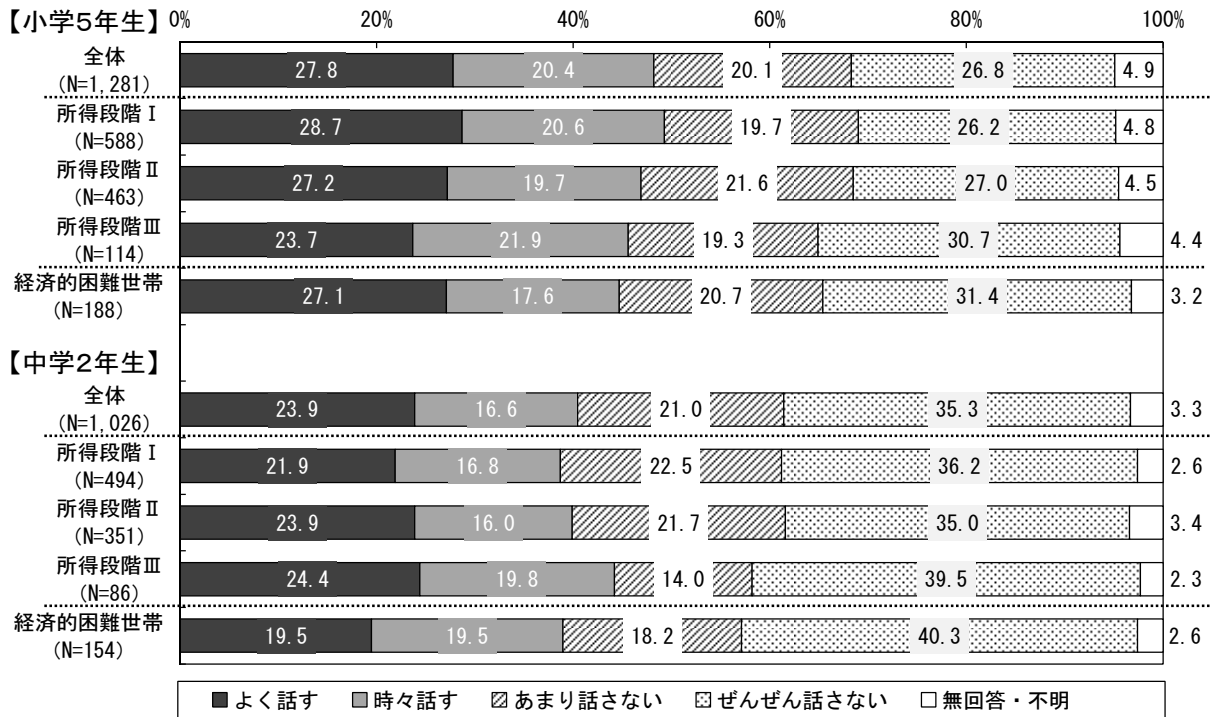
問 20 あなたはふだん、困っていることや悩みごと、楽しいことや悲しいことを、他の人にどれくらい話しますか。「1 よく話す」から「4 ぜんぜん話さない」のうち、もっとも近いものに○をつけてください。電話、メール、LINEなどもふくめて考えてください。

小学5年生の所得段階Ⅲでは、「家族」(母親・父親)と話す頻度が低くなっています。

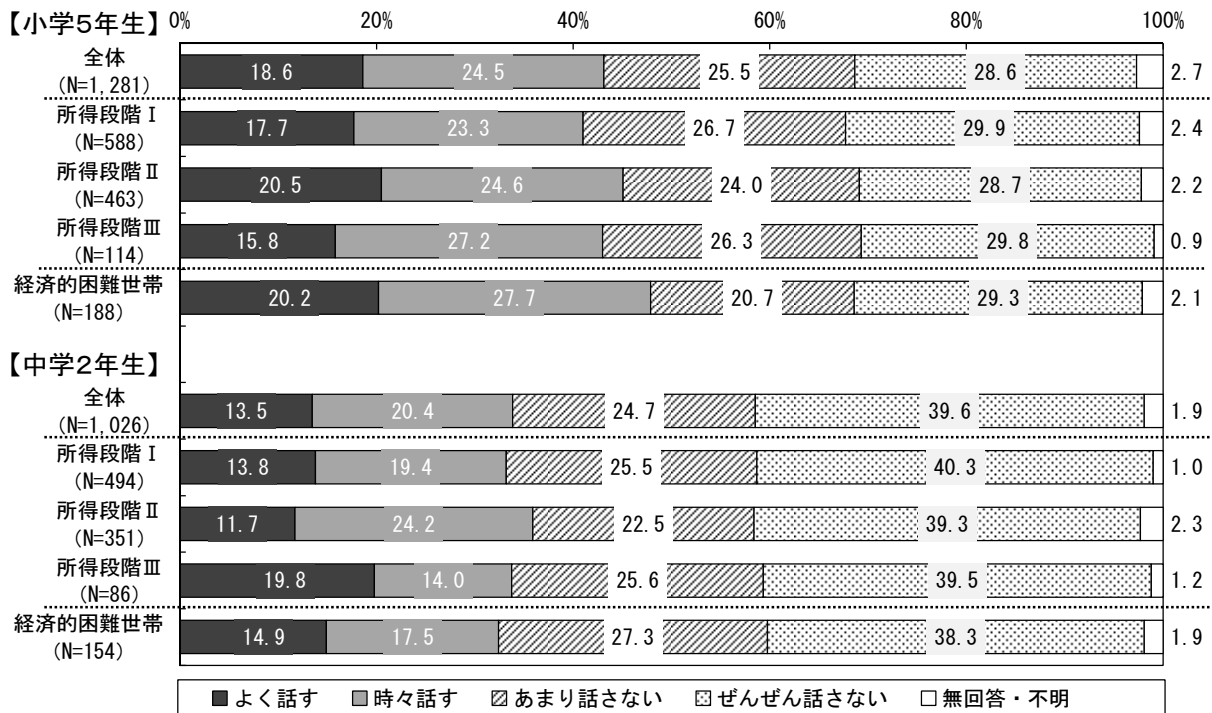
A 家族(母親・父親)



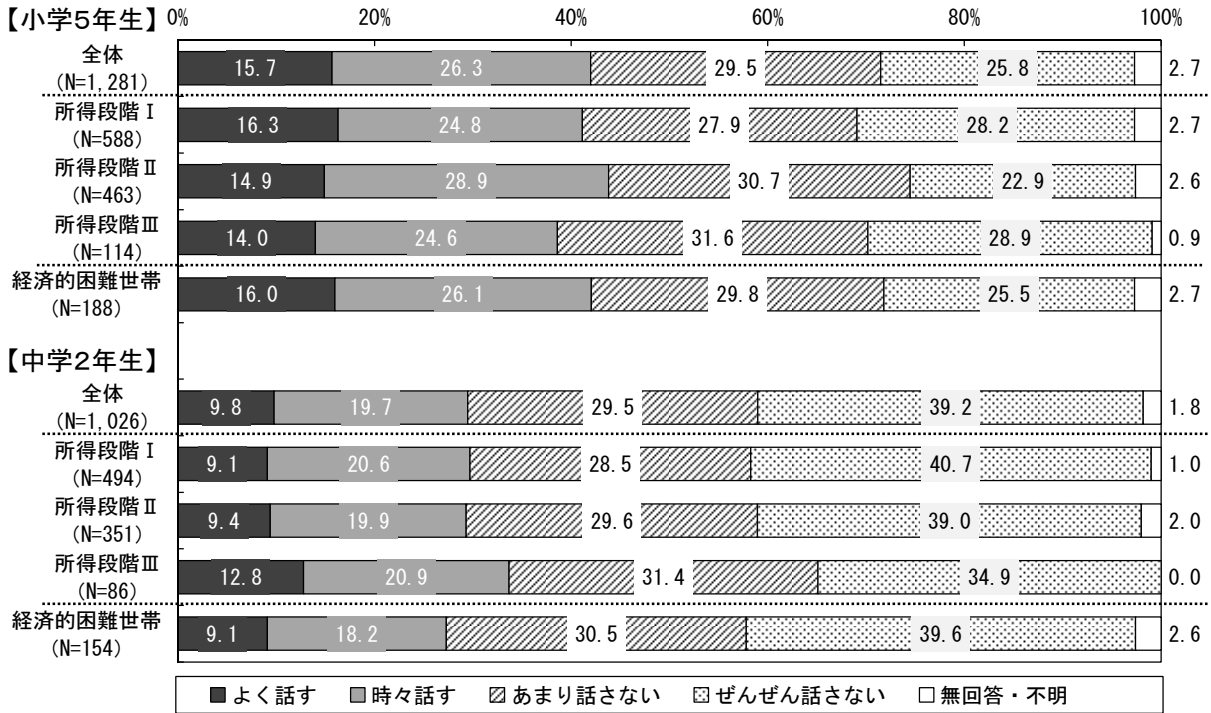
B 家族（きょうだい）



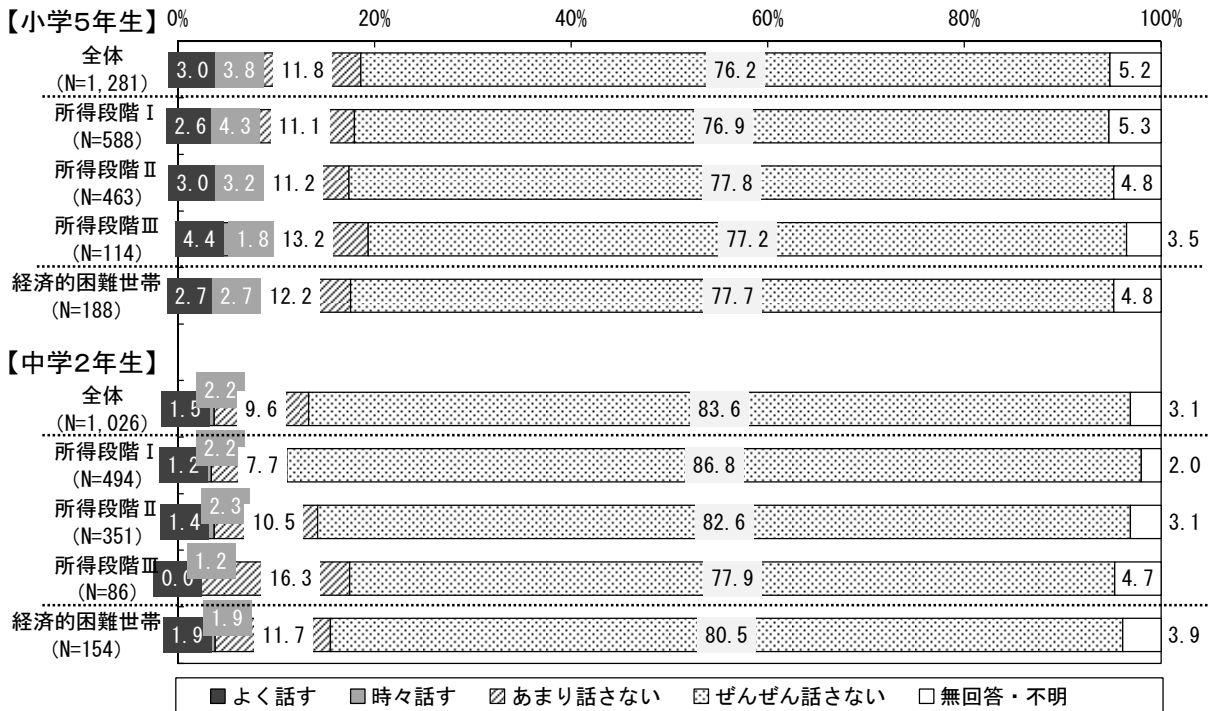
C その他の家族（祖父・祖母など）



D 学校の先生

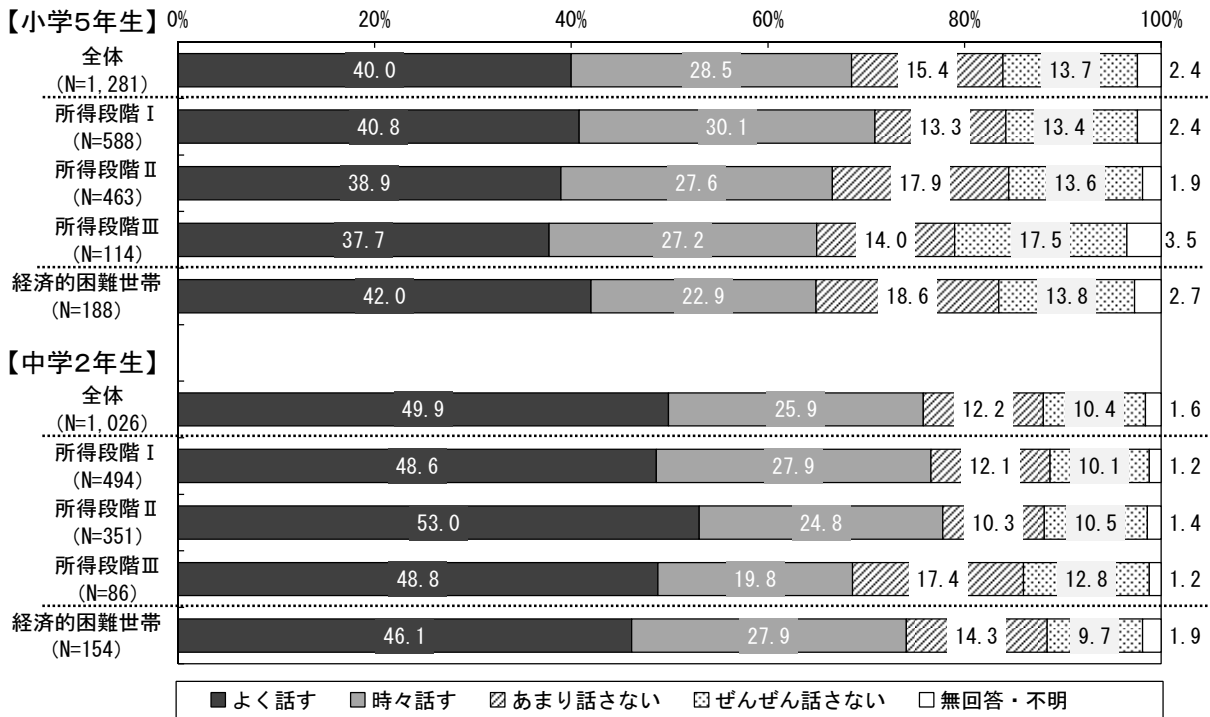


E 放課後児童クラブ※、子ども会、その他施設の先生

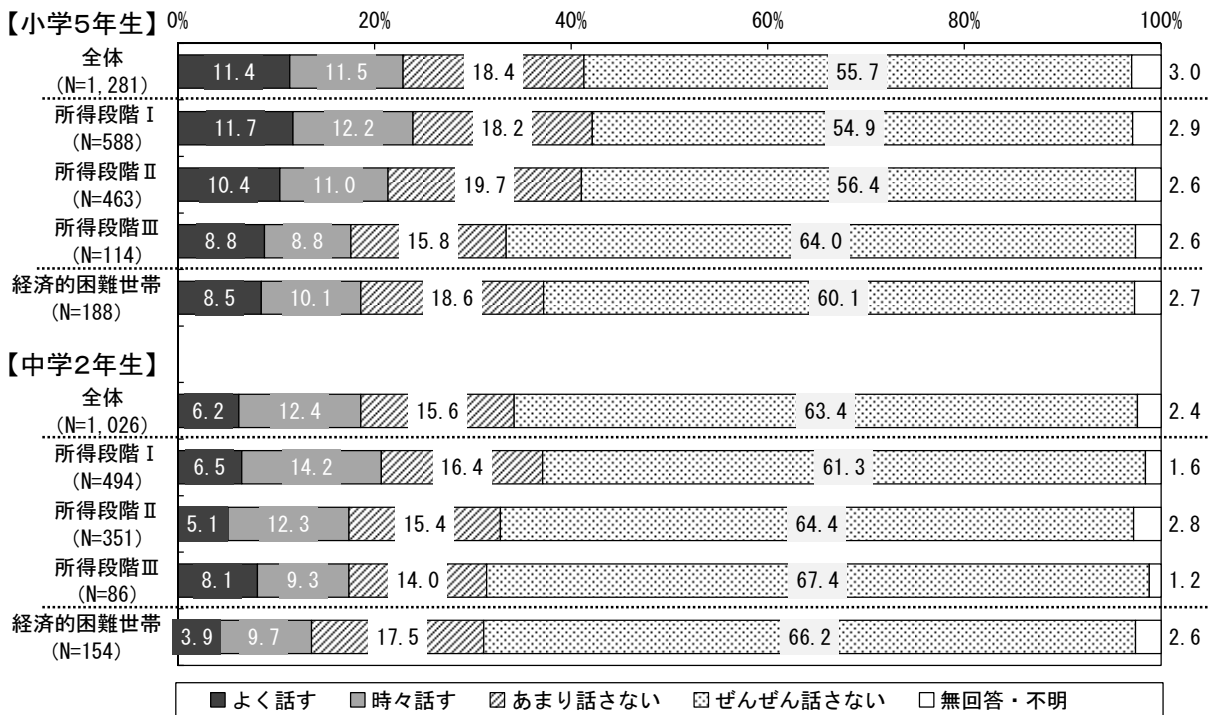


※放課後児童クラブは小学5年生のみ

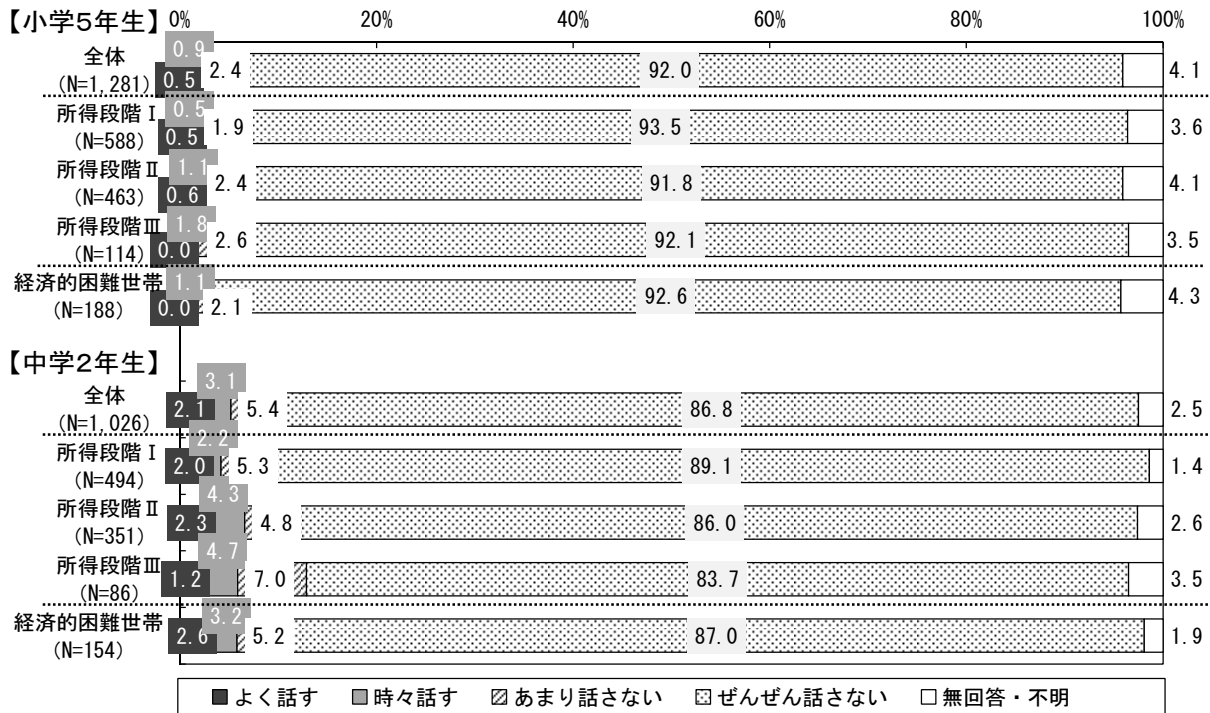
F 友だち



G その他の大人（近所の大人や塾・習いごとの先生など）



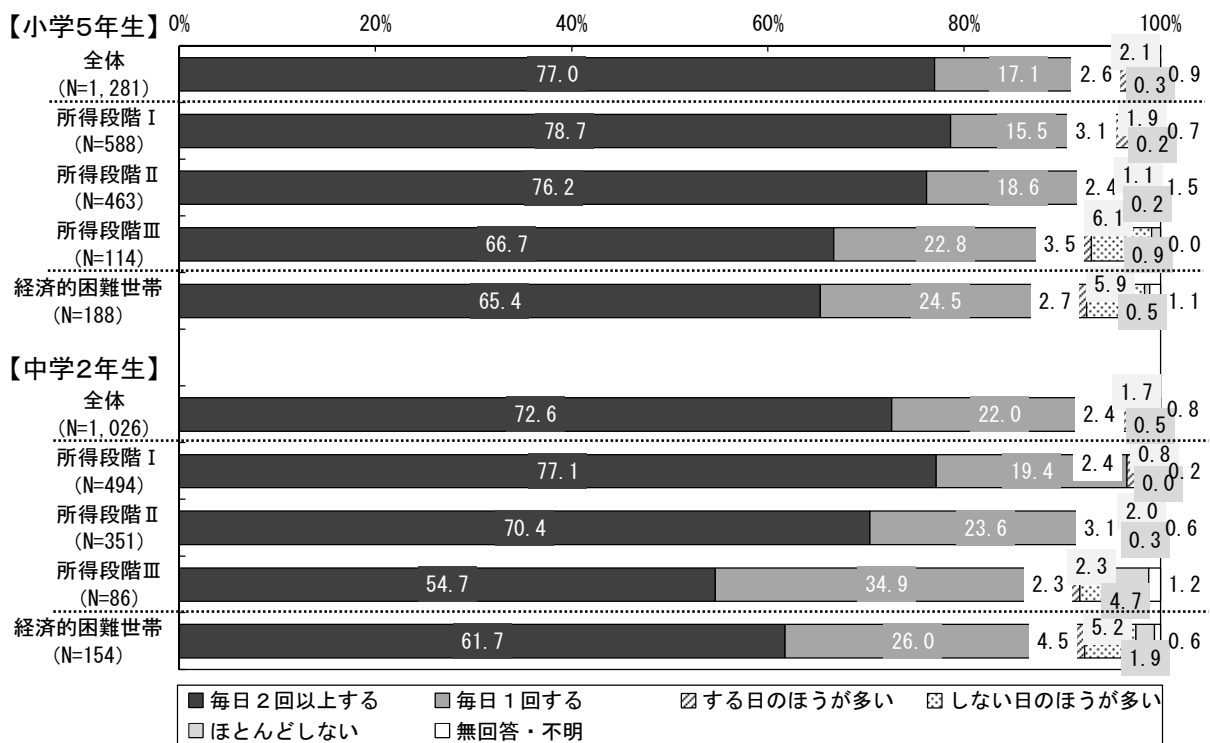
H インターネットでの知り合い



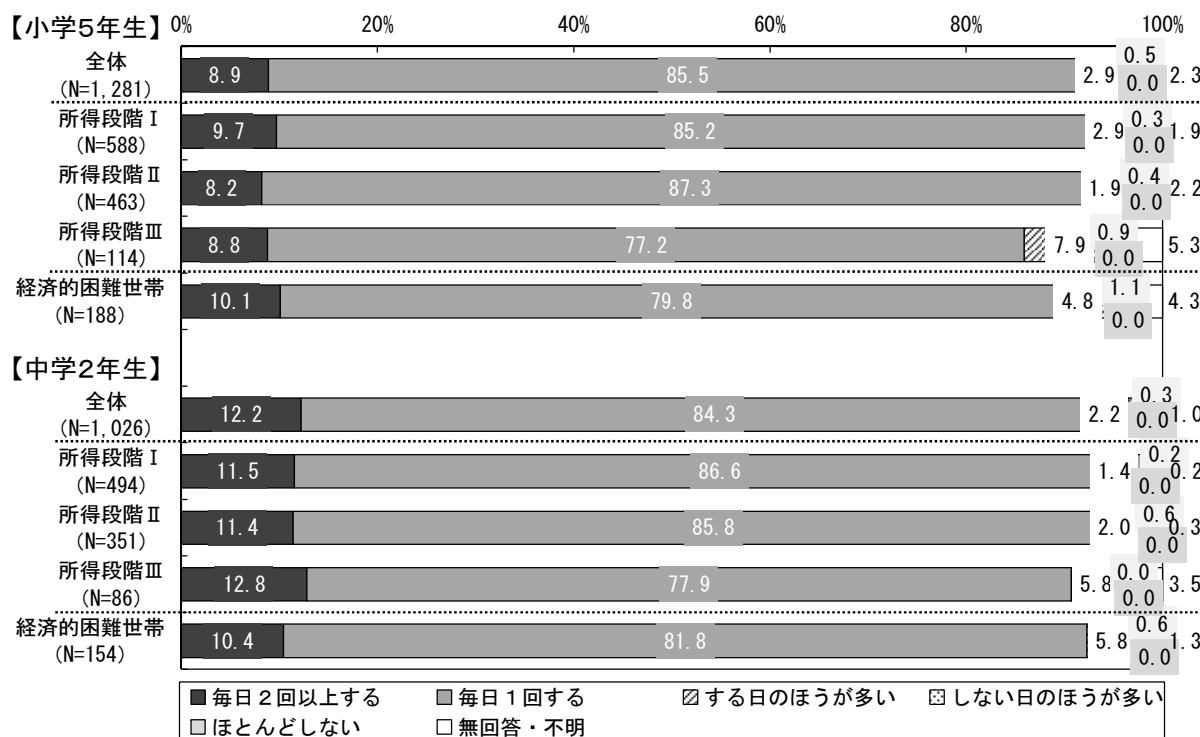
問 21 あなたは、歯磨きや入浴（風呂、シャワー）をしますか。

所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では、歯磨きを「毎日2回以上する」が少なくなっています。入浴についても、毎日するという回答がやや少なくなっています。

A 歯磨き

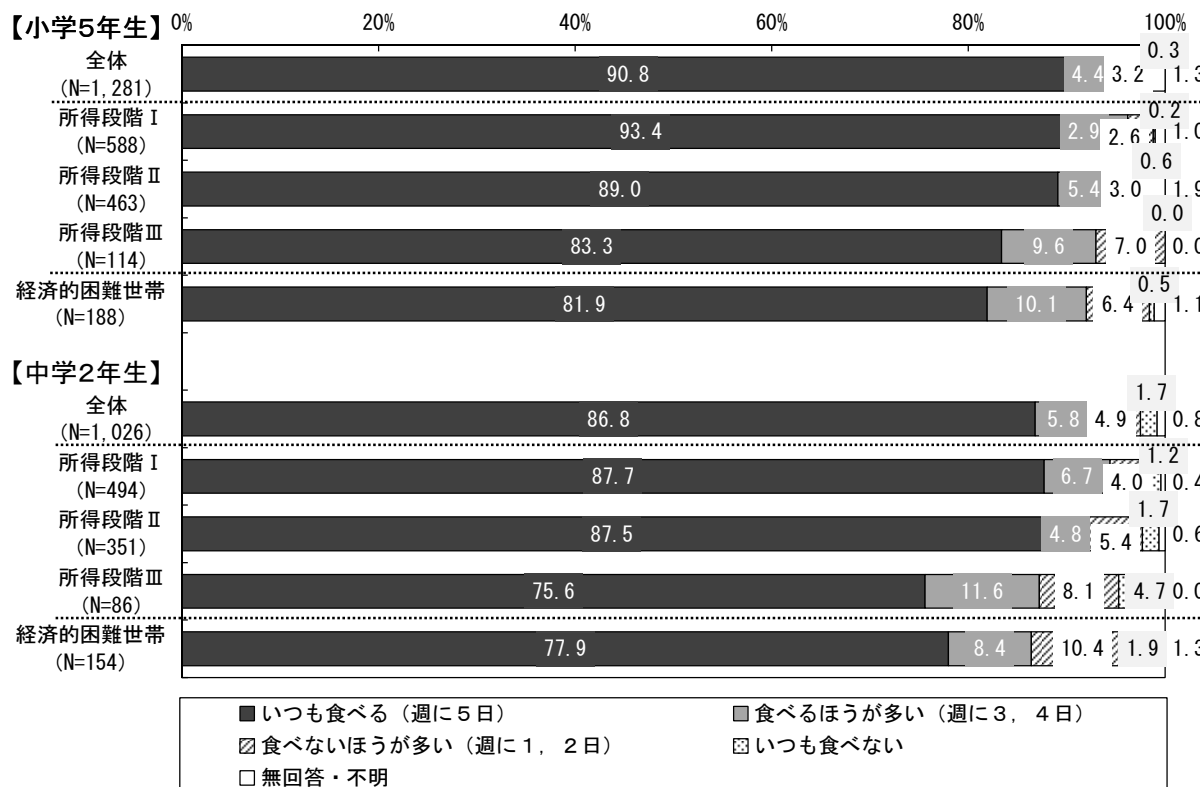


B 入浴



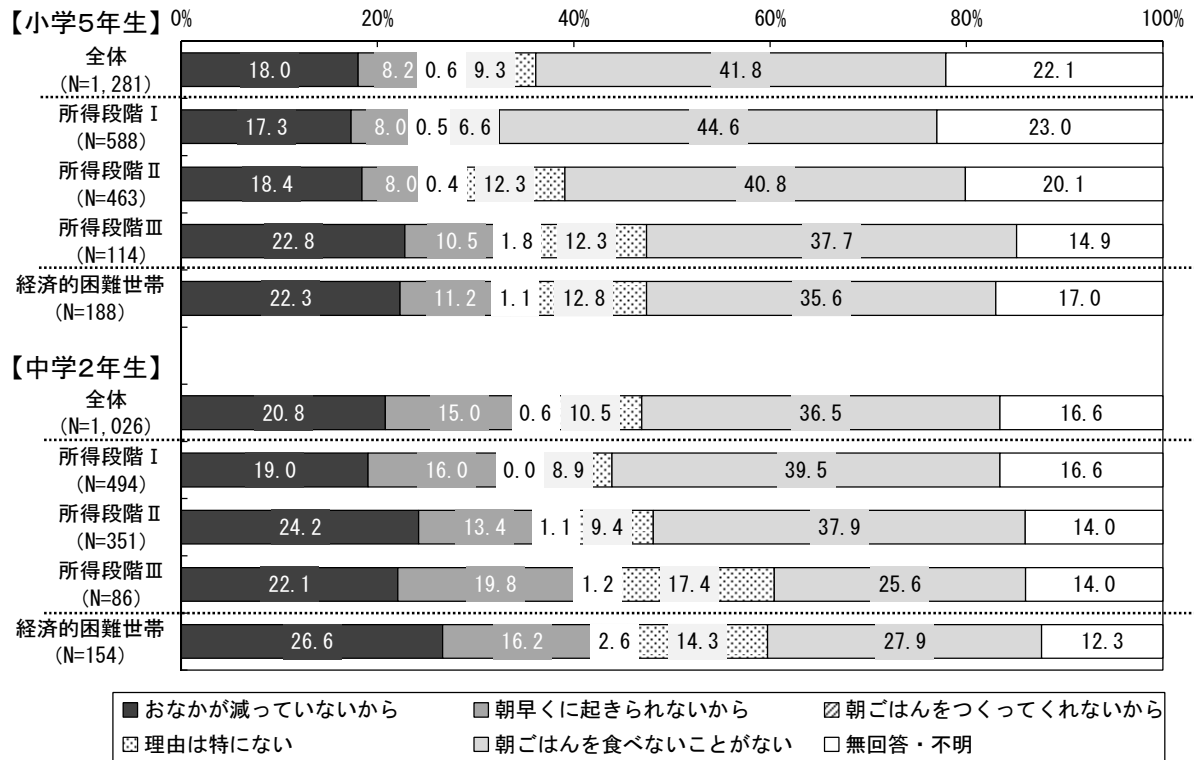
問 22 あなたはふだん、朝ごはんを食べますか。

所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では「いつも食べる」がやや少なくなっています。



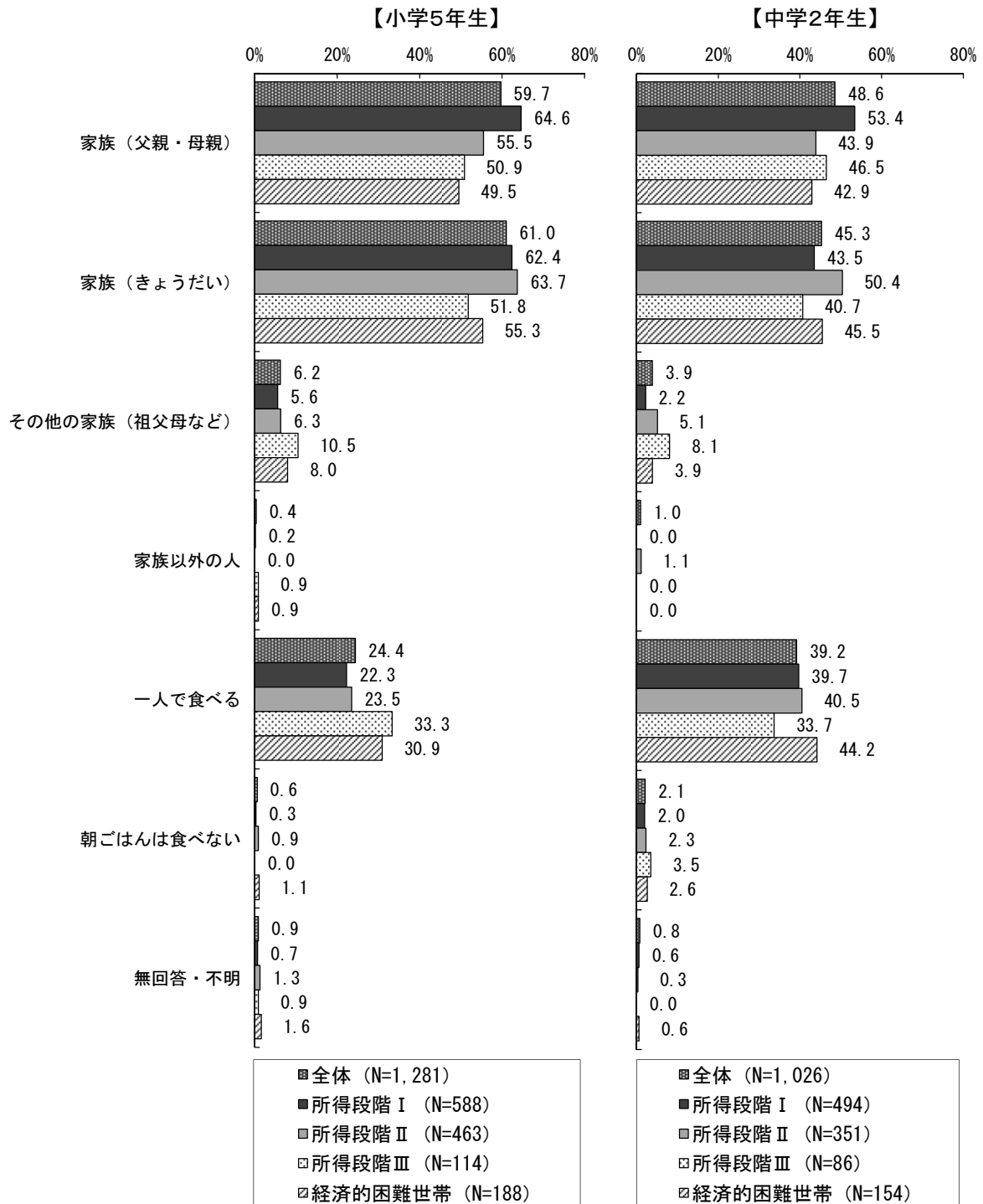
問 22-1 あなたがふだん、朝ごはんを食べないことがあるとしたら、食べない理由は
何ですか。いちばん多くあてはまる理由を1つ答えてください。

中学2年生の所得段階Ⅲでは、「朝早くに起きられないから」「理由は特にない」がやや多くなっています。



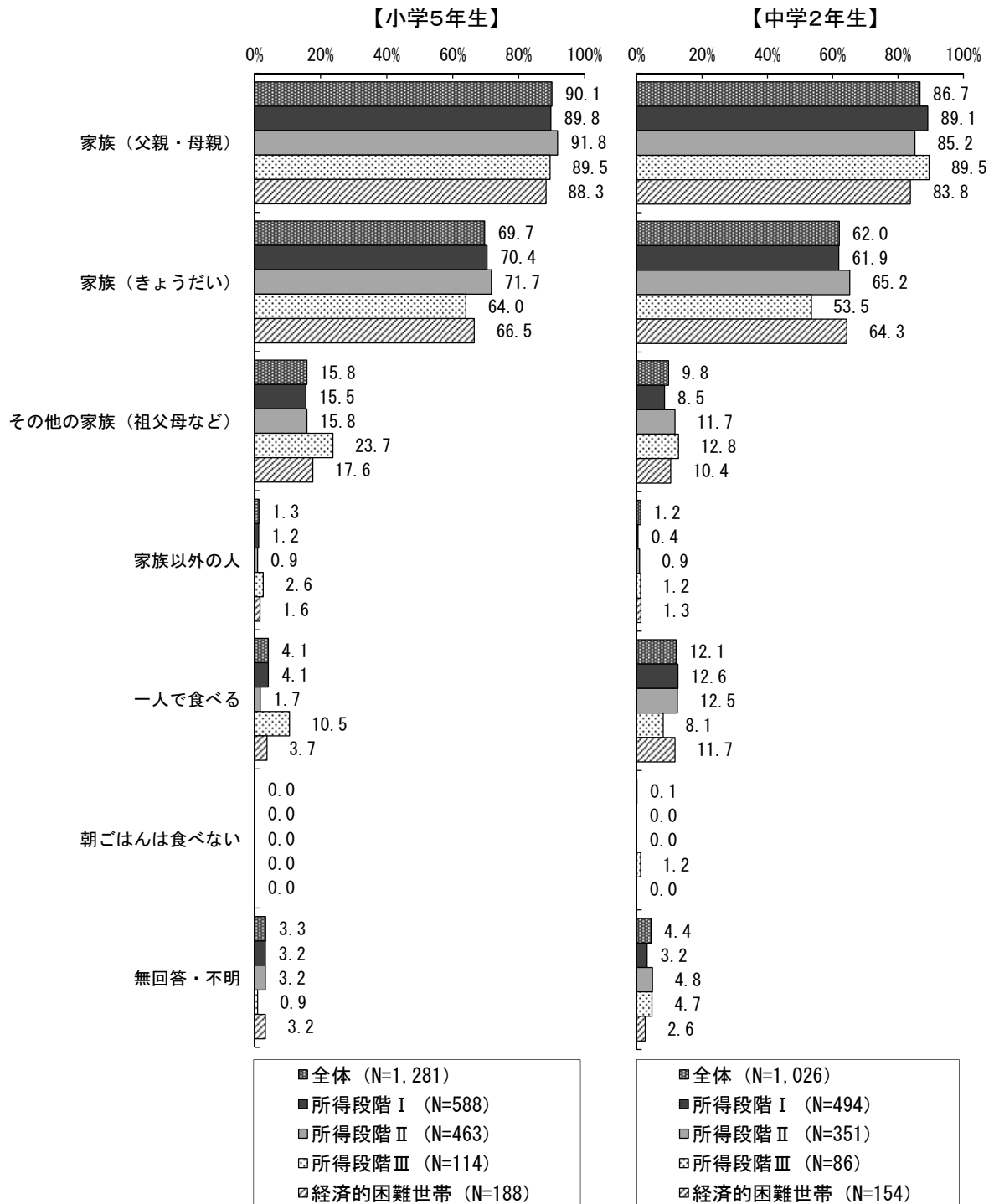
問 23 あなたはふだん、朝ごはんをだれと食べますか。【複数回答】

所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では、両親やきょうだいが少なく、「その他の家族」がやや多くなっています。「一人で食べる」は小学5年生でやや多くなっています。



問 24 あなたはふだん、夕ごはんをだれと食べますか。【複数回答】

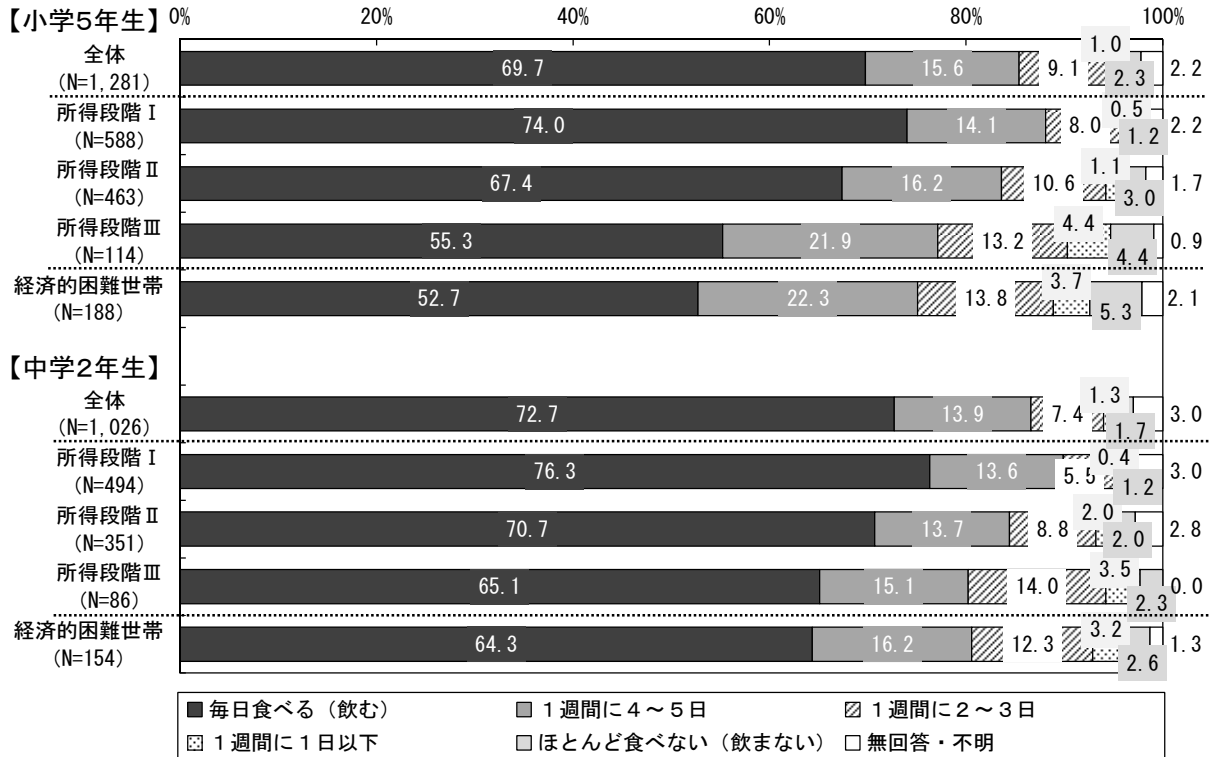
所得段階Ⅲでは、きょうだいやや少なく、「その他の家族」がやや多くなっています。「一人で食べる」は小学5年生でやや多くなっています。



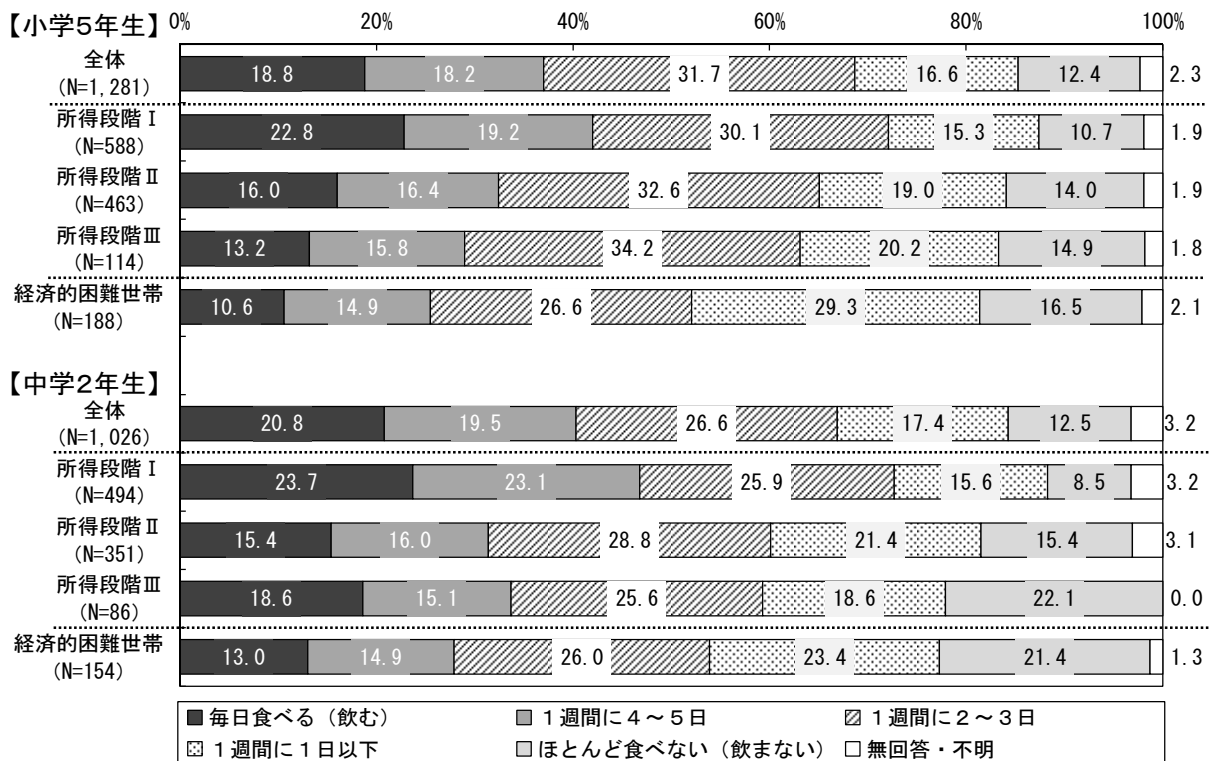
問 25 あなたは、給食をのぞいて次の食物や飲物をふだんどれくらい食べますか。

所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では、「野菜」「くだもの」「肉や魚」を食べる頻度が低く、「カップめん・インスタント食品」「コンビニなどのおにぎり・お弁当」「ジュースなどの清涼飲料水」を食べる（飲む）頻度がやや高くなっています。

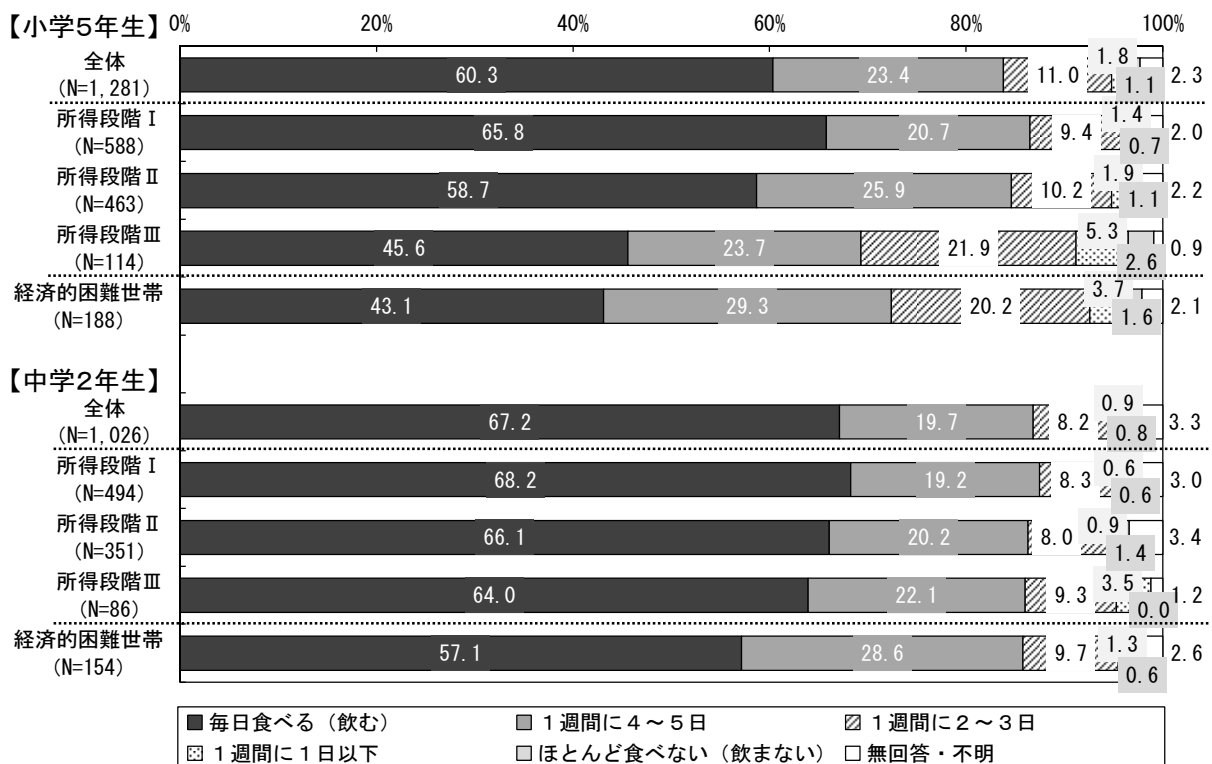
A 野菜



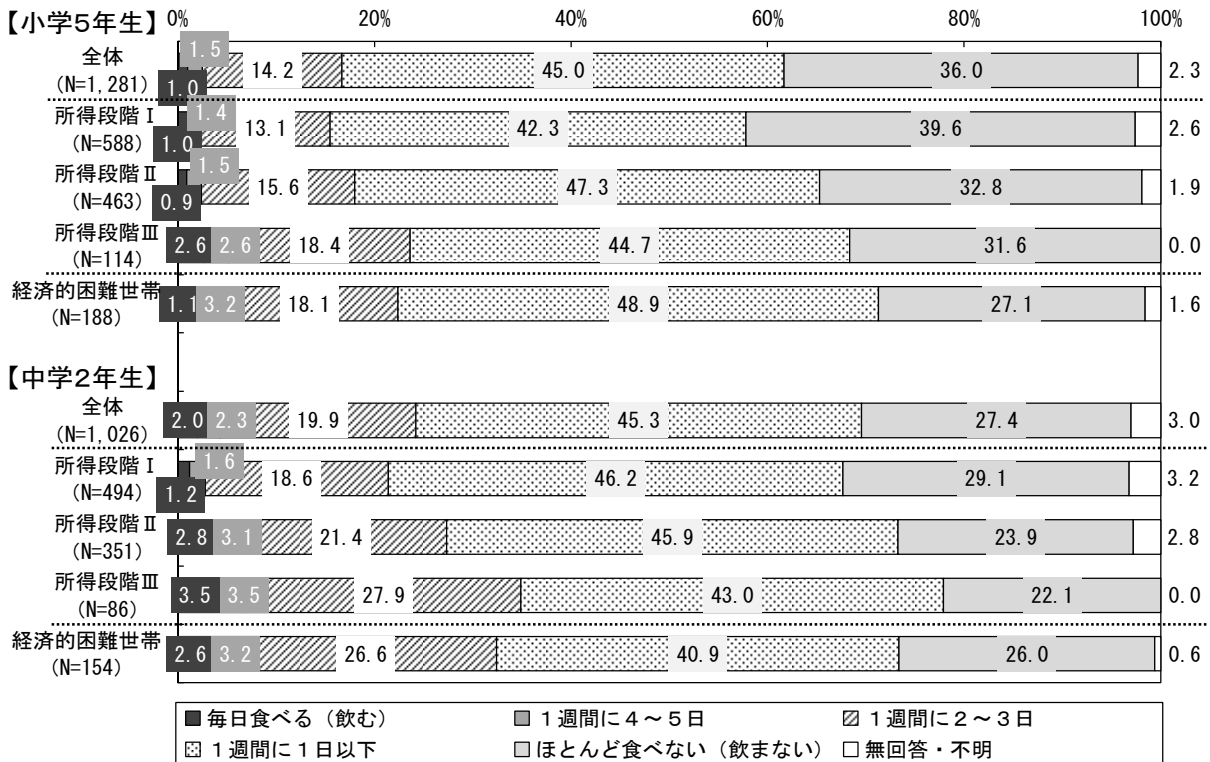
B くだもの



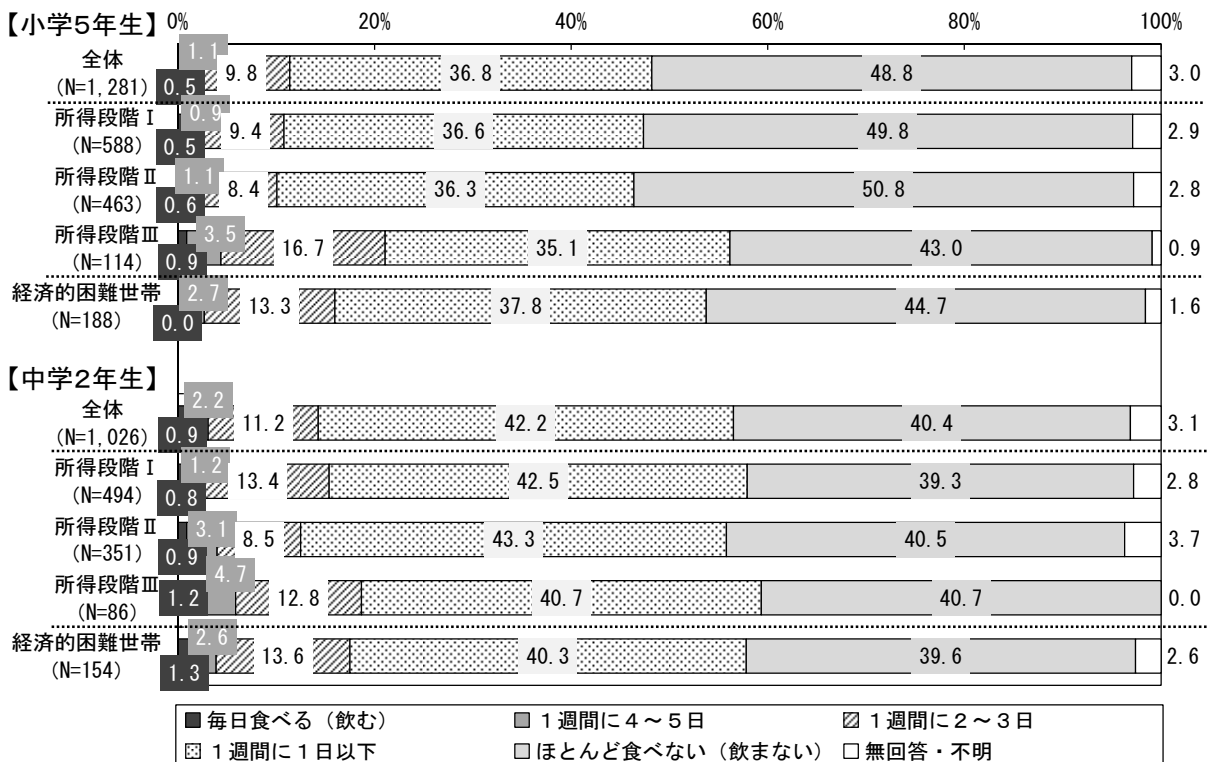
C 肉や魚



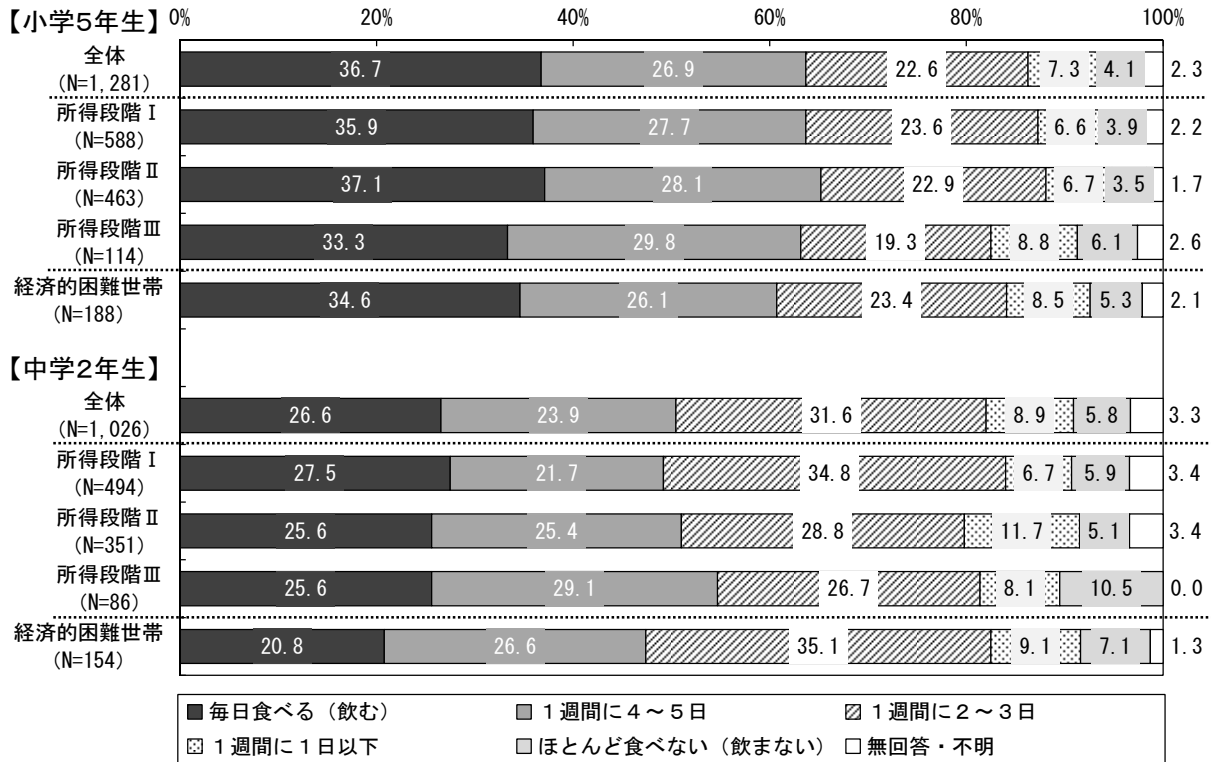
D カップめん・インスタント食品



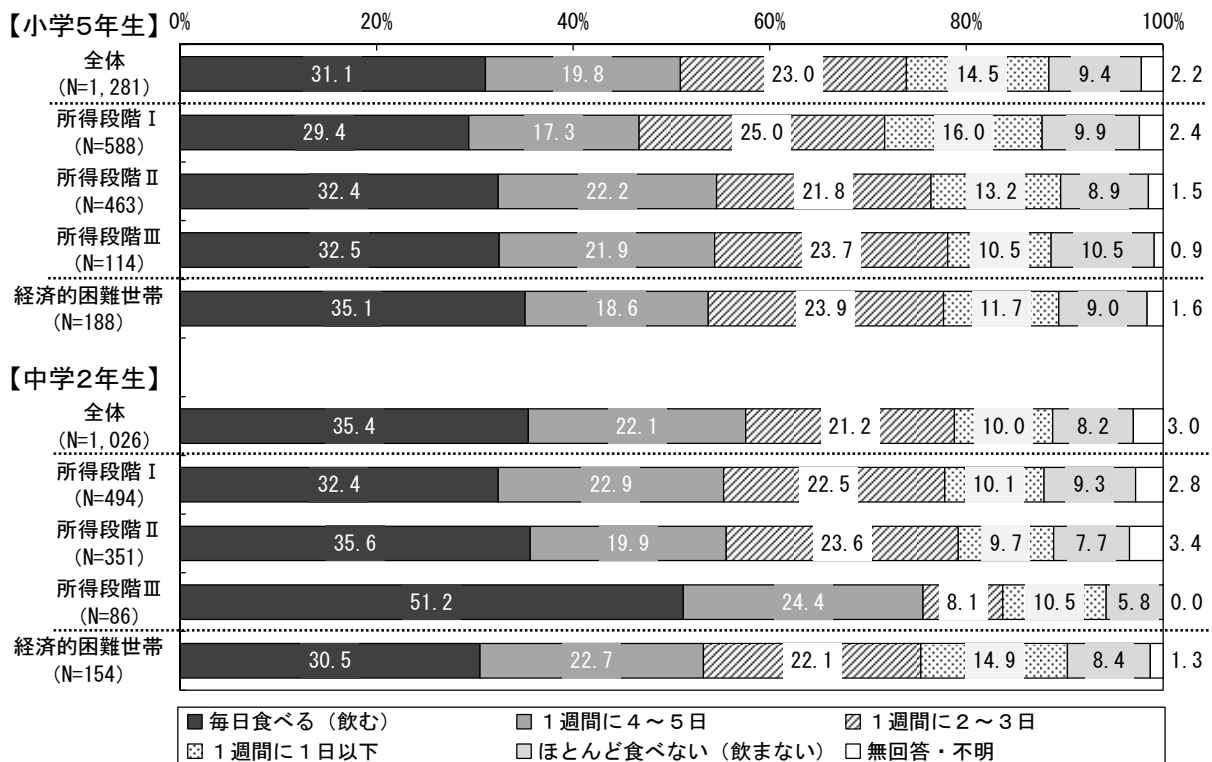
E コンビニなどのおにぎり・お弁当



F お菓子

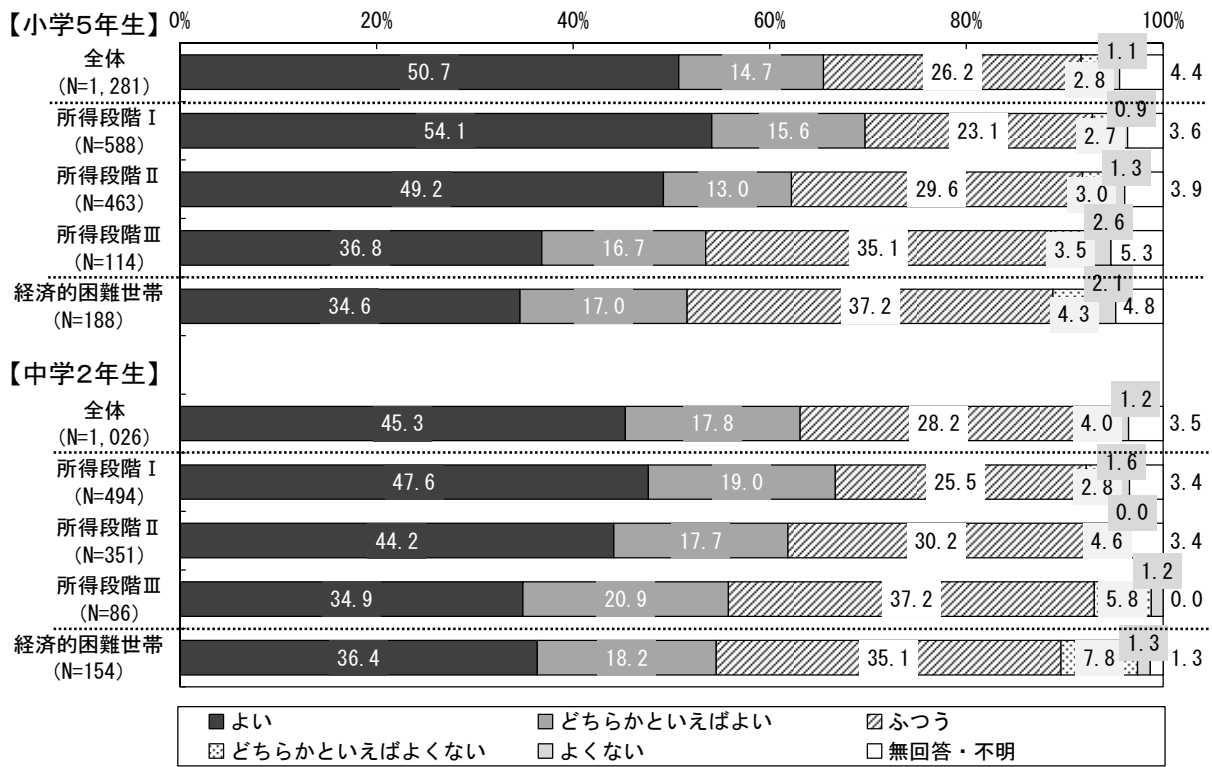


G ジュースなどの清涼飲料水



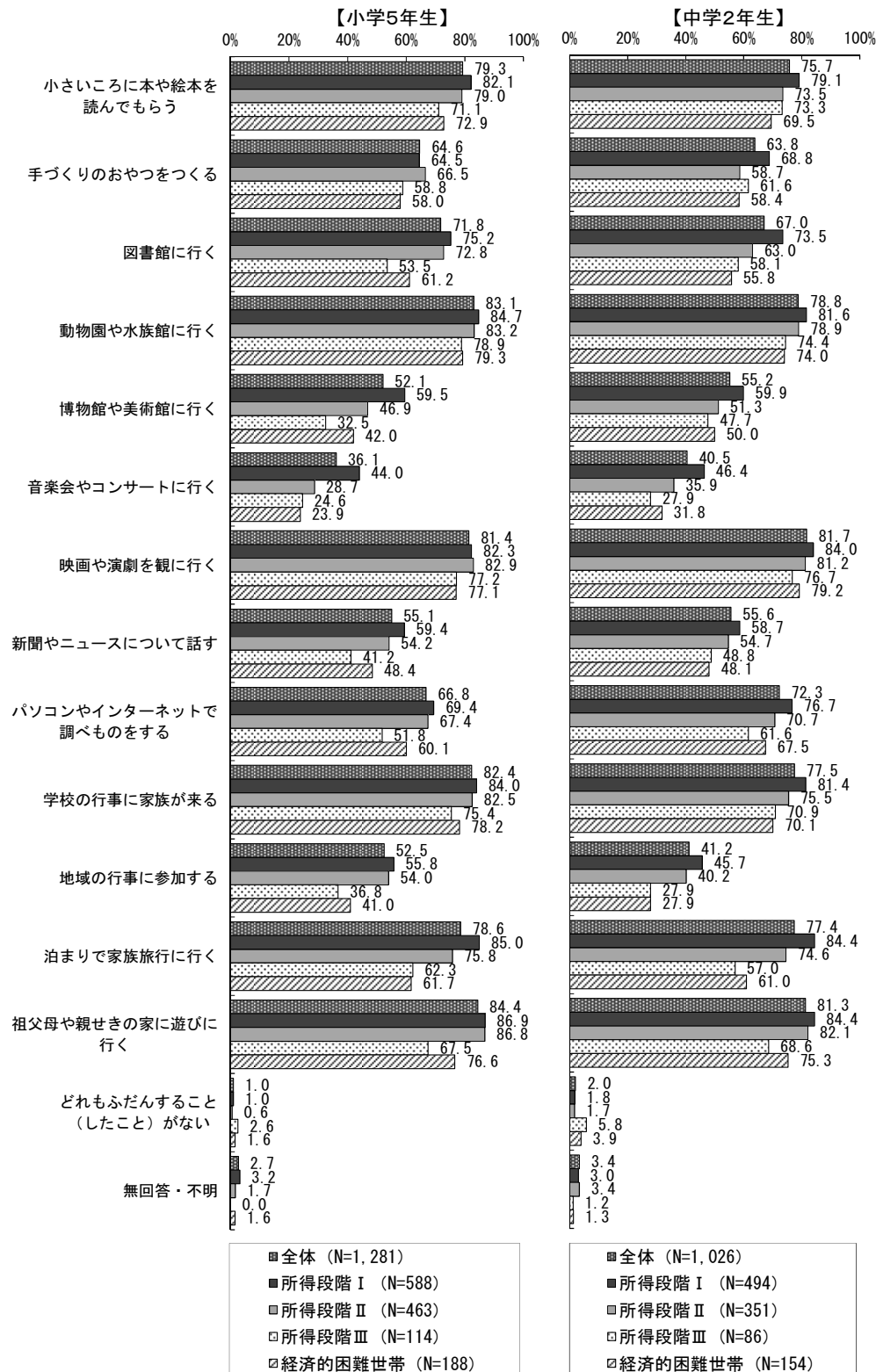
問 26 あなたは、自分の健康状態についてどう感じていますか。

所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では「よい」という回答が少なくなっています。



問 27 あなたの家では、下に書いてあるようなことをすること（したこと）がありますか。【複数回答】

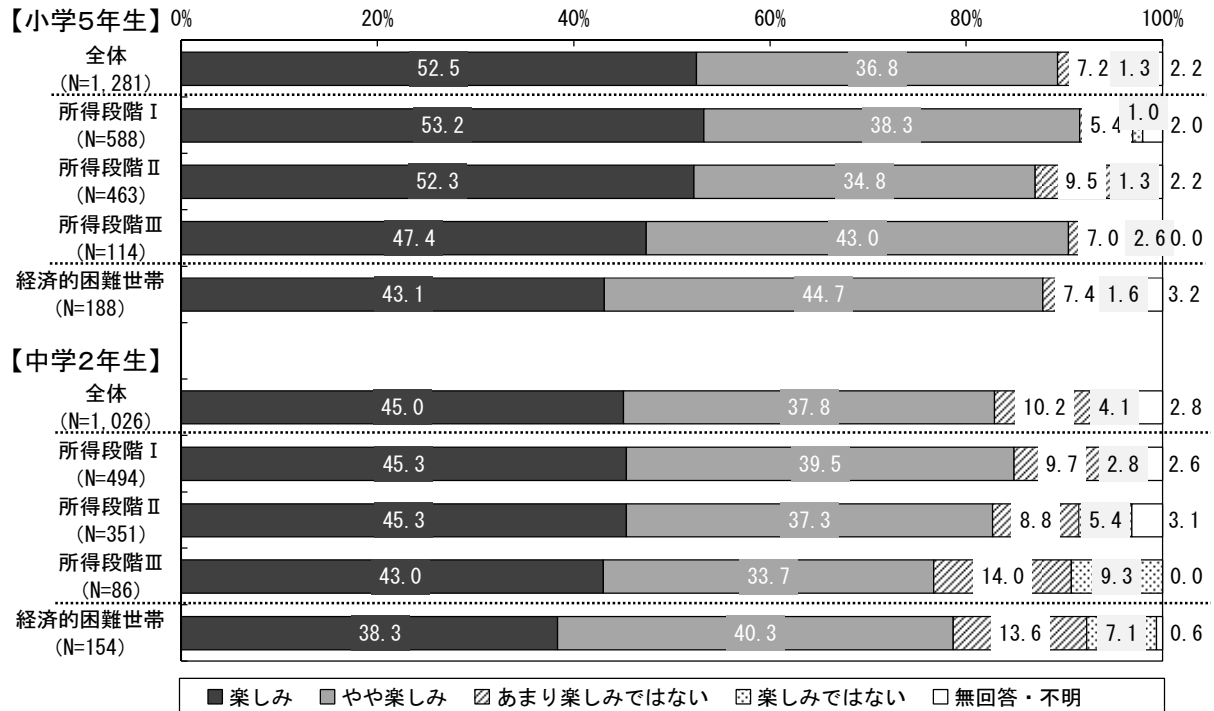
所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では、全体的に回答が少なく、家庭における文化的な活動や体験活動の経験が少ない傾向となっています。中でも、「音楽会やコンサートに行く」「地域の行事に参加する」「泊まりで家族旅行に行く」で差が大きく、小学5年生の「図書館に行く」「博物館や美術館に行く」も差が大きくなっています。



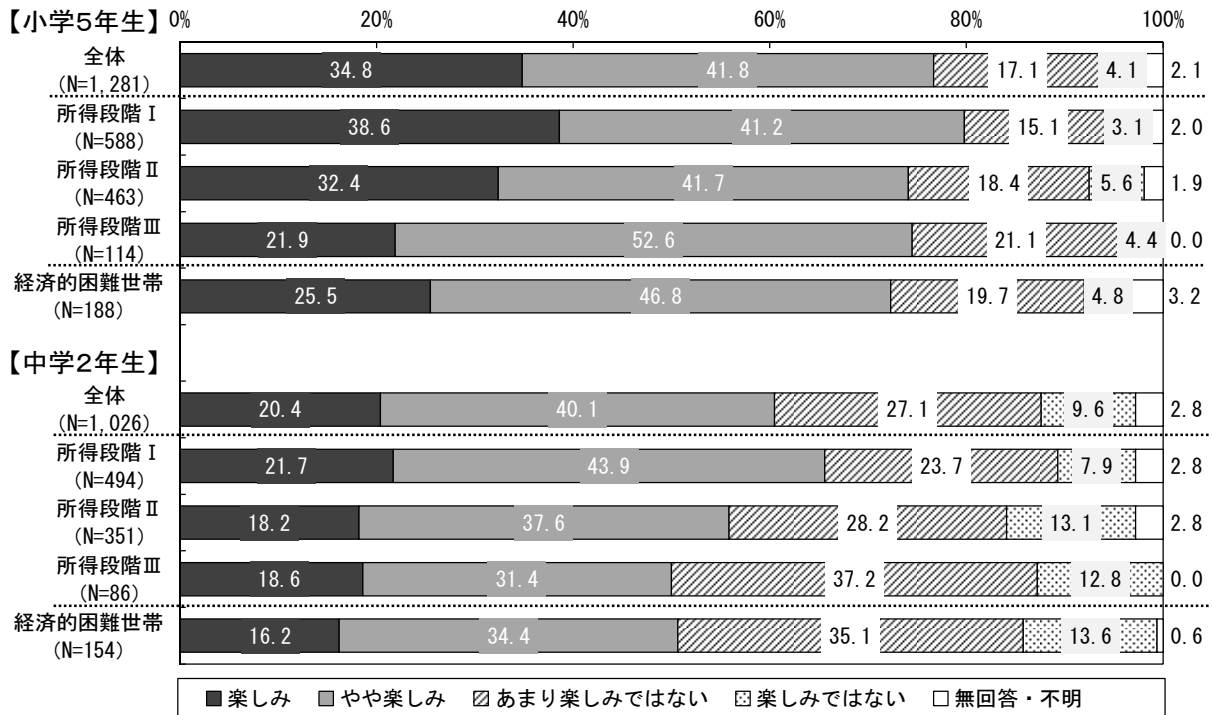
問 28 あなたの学校生活についておたずねします。次の項目について、「1 楽しみ」から「4 楽しみではない」の中からもっとも近いものに○をつけてください。

所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では、全体的に「楽しみ」という回答が少ない傾向があり、特に中学2年生の「毎日学校に通うこと」「先生に会うこと」については、「楽しみではない」または「あまり楽しみではない」という回答が多くなっています。

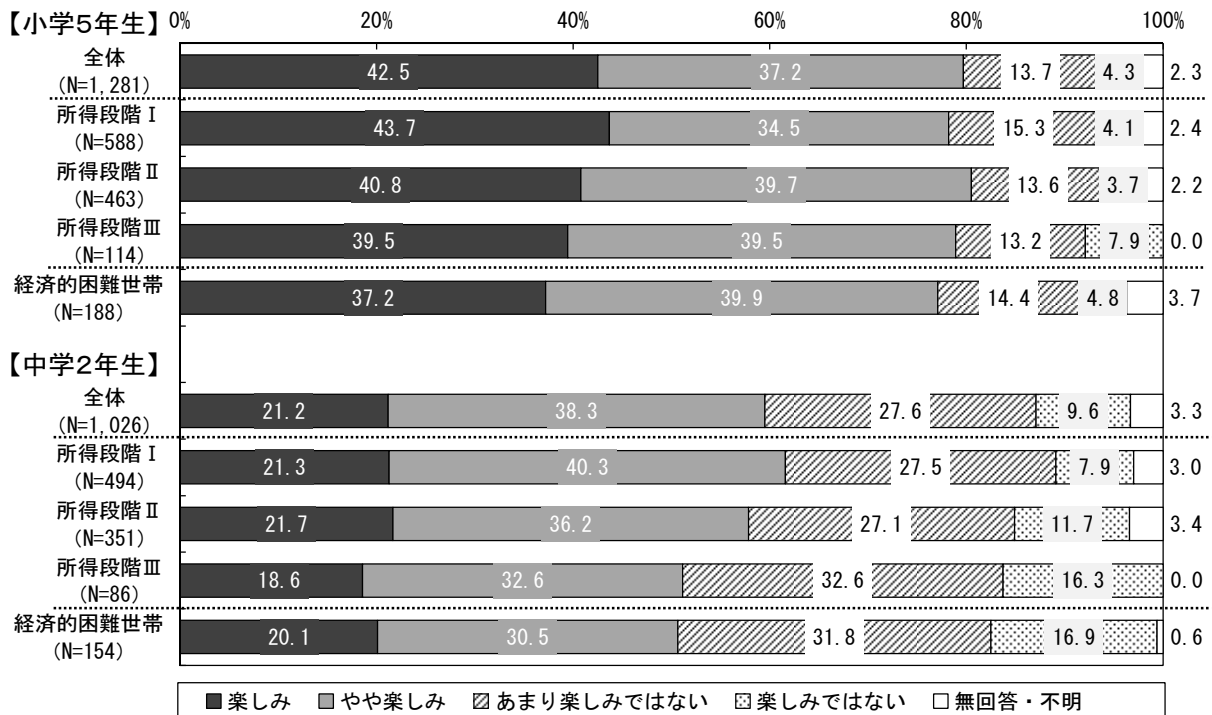
A 毎日学校に通うこと



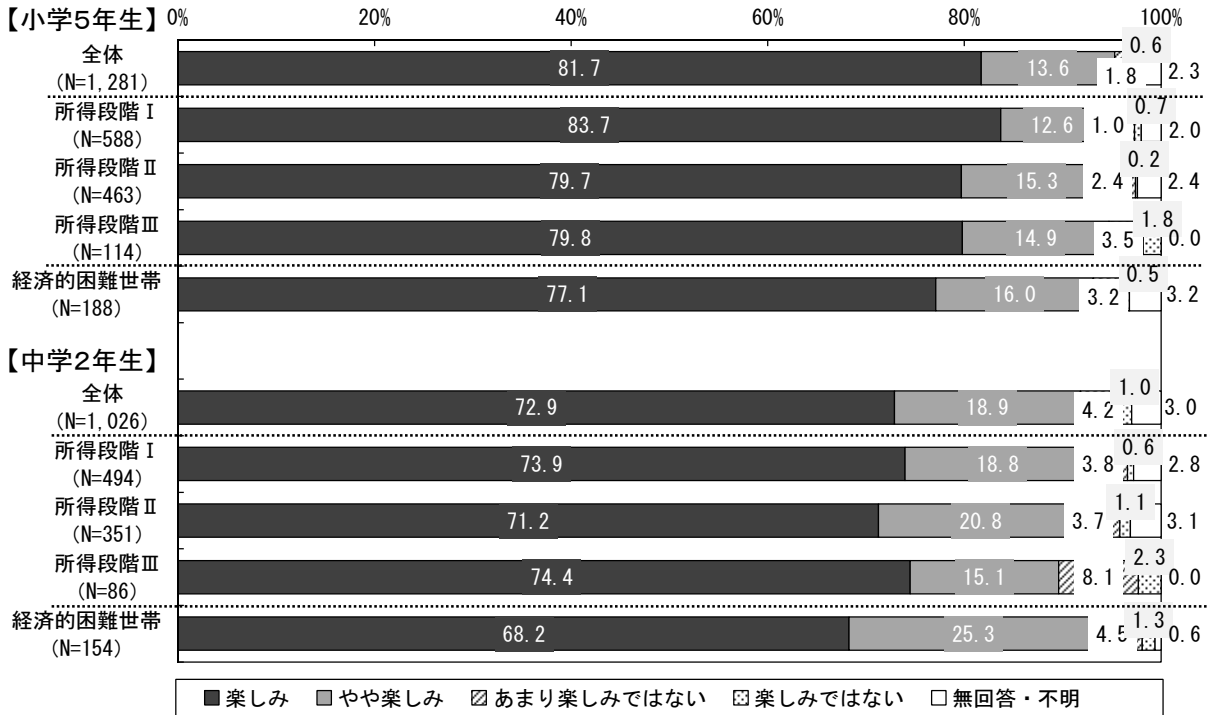
B 学校の授業



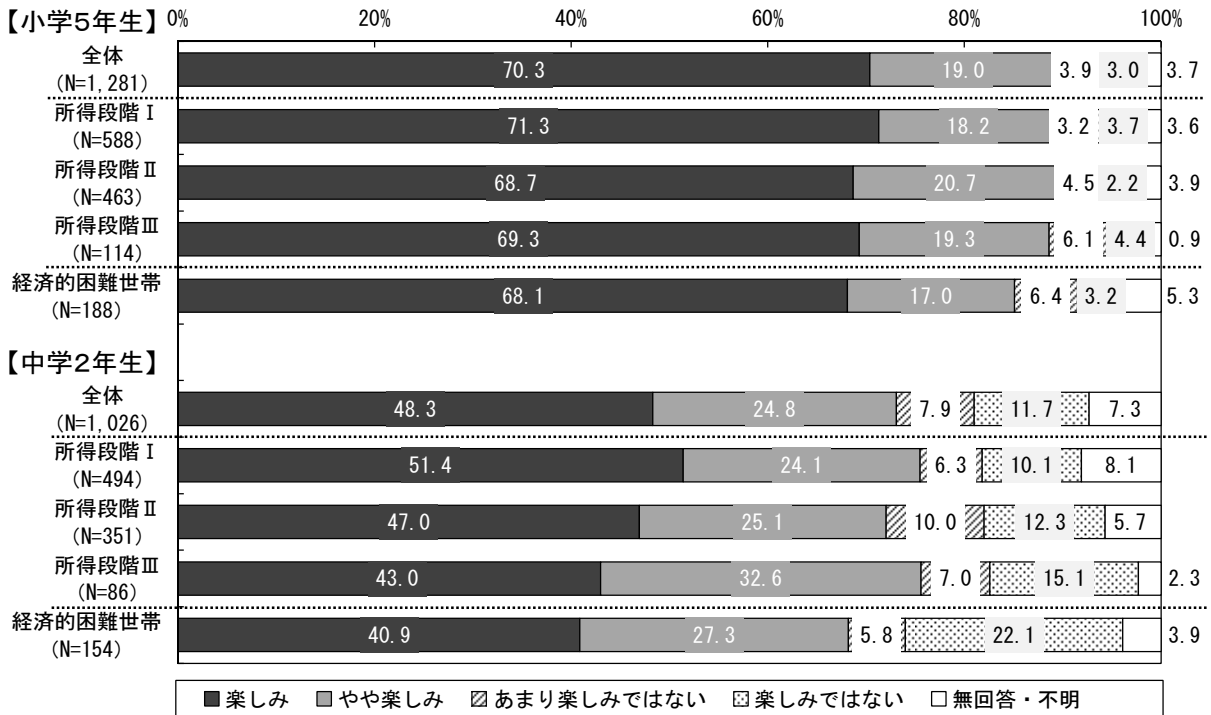
C 先生に会うこと



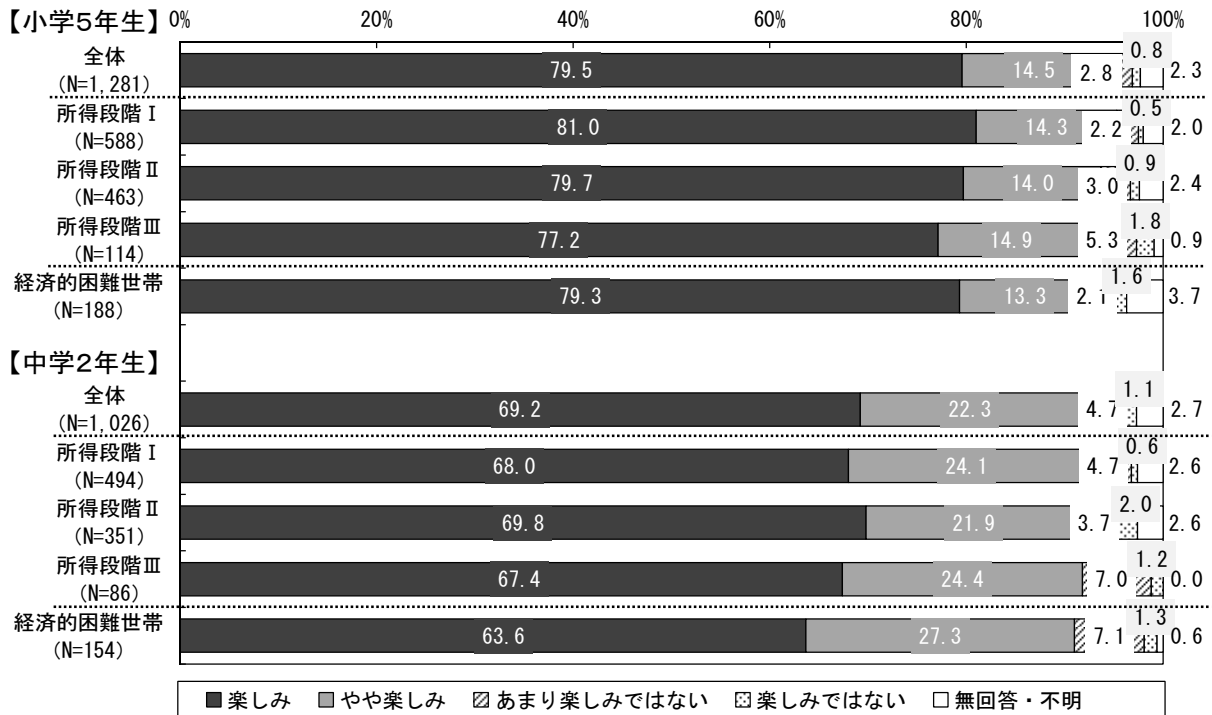
D 学校の友だちに会うこと



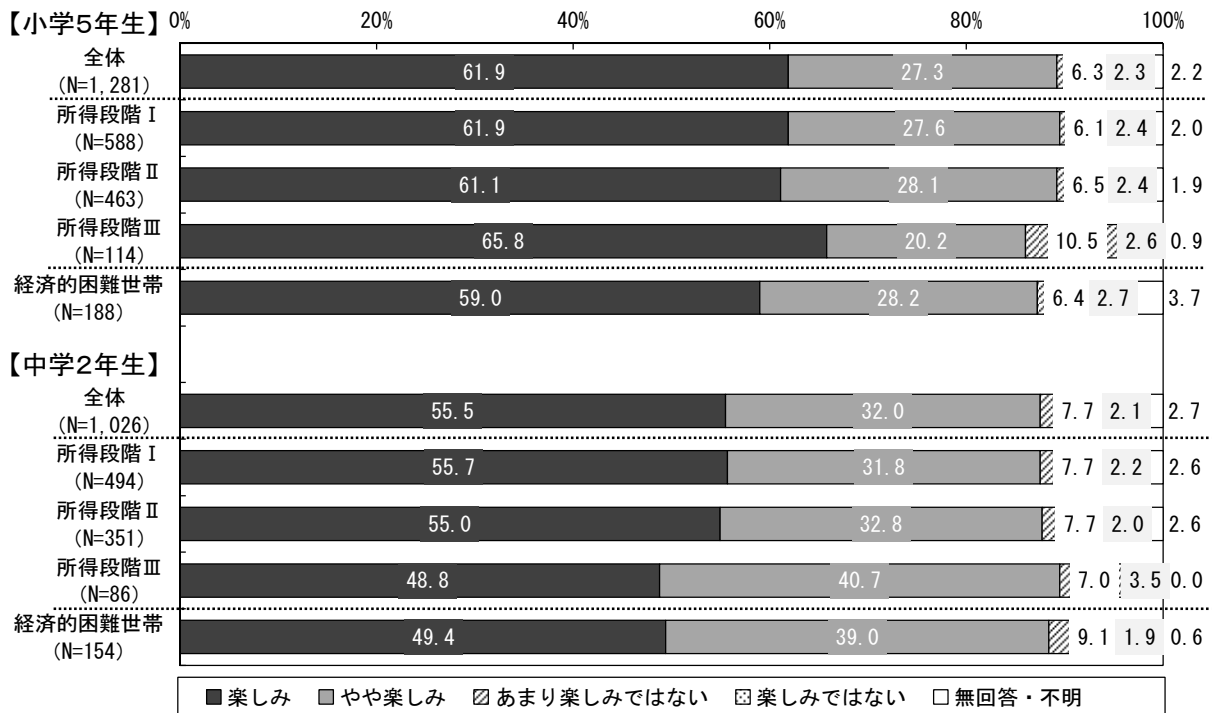
E 学校のクラブ活動



F 学校の休み時間

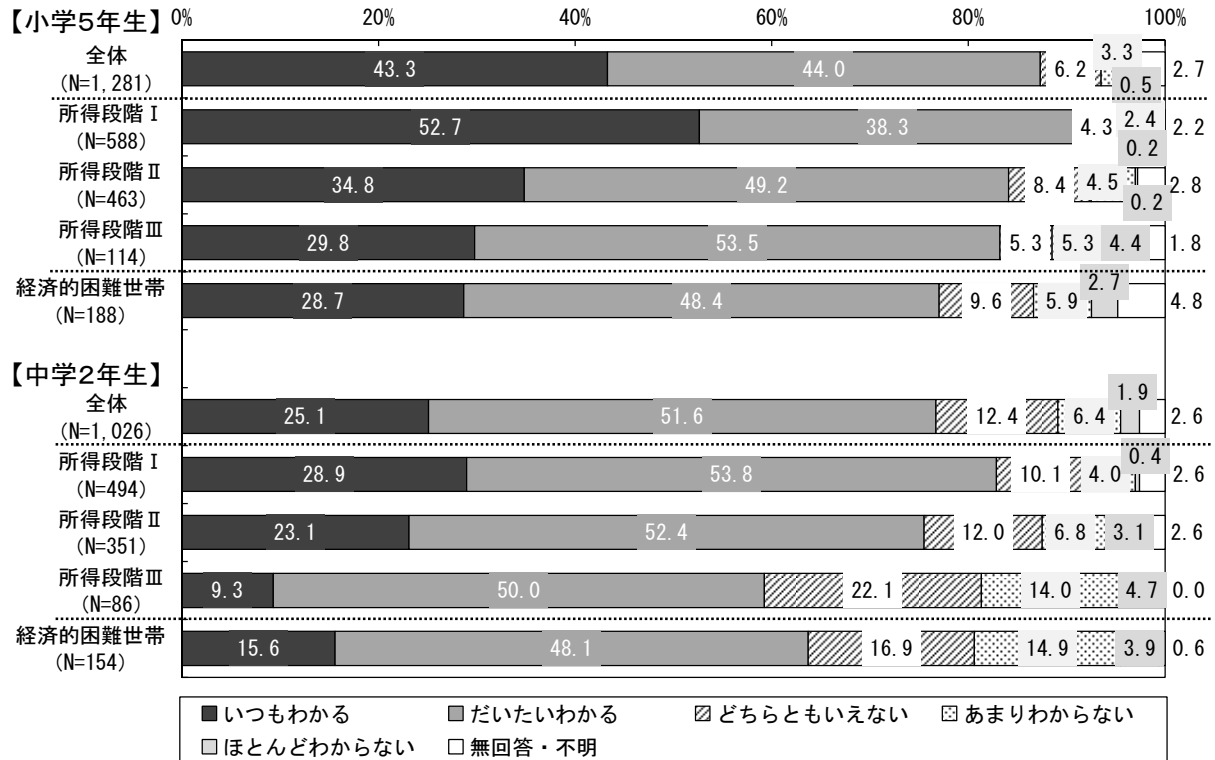


G 学校の給食（お弁当など）



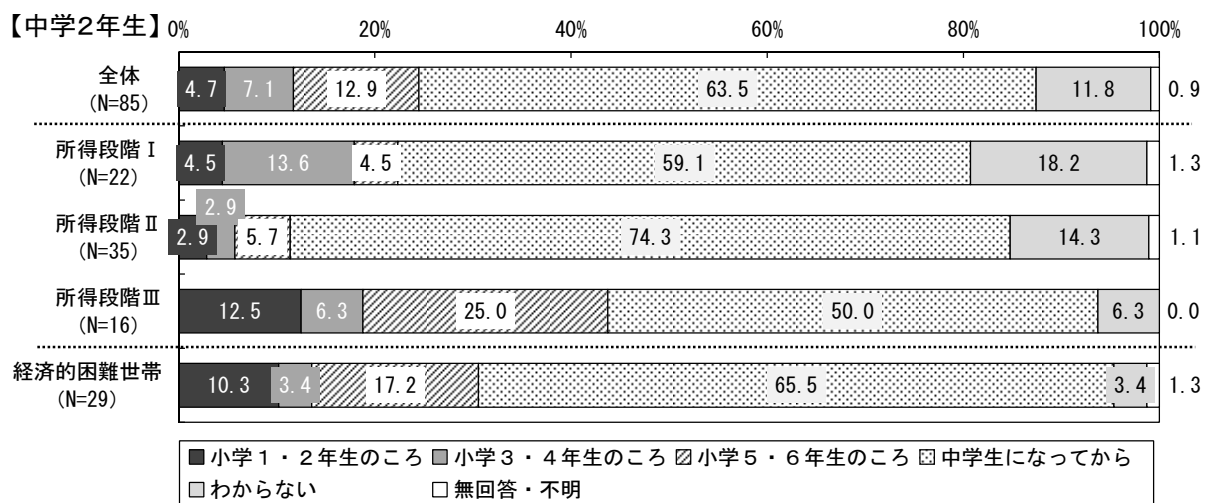
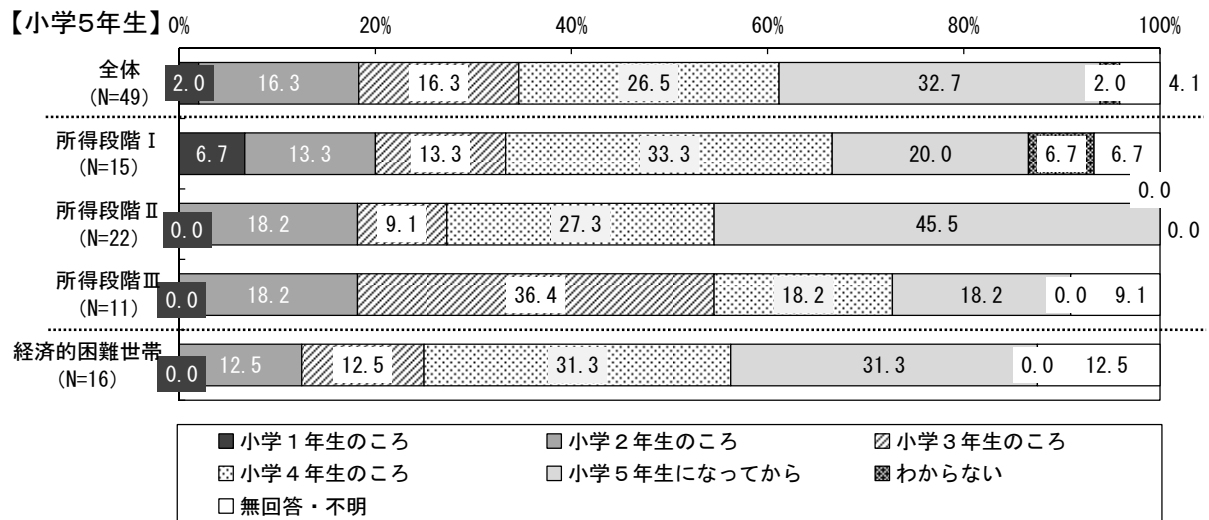
問 29 あなたは、学校の授業がわかりますか。

所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では「いつもわかる」が少なくなっており、特に中学2年生では差が大きくなっています。



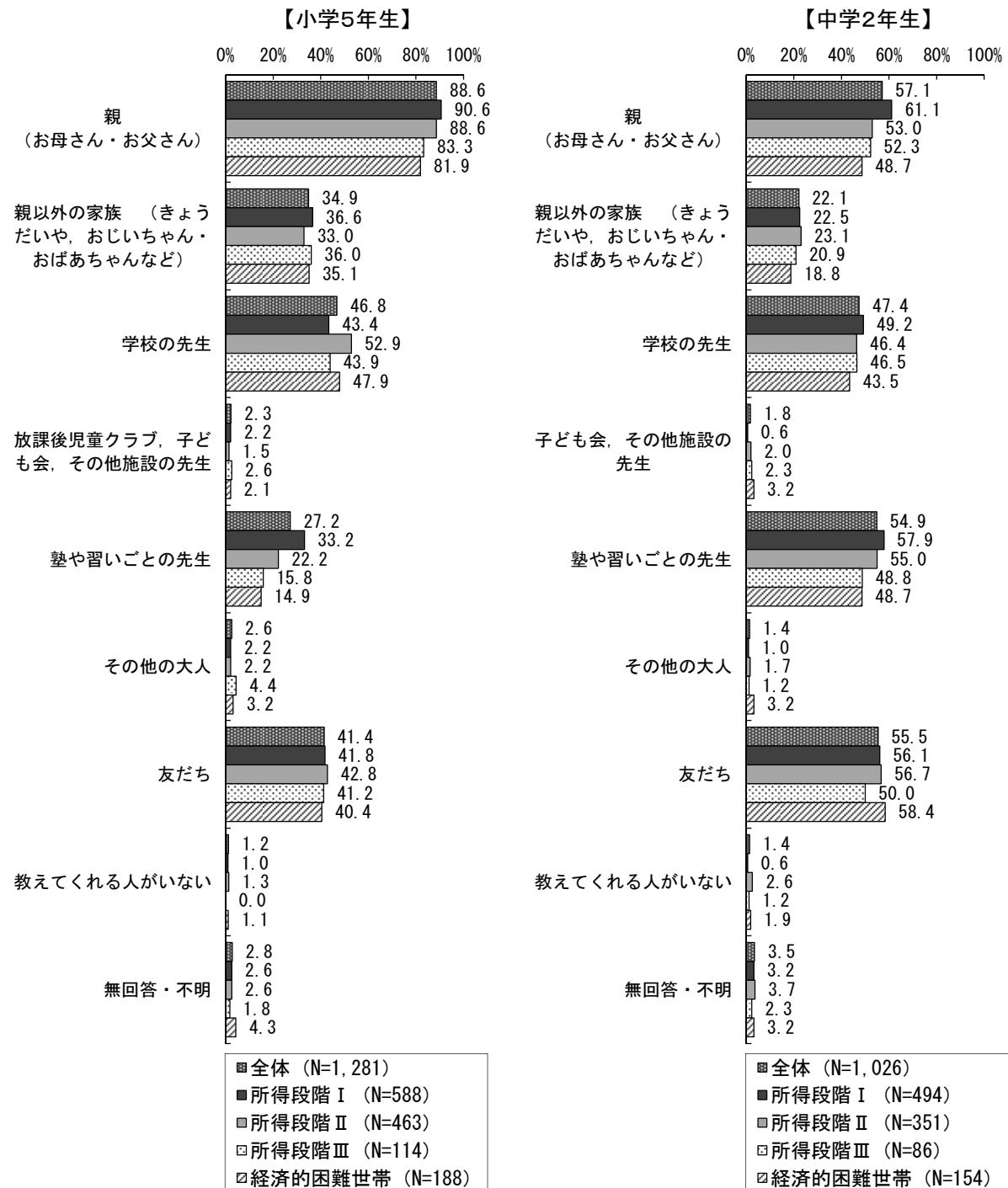
問 29-1 (学校の授業が「あまりわからない」または「ほとんどわからない」と答えた人のみ) いつごろから、授業がわからなくなりましたか。

回答数が少ないため、明確な傾向とは言えませんが、所得段階Ⅲではより早い学年で授業がわからなくなったという回答が多くなっています。



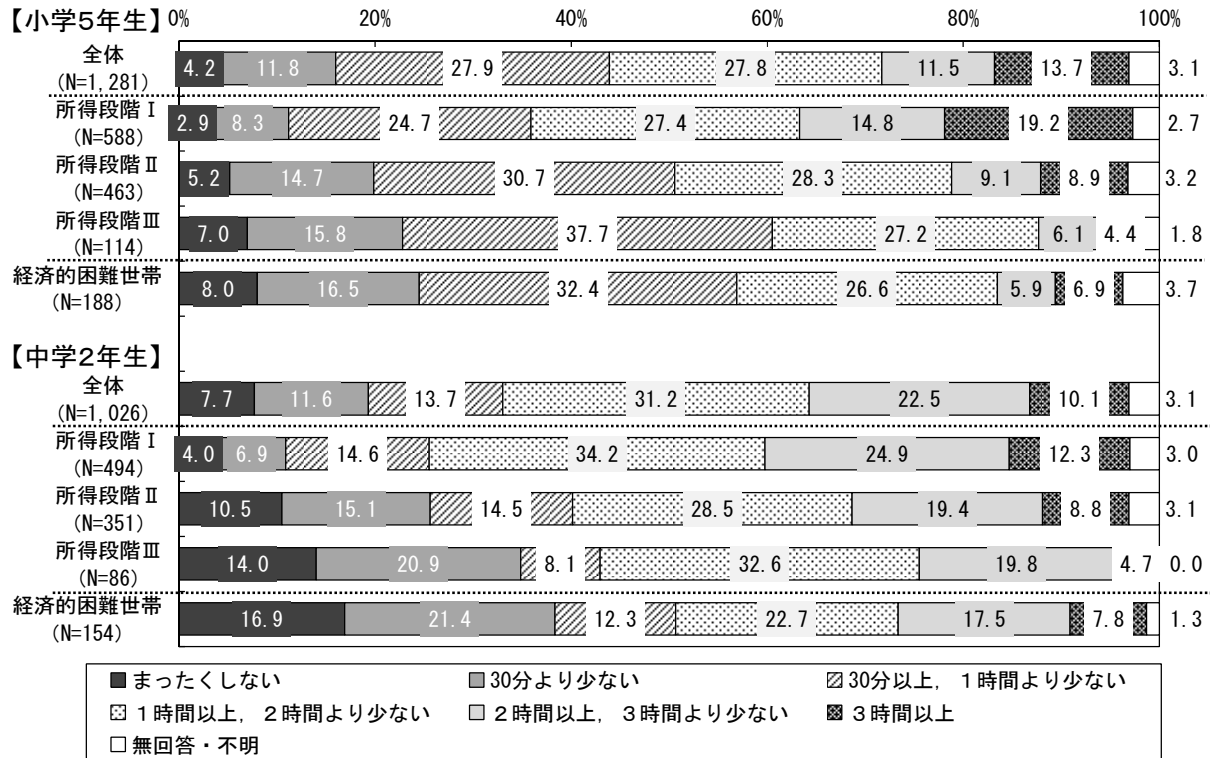
問 30 勉強がわからないときは、だれに教えてもらいますか。【複数回答】

所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では、「塾や習い事の先生」が少なく、「親」もやや少なくなっています。中学2年生の所得段階Ⅲでは、「友だち」もやや少なくなっています。



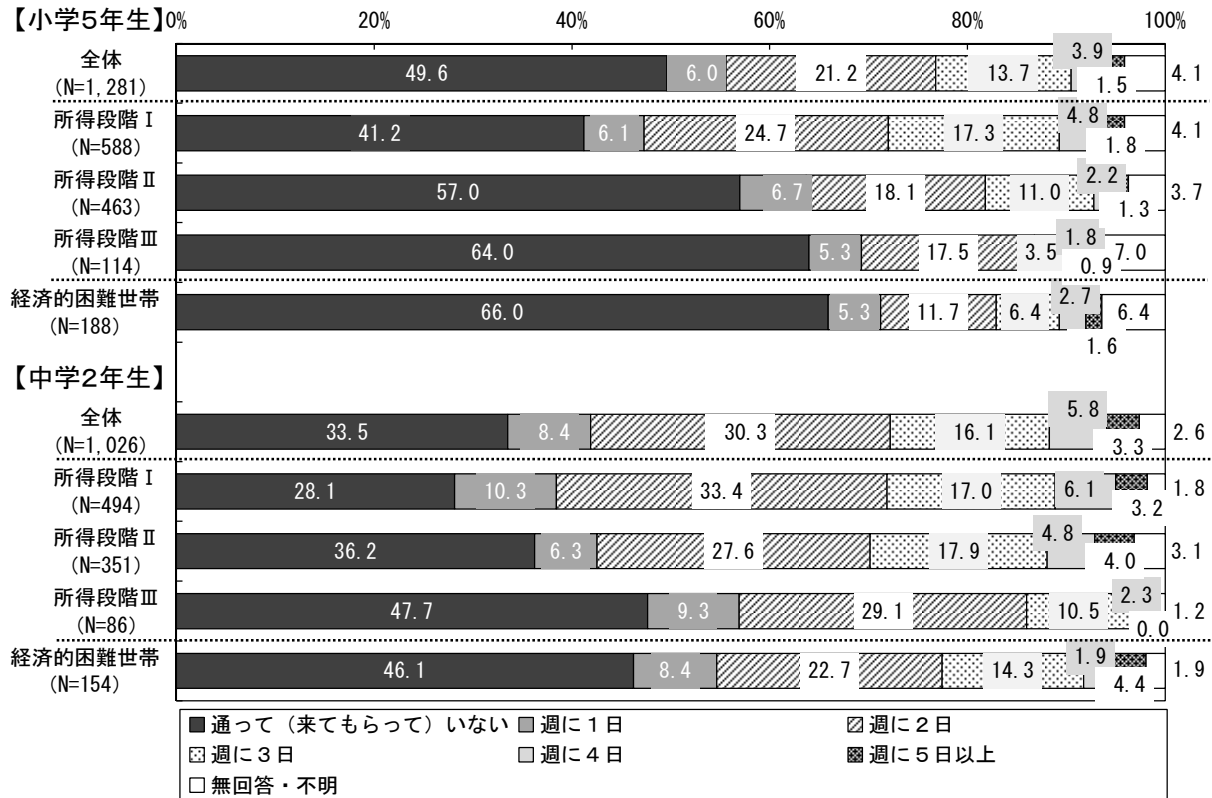
問 31 あなたはふだん（月曜日から金曜日）、学校の授業以外にどれくらいの時間、勉強をしますか。1日当たりの勉強時間を教えてください。

所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では、全体的に勉強時間が少なくなっています。



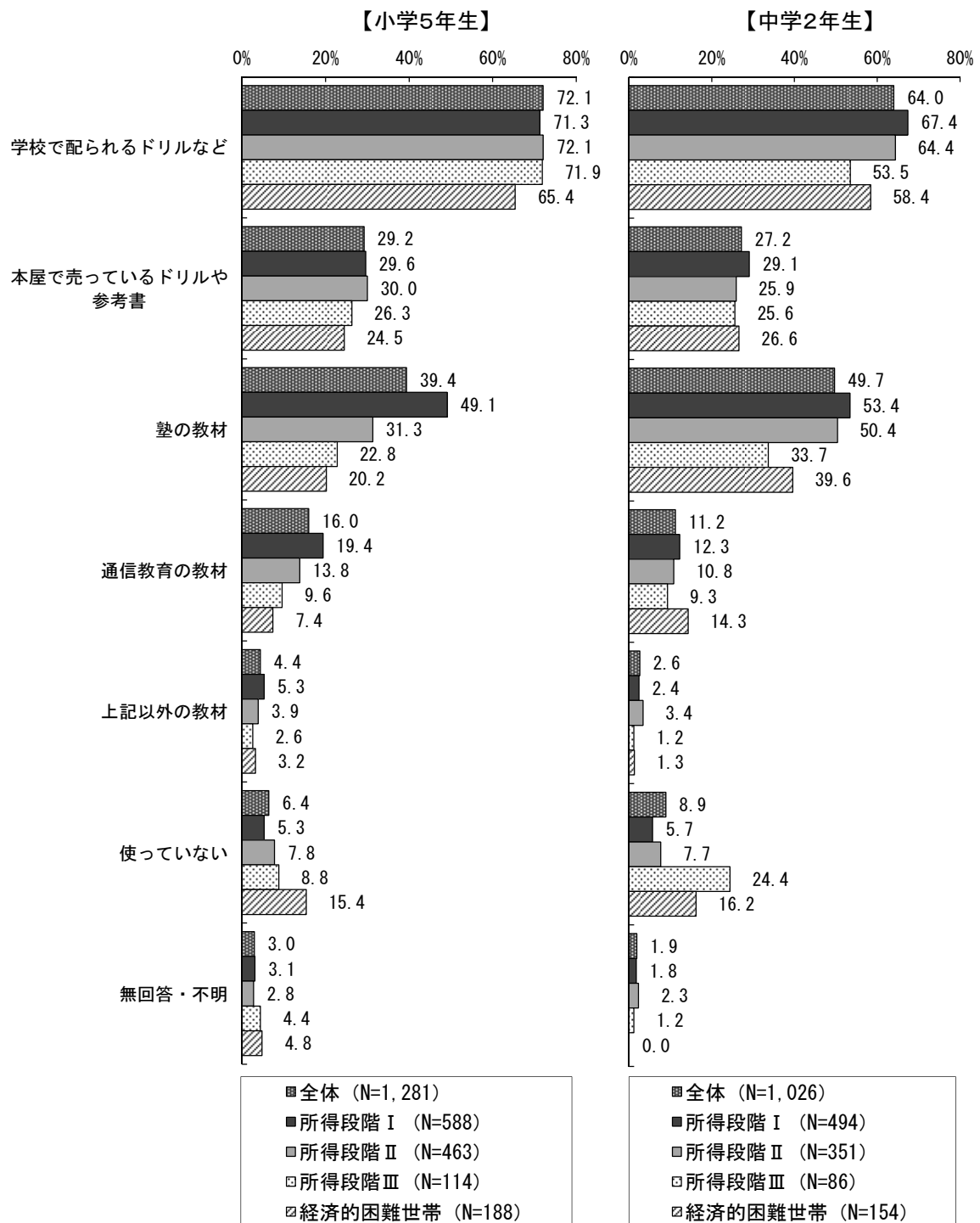
問 32 あなたは、学習塾に通ったり、家庭教師に来てもらったりしていますか。通っている（来てもらっている）場合、1週間に何日通って（来てもらって）いますか。

所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では、「通って（来てもらって）いない」が多くなっています。



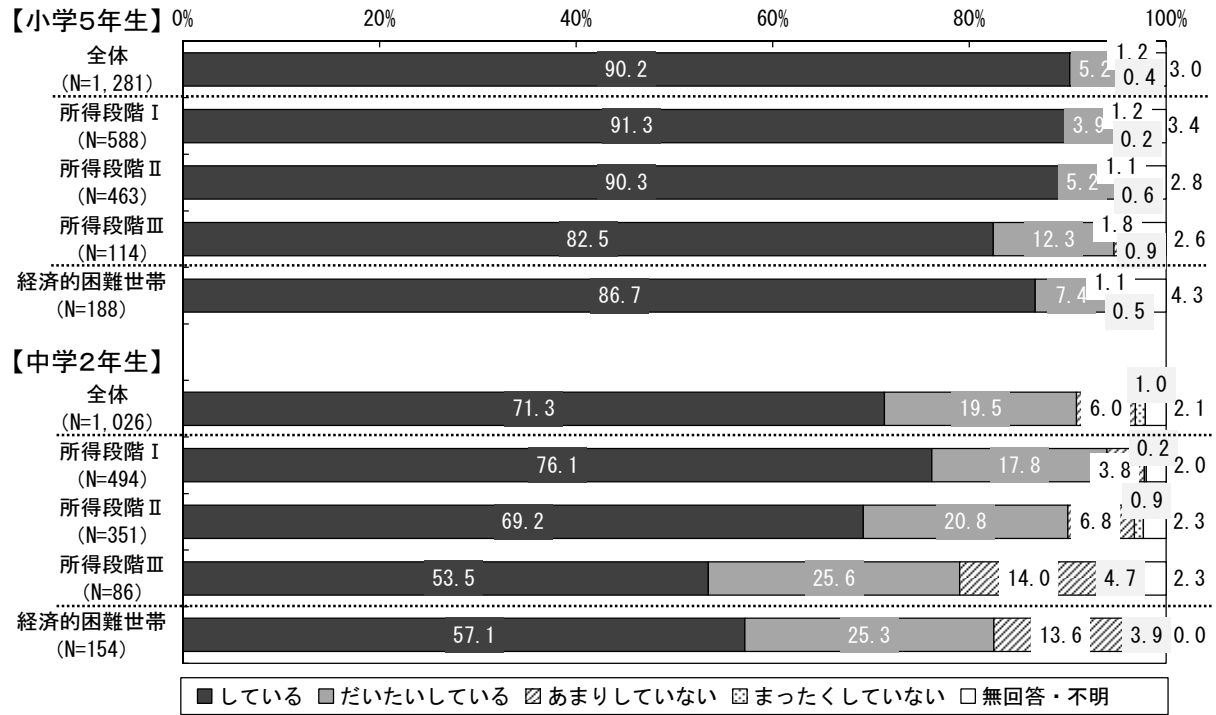
問 33 あなたは、自宅で次の教材を使っていますか。【複数回答】

所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では「塾の教材」が少なく、小学5年生では「通信教育の教材」も少なくなっています。中学2年生では「学校で配られるドリルなど」も少なく、「使っていない」が多くなっています。



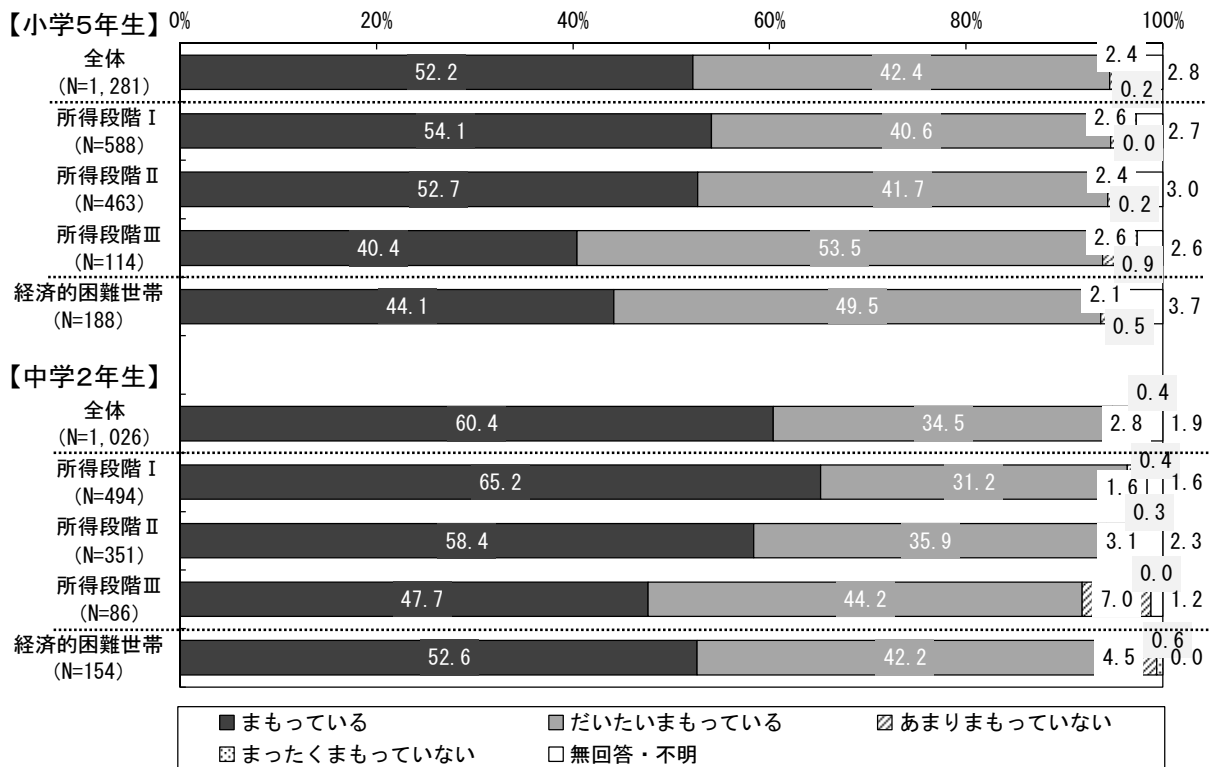
問 34 あなたは、学校の宿題をしていますか。

所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では、「している」が少なく、特に中学2年生では差が大きくなっています。



問 35 あなたはふだん、学校のきまりをまもっていますか。

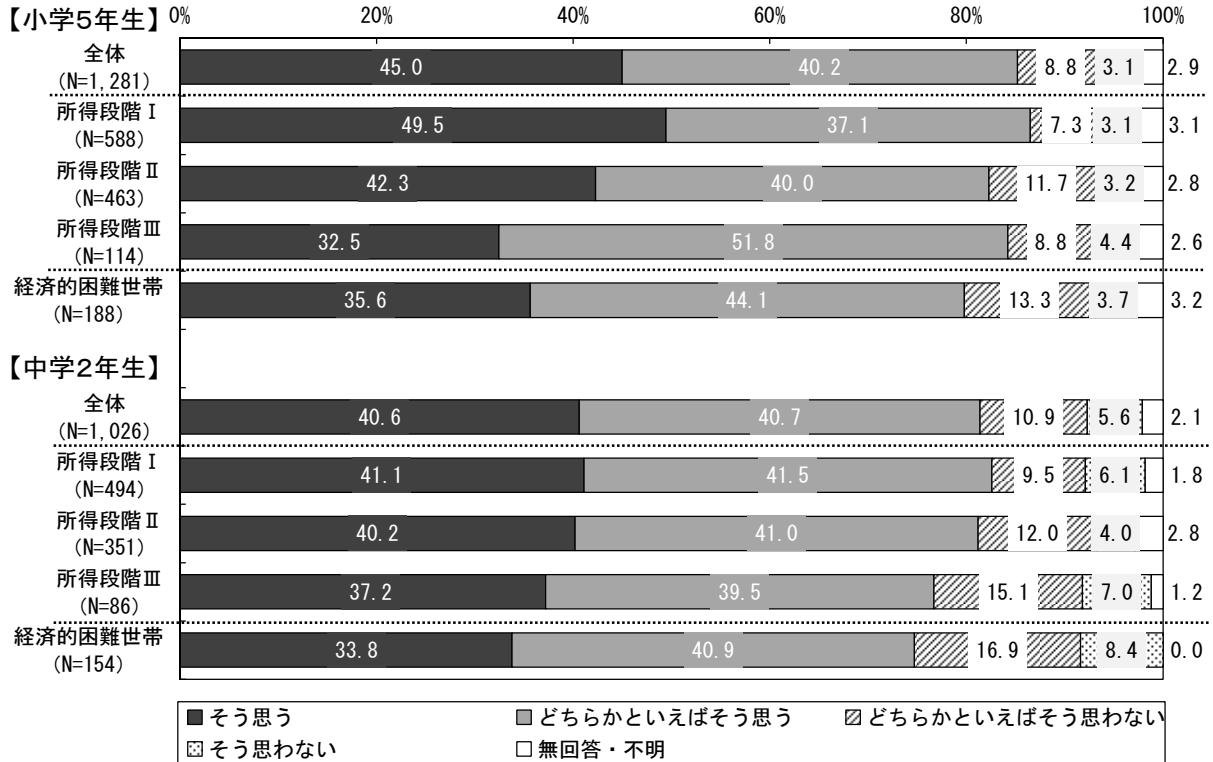
所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では「まもっている」が少なくなっています。



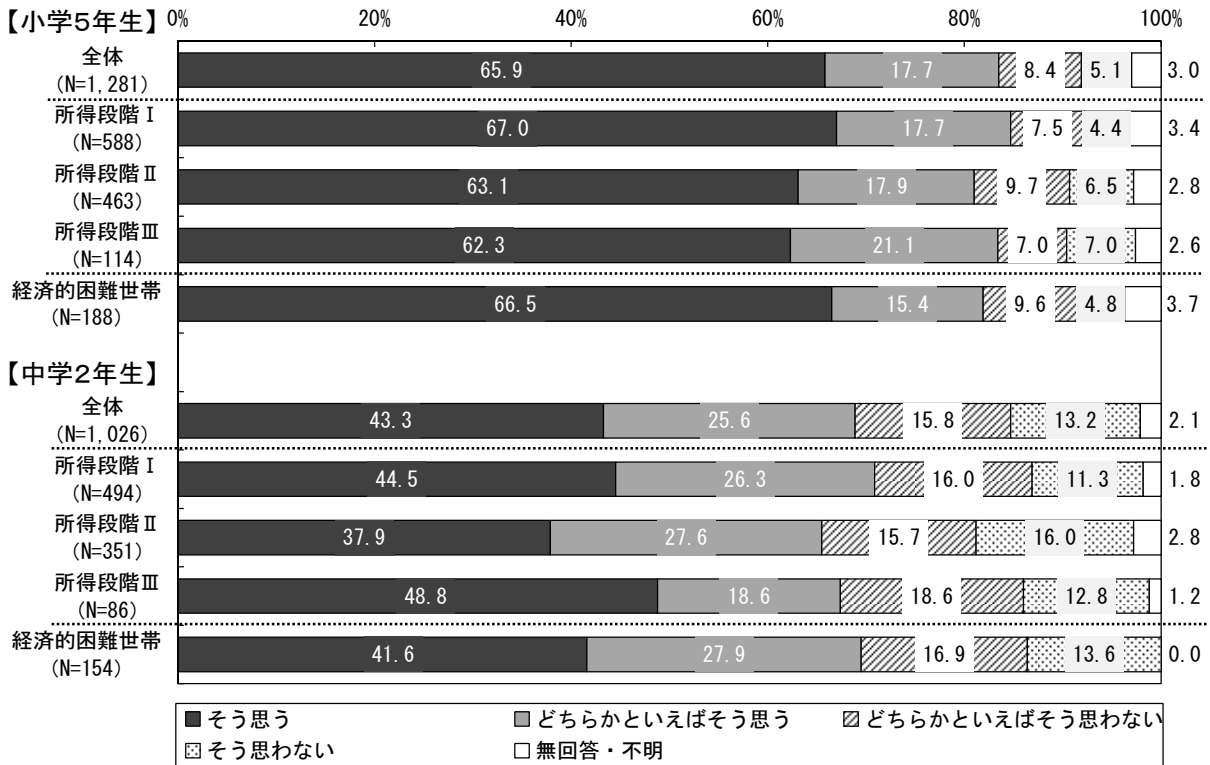
問 36 あなたの思いや気持ちについて、もっとも近いものに○をつけてください。

全体的に所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では、肯定的な回答が少なくなっています。特に小学5年生では「自分には、良いところがある」「自分のことが好きだ」といった自尊感情に関する項目で「そう思う」が少なくなっています。

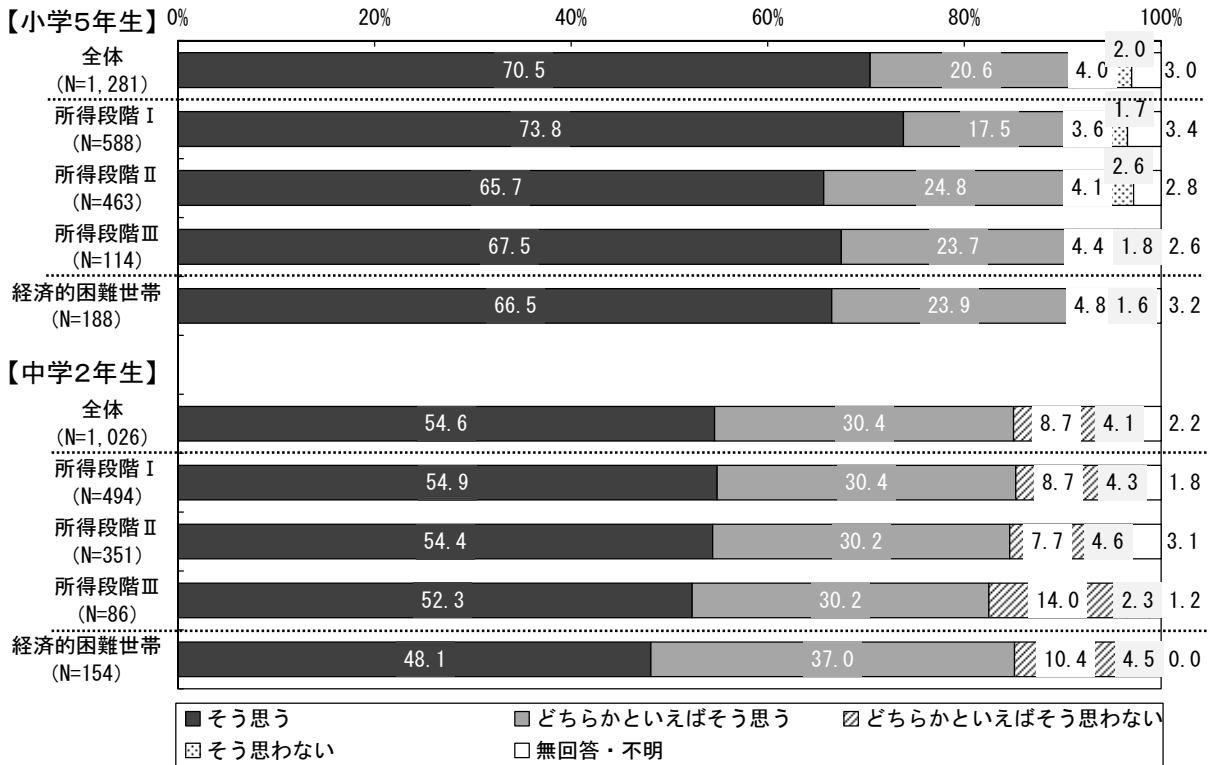
A 自分には、良いところがある



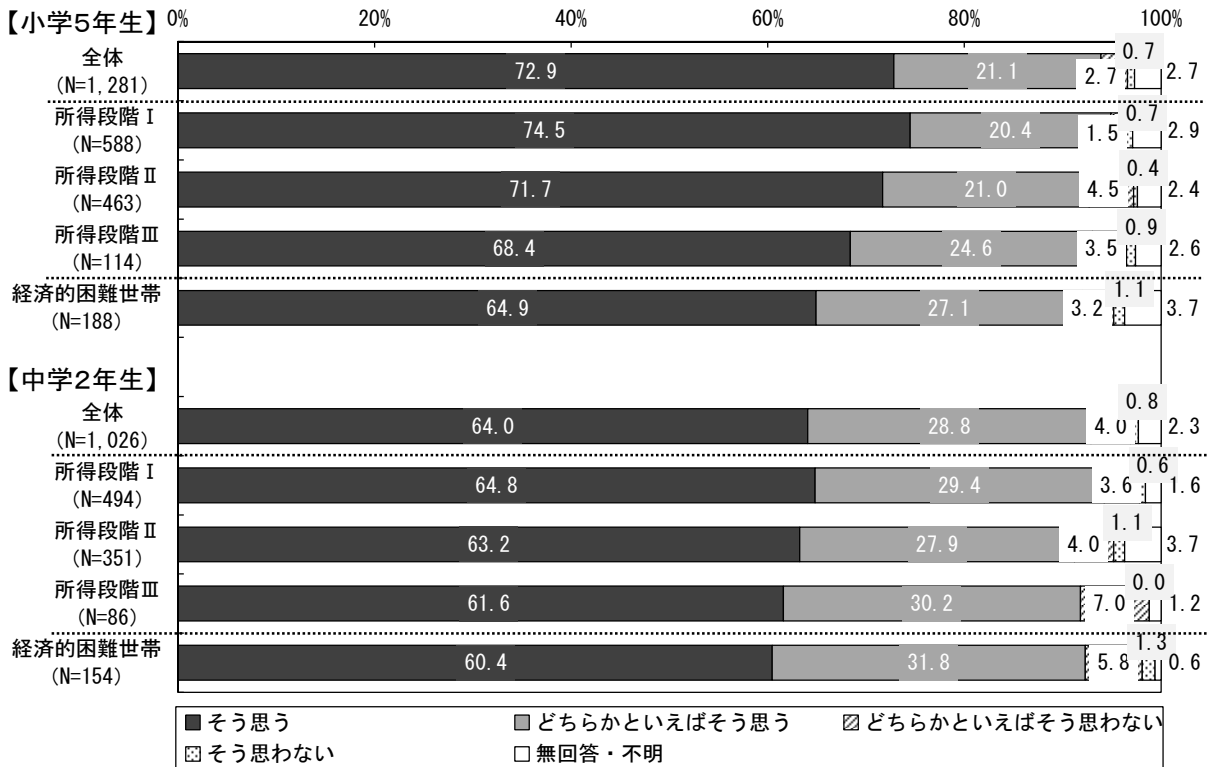
B 将来の夢や目標をもっている



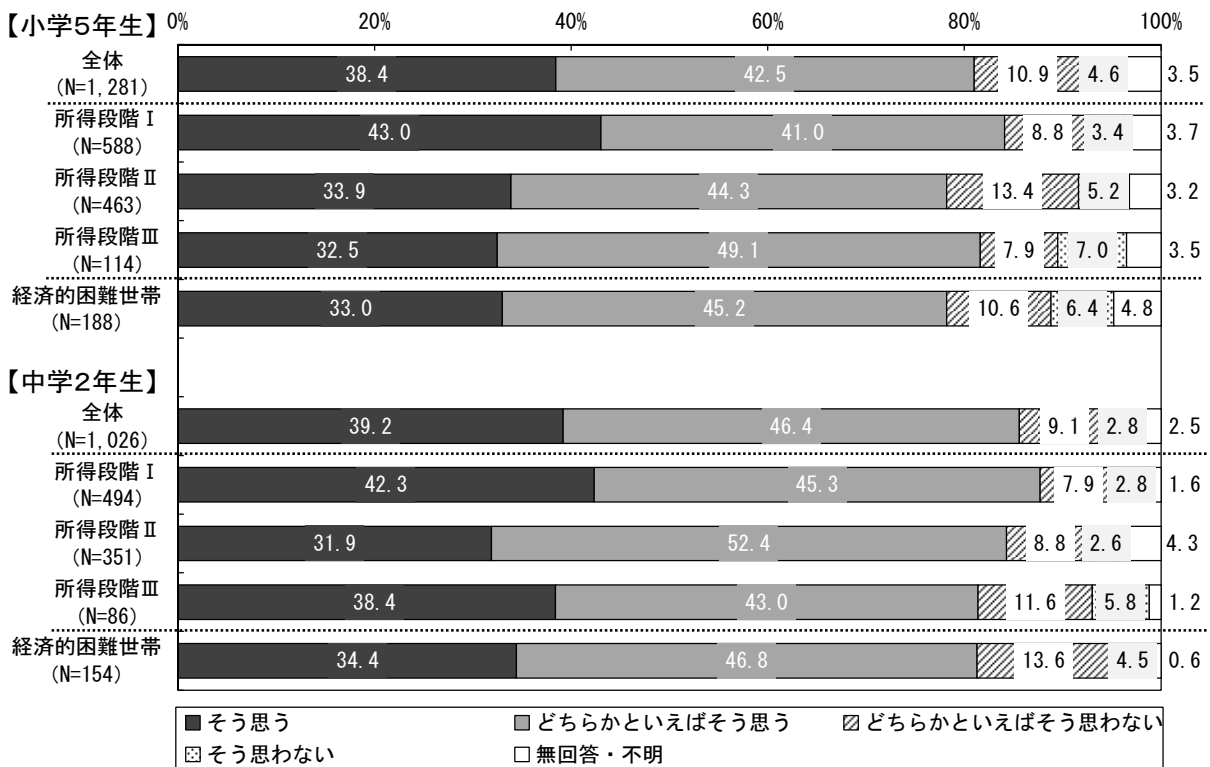
C がんばれば、いいことがある



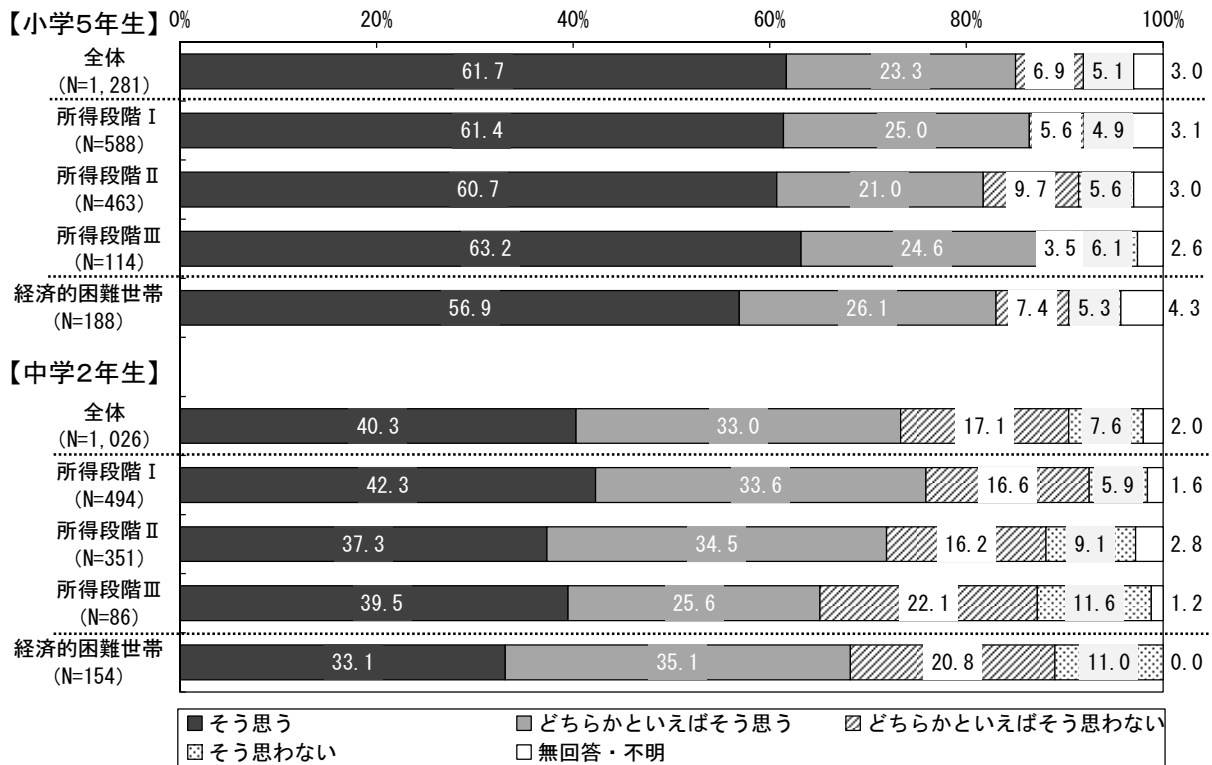
D 自分は家族に大事にされている



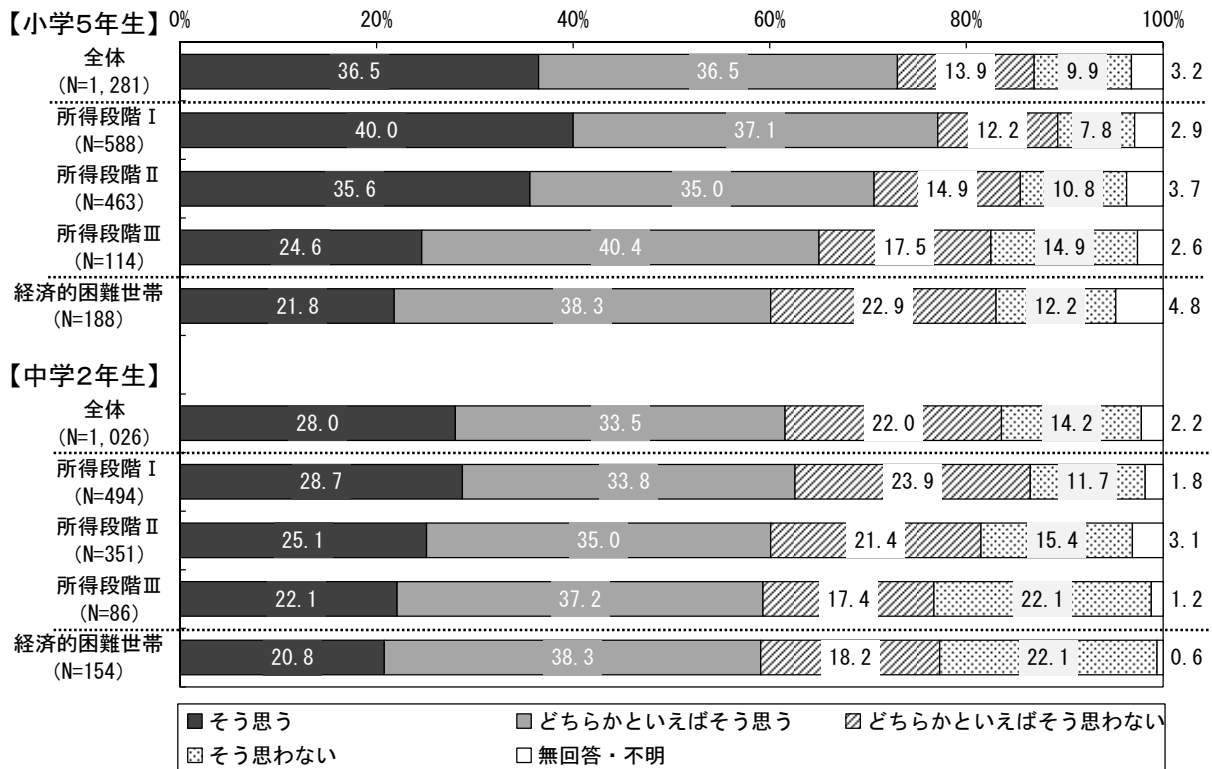
E 自分は友だちに好かれている



F 自分の将来が楽しみだ

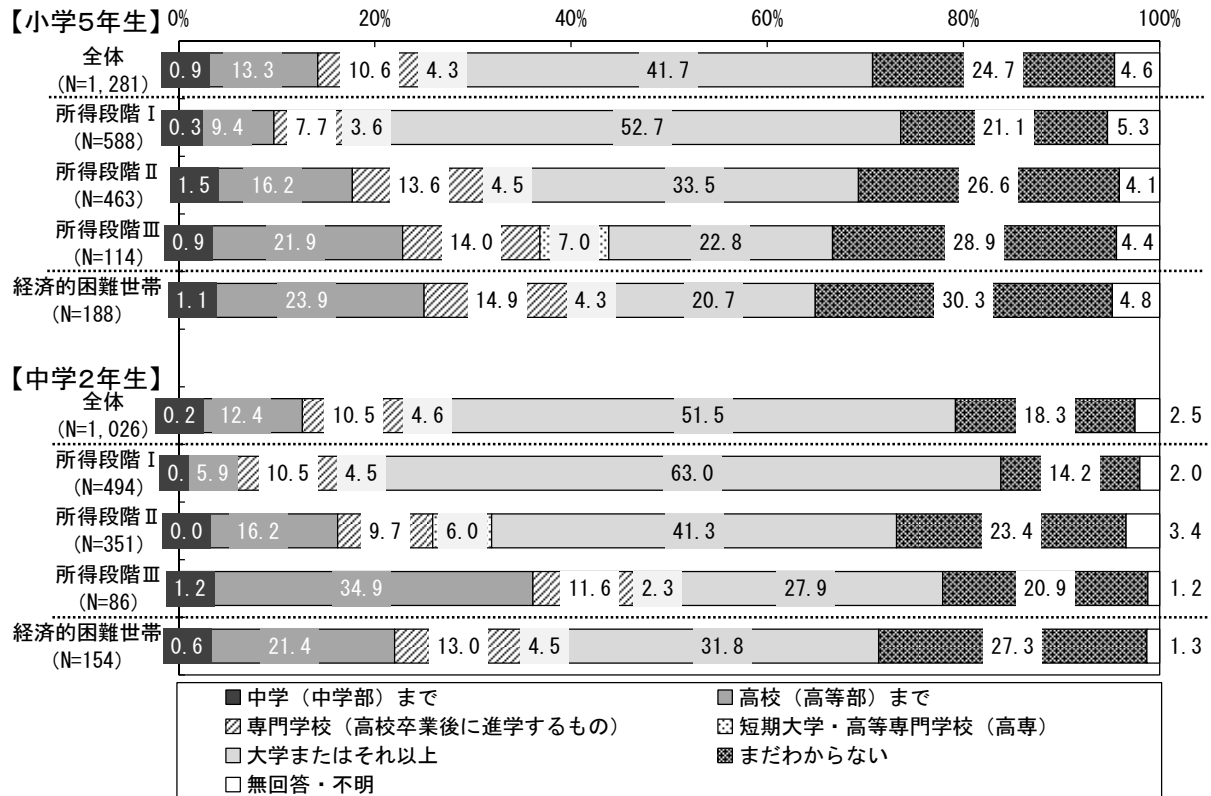


G 自分のことが好きだ



問 37 あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。あなたの考えにもっとも近いものに○をつけてください。

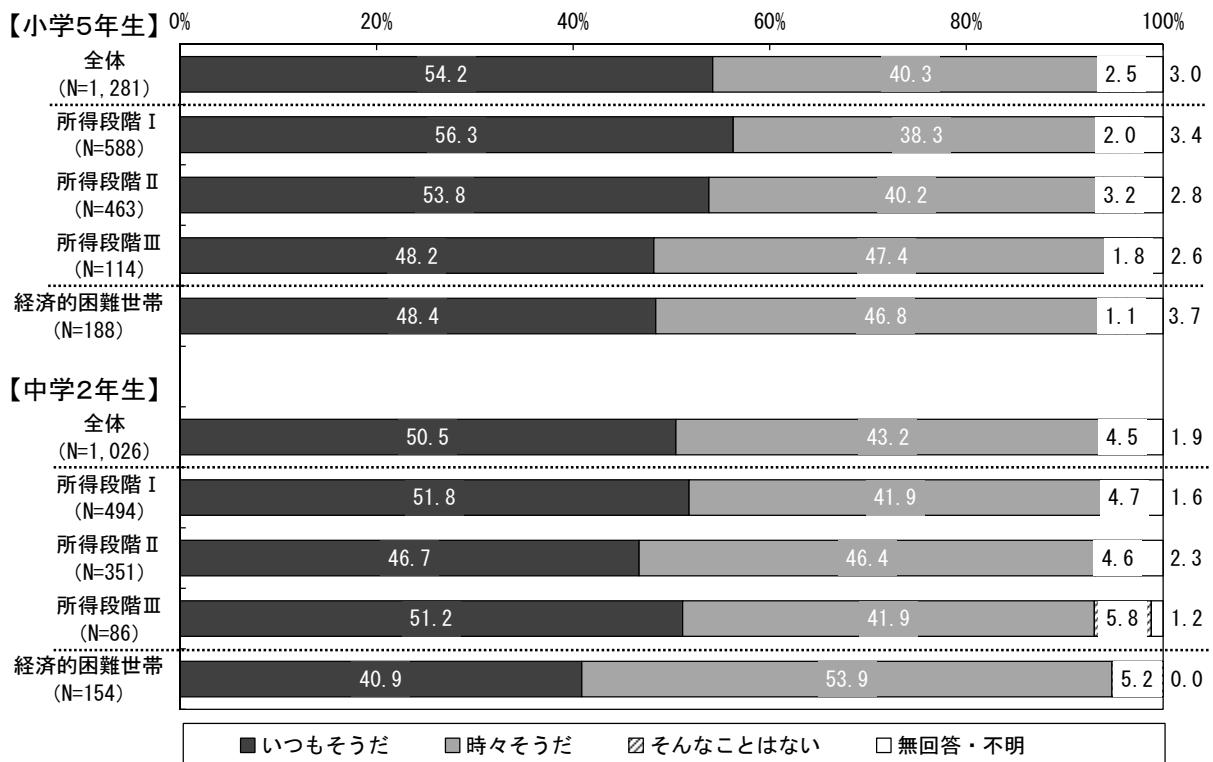
所得段階Ⅲでは、特に中学2年生で、「大学またはそれ以上」が少なく、「高校まで」が多くなっています。



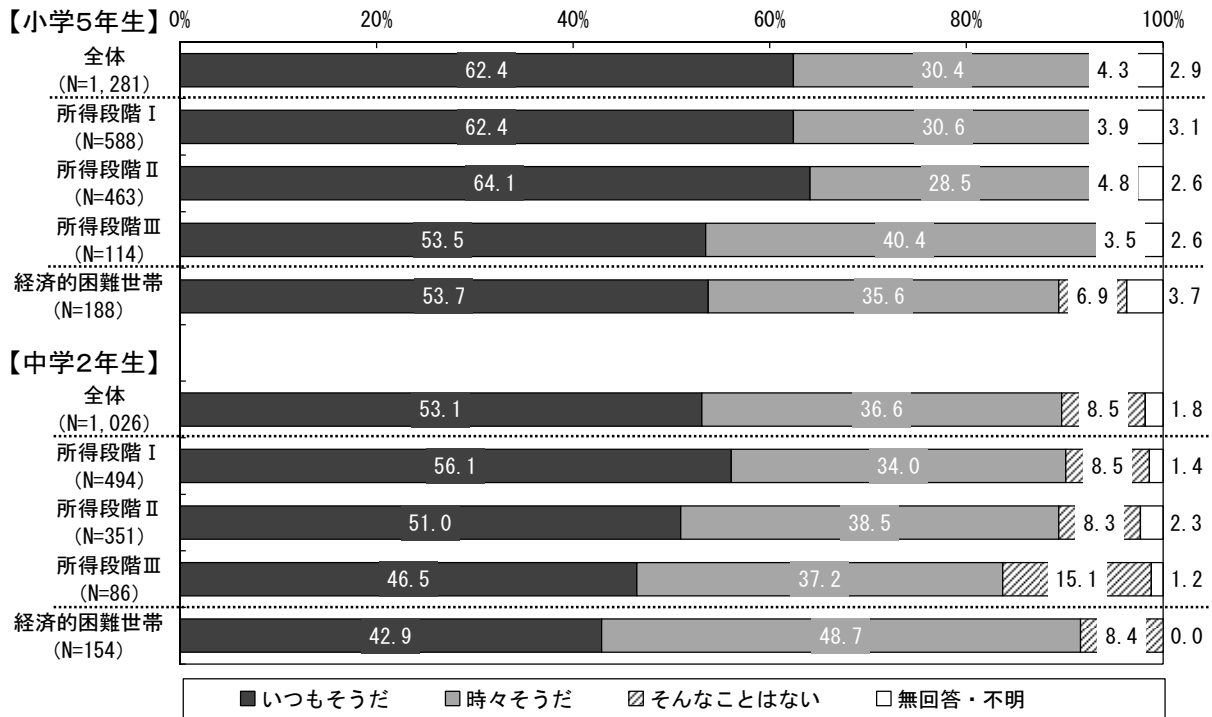
問 38 わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。この1週間はどんな1週間だったか、あてはまるところに○をつけてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。

所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では、精神的な充実に関して全体的に肯定的な回答がやや少ない傾向があります。中でも小学5年生では「とても良く眠れた」「自分の気持ちを他の人に伝えられた」「落ち込んでいてもすぐに元気になれた」で「いつもそうだ」が少なく、中学2年生では「逃げ出したいような気がした」「とても退屈な気がした」で「いつもそうだ」が多くなっています。

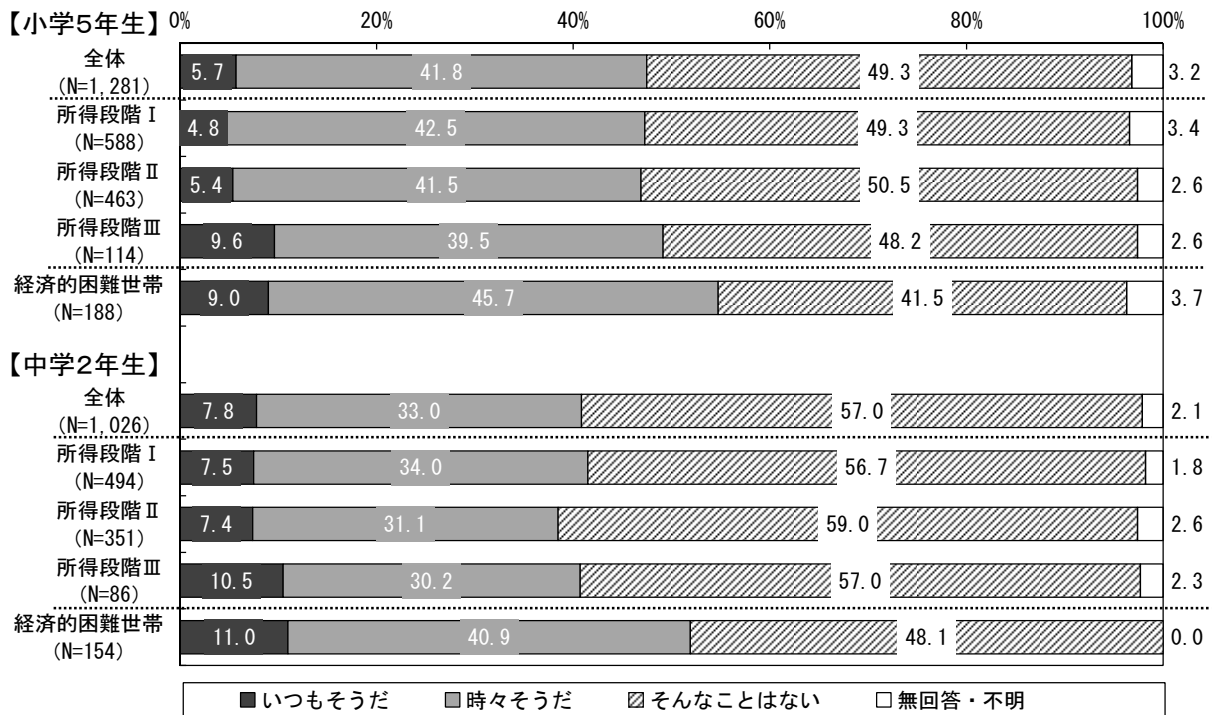
A 楽しみにしていることがたくさんあった



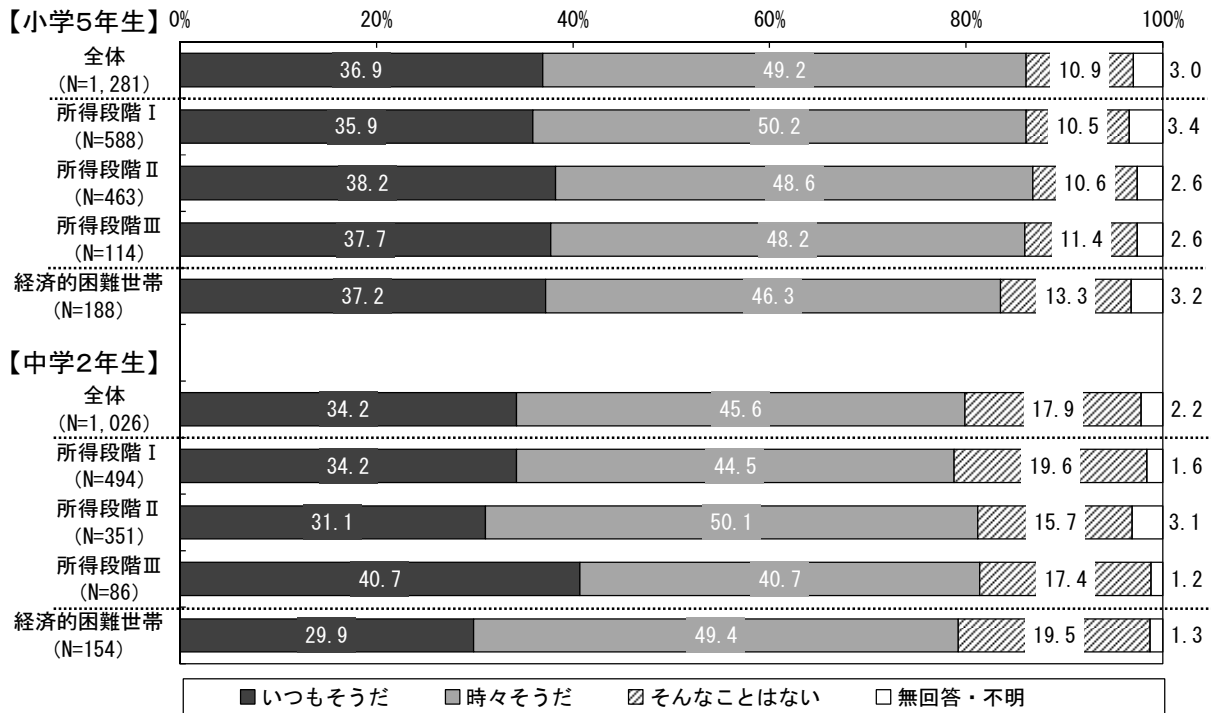
B とても良く眠れた



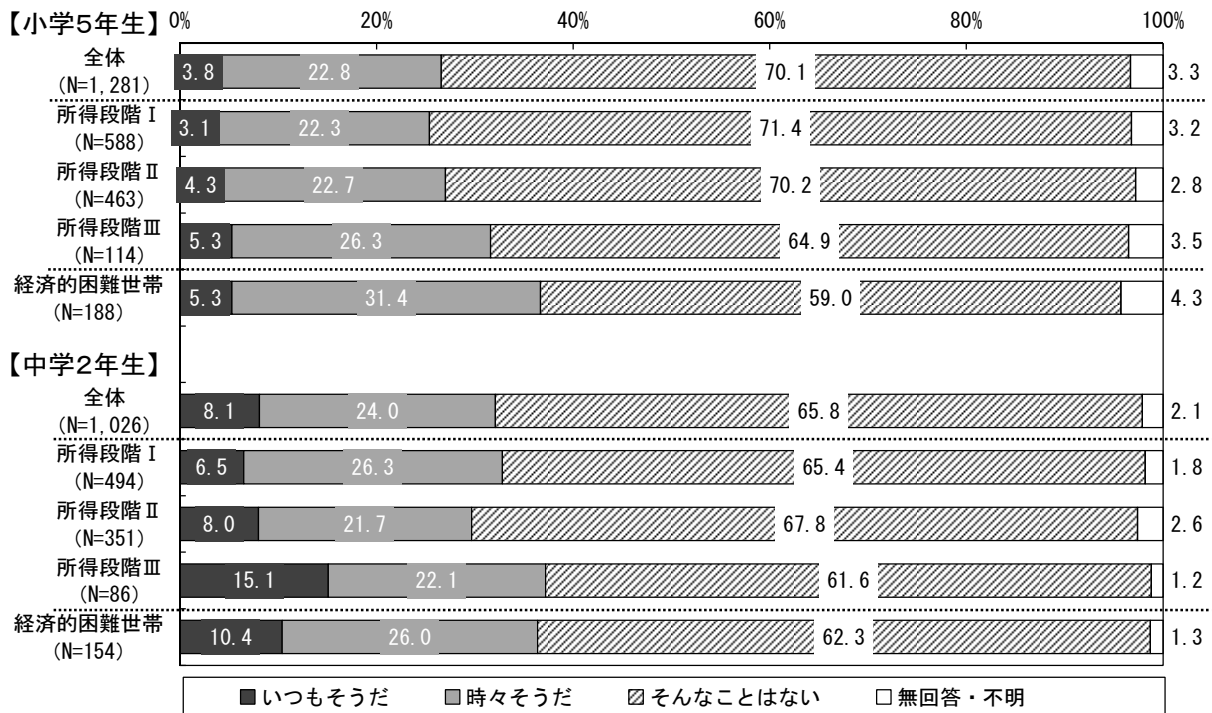
C 泣きたいような気がした



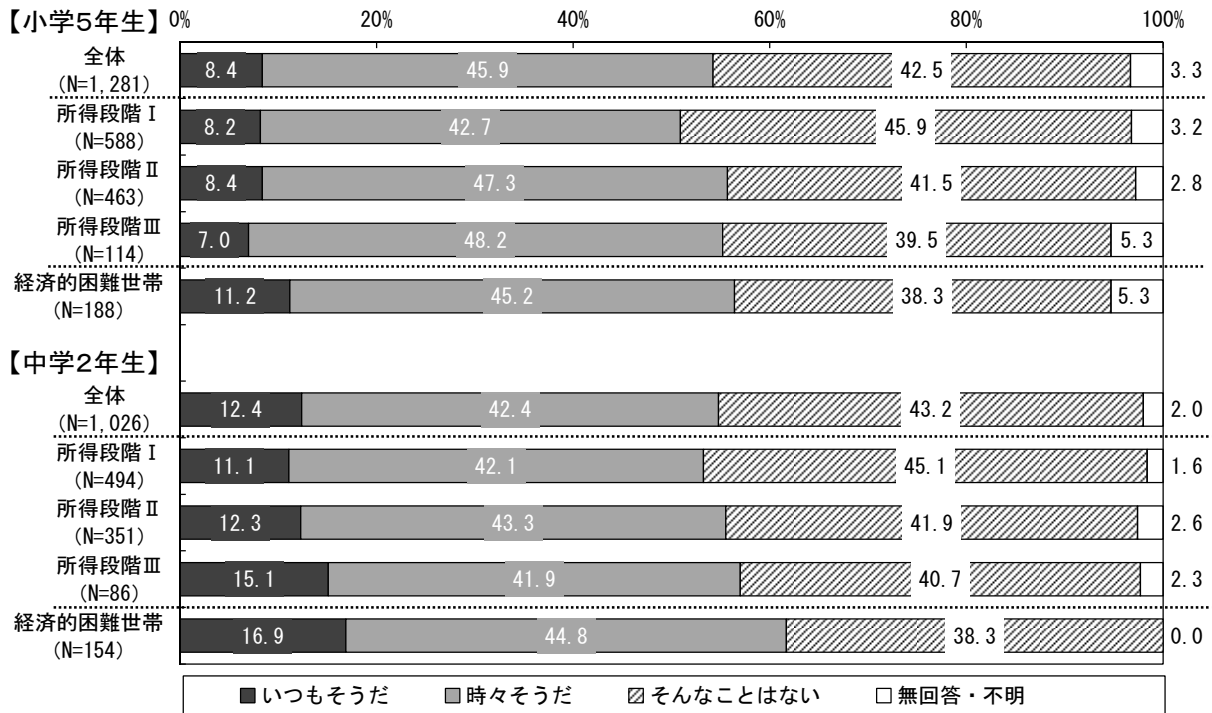
D 遊びに出かけた



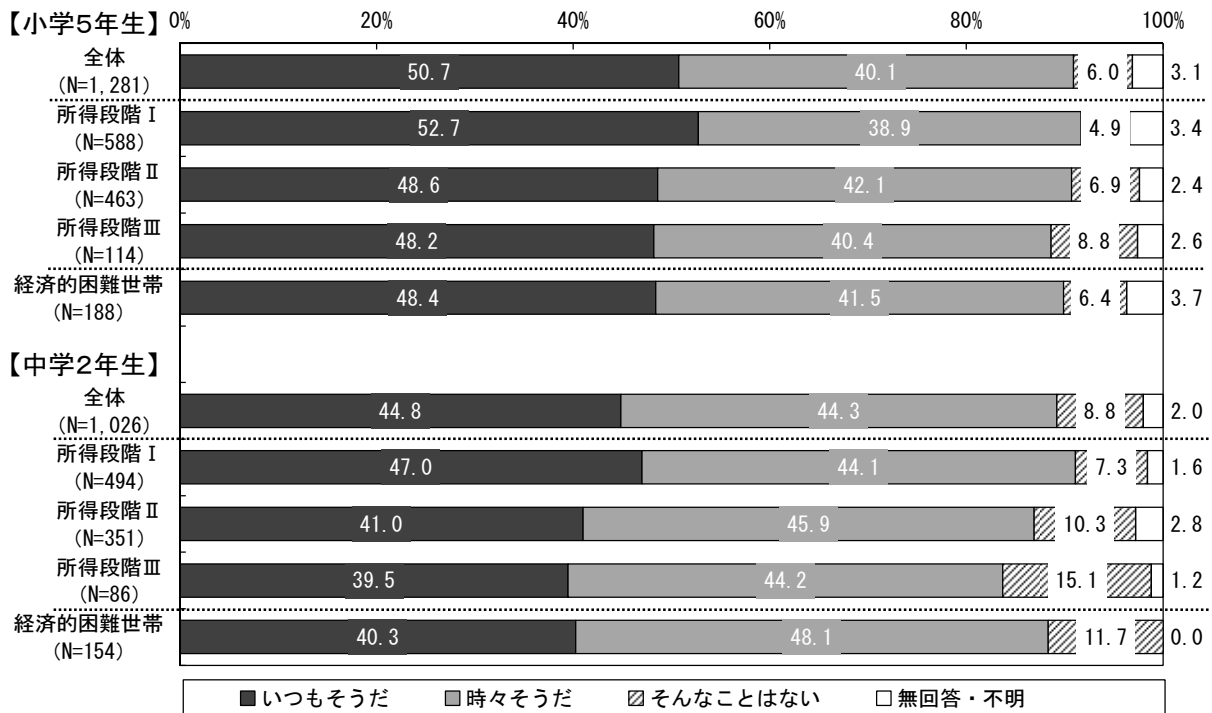
E 逃げ出したいような気がした



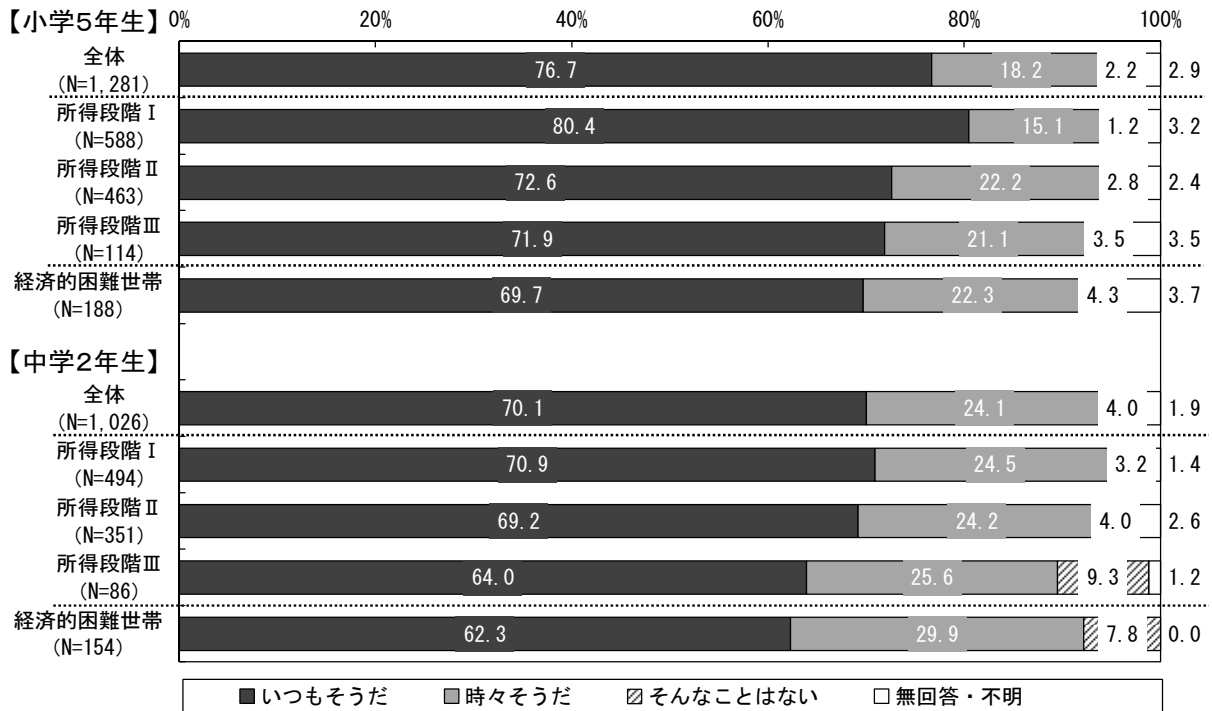
F おなかが痛くなることがあった



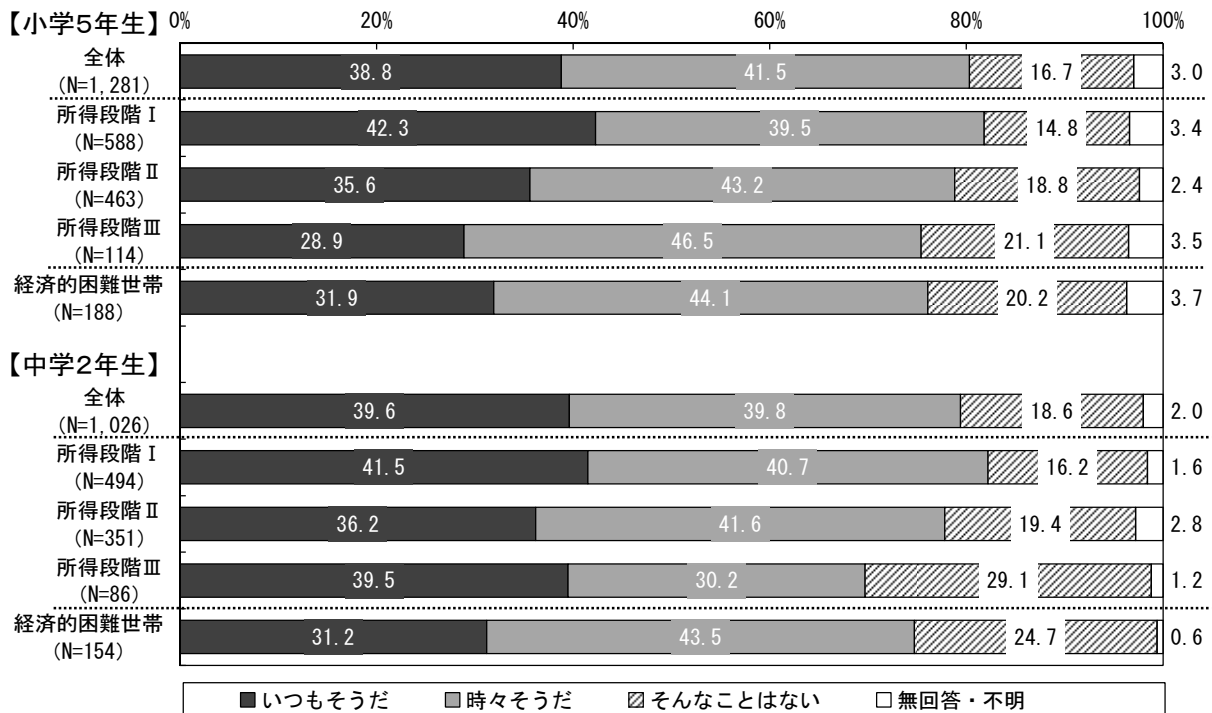
G がんばろうという気持ちになった



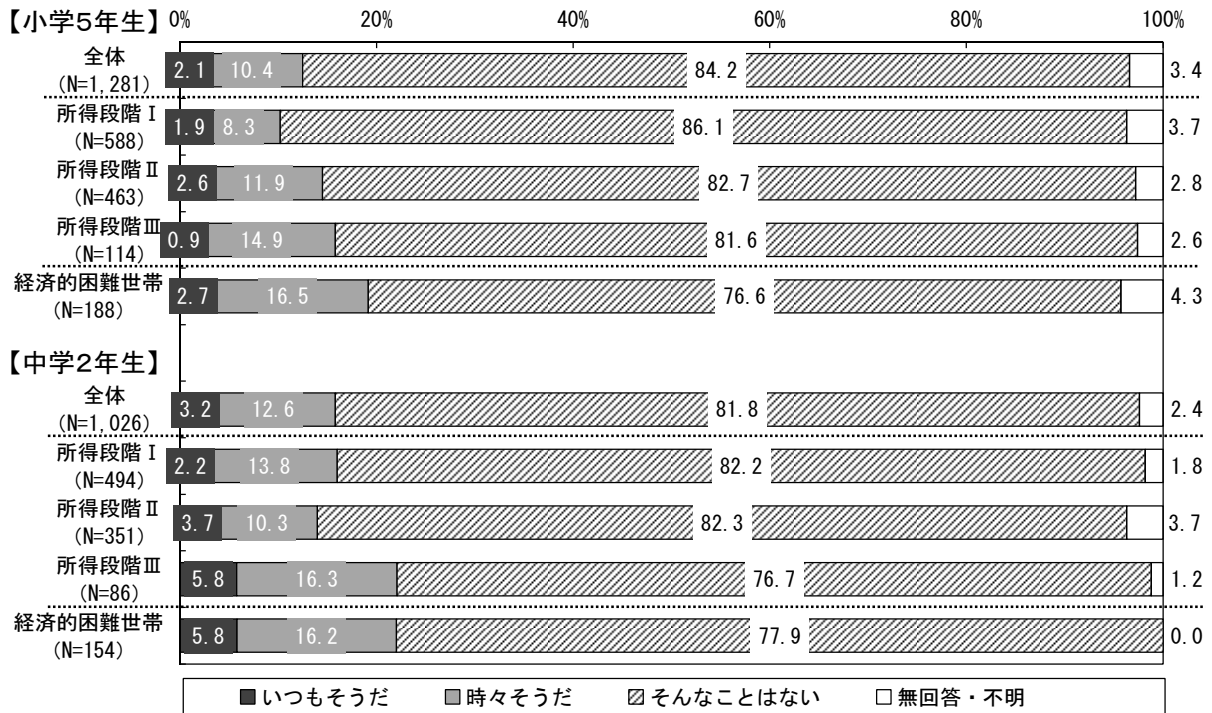
H 楽しく食事をとれた



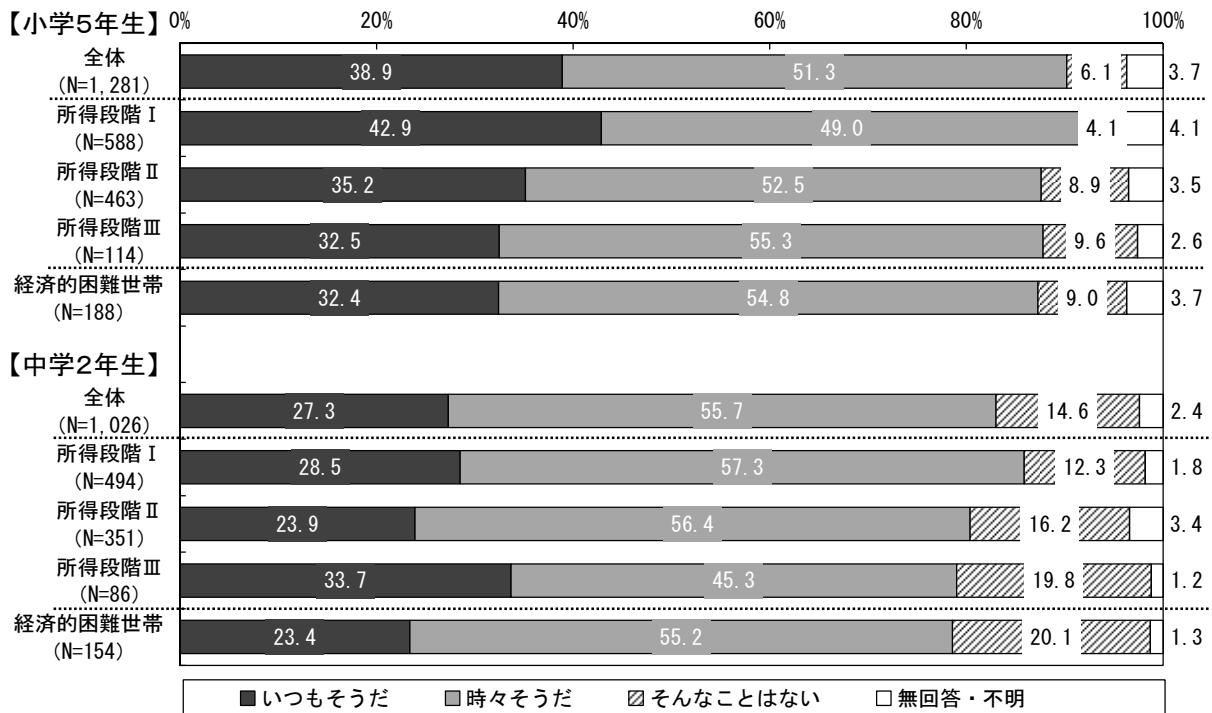
I 自分の気持ちを他の人に伝えられた



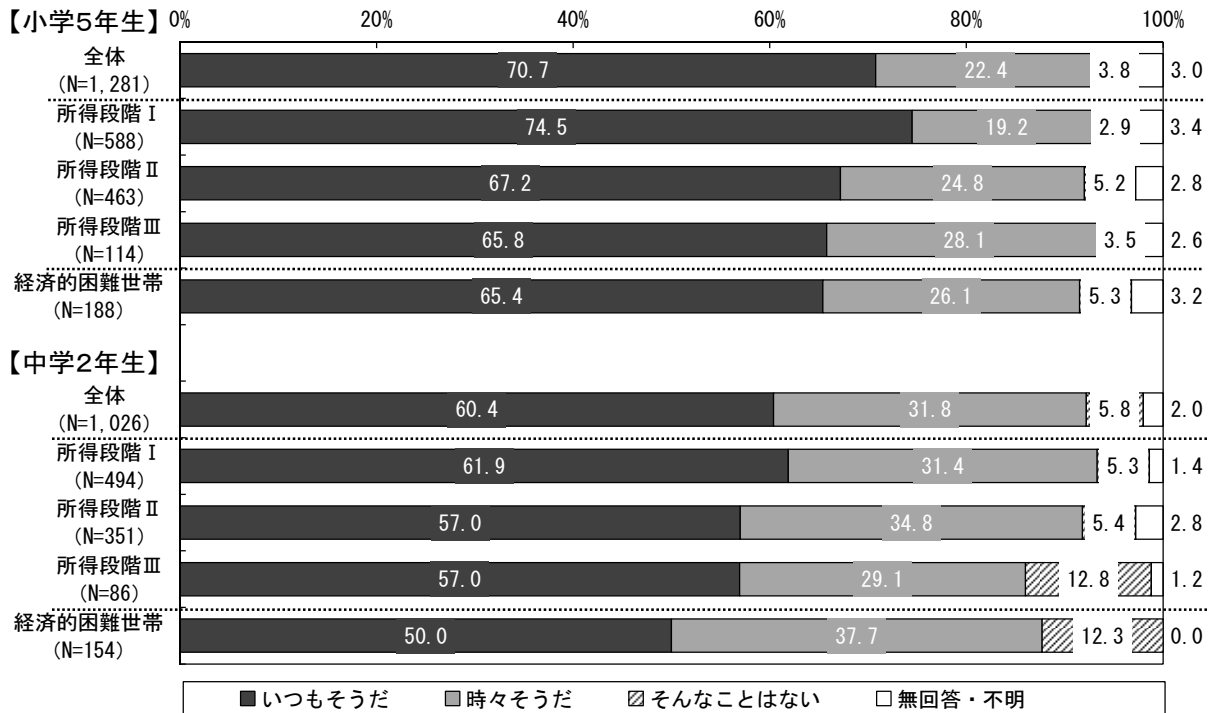
J 生きていても仕方がないと思った



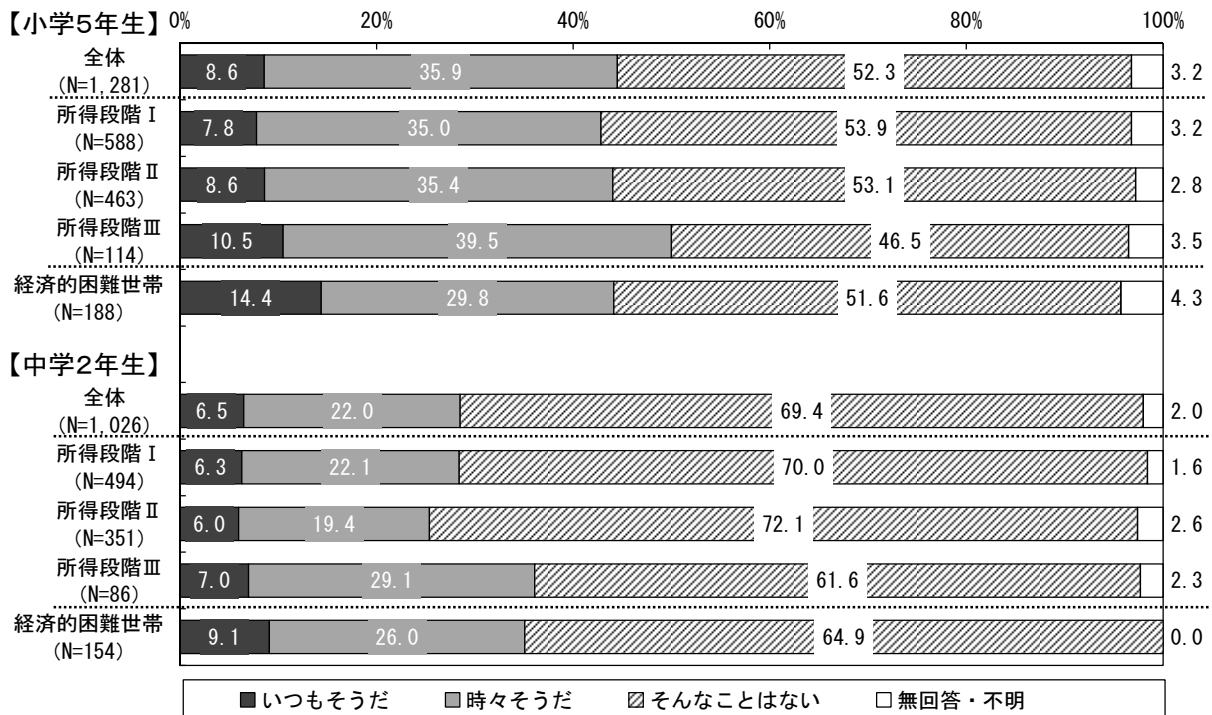
K やろうと思ったことがうまくできた



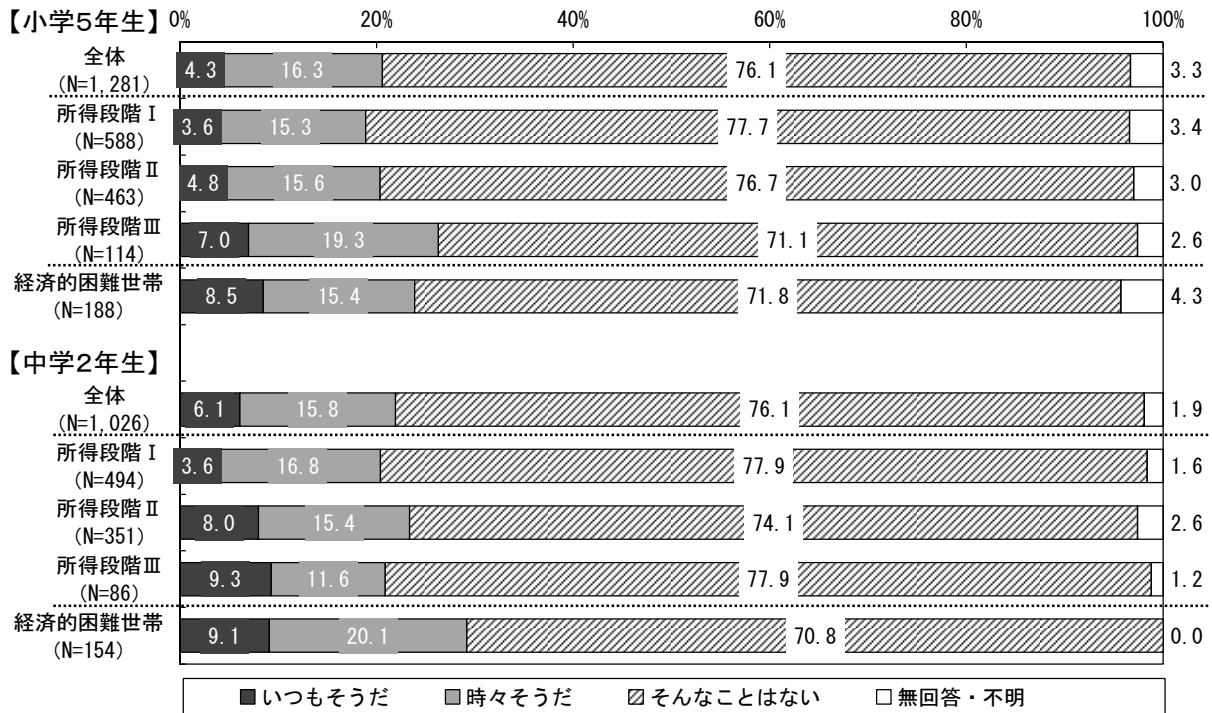
L 楽しく家族と話をした



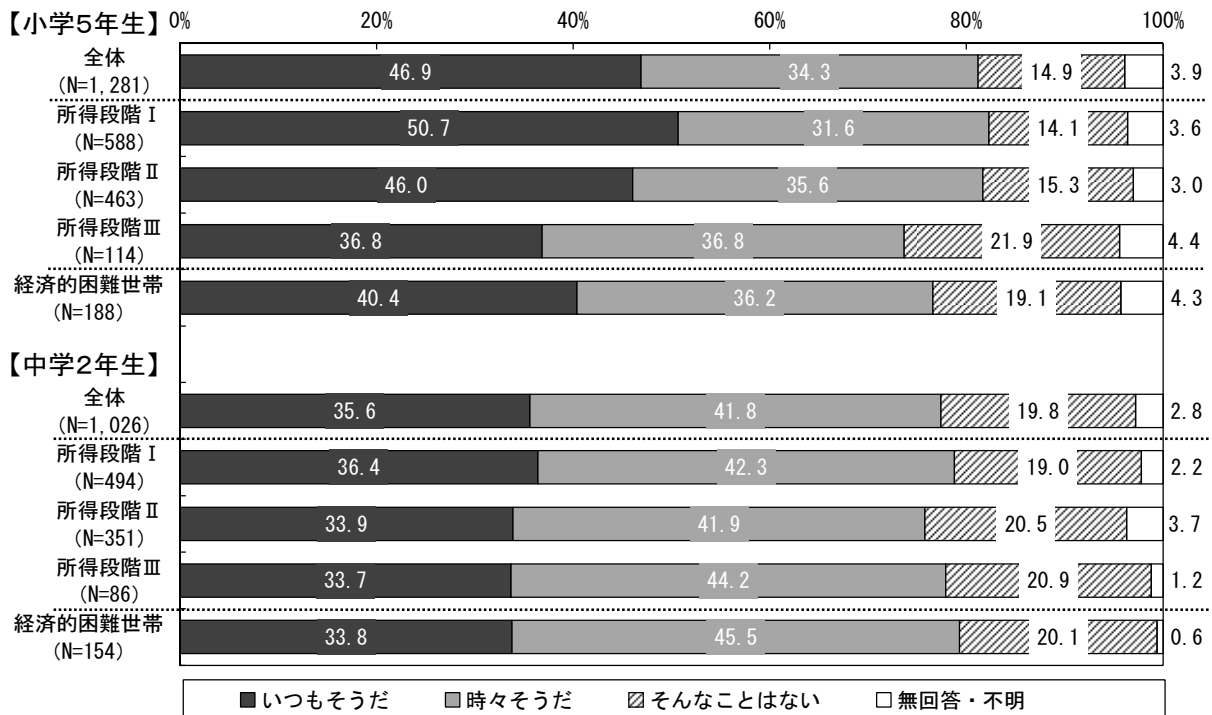
M こわい夢を見た



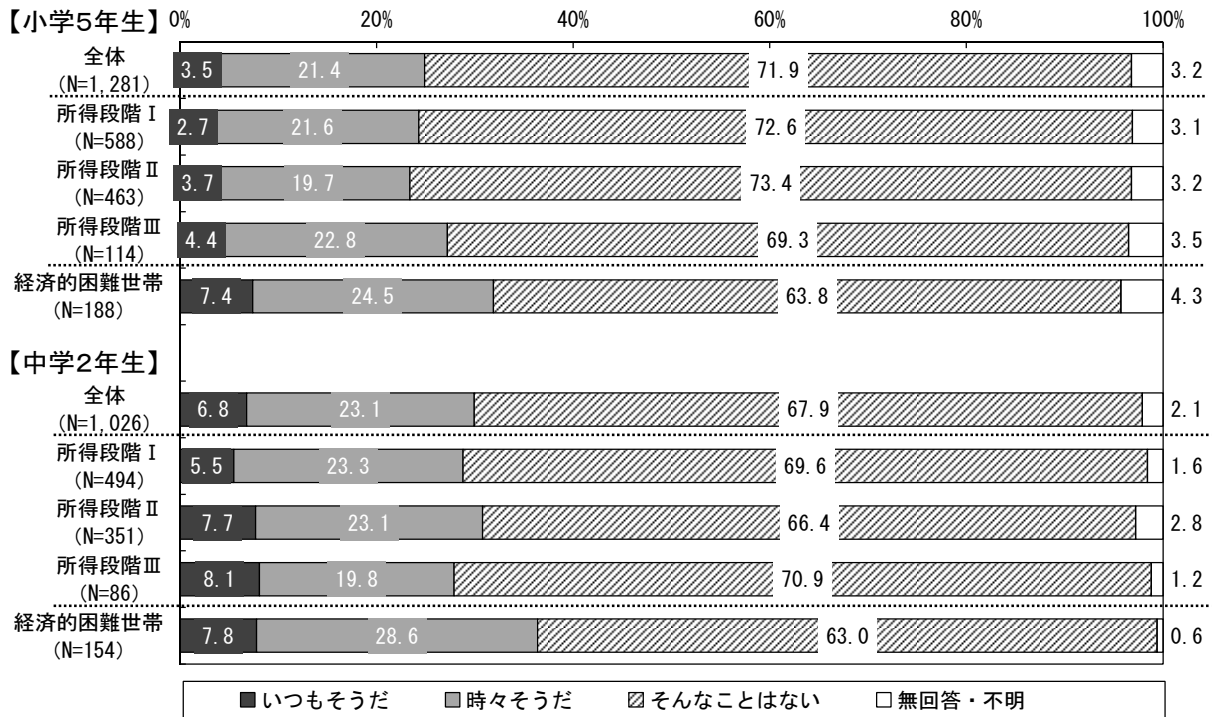
N 独りぼっちな気がした



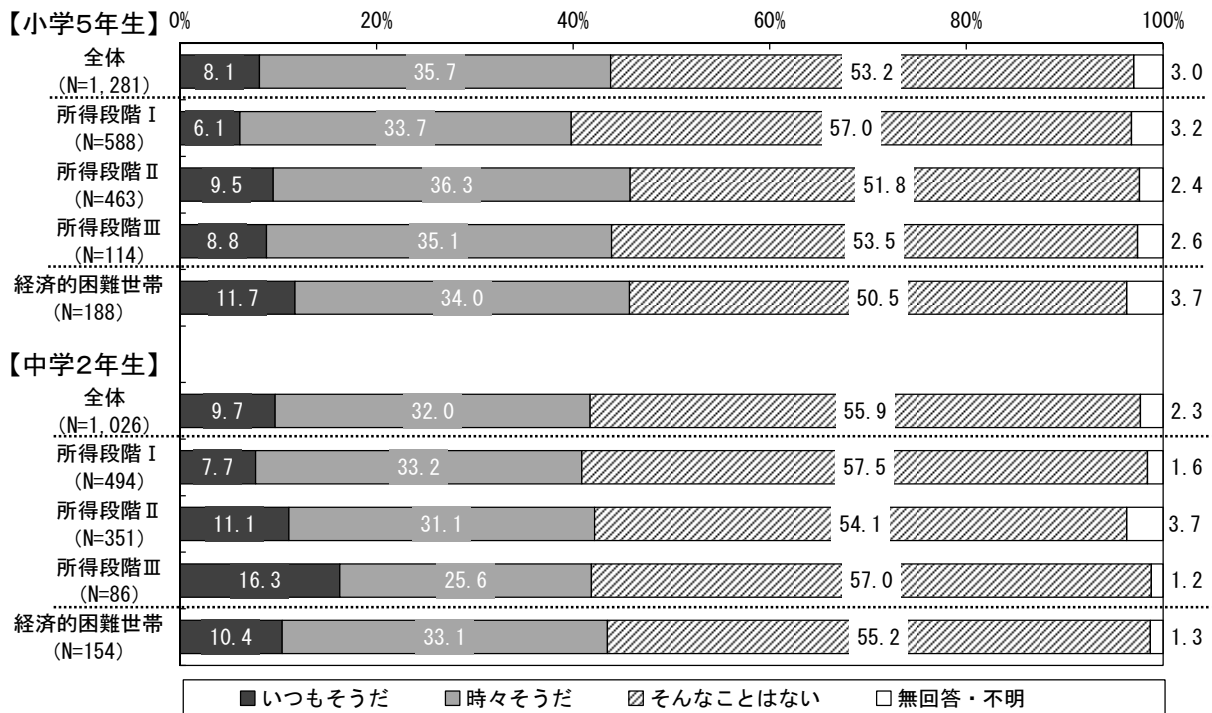
O 落ち込んでいてもすぐに元氣になれた



P とてもつらい気がした

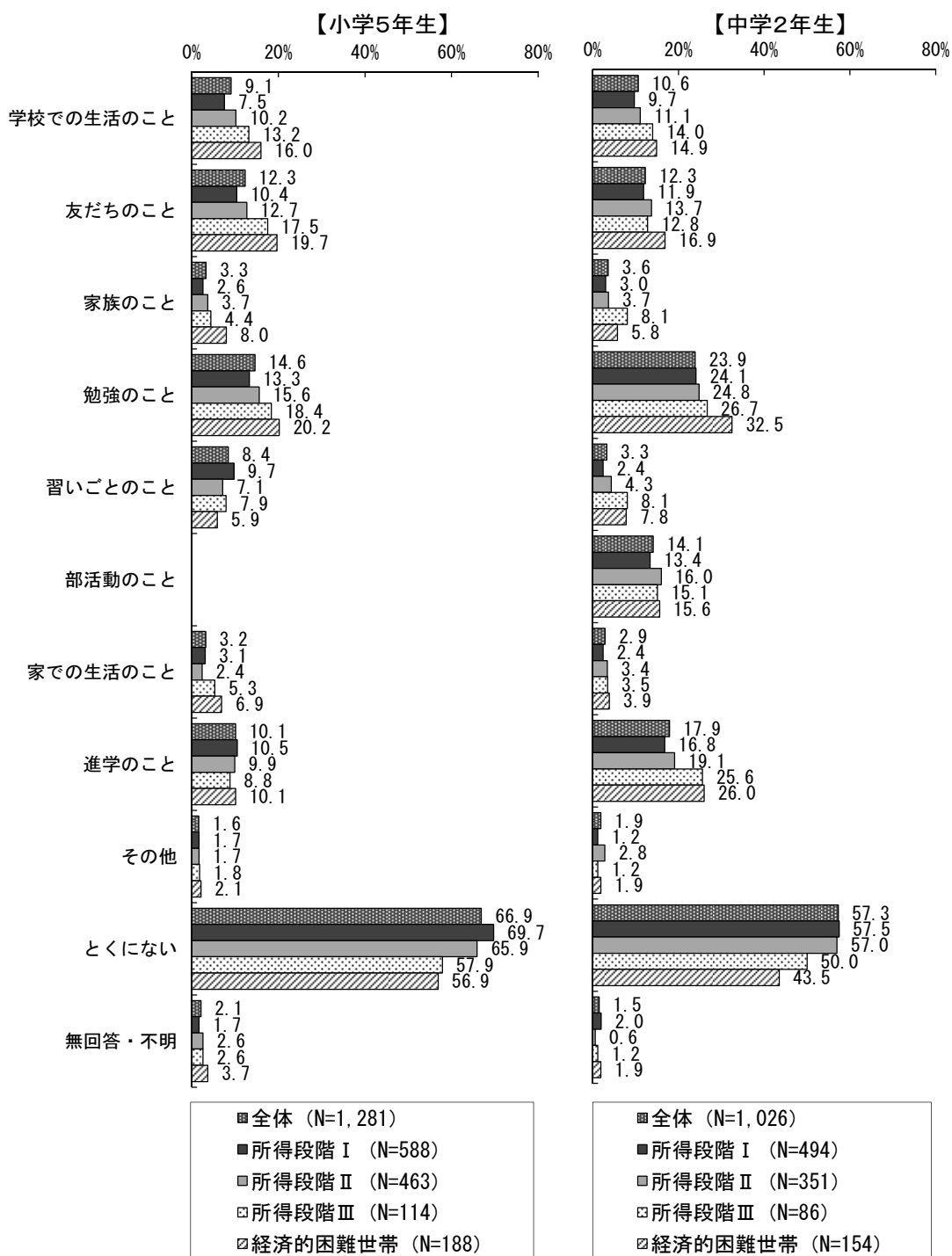


Q とても退屈な気がした



問 39 あなたには、いま悩んでいることや心配なこと、困っていること、だれかに相談したいと思っていることがありますか。【複数回答】

所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では「とくにない」が少なく、悩みや心配ごとの回答が多くなっています。特に中学2年生では、「家族のこと」「習いごとのこと」「進学のこと」で全体との差が大きくなっています。

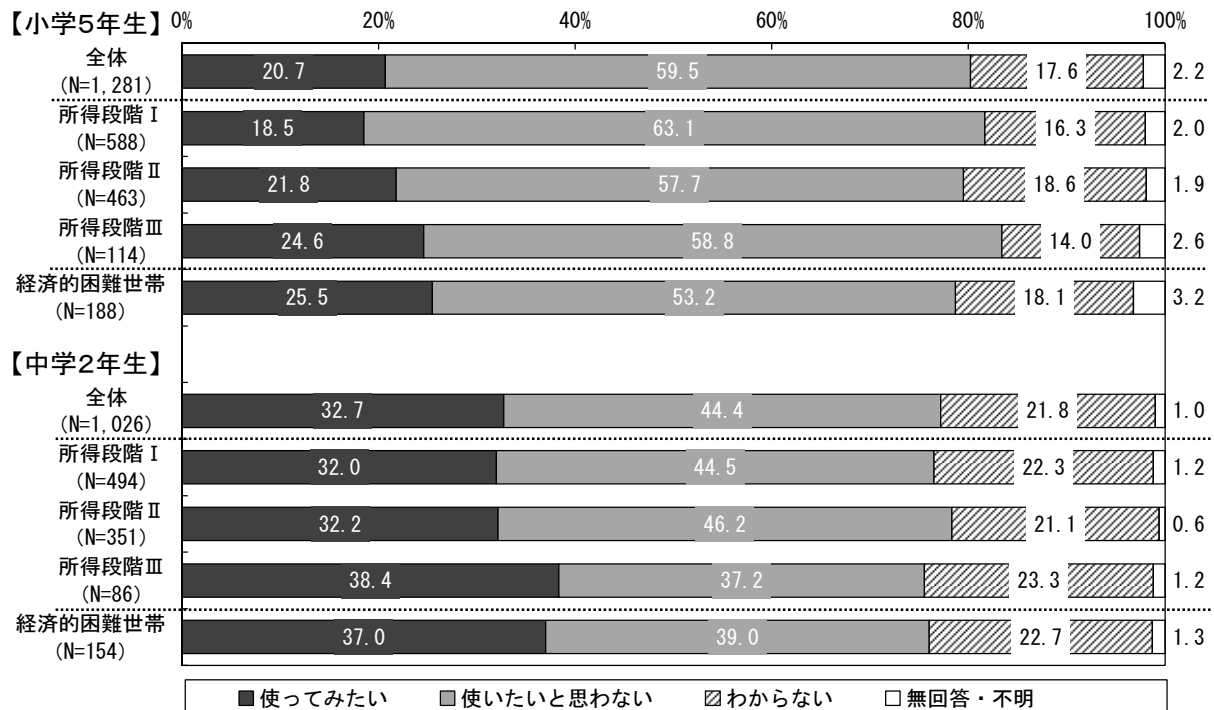


問 40 あなたは、次のような場所があれば使ってみたいと思いますか。

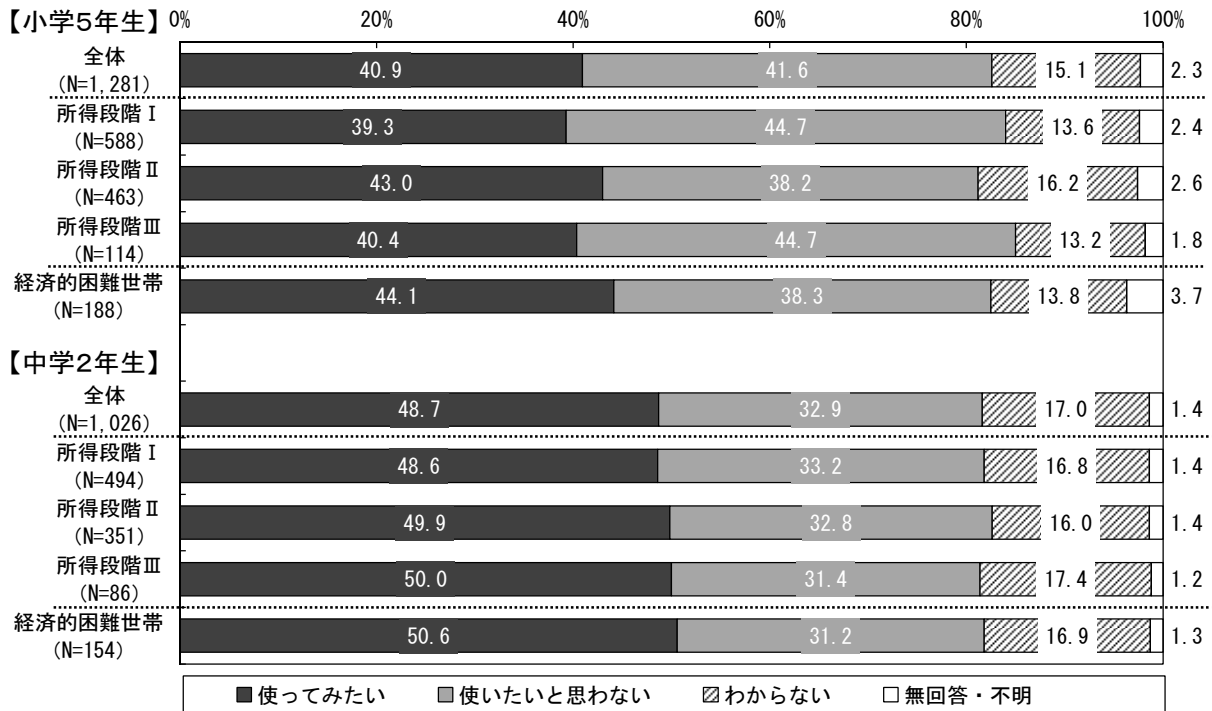
所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では「(家以外で) 平日の放課後に夜までいることができる場所」「家の人がないとき、夕ごはんをみんなで食べることができる場所」について、「使ってみたい」がやや多くなっています。

一方で「家で勉強できないとき、勉強ができる場所」については中学2年生で「使ってみたい」が少なくなっています。

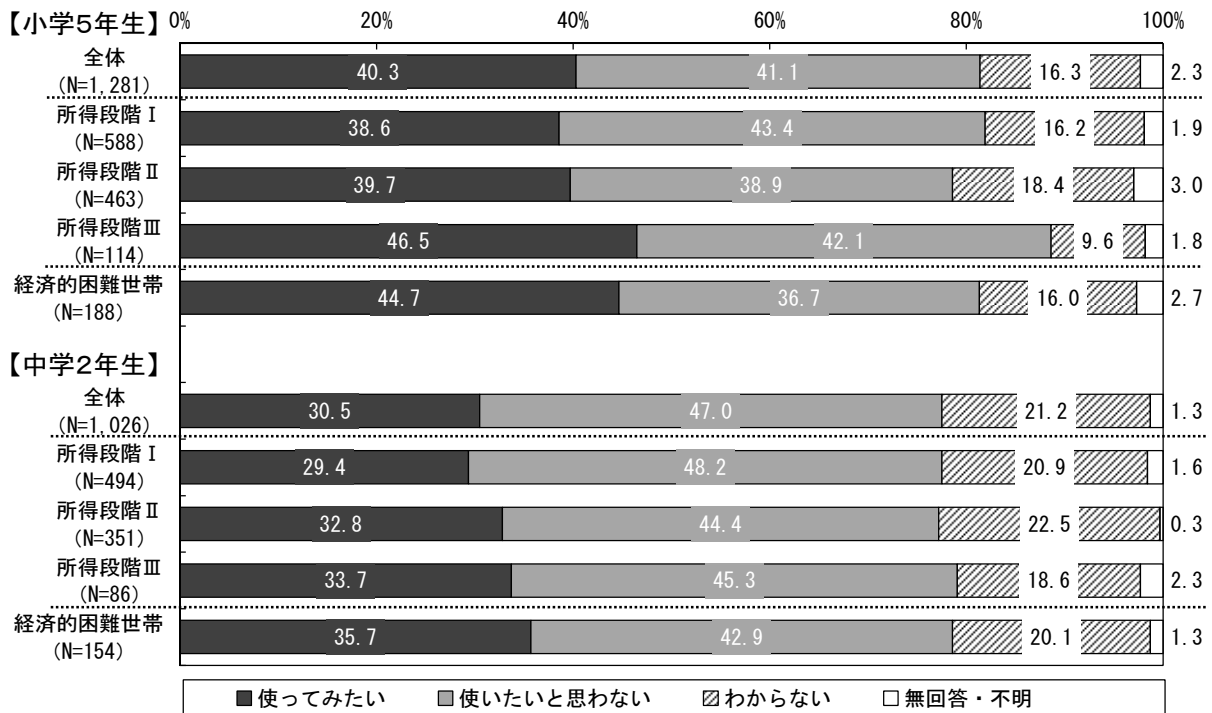
A (家以外で) 平日の放課後に夜までいることができる場所



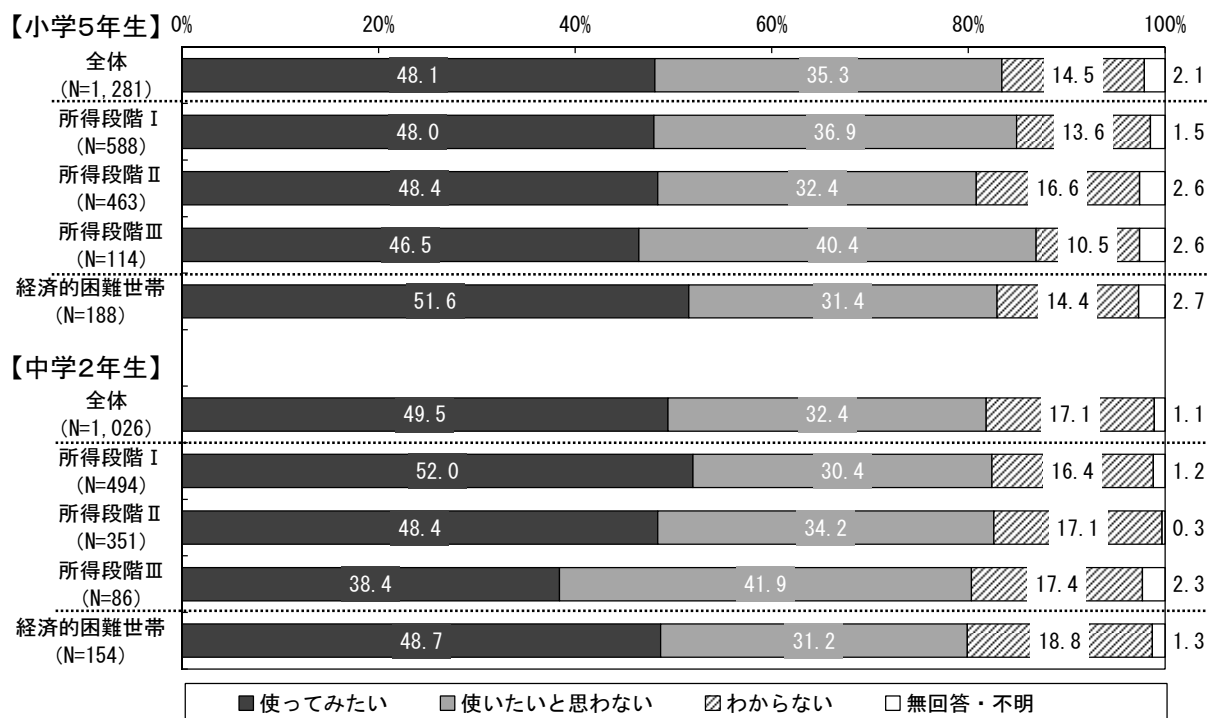
B (家以外で) 休日にいることができる場所



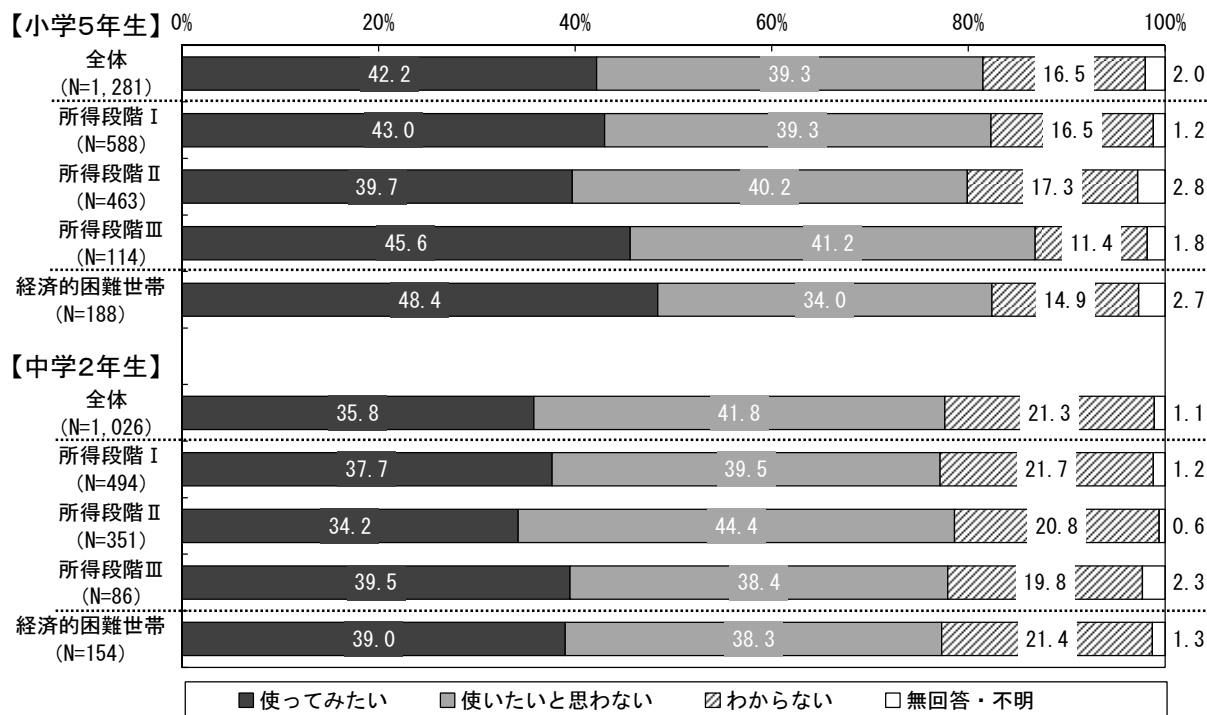
C 家の人がないとき、夕ごはんをみんなで食べることができる場所



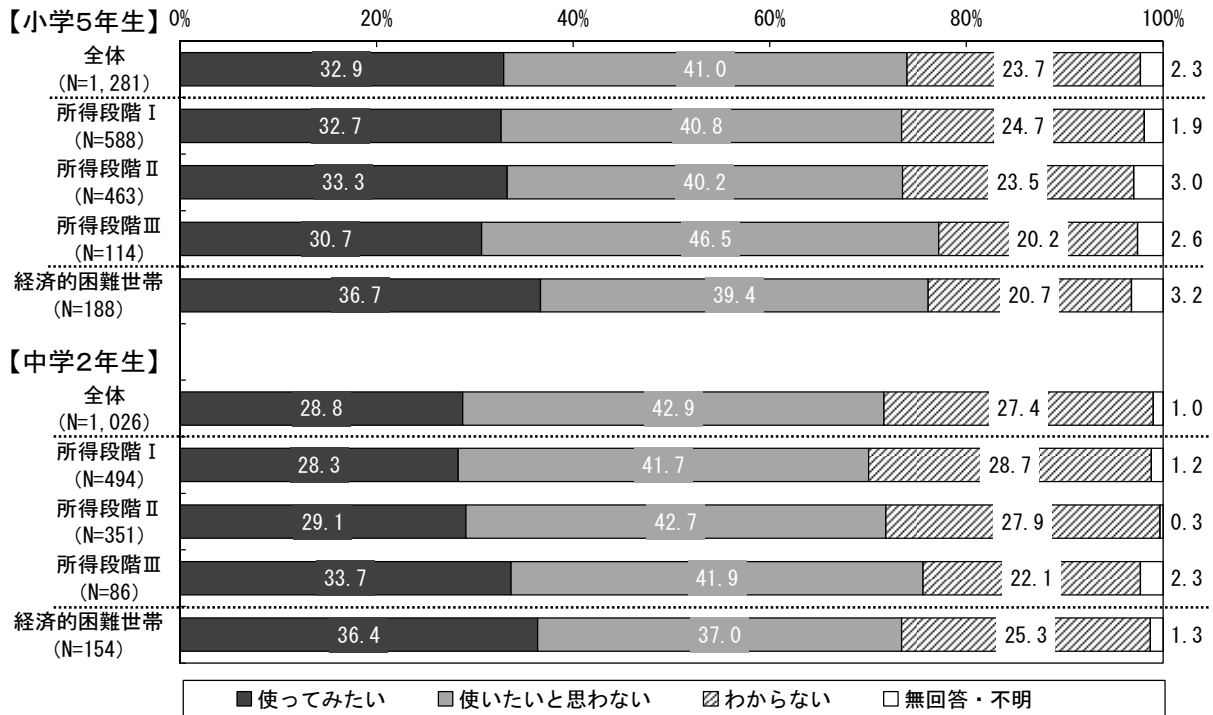
D 家で勉強できないとき、勉強ができる場所



E 大学生のお兄さんやお姉さん、地域の人などが、勉強を無料で教えてくれる場所



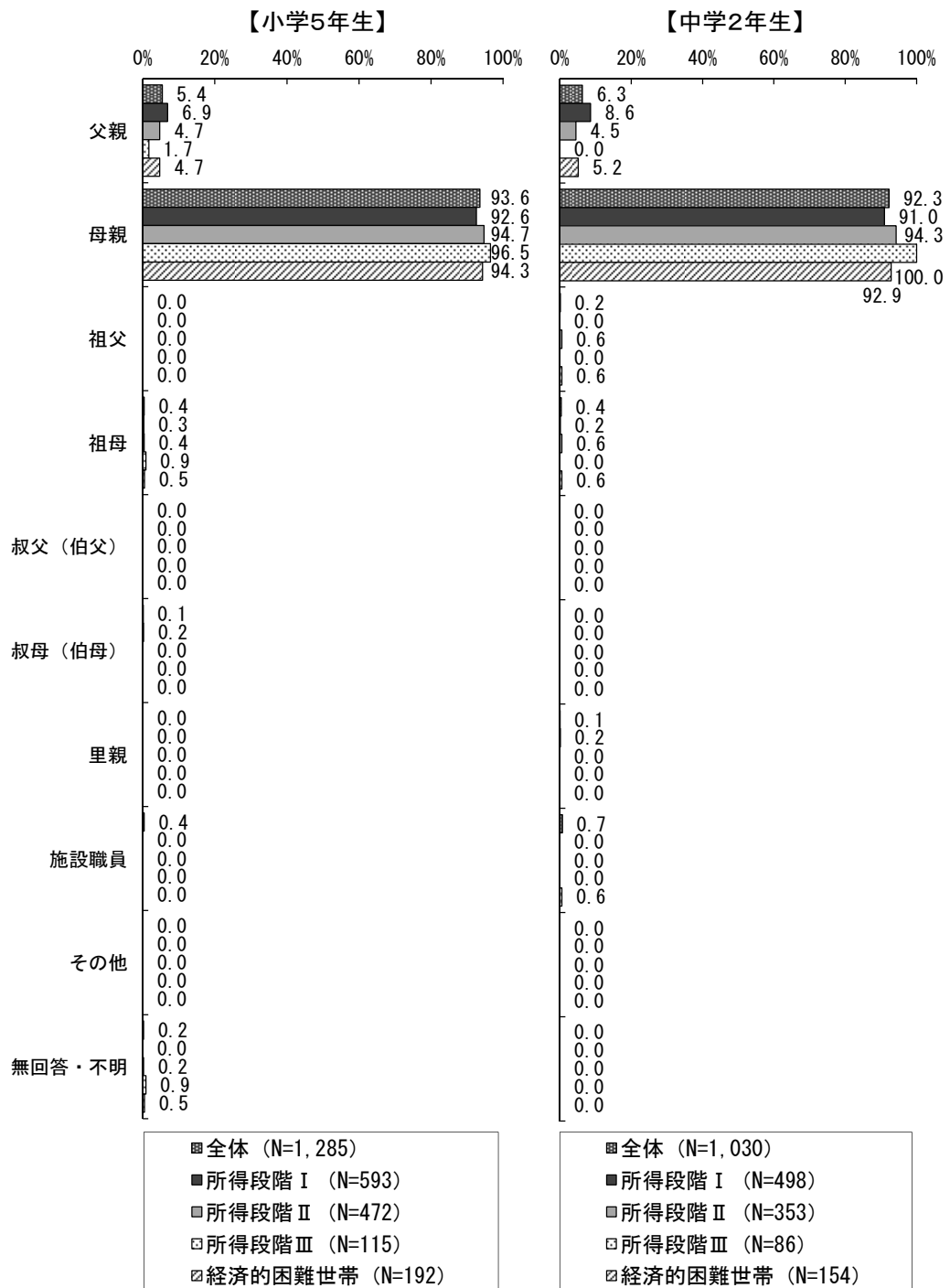
F (学校以外で) なんでも相談できる場所



3. 保護者調査の結果

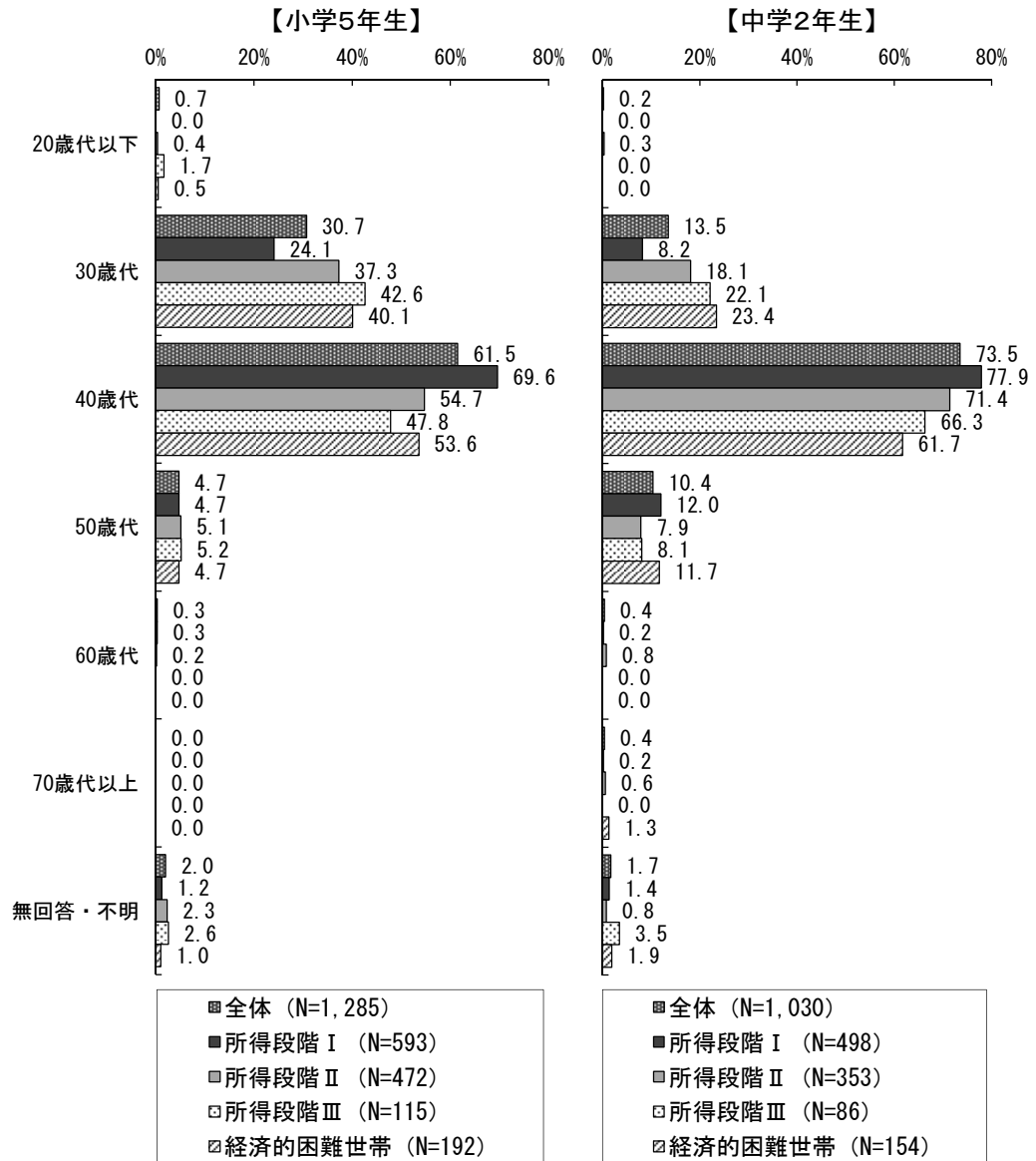
問2 この調査票を持ち帰ったお子さんとあなた（回答者）との関係は、次のどれになりますか。

回答者は「母親」が9割以上を占めています。



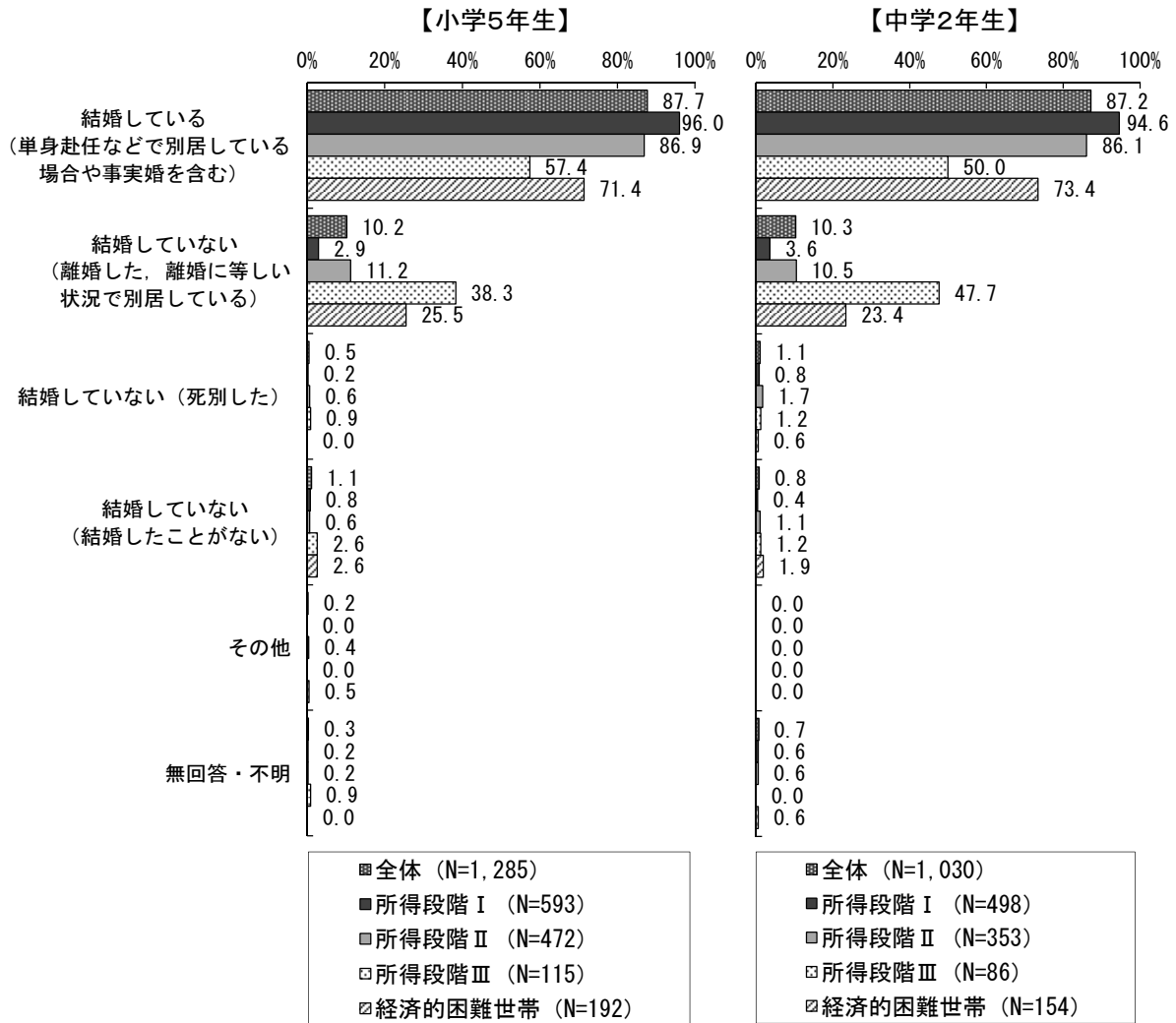
問3 あなたの年齢を教えてください。

保護者の年齢は、40歳代が最も多くなっています。所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では、保護者の年齢がやや若い傾向です。



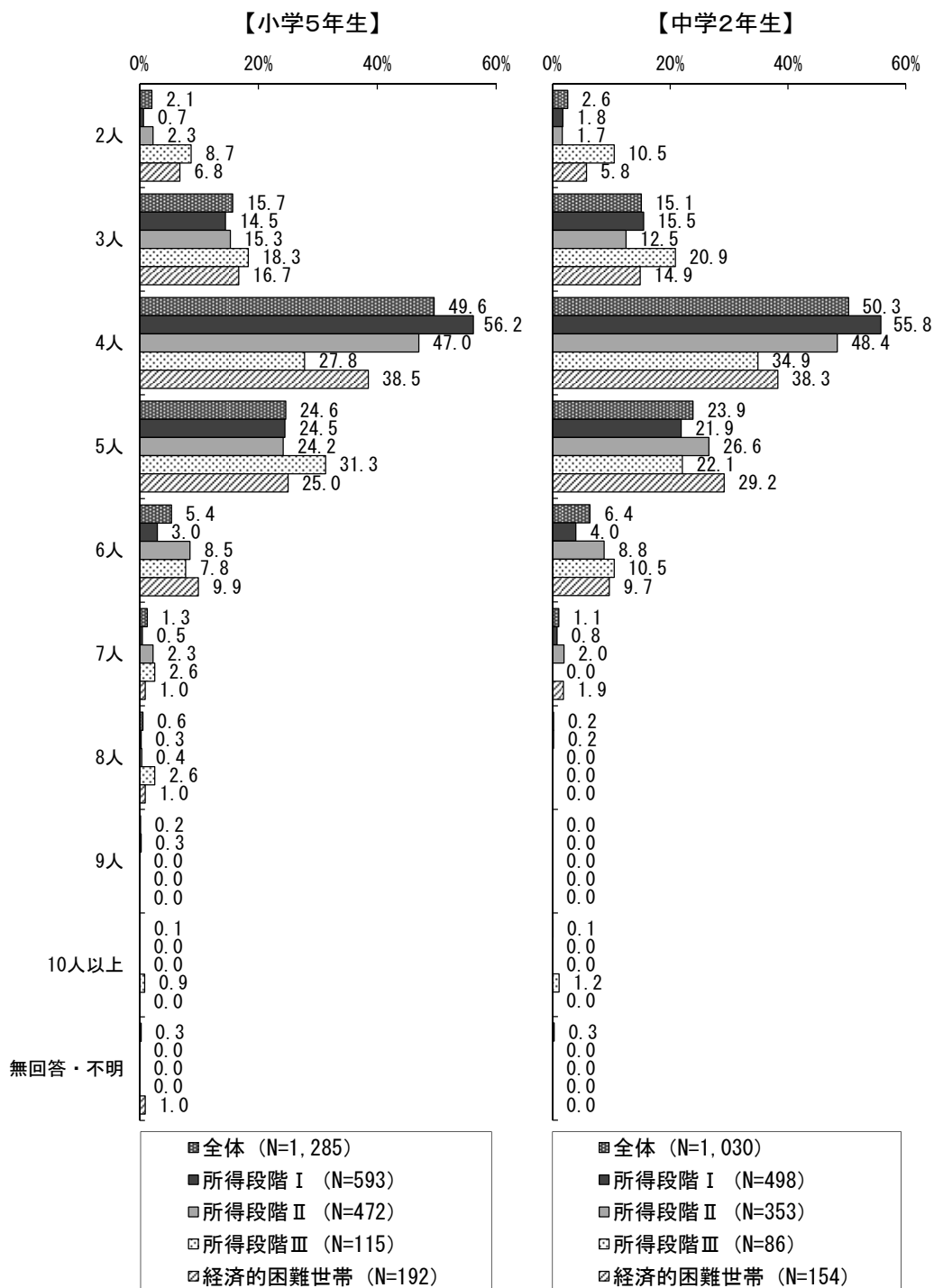
問4 お子さんの、現在のご両親の関係を教えてください。

所得段階Ⅲでは、両親が「結婚していない（離別・死別・未婚）」割合が高く、小学5年生で約4割、中学2年生で約5割となっています。



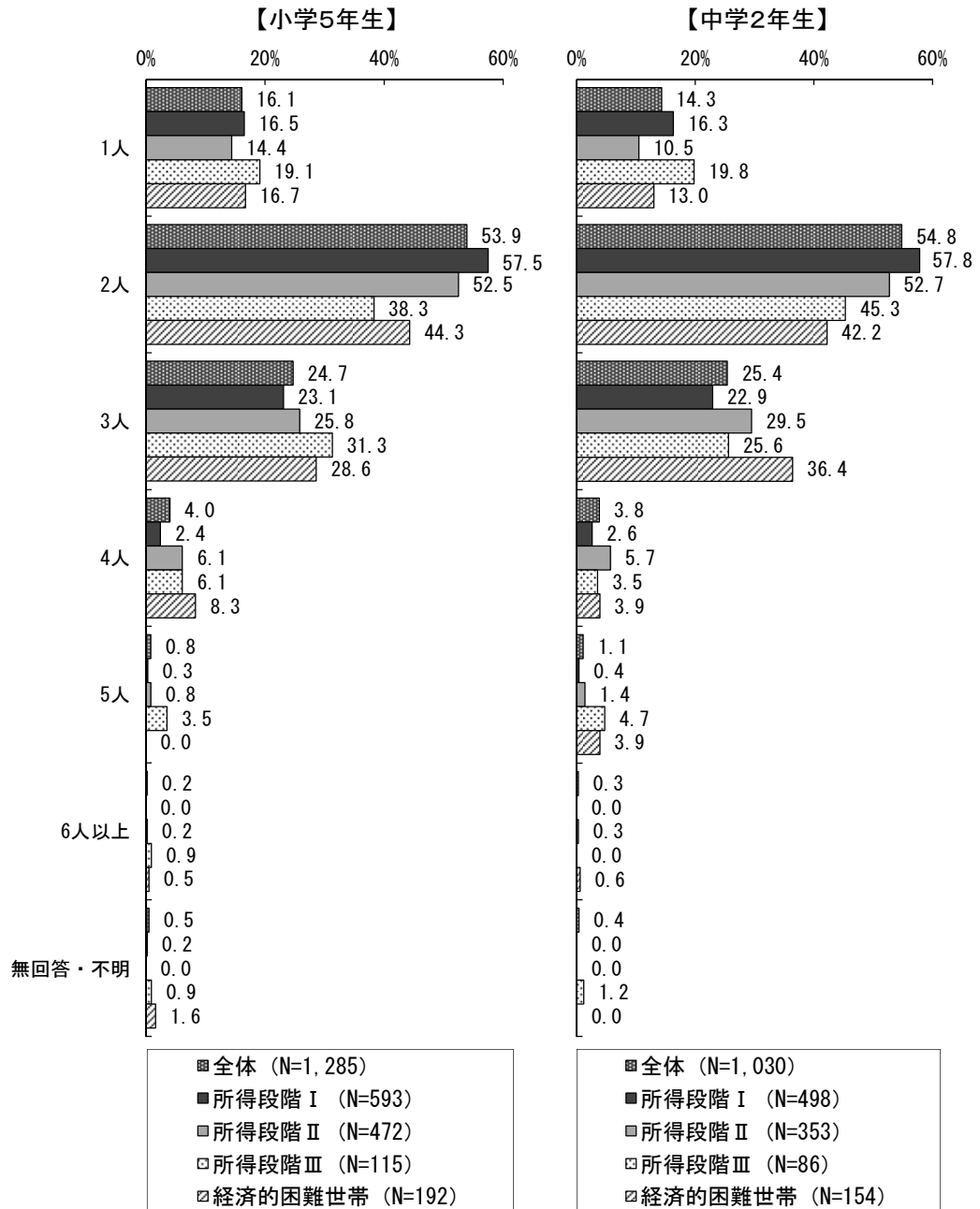
問5 あなたの家族は何人家族ですか。単身赴任や入院・入所の方，大学等で下宿して仕送りをしている子供など家計と一緒にしている人はすべて含めて教えてください（就職・結婚などで家を出て独立している子供（家計と一緒にしていない子供）は含めません）。

所得段階Ⅲではひとり親が多いこともあり、家族の人数が少ない傾向ですが、6人以上の世帯は多くなっています。



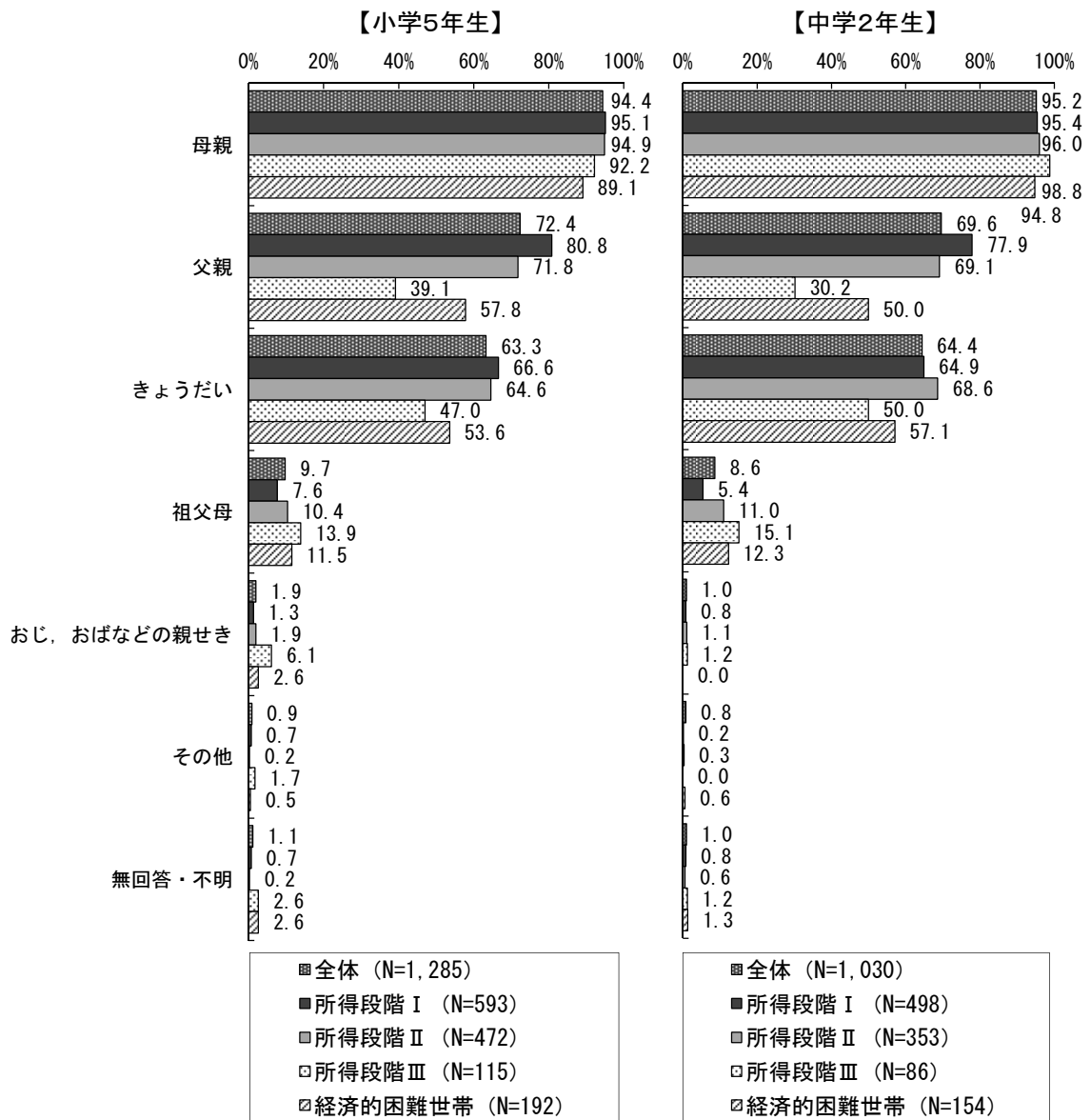
問6 お子さんは何人きょうだいですか。調査票を持ち帰ったお子さんも含めた人数をお答えください。

所得段階Ⅲでは、「2人」が少なく「1人」と「5人」がやや多くなっています。



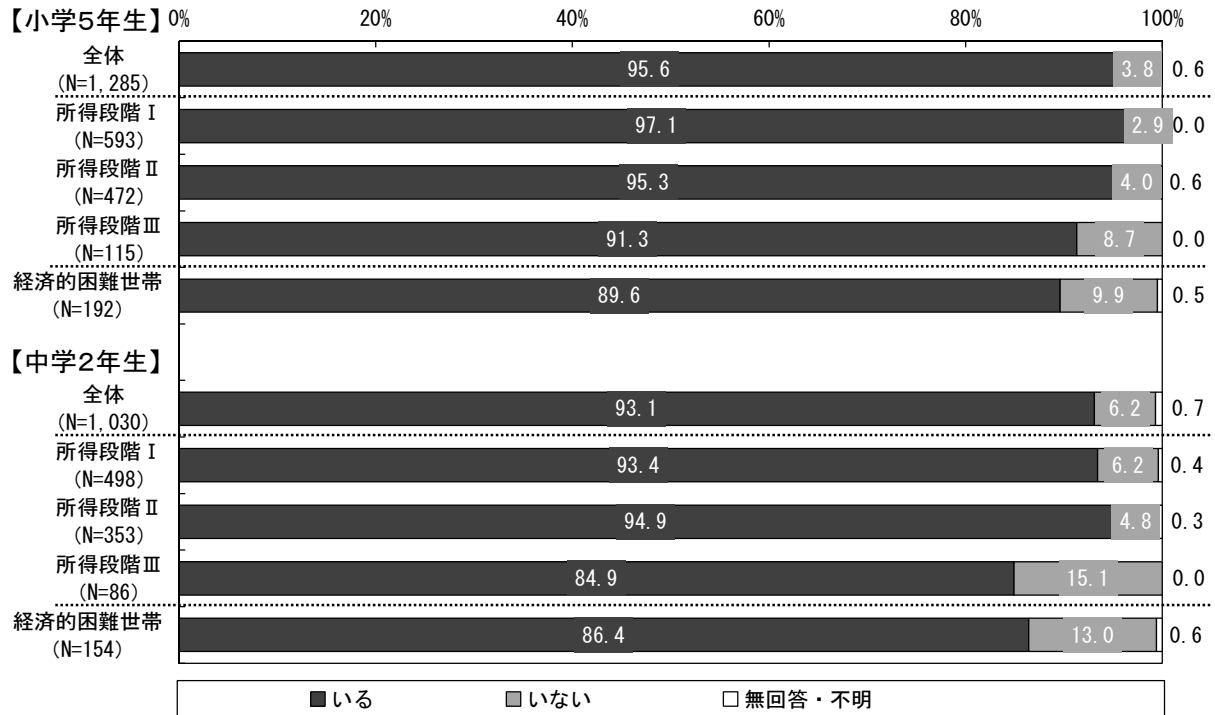
問7 あなたの家族に含まれるかた全員について、このアンケートを持ち帰ったお子さんからみた続柄を教えてください。【複数回答】

所得段階Ⅲでは、「父親」「きょうだい」が少なく、「祖父母」が多くなっています。



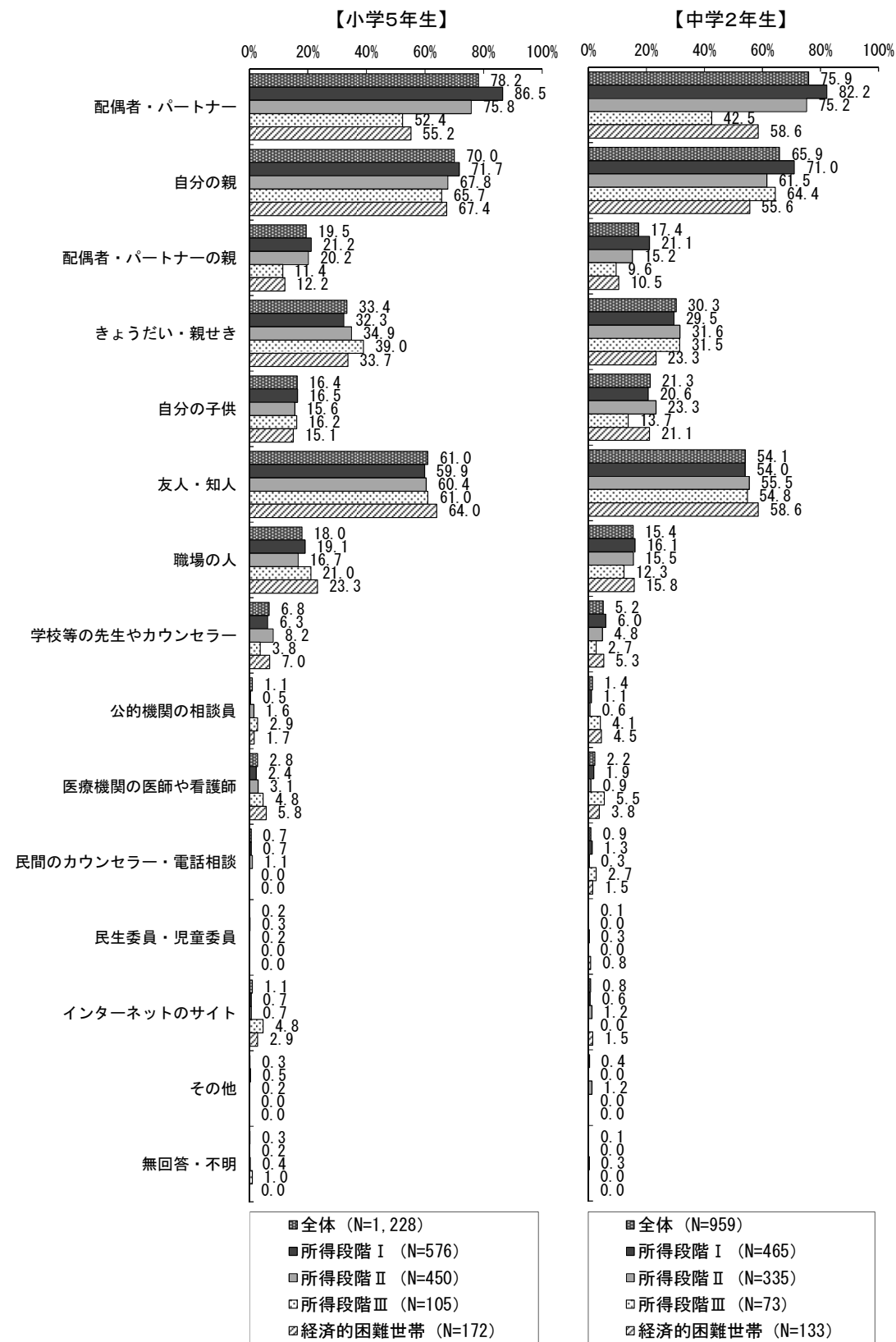
問8 あなたには、本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人がいますか。

所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では「いない」がやや多くなっています。相談できる人については、「配偶者・パートナー」「配偶者・パートナーの親」という回答が少なくなっています。



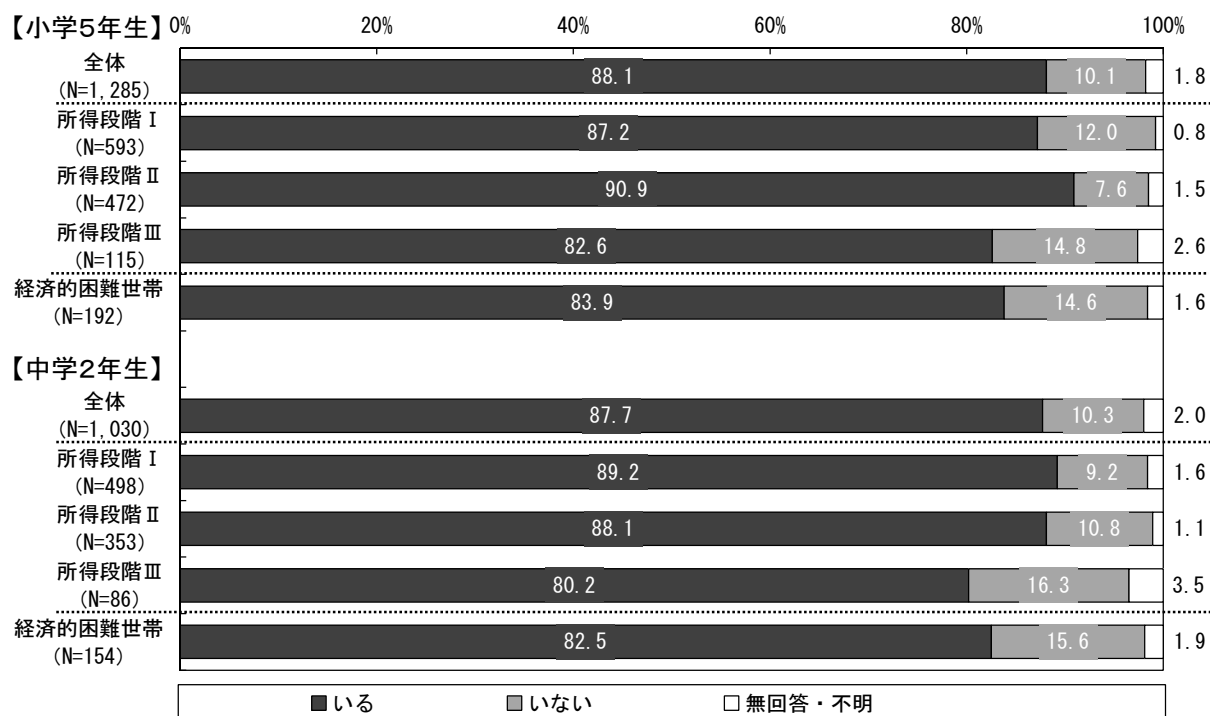
問8-1 (相談相手が「いる」と回答した人のみ)

相談できる相手はどんな人ですか。【複数回答】



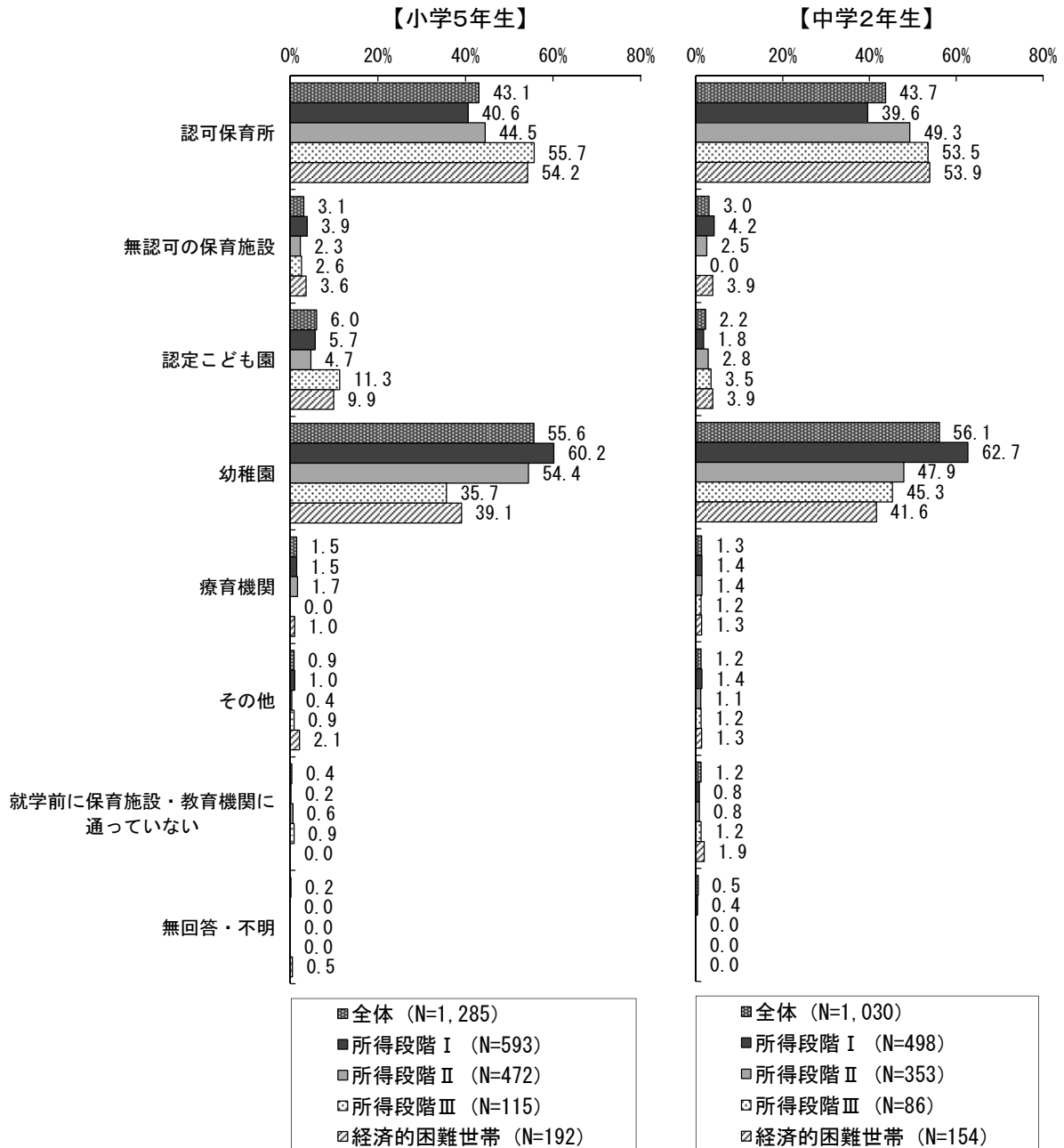
問9 あなたには、緊急時に子供を預かったり、助けてくれたりする人がいますか。

所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では「いない」がやや多くなっています。



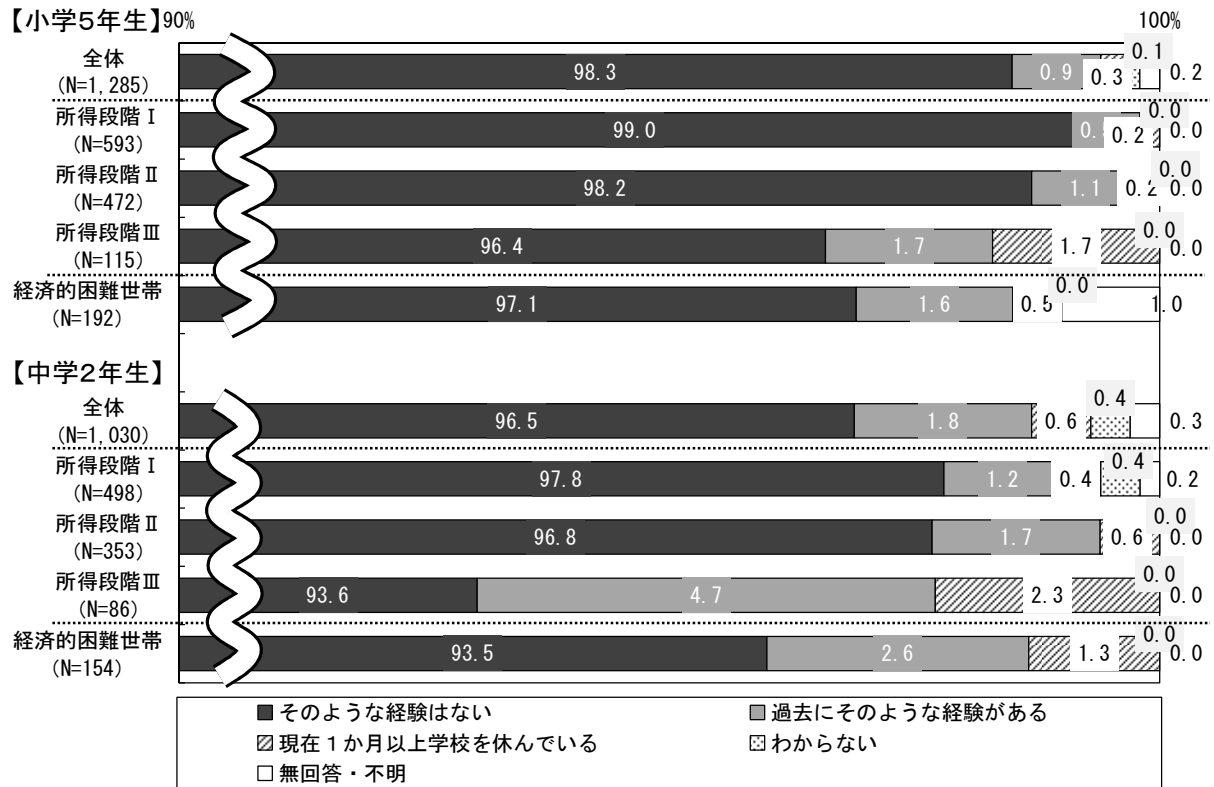
問 10 お子さんが就学前に通ったことのある保育施設・教育機関をすべてお答えください。【複数回答】

所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では「認可保育所」が多く、「幼稚園」が少なくなっています。



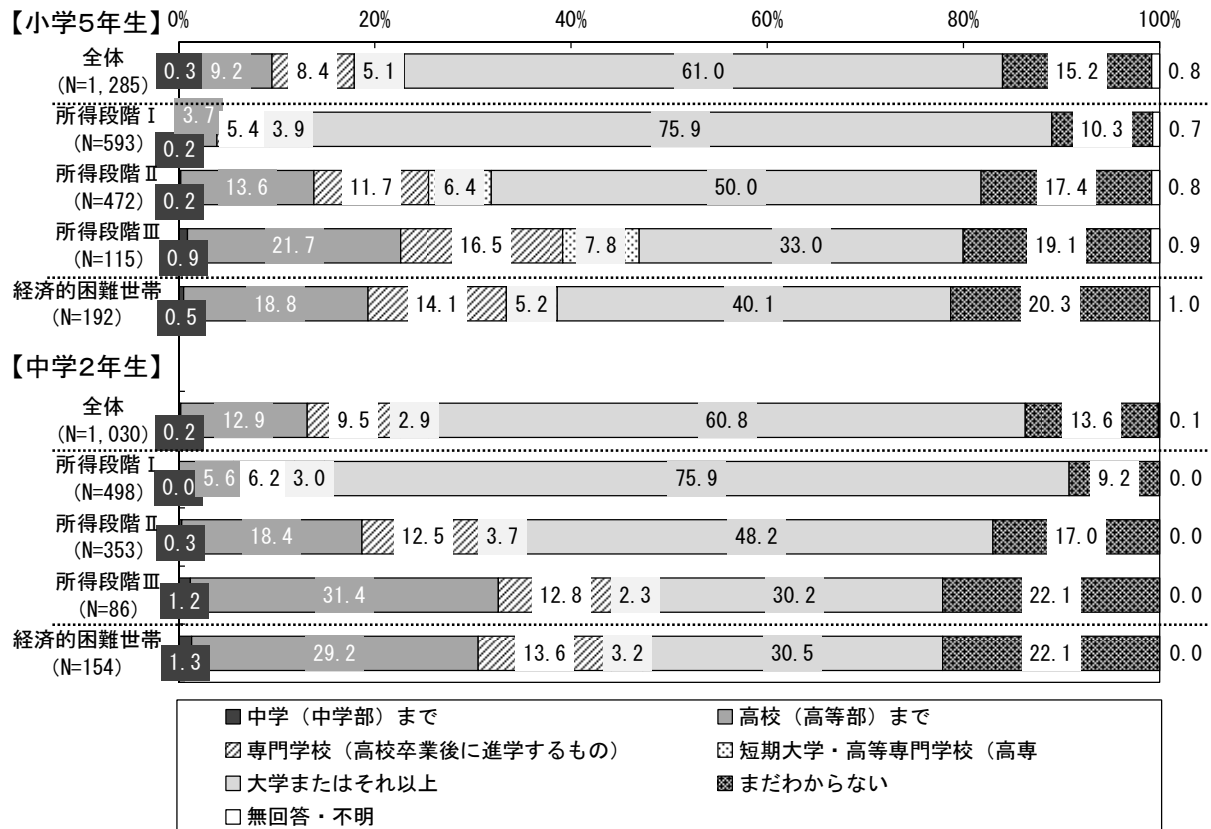
問 11 お子さんは、1か月以上学校を休んだことがありますか（病気やけがのときをのぞきます）。

所得段階Ⅲでは「過去にそのような経験がある」または「現在1か月以上学校を休んでいる」がやや多くなっています。



問 12 お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。あなたの
お考えにもっとも近いものに○をつけてください。

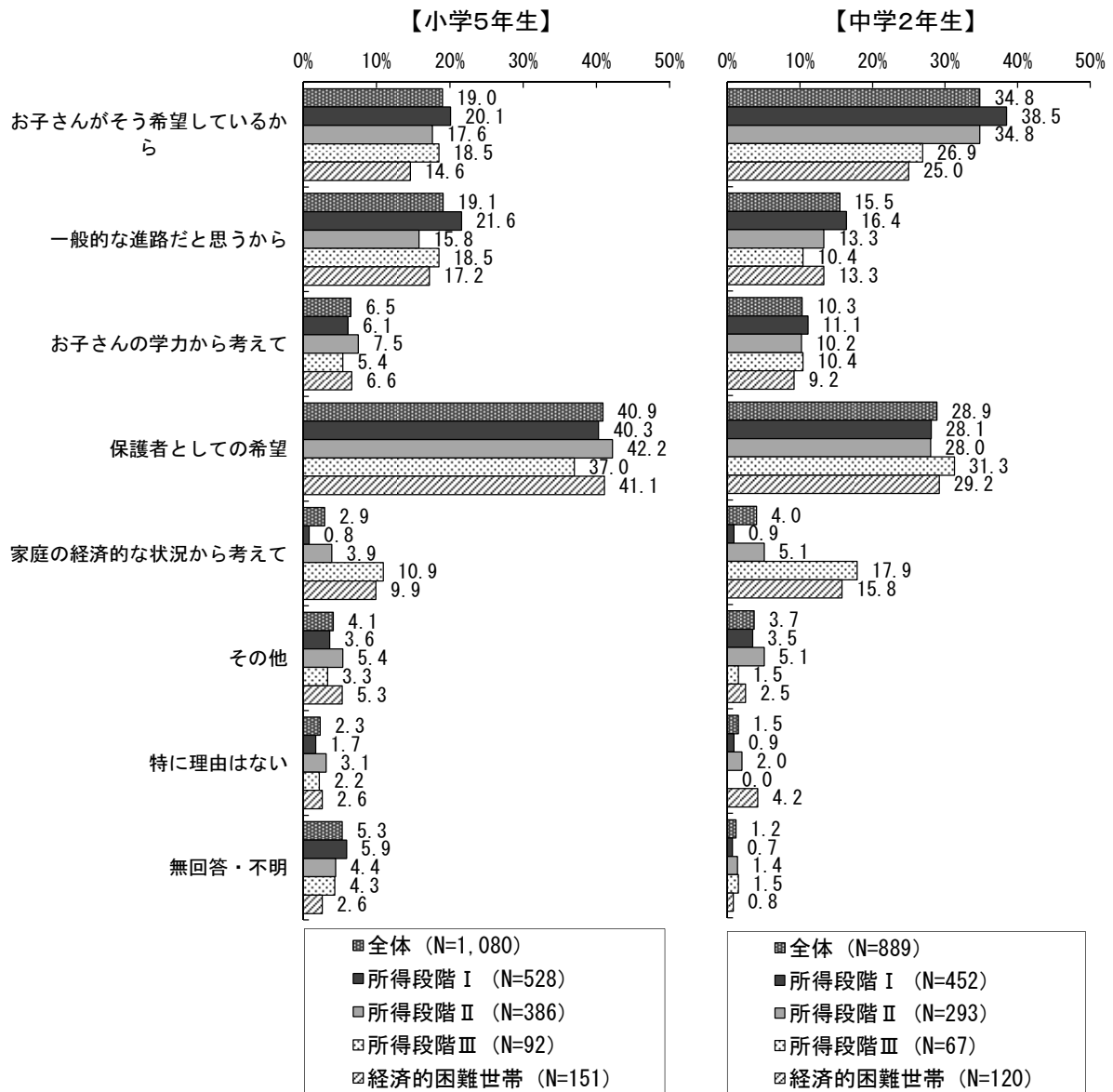
所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では「大学またはそれ以上」が少なく、「高校まで」「まだわからない」が多くなっています。



問 12-1 (進学希望について「わからない」以外を回答した人のみ)

その理由は、何ですか。理由として最も大きいものに○をつけてください。

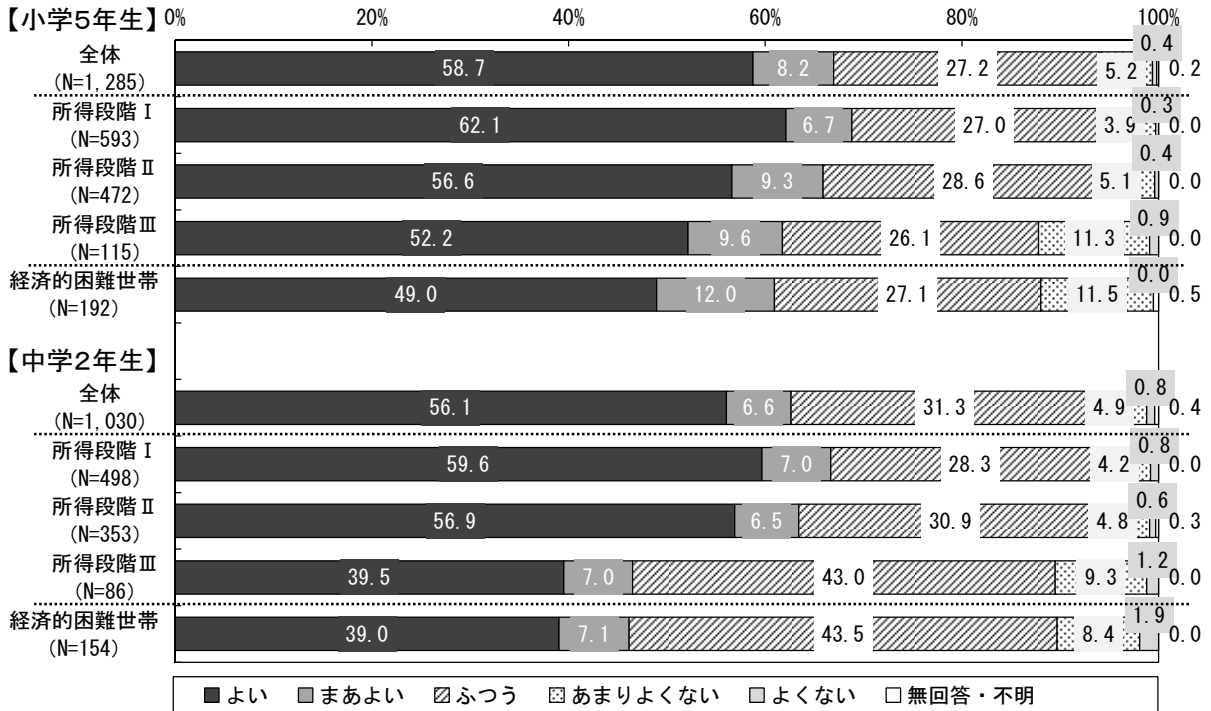
特に中学2年生の所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では、「家庭の経済的な状況から考えて」が多く、「お子さんがそう希望しているから」「一般的な進路だと思うから」が少なくなっています。



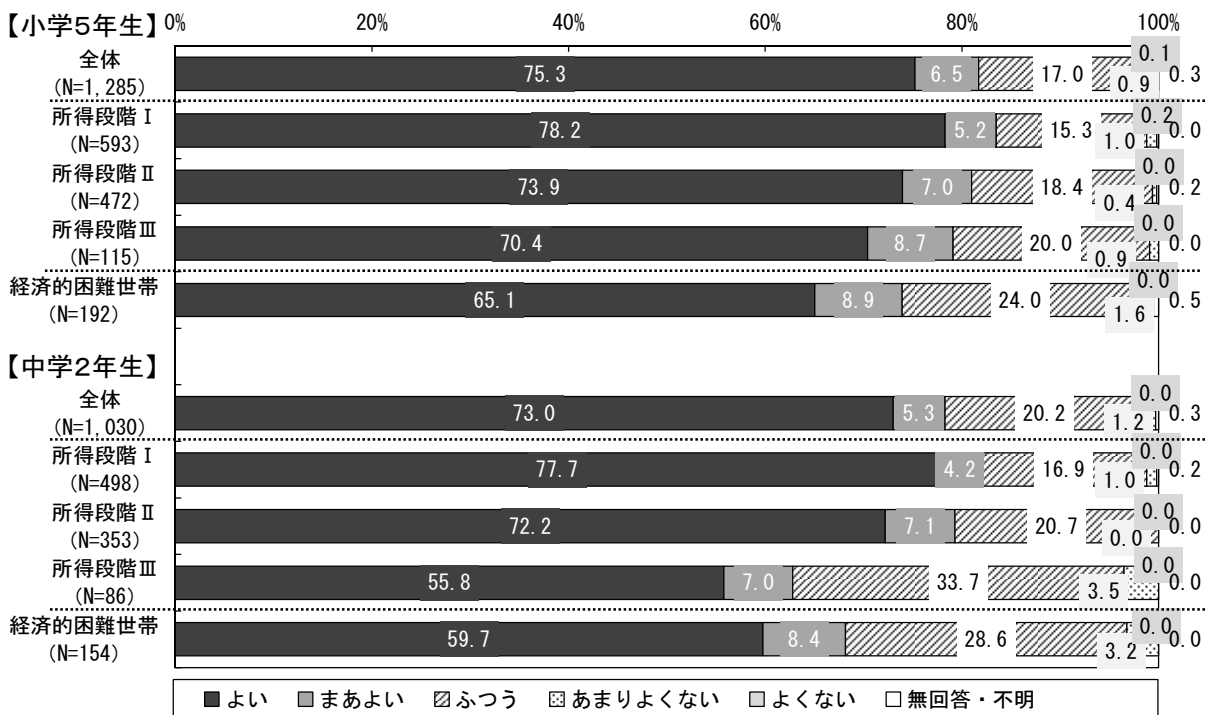
問 13 あなたとお子さんの健康状態についておうかがいします。それぞれ、最も近いものに○をつけてください。

所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では、保護者、子供ともに「よい」が少なくなっています。

保護者

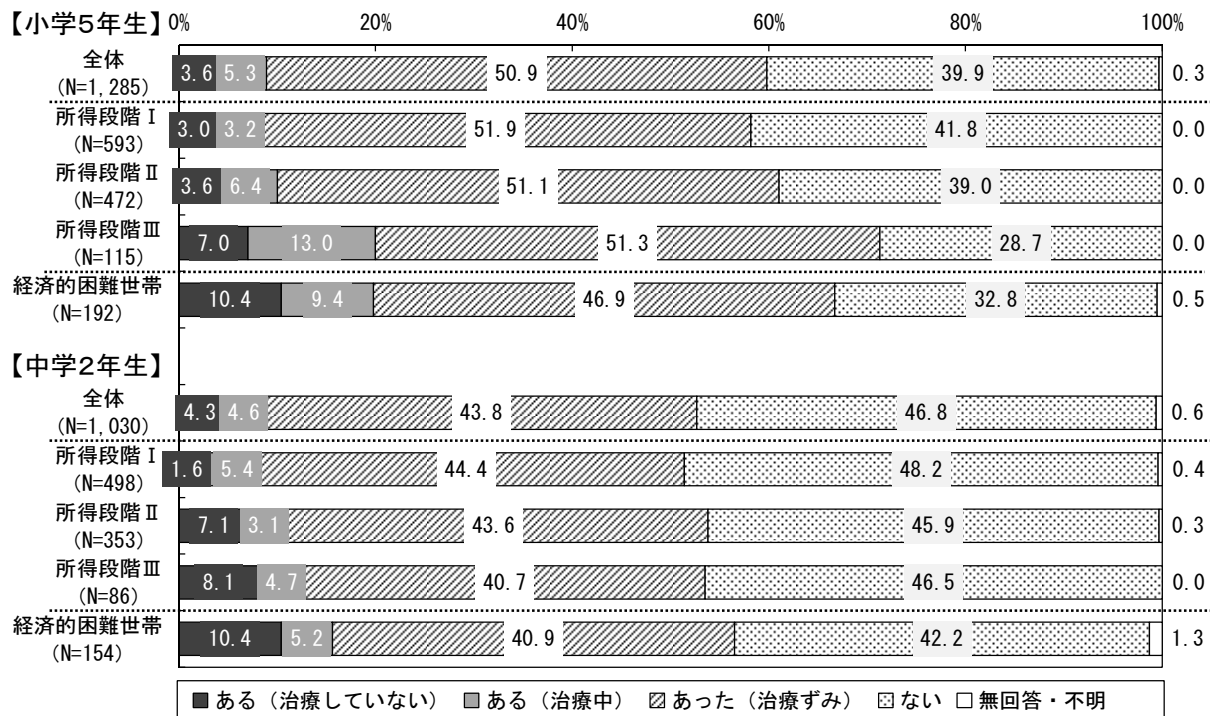


子供



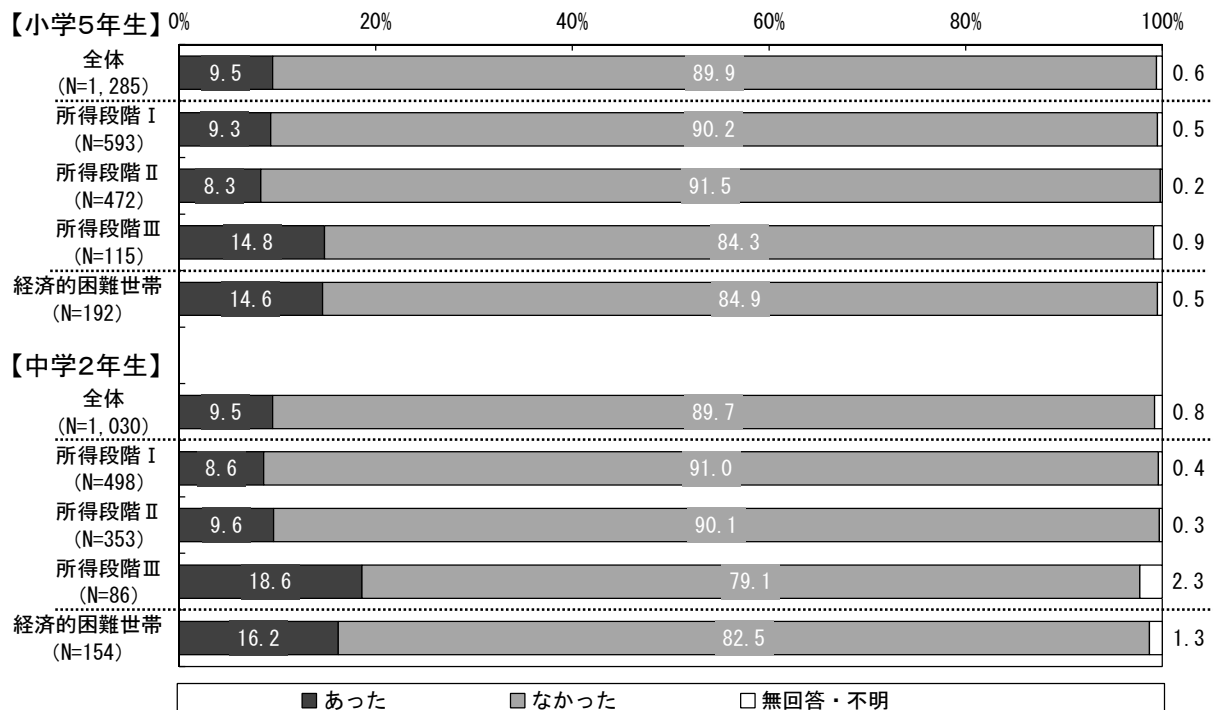
問 14 お子さんには虫歯がありますか。

所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では虫歯のある割合が高くなっています。



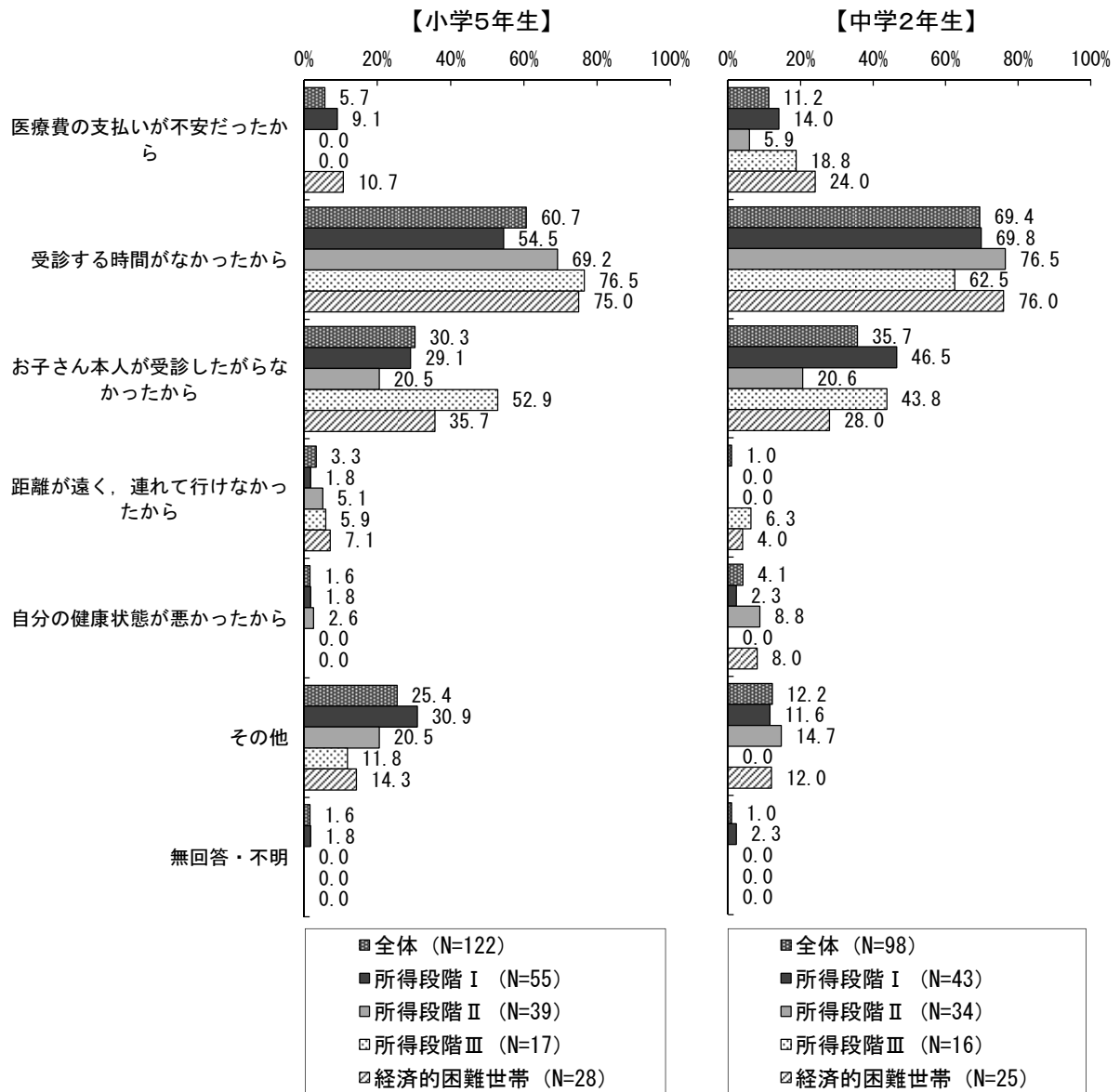
問 15 過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありますか。

所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では「あった」が多くなっています。またその理由として、「お子さん本人が受診しなかったから」が多くなっています。



問 15-1 (受診させた方がよいと思ったのに受診させなかった経験がある人のみ)

その理由は、何ですか。【複数回答】



問 16 お子さんの予防接種の受診状況について、もっとも近いものに○をつけてください。

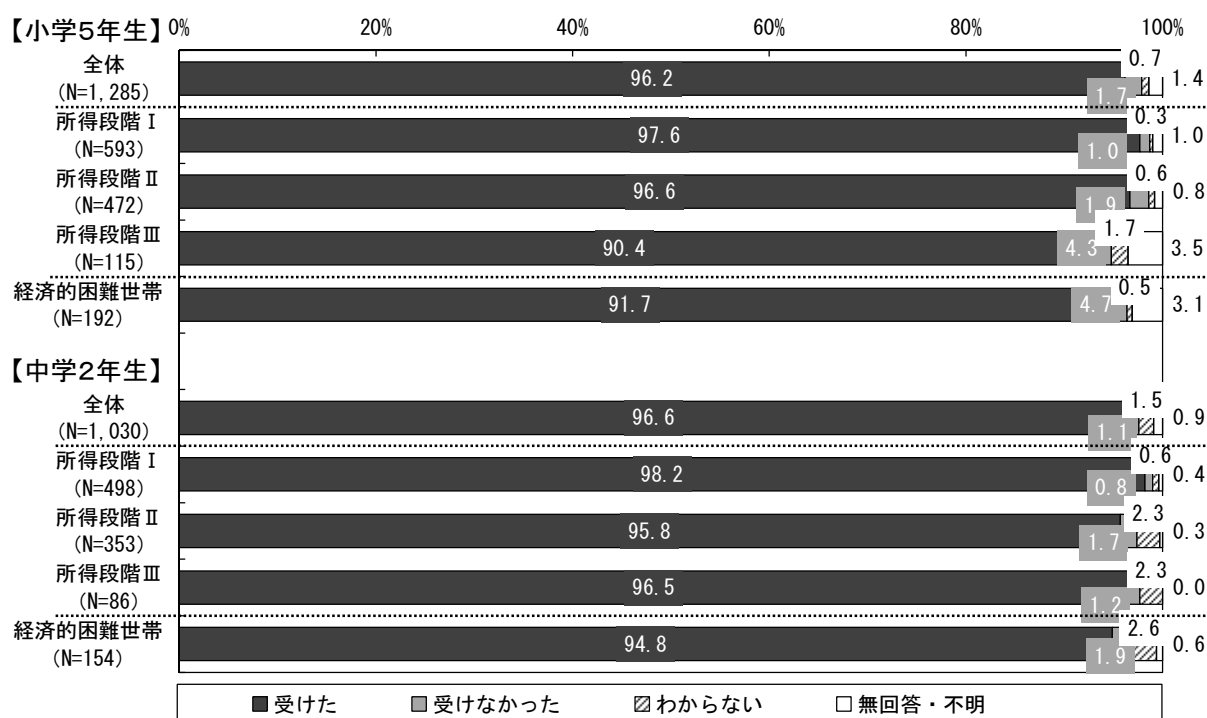
※定期予防接種（結核（BCG）、麻しん・風しん、ポリオ等）は、無料で受けられます。

任意接種（インフルエンザ、おたふくかぜ等）は自己負担がかかります。

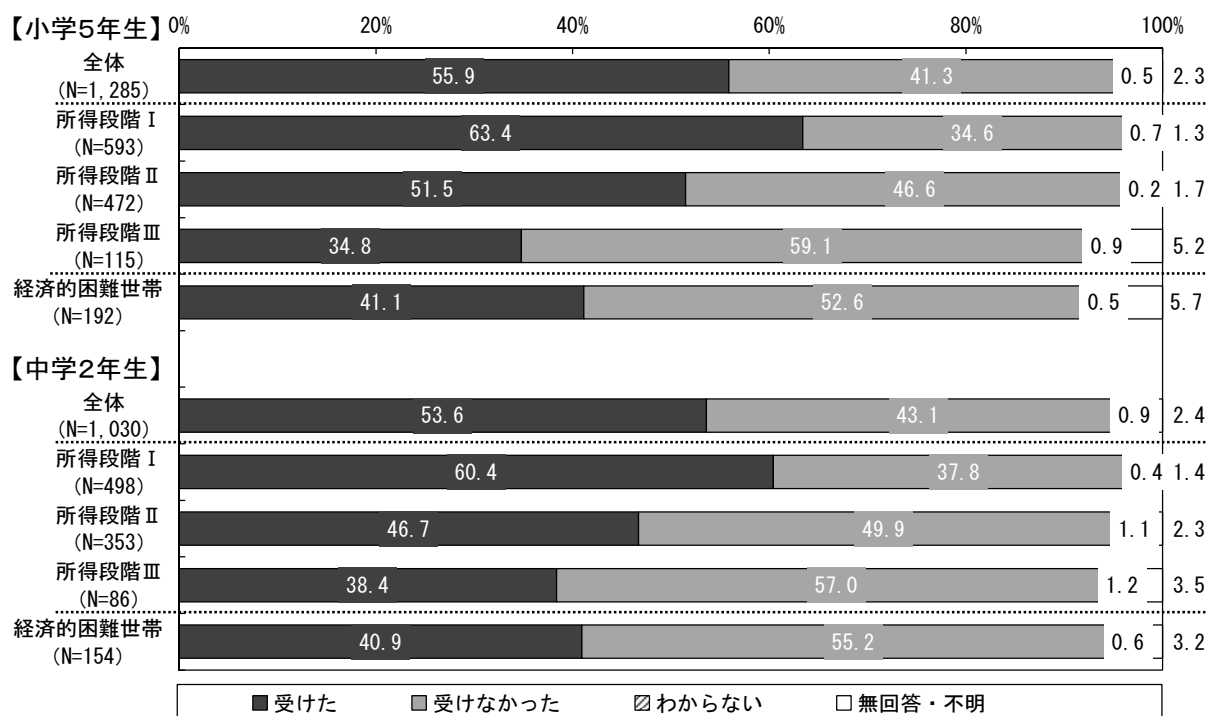
定期予防接種については大きな差はありませんが、任意接種については所得段階Ⅲ・経済的困難世帯の接種率がいずれの項目も低くなっており、特に小学5年生で差が大きくなっています。

定期予防接種を受けないことがあった理由については、回答数が少なく、明確な傾向はみられません。

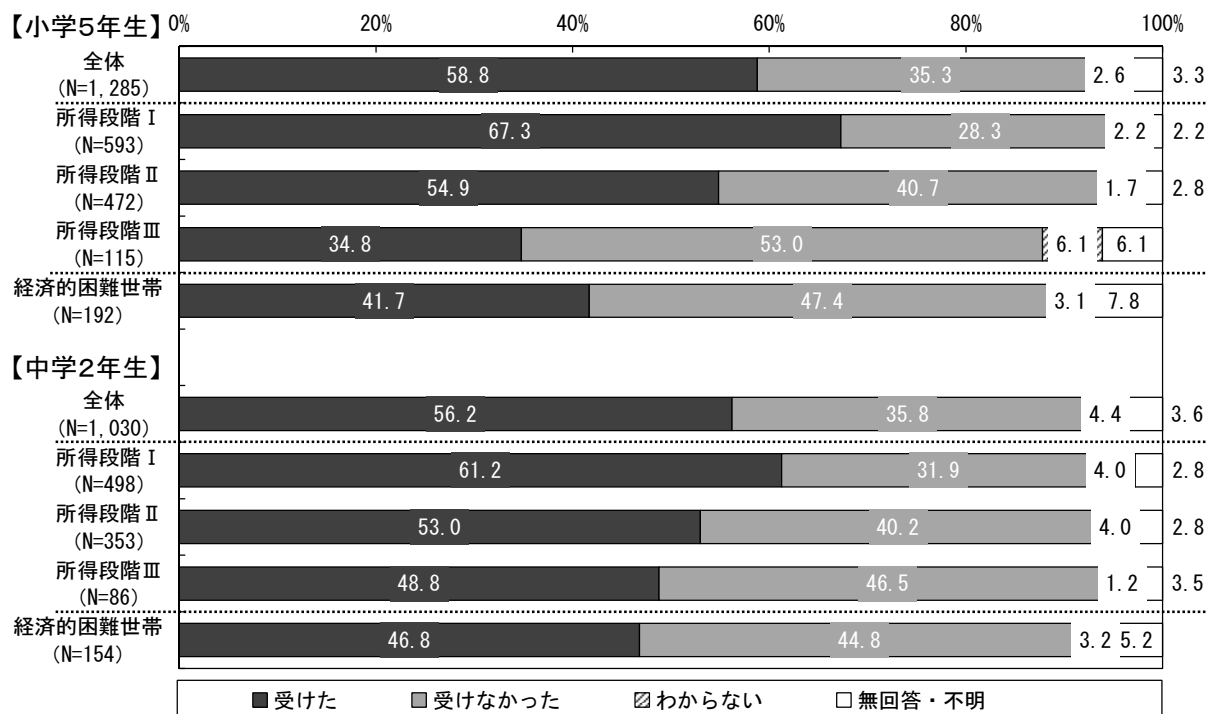
A 定期予防接種



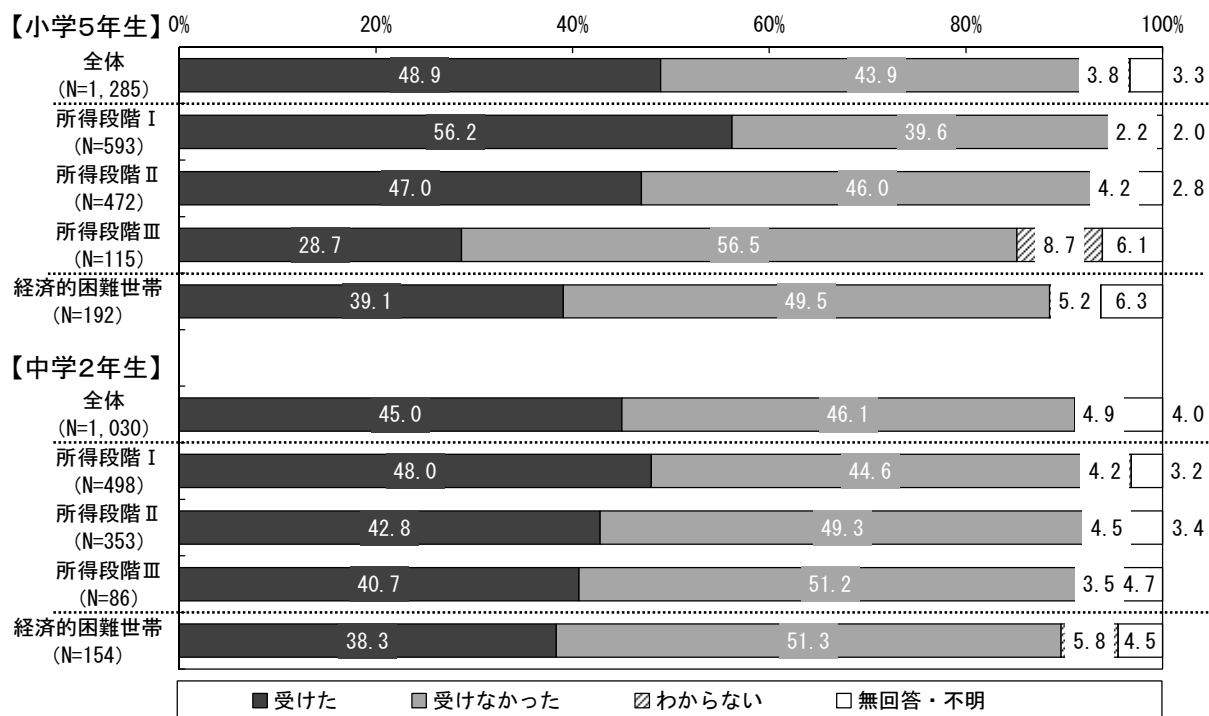
B 任意接種（インフルエンザ）※過去1年間



C 任意接種（おたふくかぜ）

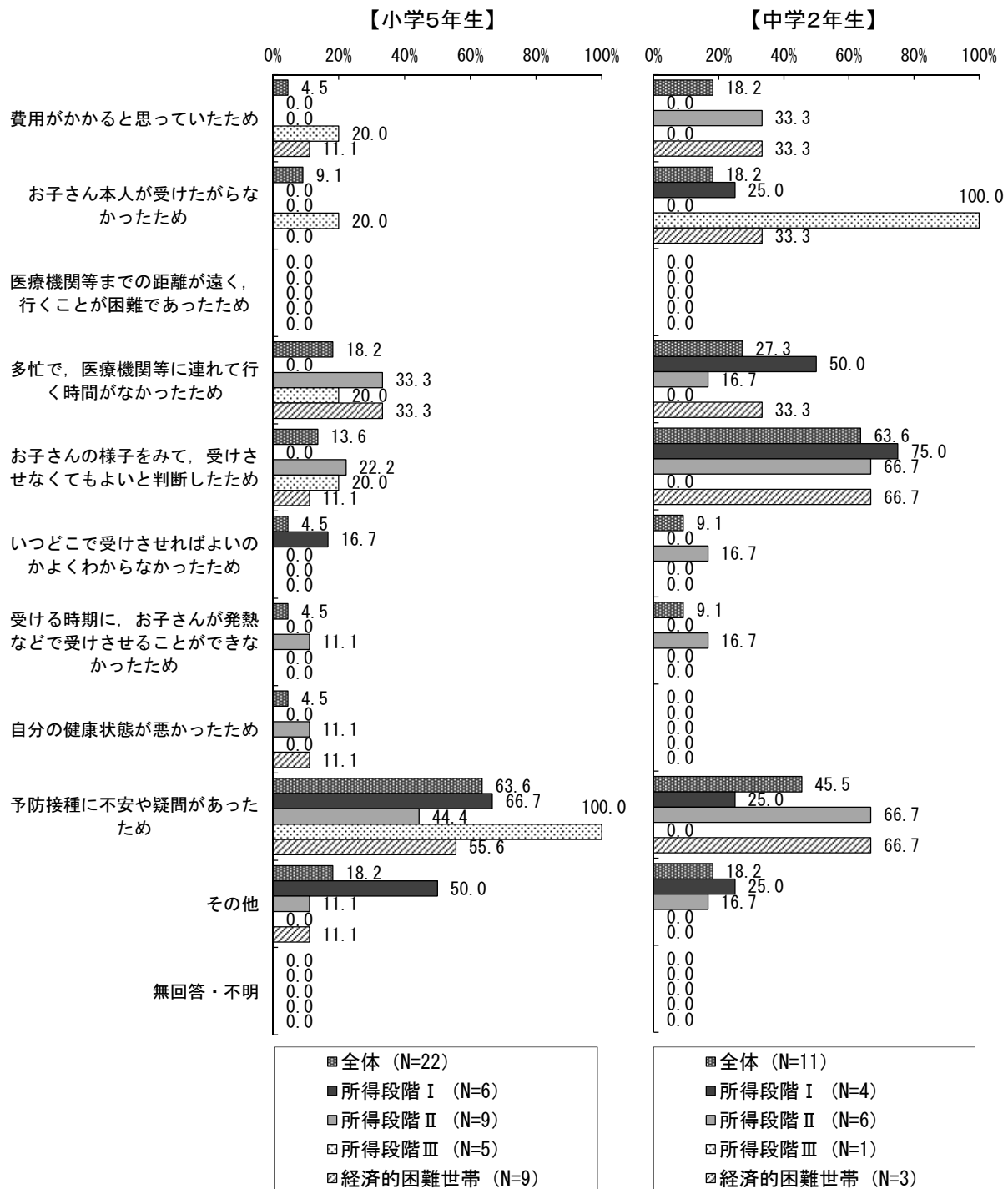


D 任意接種（水ぼうそう）※平成 26 年 10 月からは定期予防接種となっています



問 16-1 (定期予防接種を「受けなかった」と回答した人のみ)

定期予防接種を受けないことがあったのはなぜですか。【複数回答】

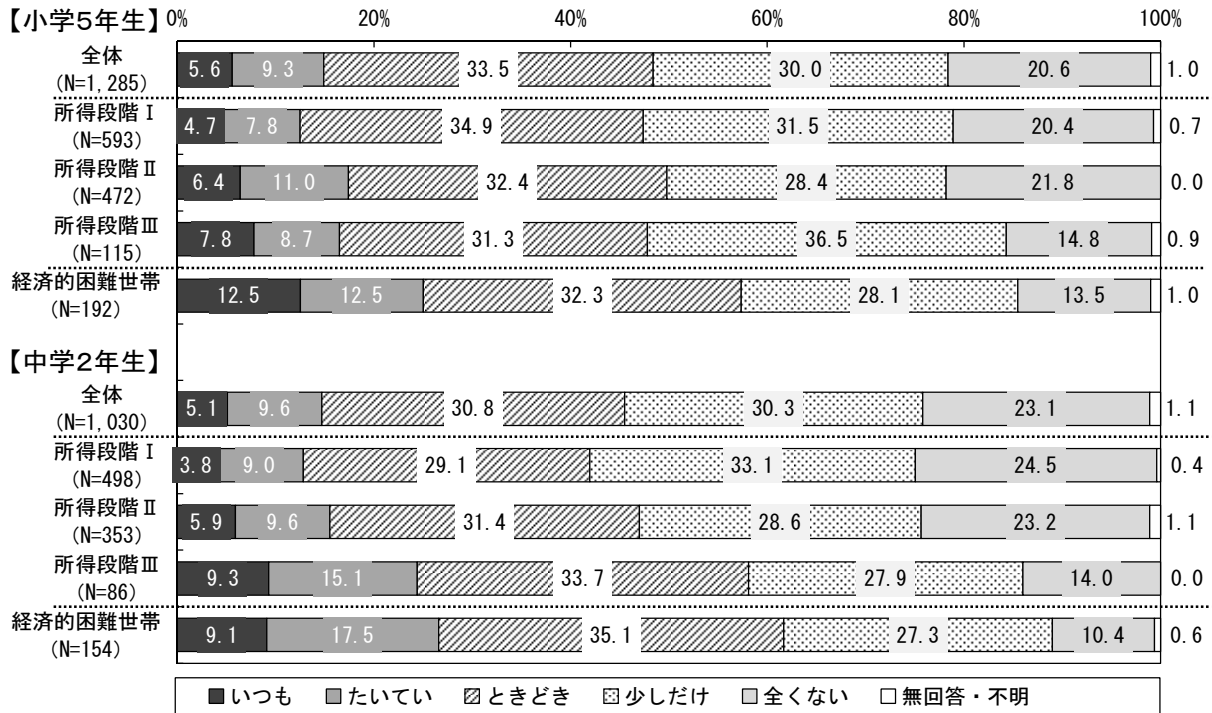


問 17 あなたは過去 1 か月の間に、次のようなことがどれくらいありましたか。

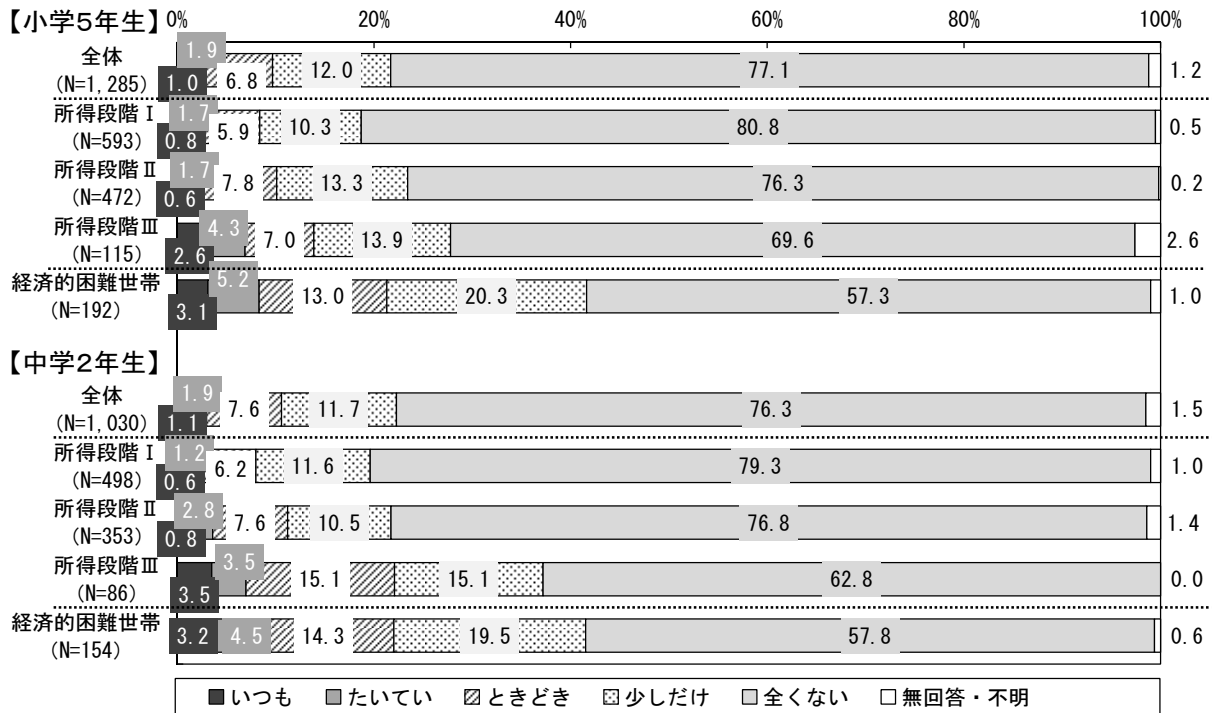
この問いの A～F の各項目は、K 6 指標と呼ばれる心の健康に関する検査項目となっており、「いつも」から「全くない」の回答をそれぞれ 4 点から 0 点で点数化し、合計得点が 5 点以上で心理的高ストレス状態、9 点以上でうつ病や不安障害の可能性が高いとされています。

所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では、心理的なストレスを感じている割合が高くなっています。

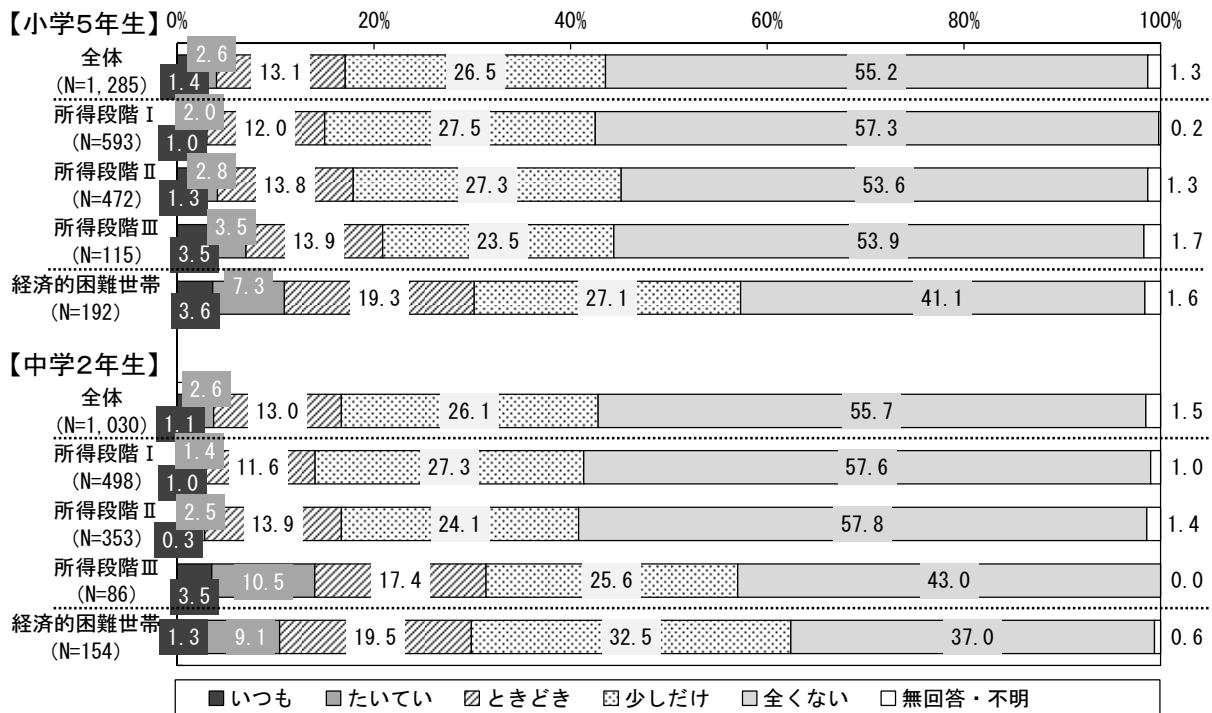
A ささいなことでも気になった



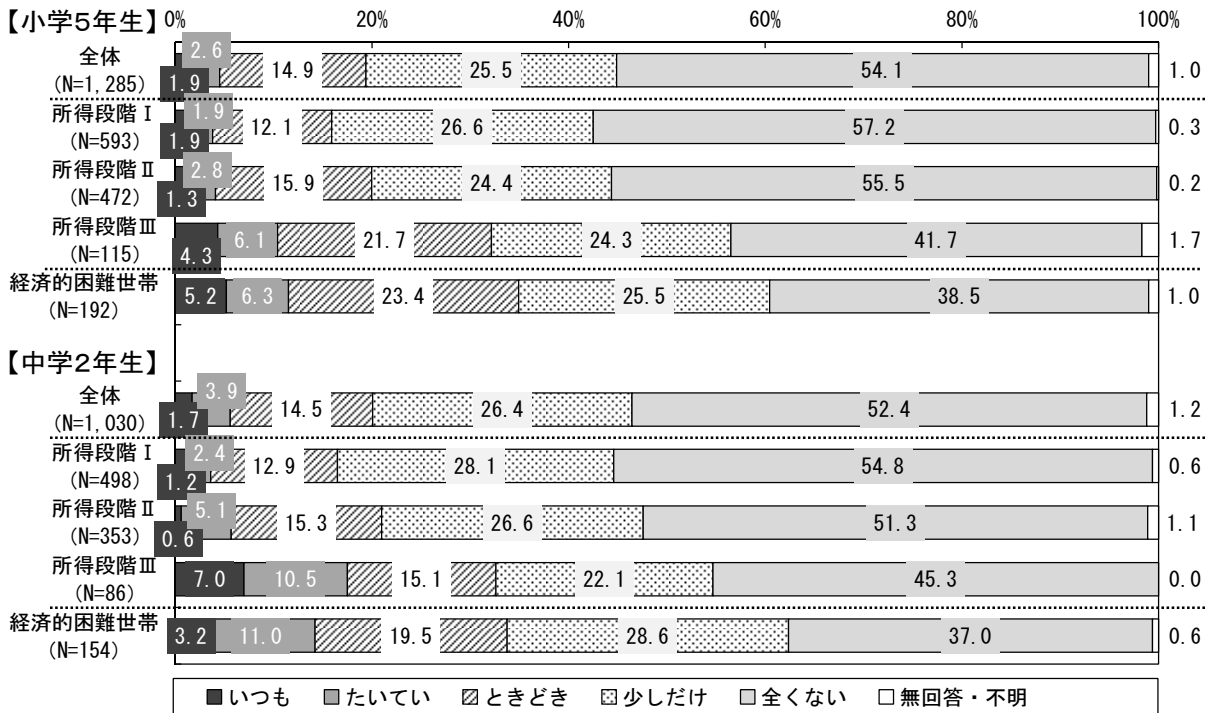
B 絶望的だと感じた



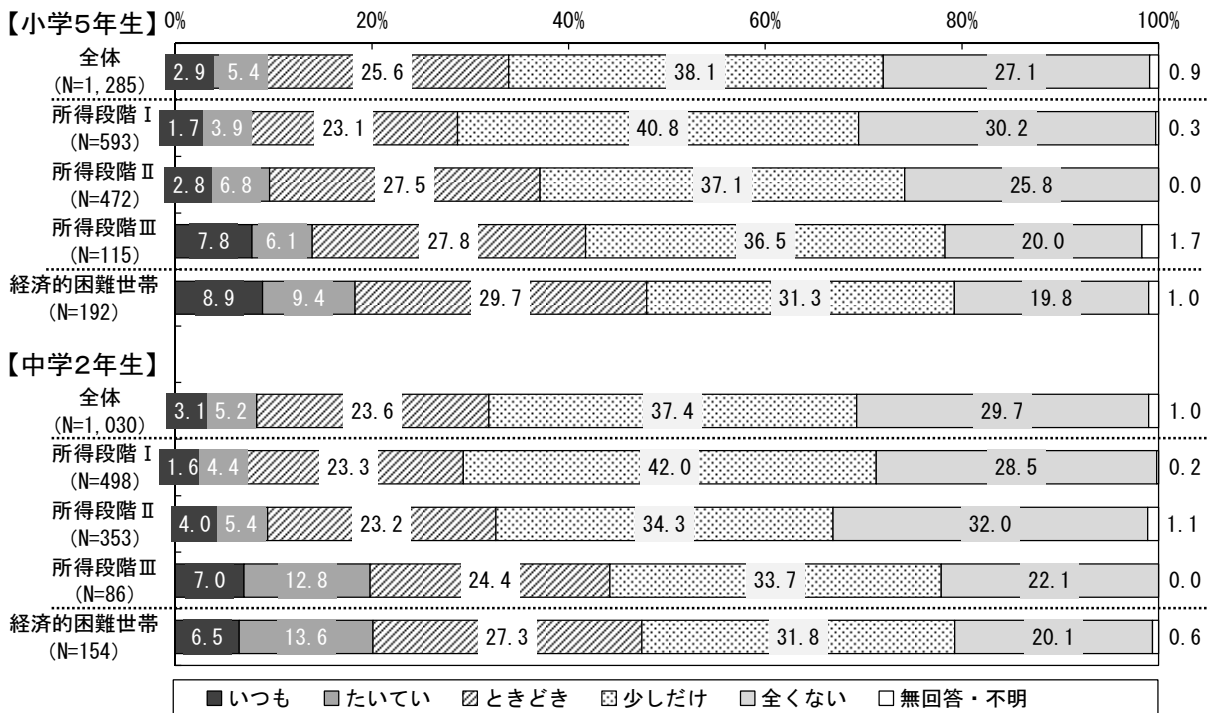
C そわそわ、落ち着かなく感じた



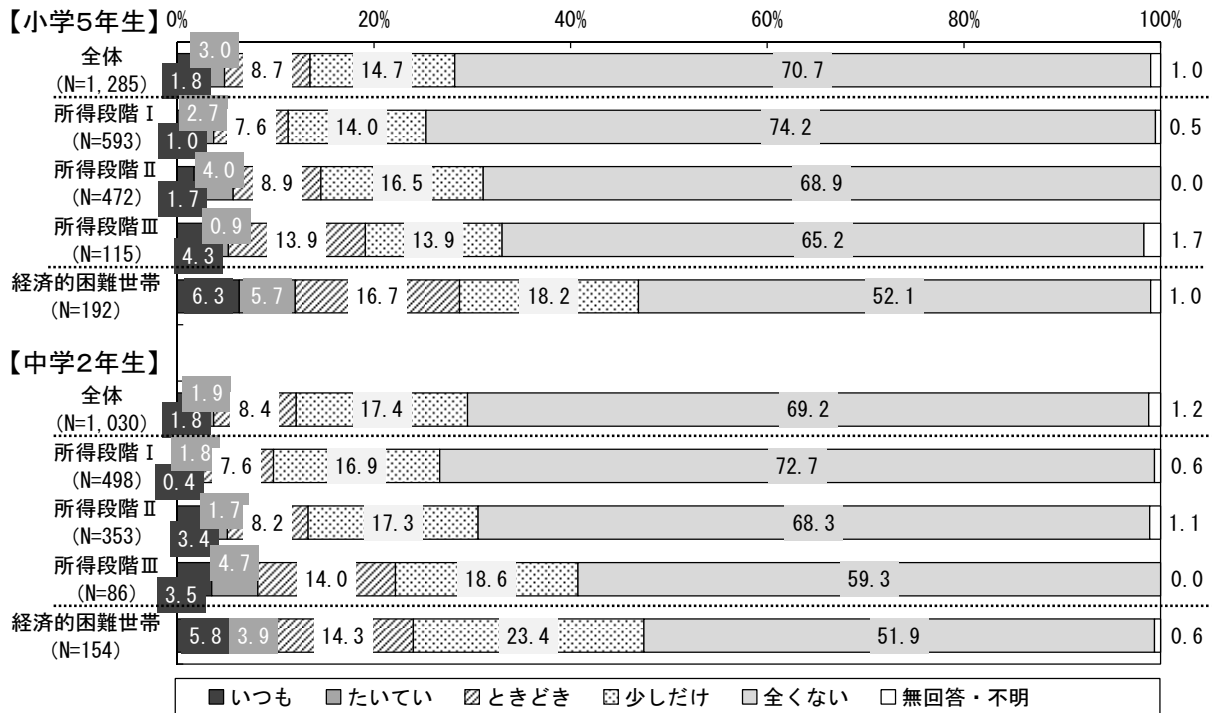
D 気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じた



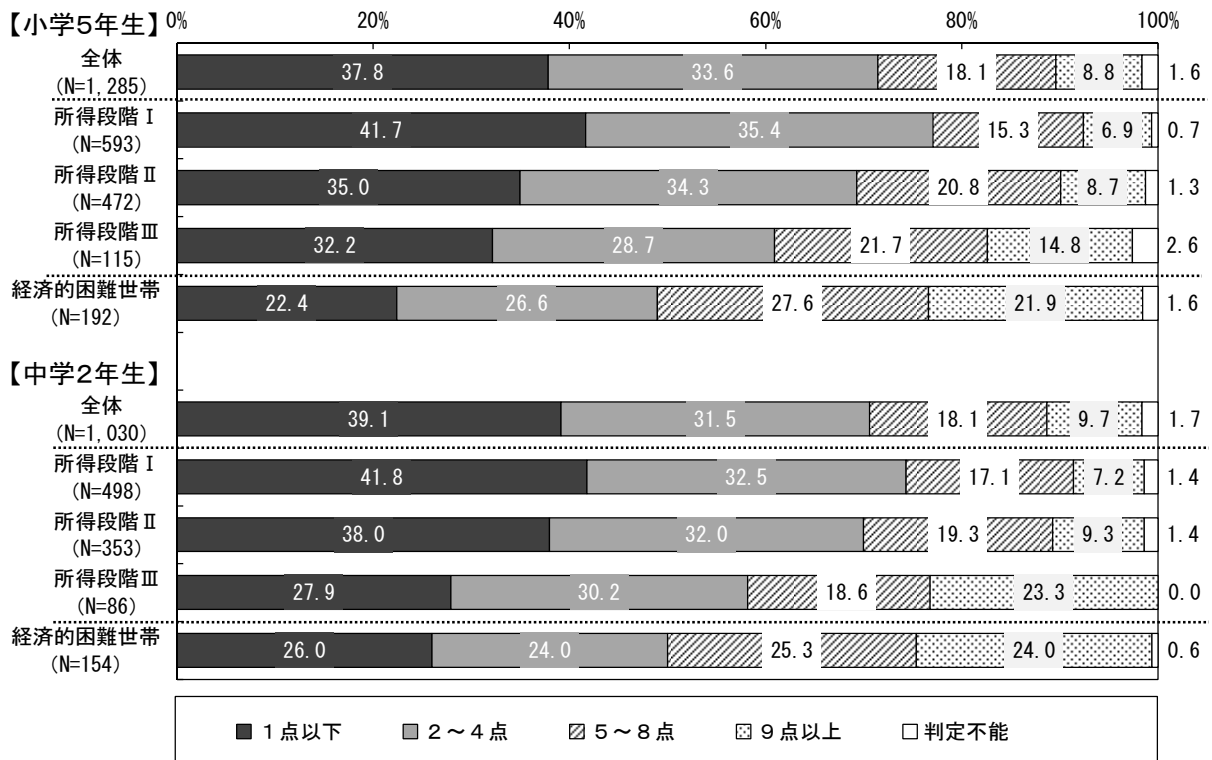
E 何をするのも面倒だと感じた



F 自分は価値のない人間だと感じた



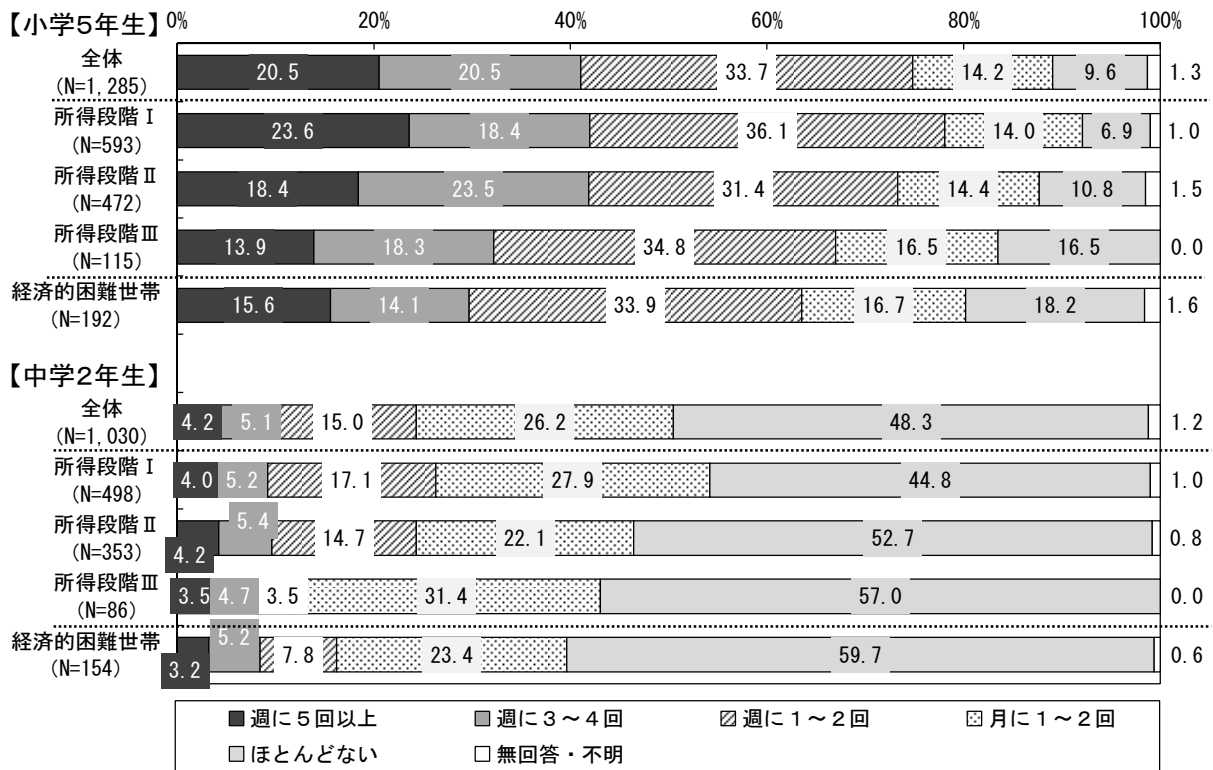
K 6 得点



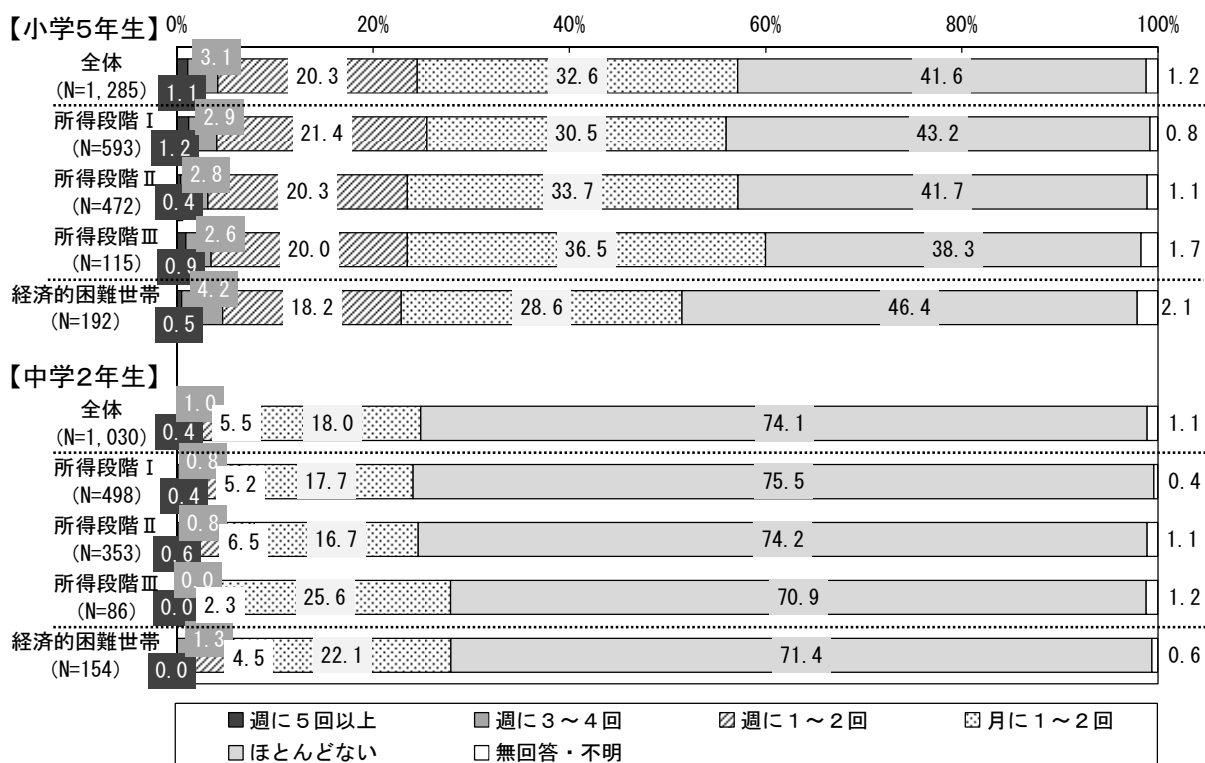
問 18 あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることができますか。

小学5年生の所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では、「お子さんの勉強をみる」「お子さんと学校生活の話をする」「お子さんと勉強や成績の話をする」「お子さんと政治経済・社会問題などのニュースの話をする」の頻度が低くなっています。

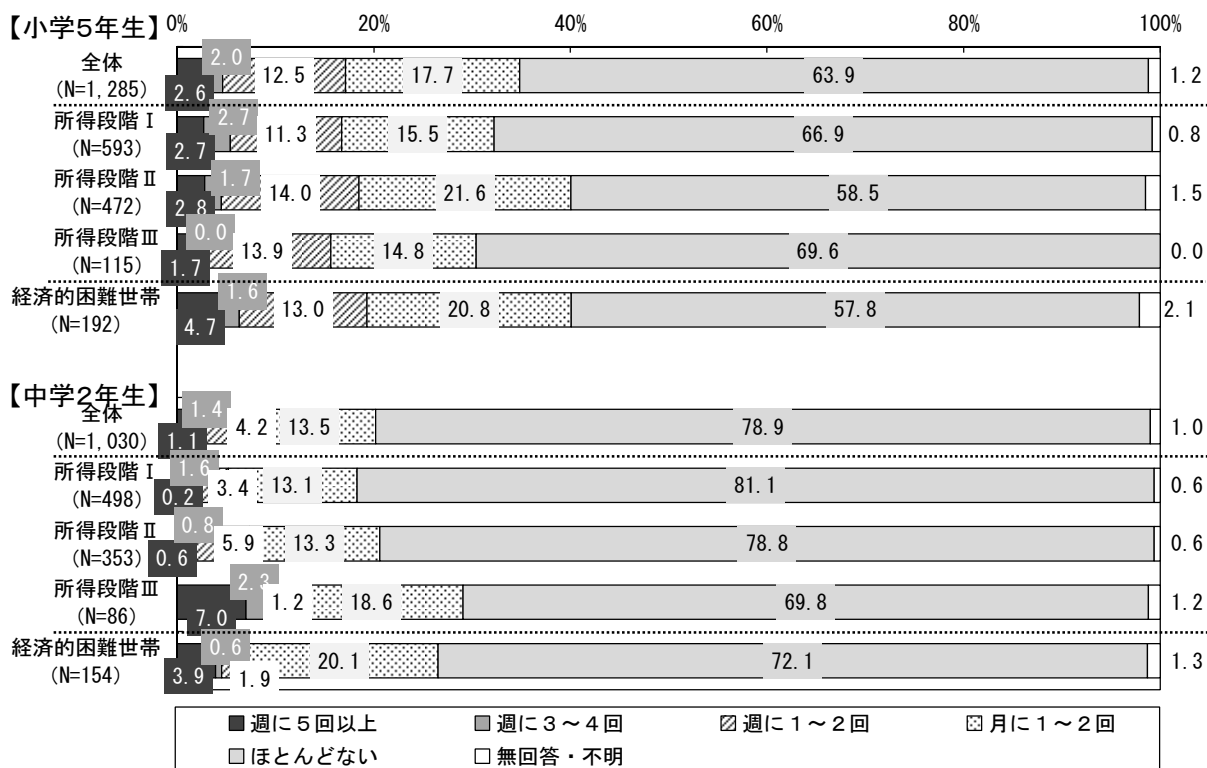
A お子さんの勉強をみる



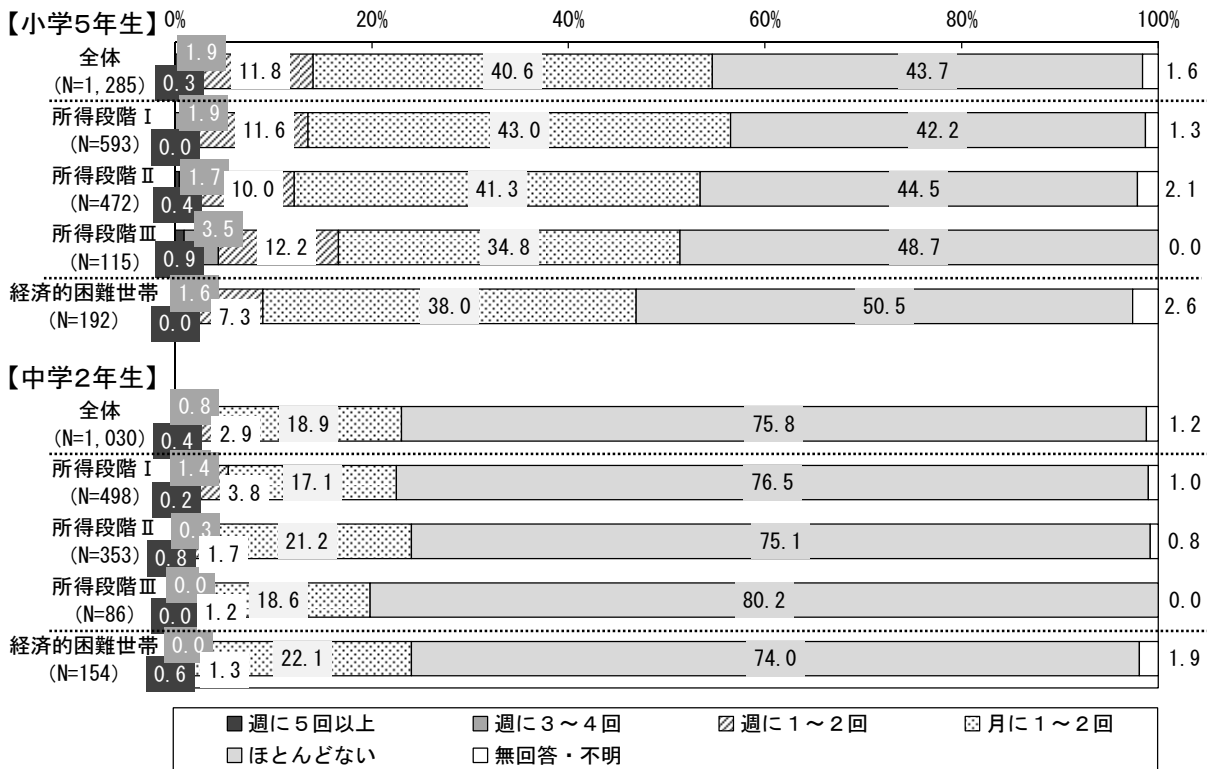
B お子さんとからだを動かして遊ぶ（キャッチボールなど）



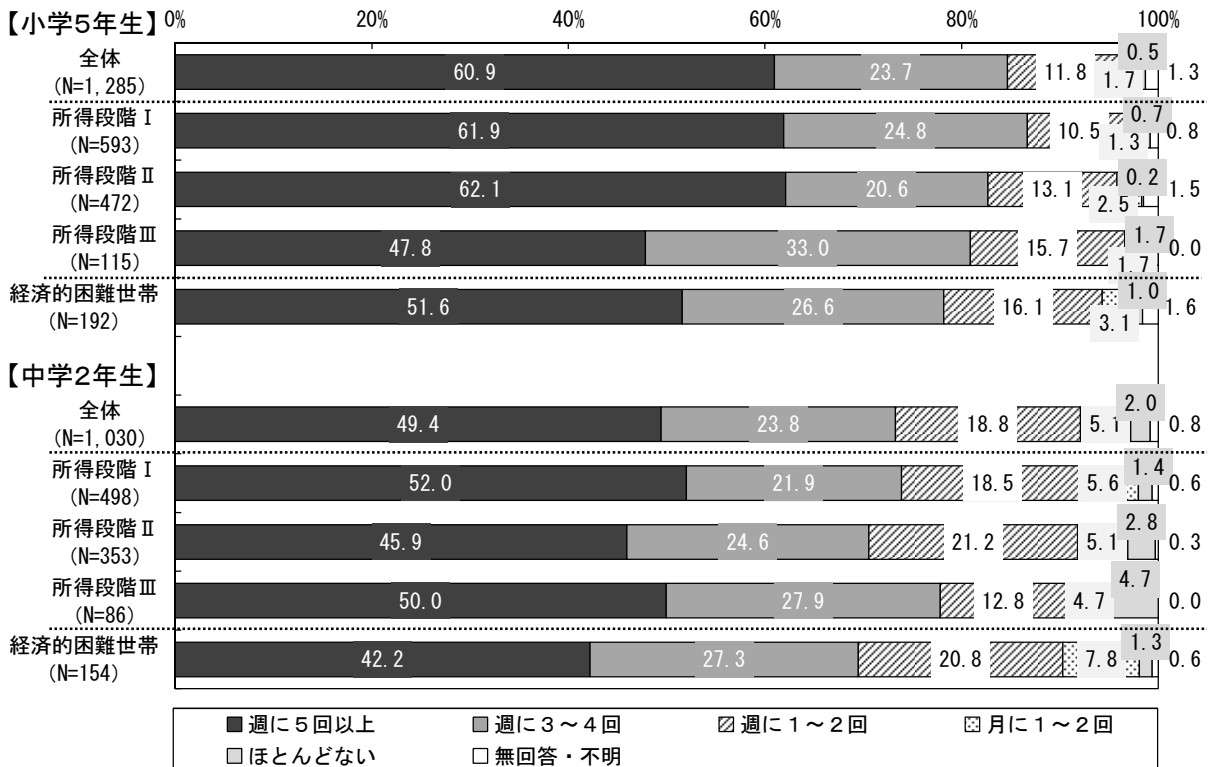
C お子さんとコンピュータゲームで遊ぶ（テレビゲーム・パソコンゲーム・携帯ゲームなど）



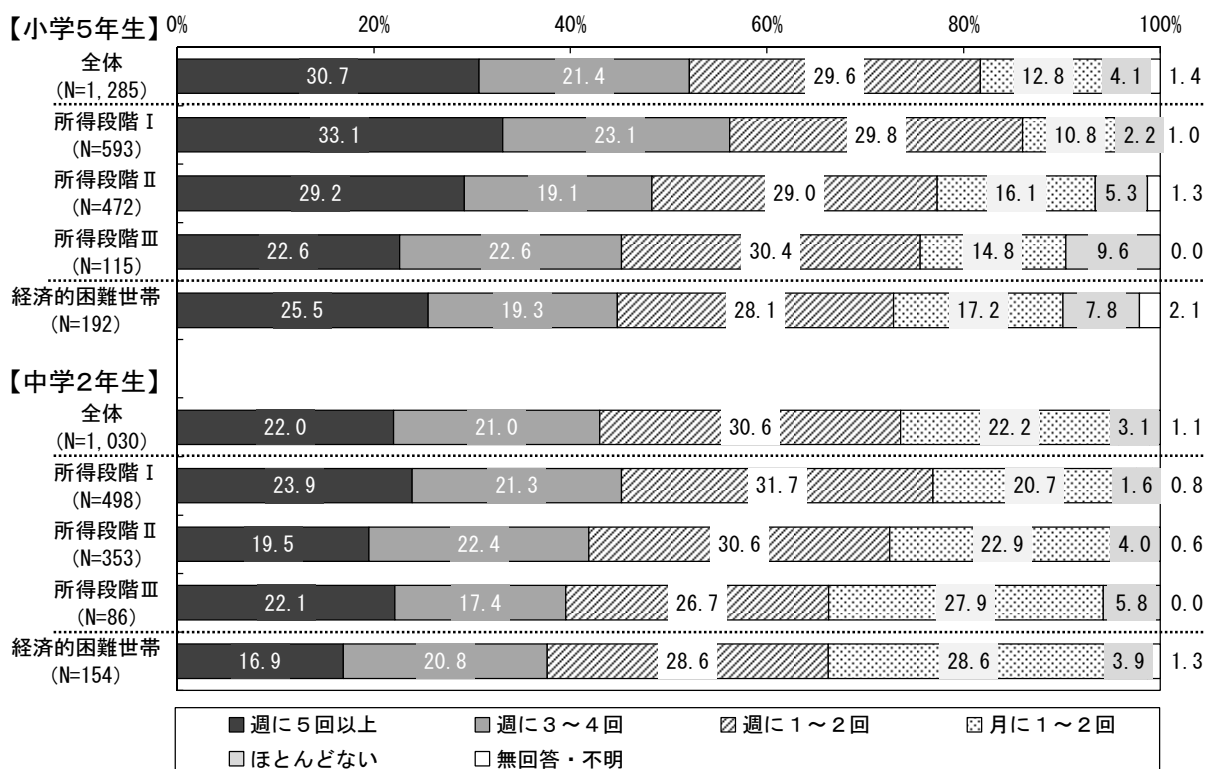
D お子さんとカードゲームなどで遊ぶ（トランプ・ボードゲーム・将棋など）



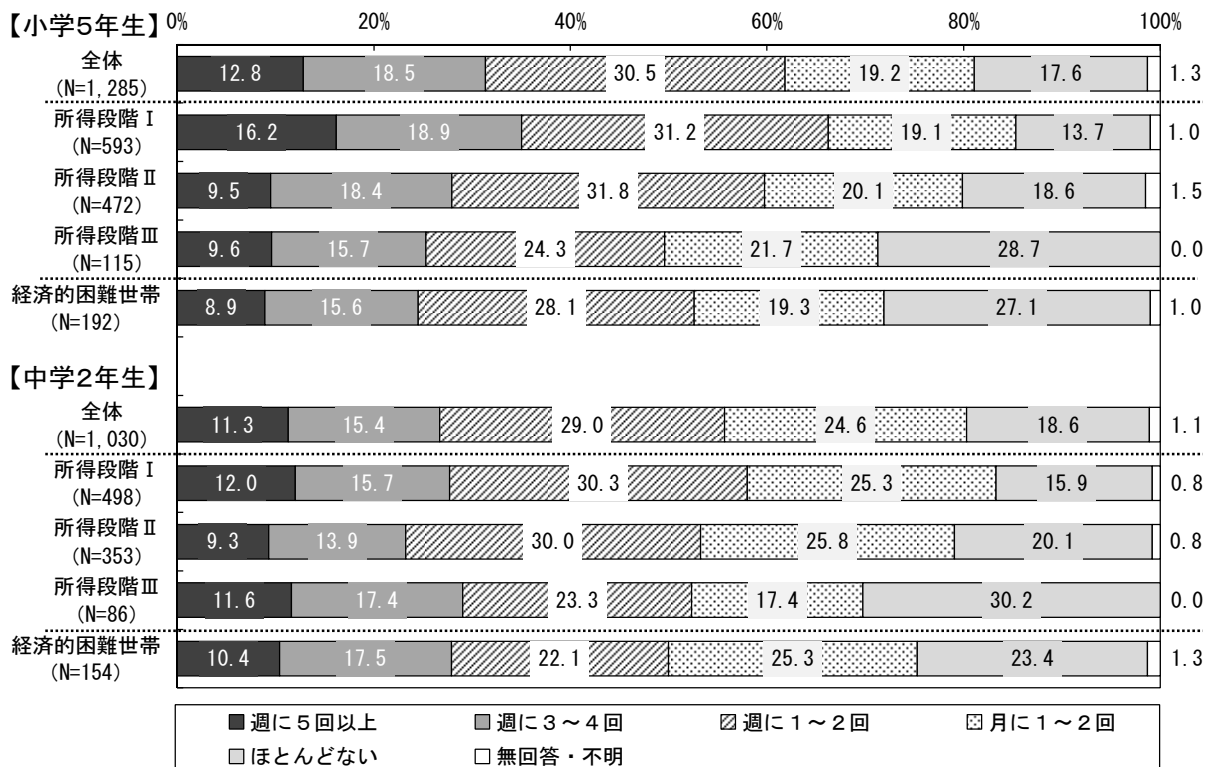
E お子さんと学校生活の話をする



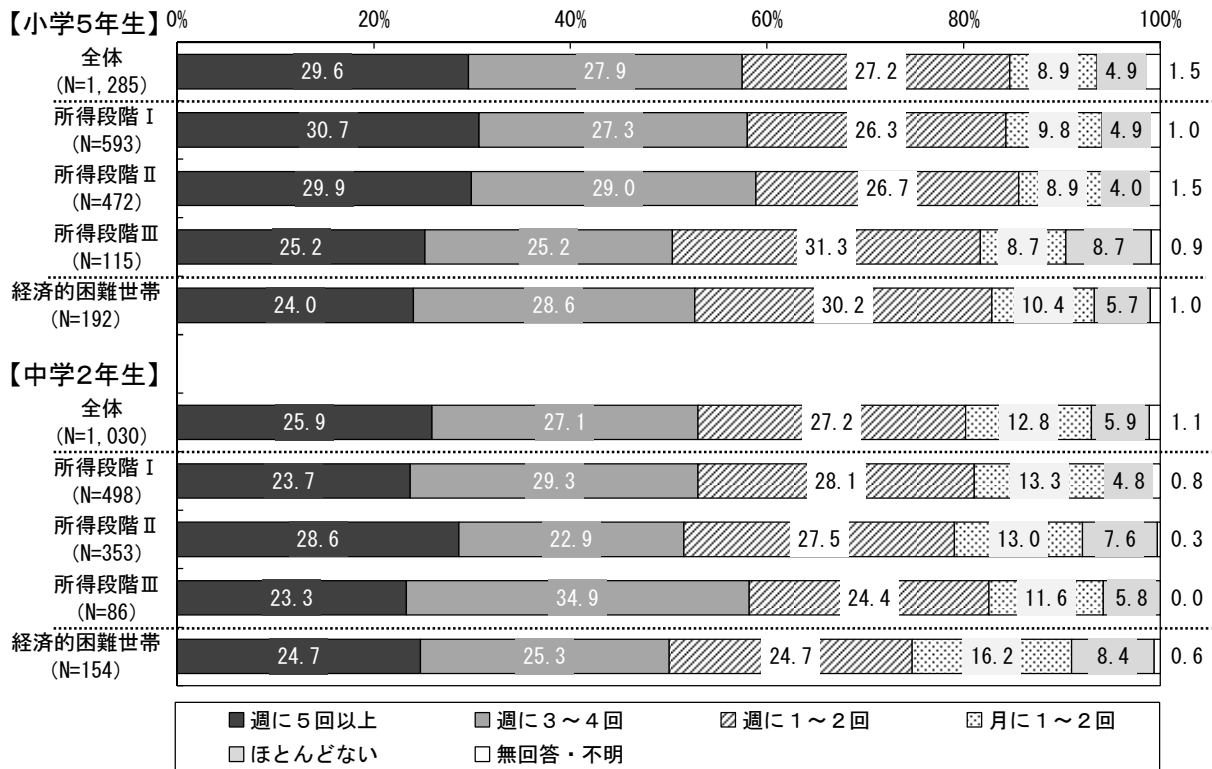
F お子さんと勉強や成績の話をする



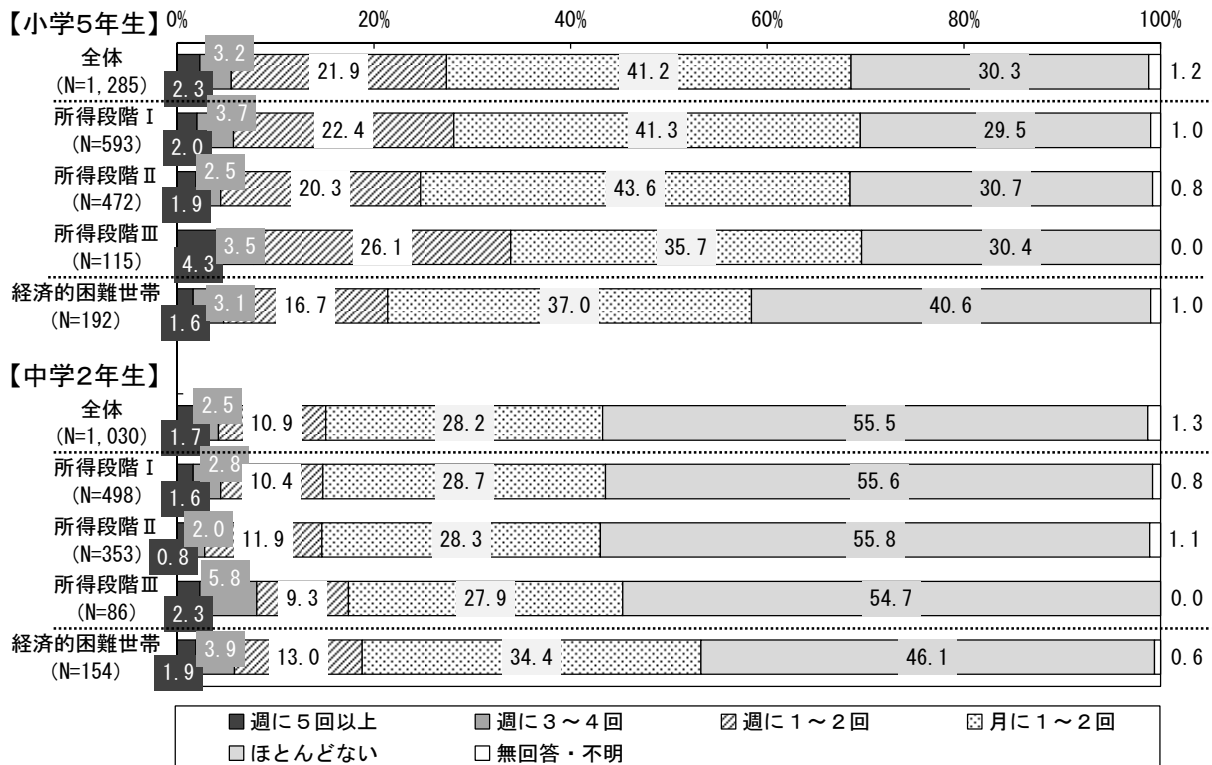
G お子さんと政治経済・社会問題などのニュースの話をする



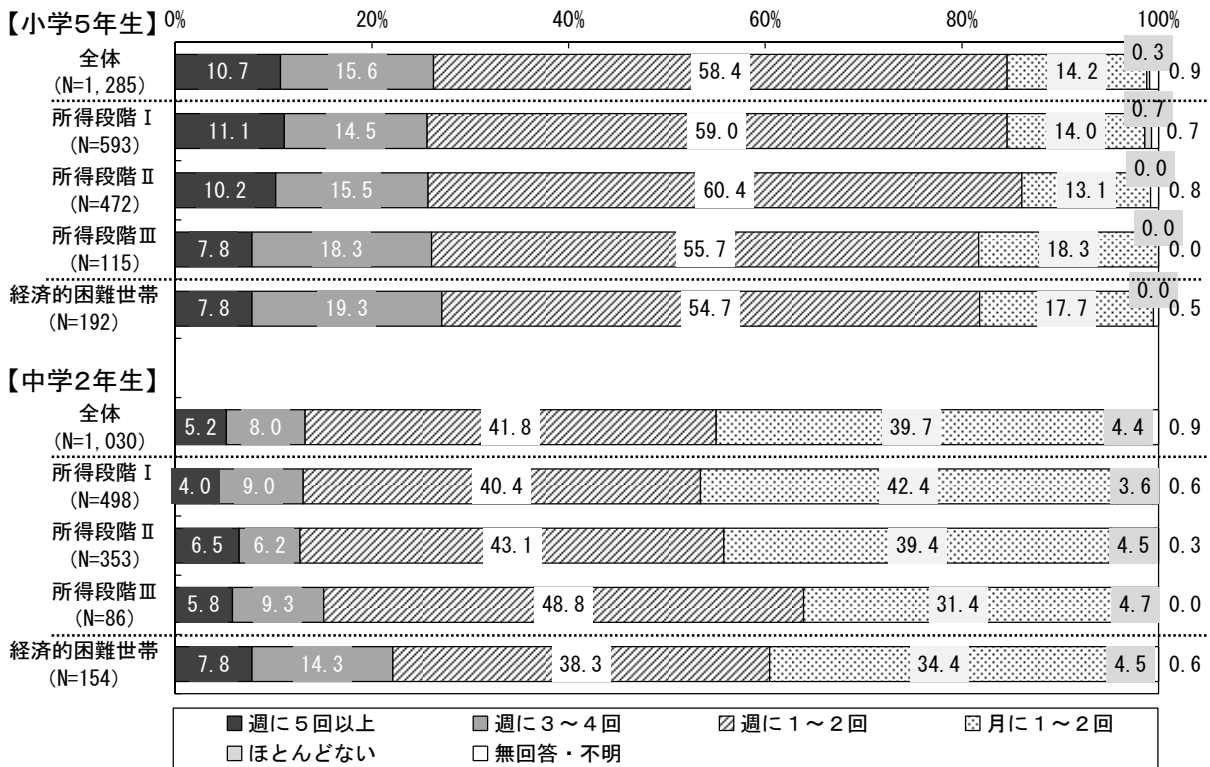
H お子さんとテレビ番組（ニュースをのぞく）の話をする



I お子さんと一緒に料理をする

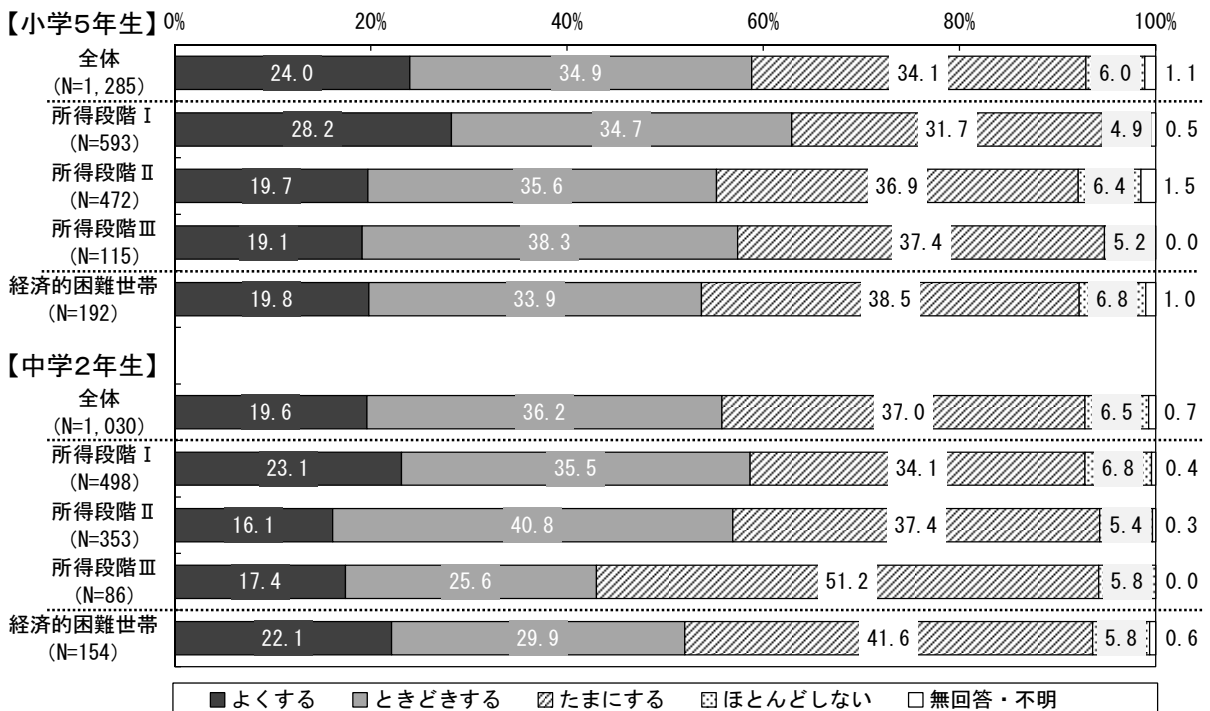


J お子さんと一緒に外出をする



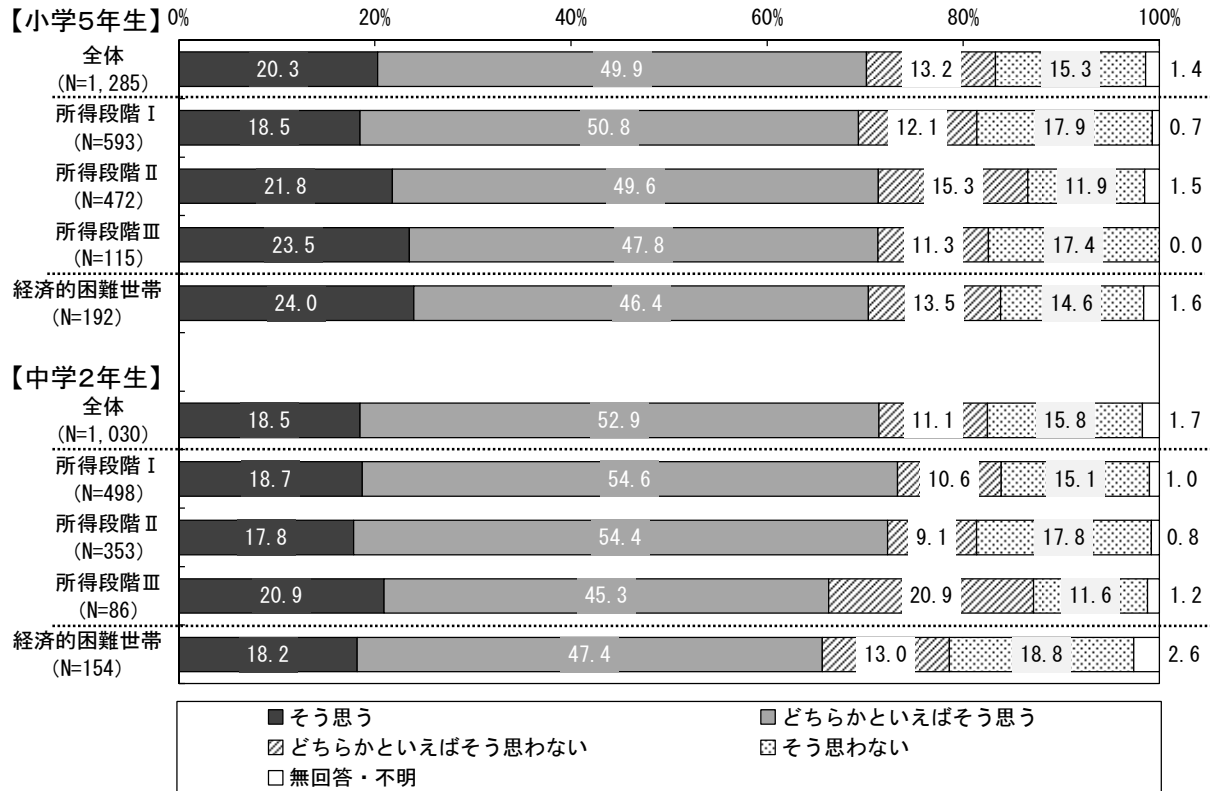
問 19 あなたは、お子さんの将来（夢・進路・職業等）について、お子さんと一緒に考えたり、話したりすることがありますか。

所得段階 I の頻度が高くなっています。



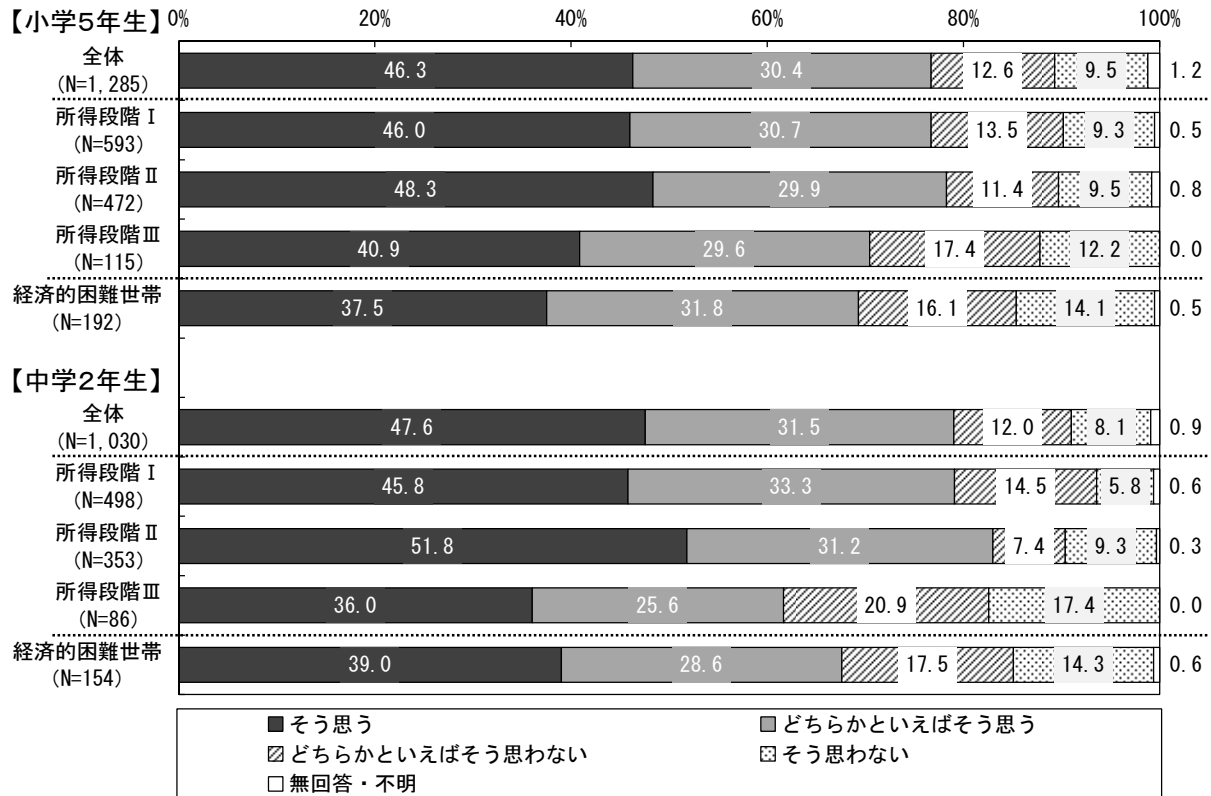
問 20 あなたは、お子さんが就職や結婚をした時に、今の住まいの近くで暮らしてほしいと思いますか。

世帯の経済状況による差はあまりみられません。



問 21 あなたは、これからも今の住まい（またはその近く）で暮らし続けたいと思いますか。

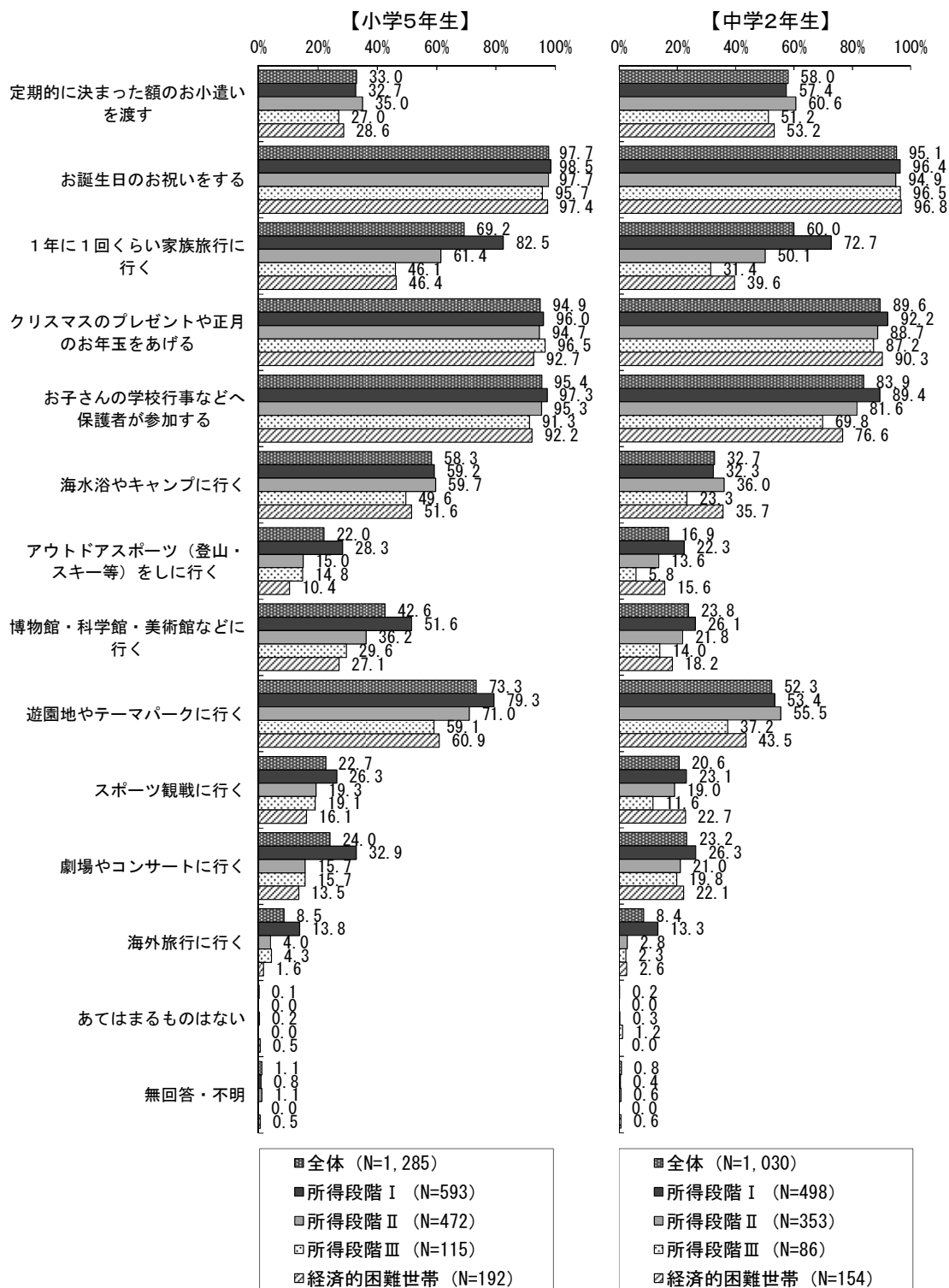
所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」という回答が多く、特に中学2年生では差が大きくなっています。



問 22 あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。

【複数回答】

「お誕生日のお祝いをする」「クリスマスプレゼントや正月のお年玉をあげる」についてはあまり差がありませんが、それ以外の項目では所得段階Ⅲ・経済的困難世帯の回答が少なくなっています。特に中学2年生では差が大きくなっています。

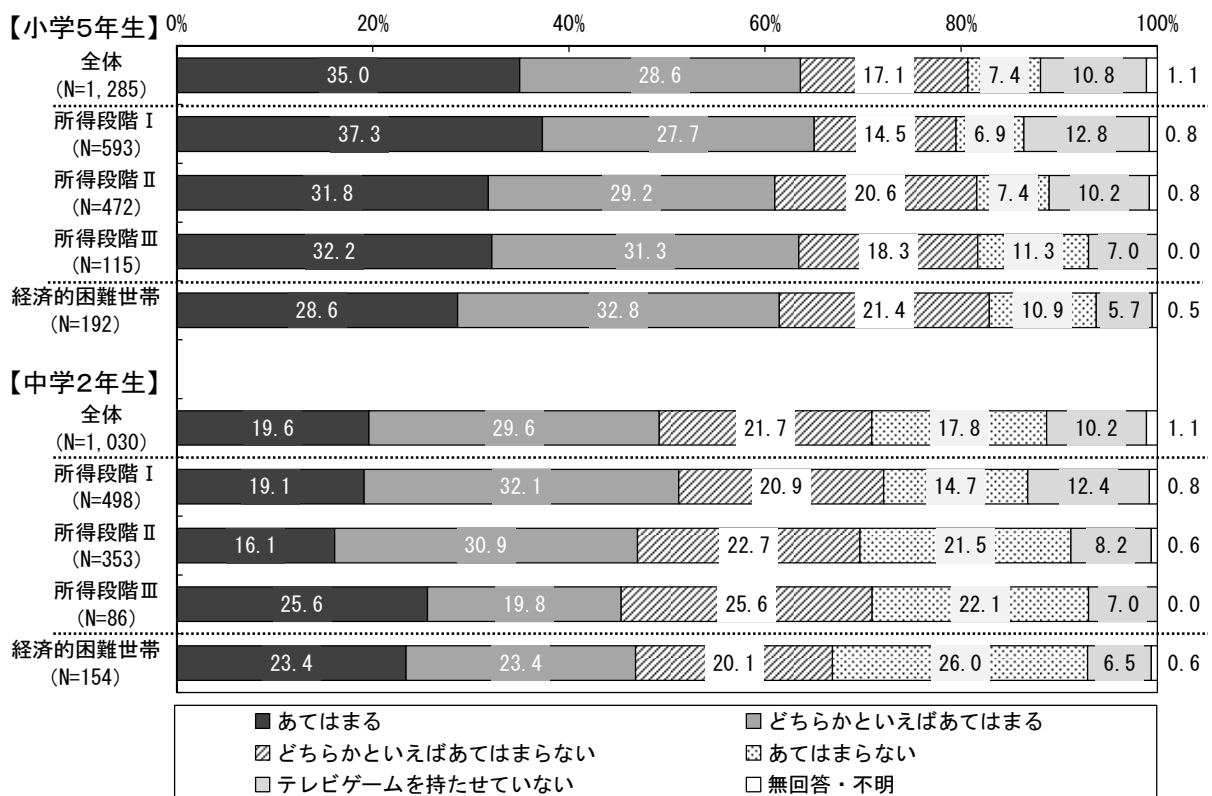


問 23 あなたのご家庭では、お子さんに対して、次のことをしていますか。

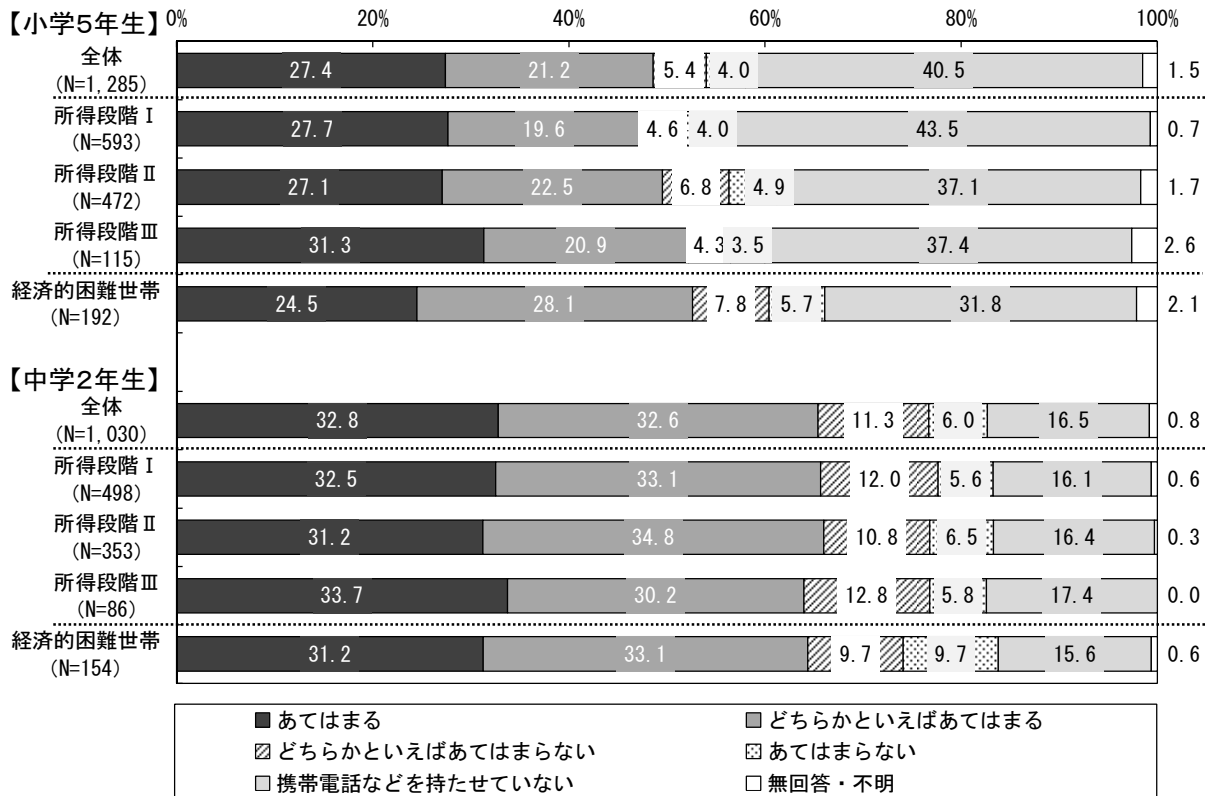
所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では、「お子さんの良いところをほめるなどして自信を持たせるようにしている」「お子さんに本や新聞を読むようにすすめている」「お子さんと読んだ本の感想を話し合ったりしている」「お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをした」「お子さんが英語や外国の文化に触れるよう意識している」といった項目で、「あてはまる」または「どちらかといえばあてはまる」という回答が少なくなっています。

一方で、「やるべき事ができるまで何度も細かく指示する」については中学2年生で、「あてはまる」または「どちらかといえばあてはまる」という回答が多くなっています。

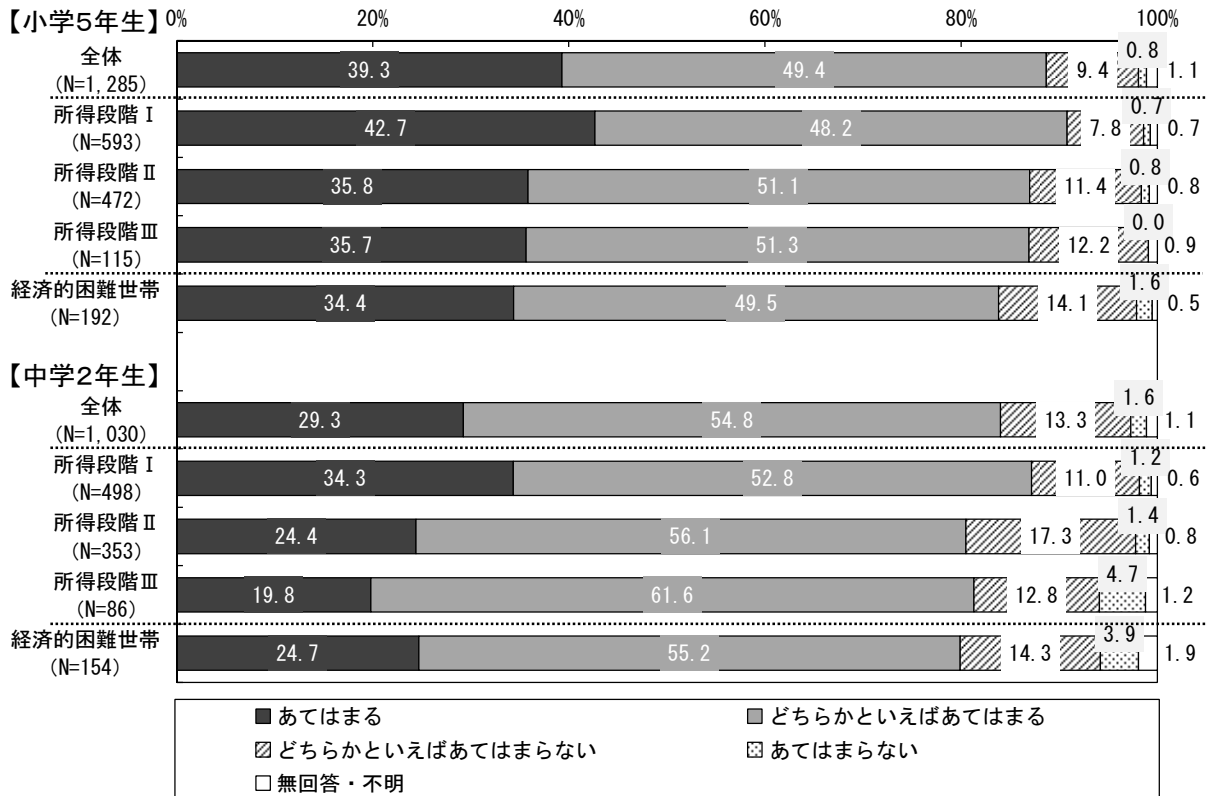
A テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲームを含む）で遊ぶ時間を限定している



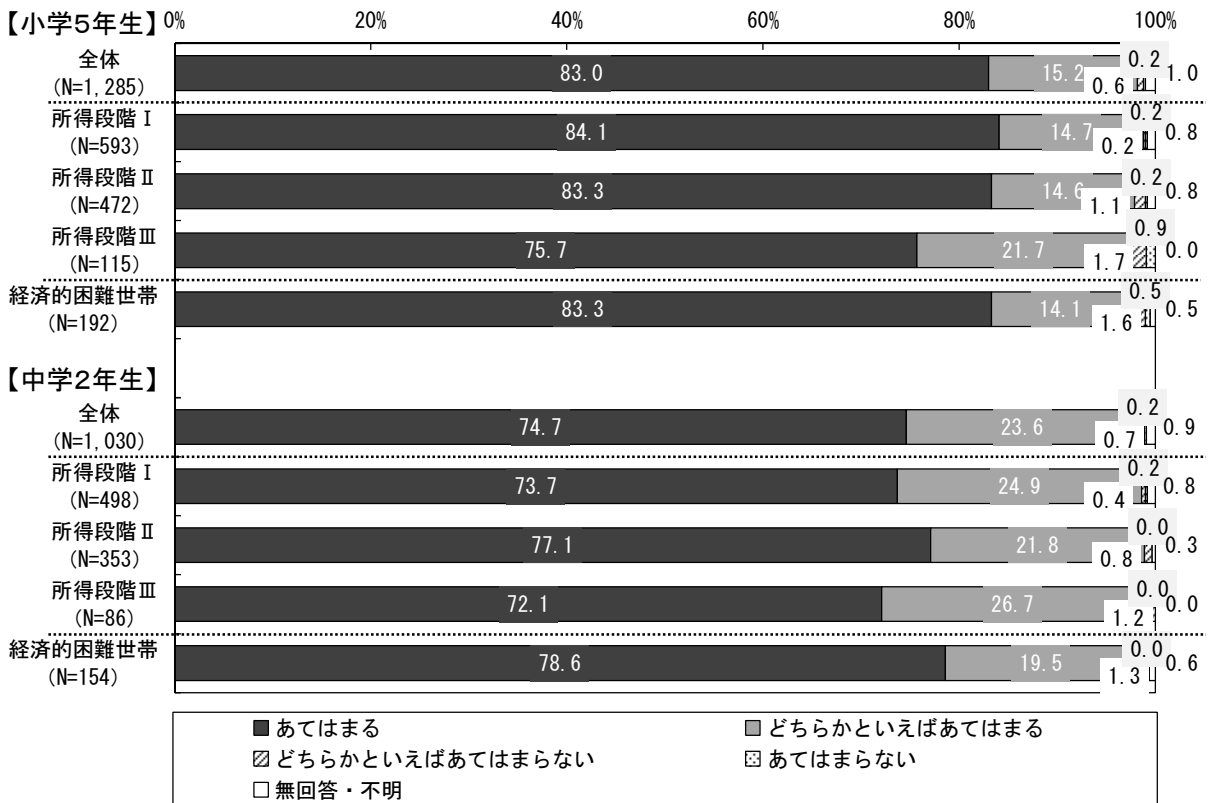
B 携帯電話やスマートフォンの使い方についてルールや約束をつくっている



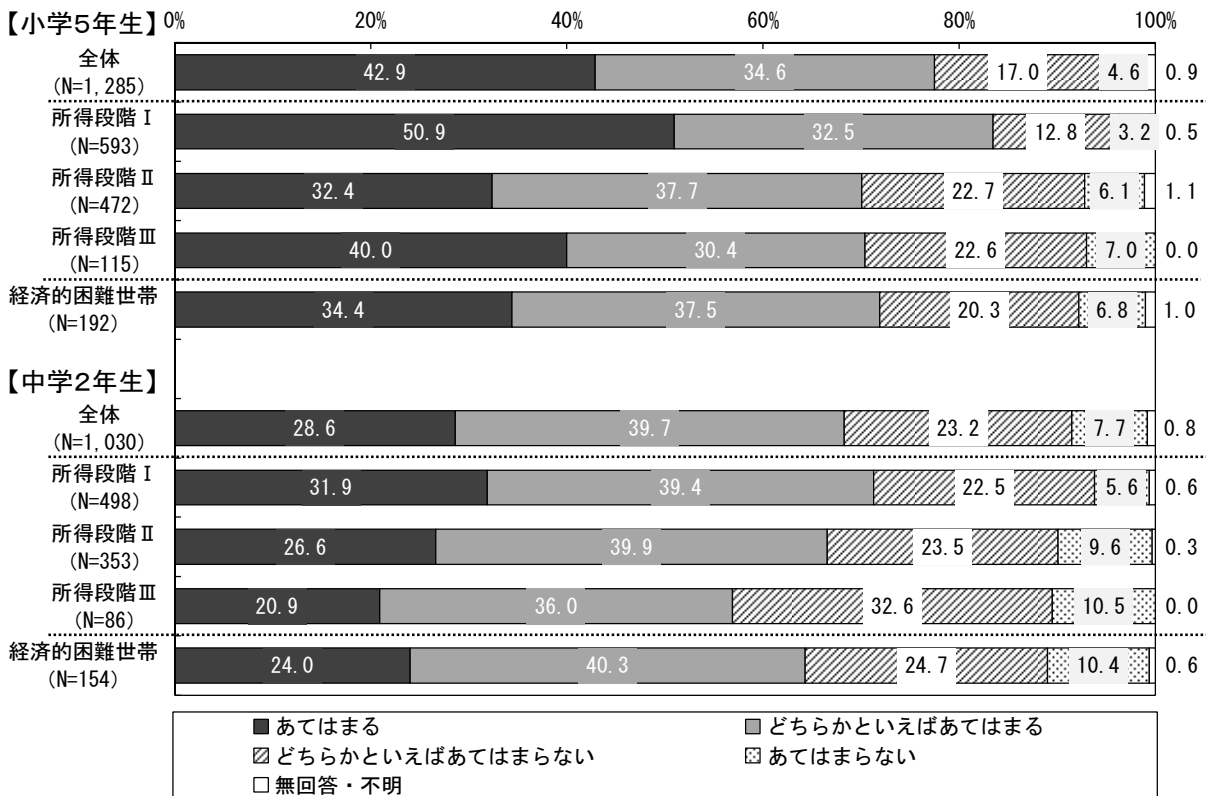
C お子さんの良いところをほめるなどして自信を持たせるようにしている



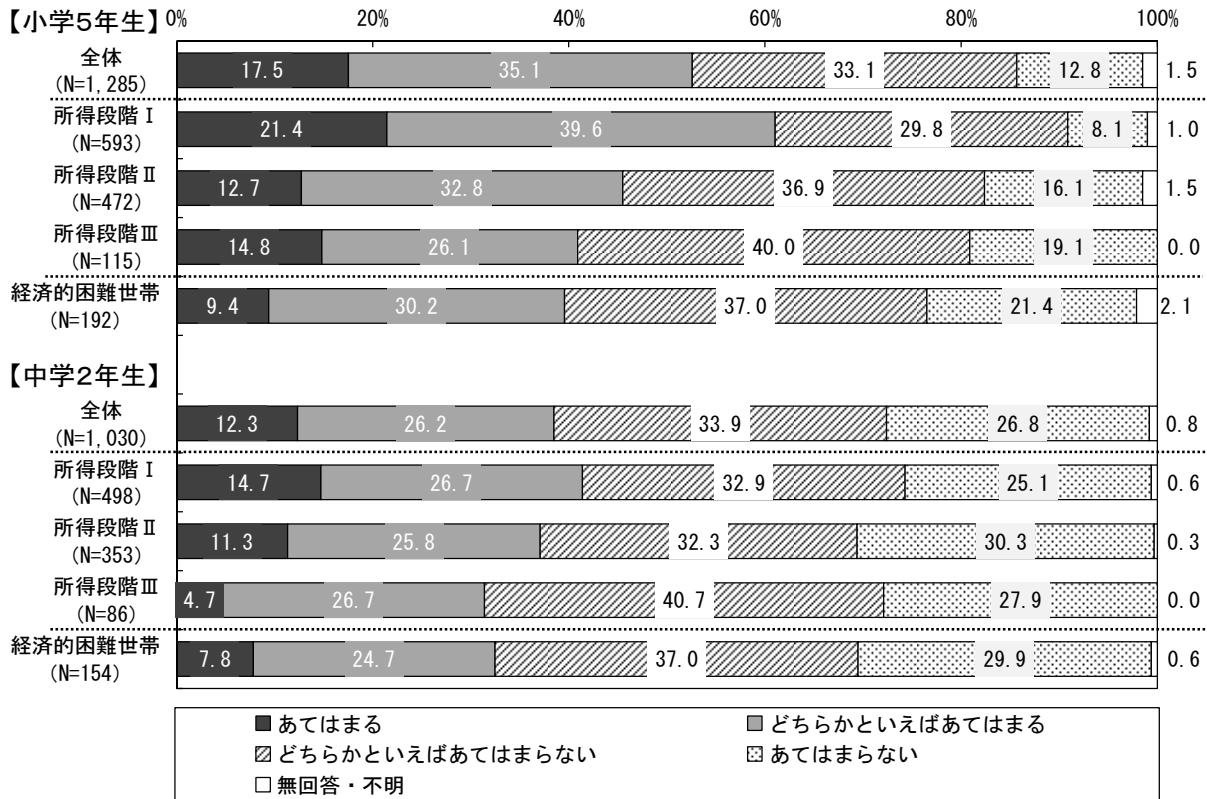
D お子さんが悪いことをしたらきちんとしかっている



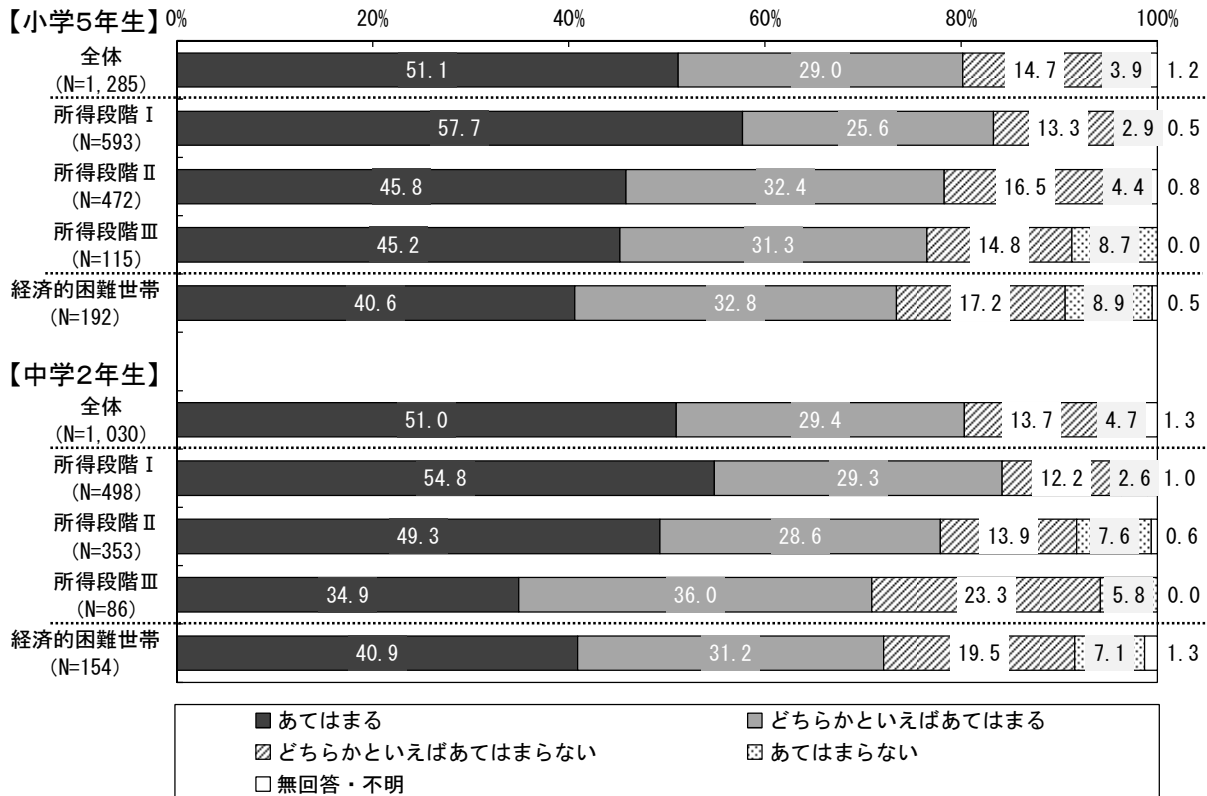
E お子さんに本や新聞を読むようにすすめている



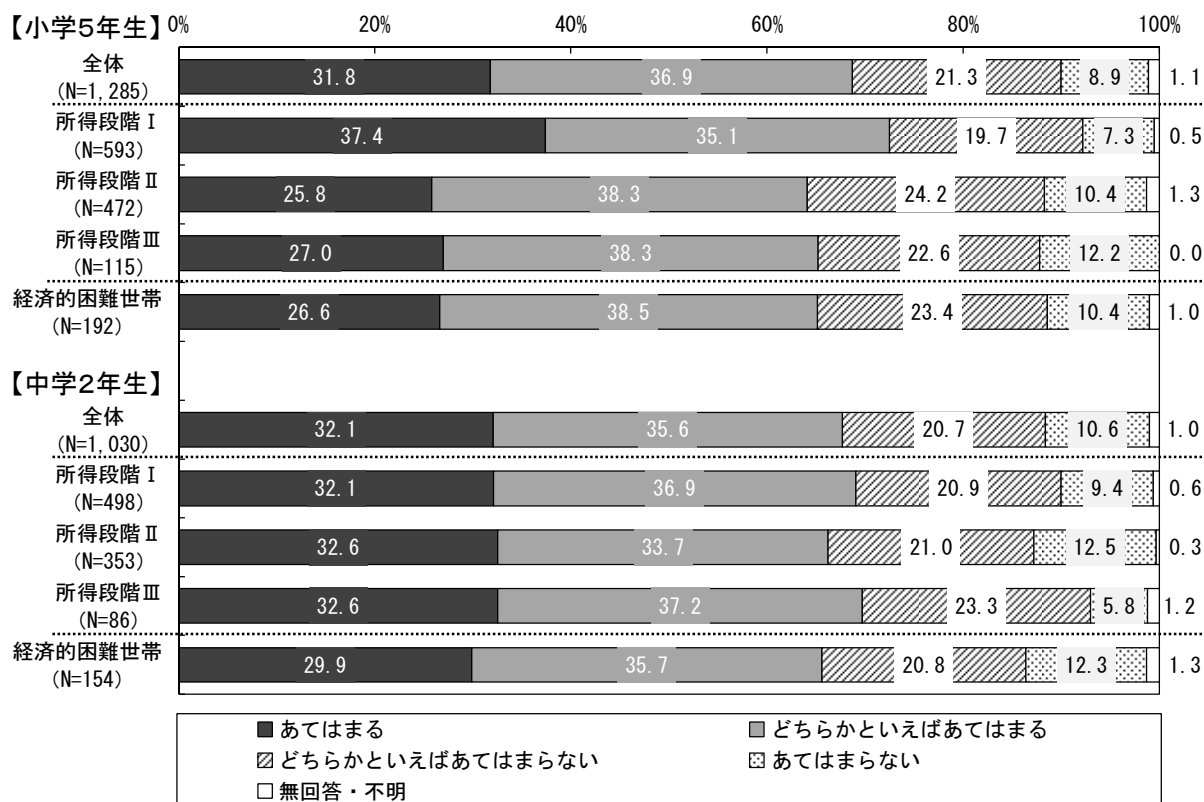
F お子さんと読んだ本の感想を話し合ったりしている



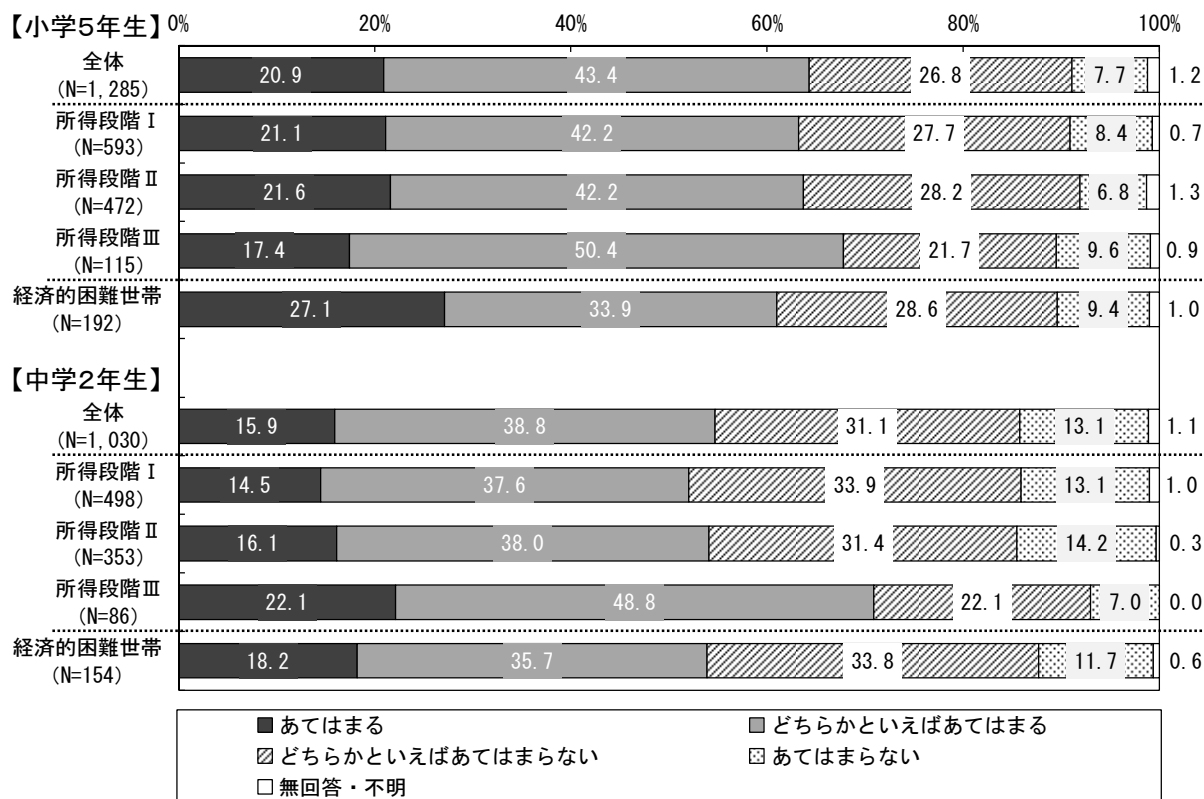
G お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをした



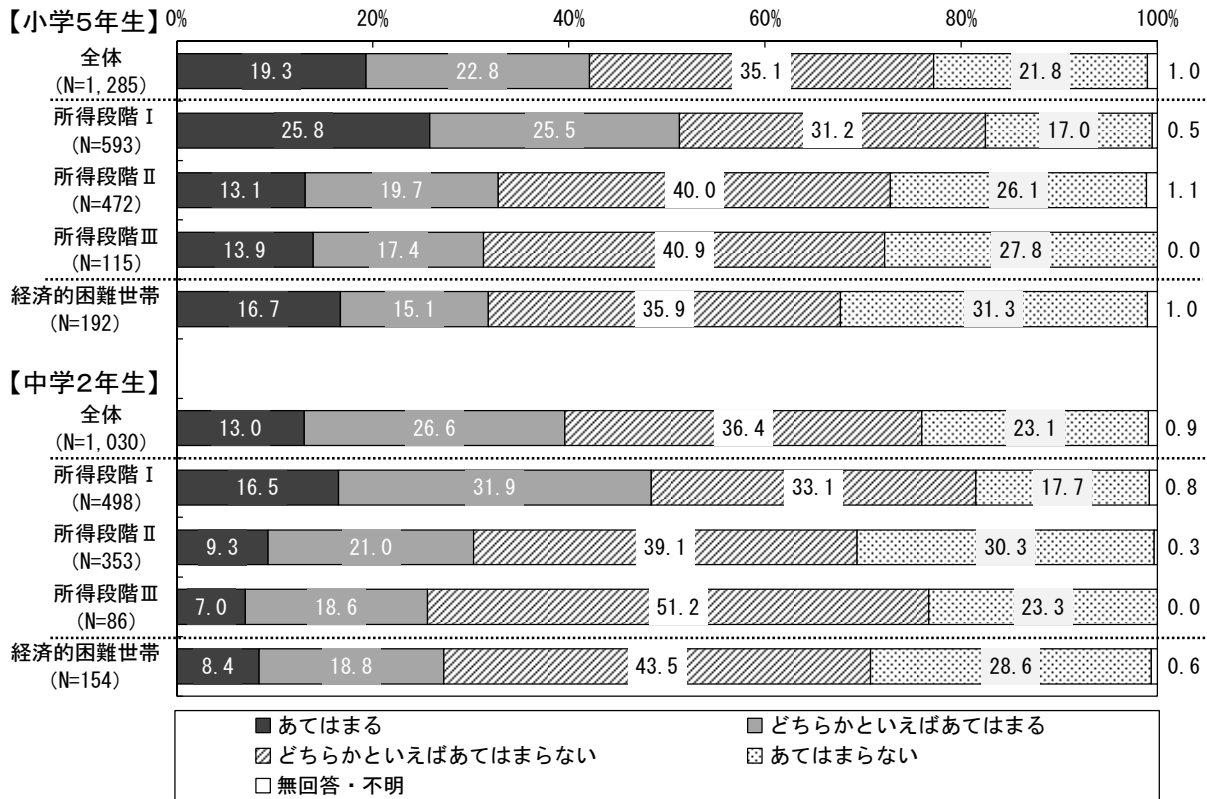
H お子さんに「勉強しなさい」とよく言っている



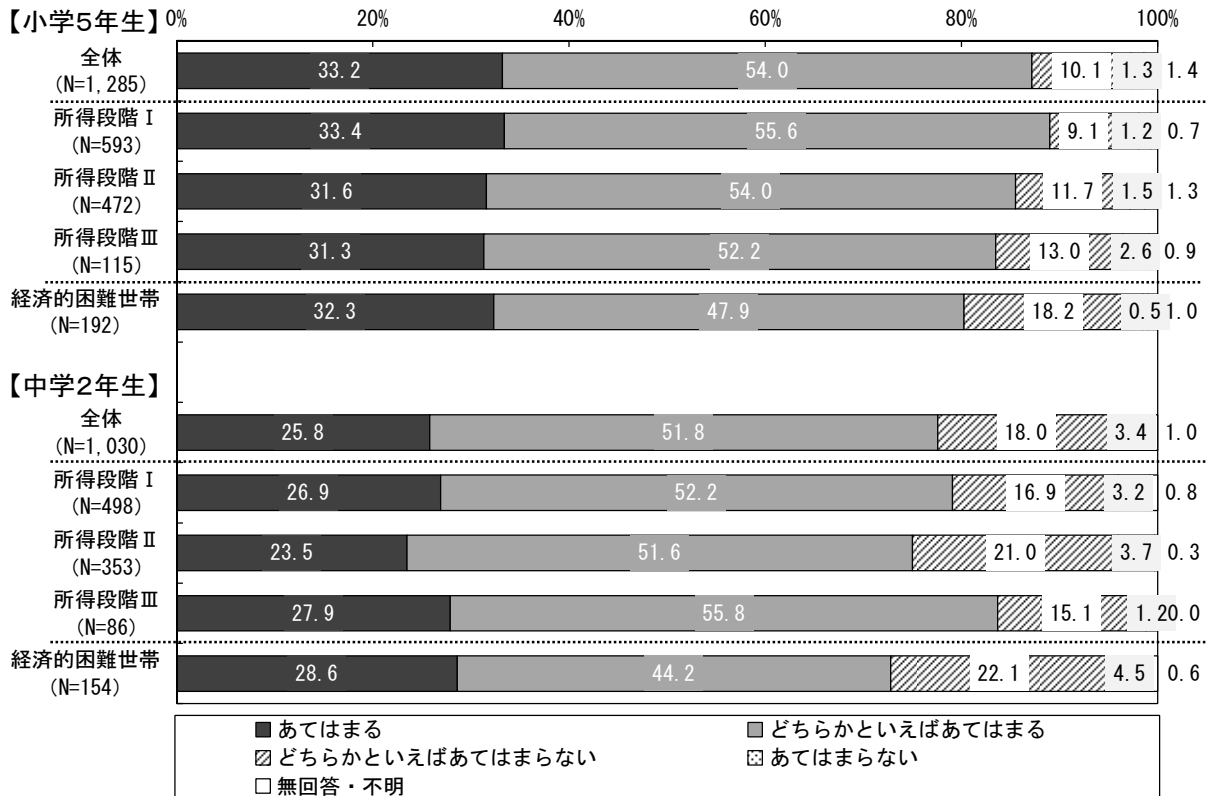
I やるべき事ができるまで何度も細かく指示する



J お子さんが英語や外国の文化に触れるよう意識している

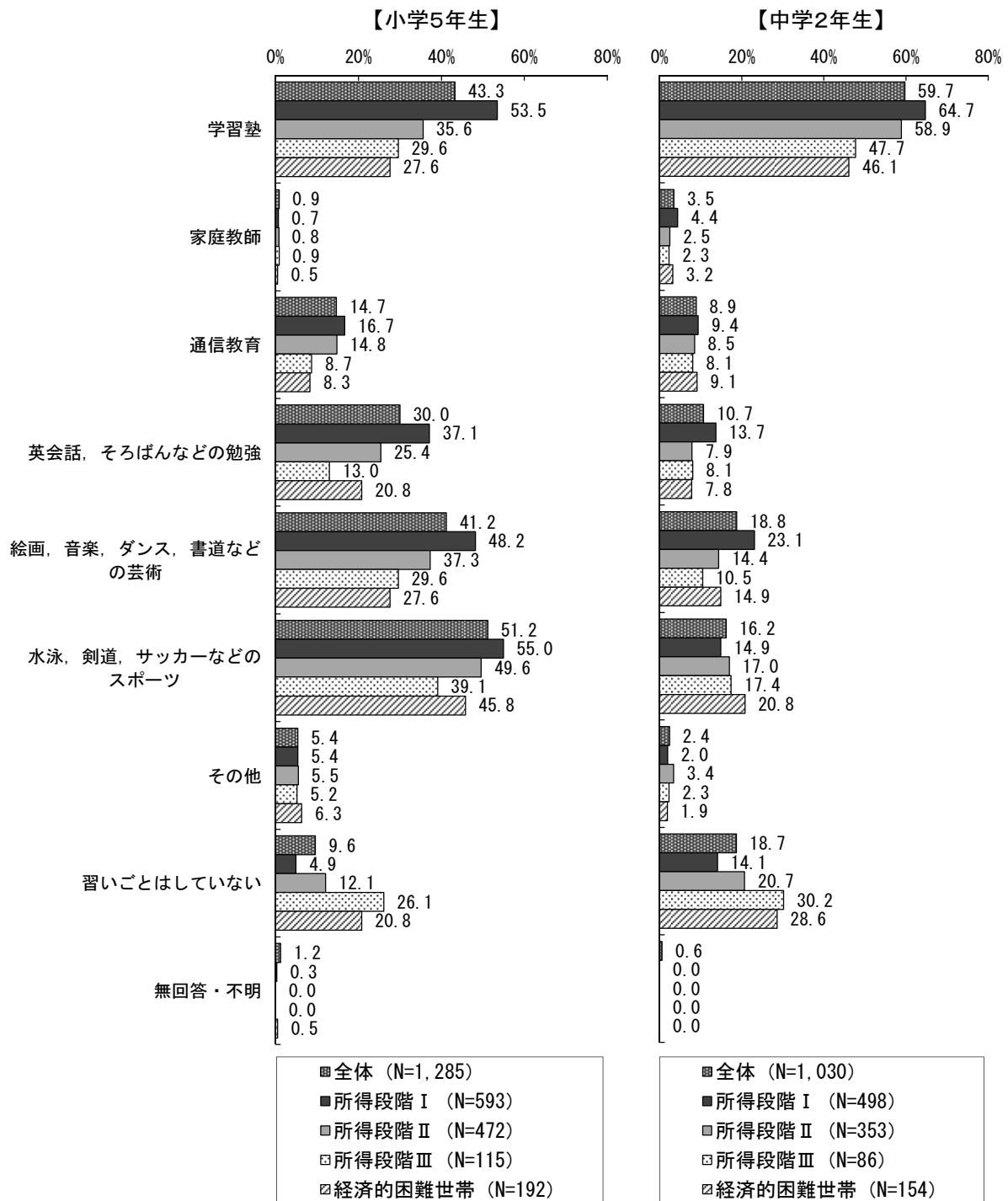


K お子さんの心配事や悩みごとの相談によく乗っている



問 24 お子さんには現在、習いごとをしていますか（費用のかからないサークル活動などは除きます）。【複数回答】

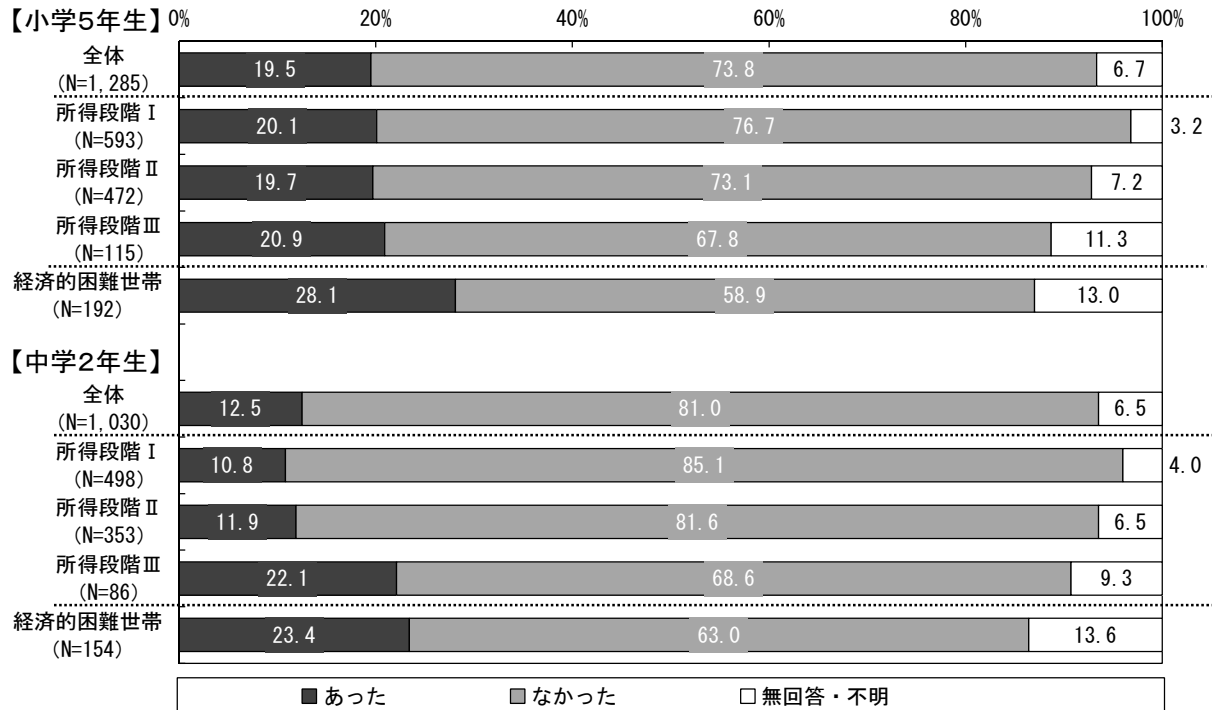
所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では、いずれの習いごとについても回答が少なく、「習いごとはない」が多くなっています。特に小学5年生で差が大きくなっています。



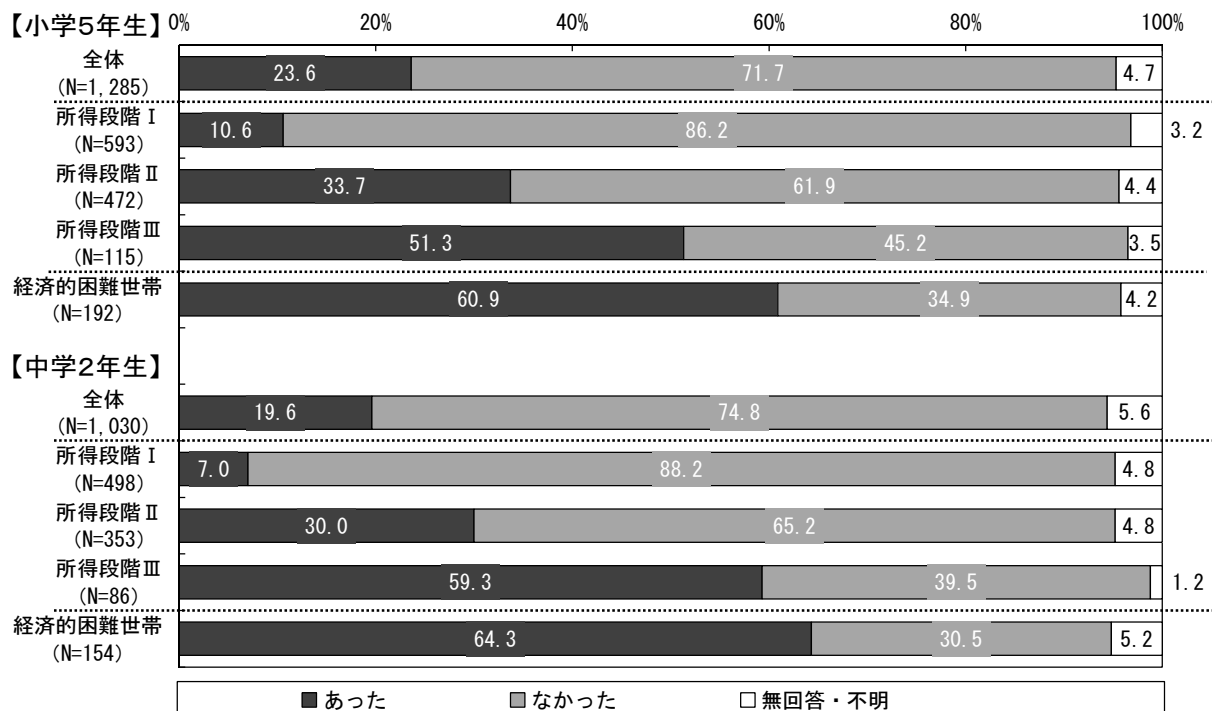
問 25 あなたのご家庭では、子供に塾や習いごとをさせたかったけれど、通える範囲になくて、できなかったことや、通える範囲にあっても、経済的理由で、できなかったことがありますか。

経済的な理由で塾や習いごとができなかったという回答は、所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では半数を超えています。

A 通える範囲になくて、子供の塾や習いごとができなかったこと

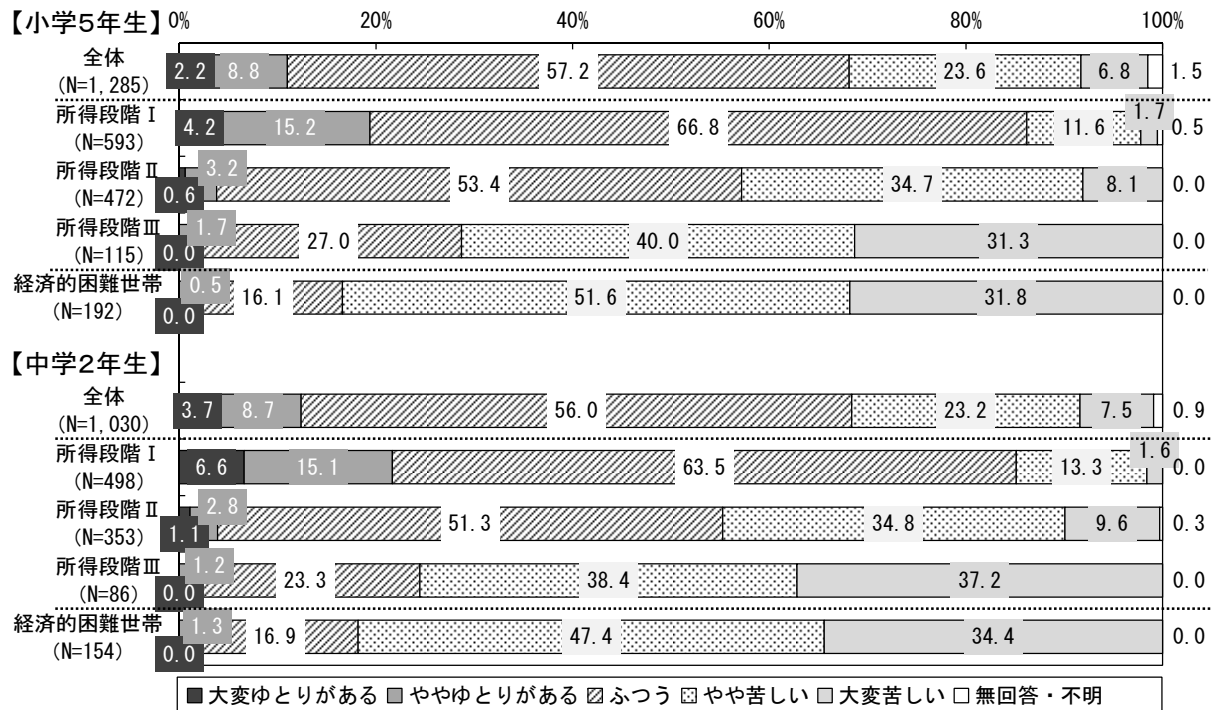


B 経済的な理由で、子供の塾や習いごとができなかったこと

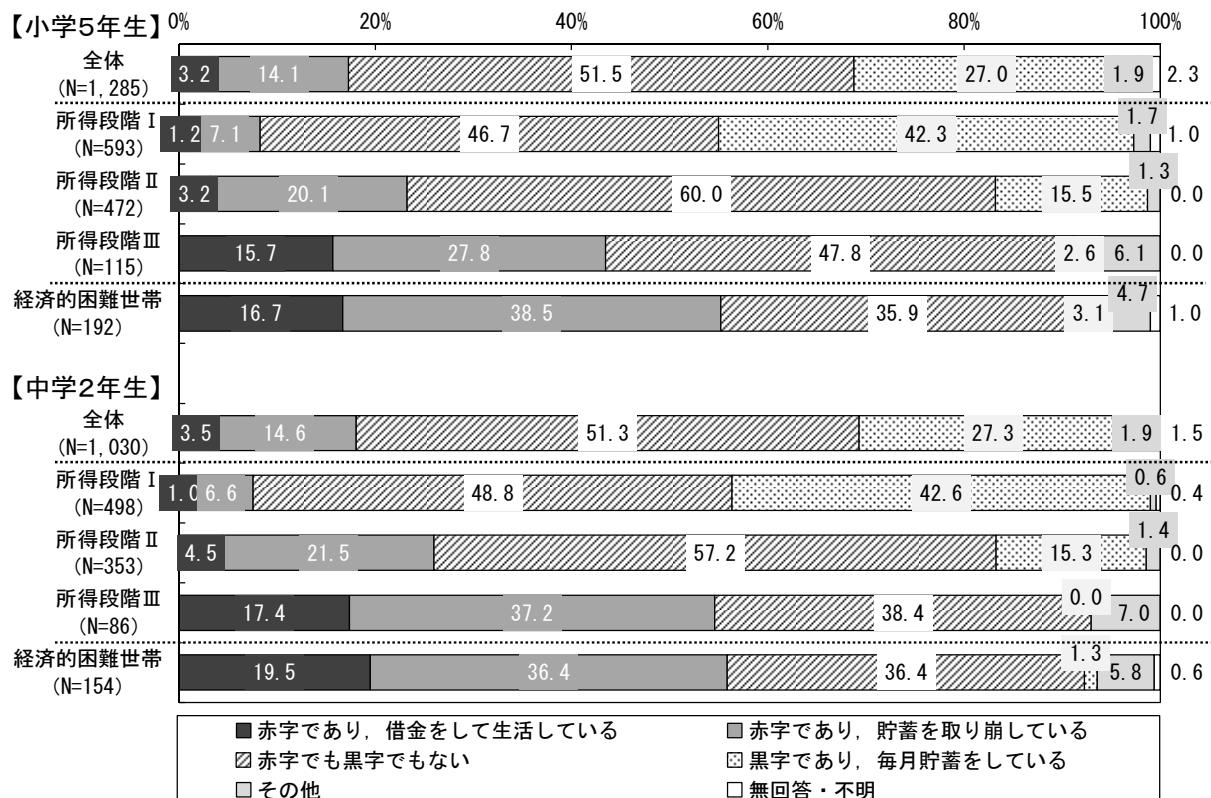


問 26 現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では、暮らしが苦しいという回答が多く、赤字の世帯が多くなっています。

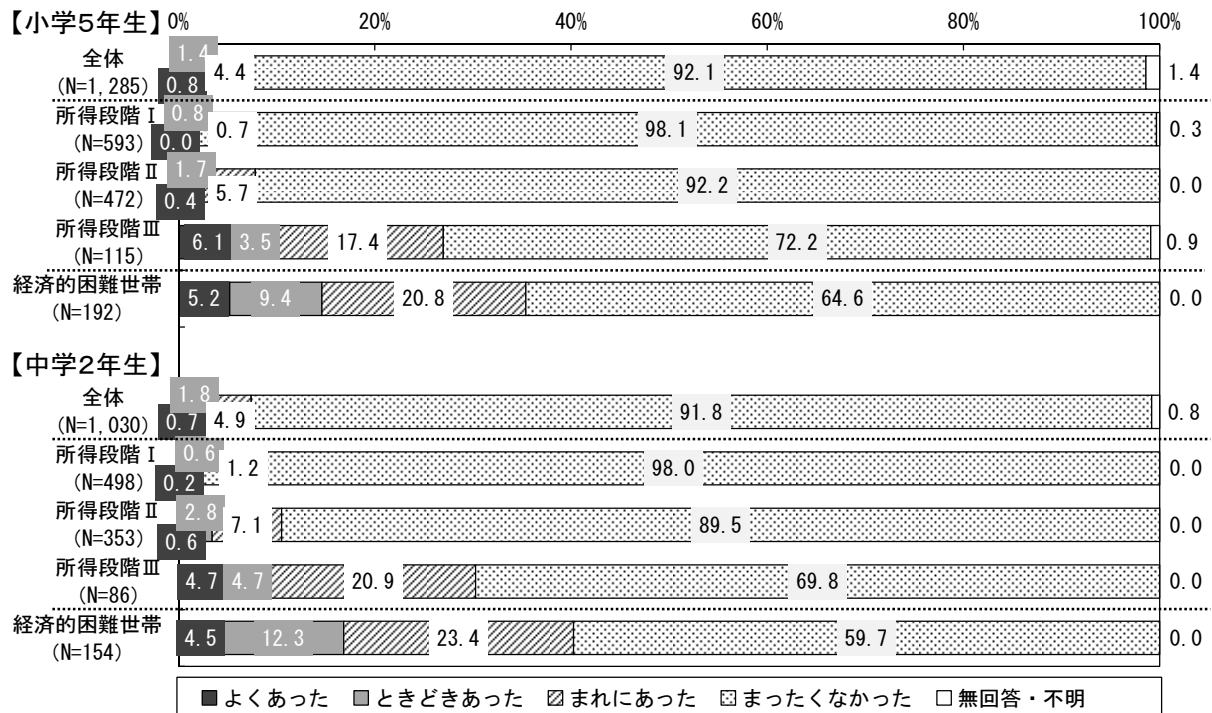


問 27 ご家庭の家計について、最も近いものをお答えください。



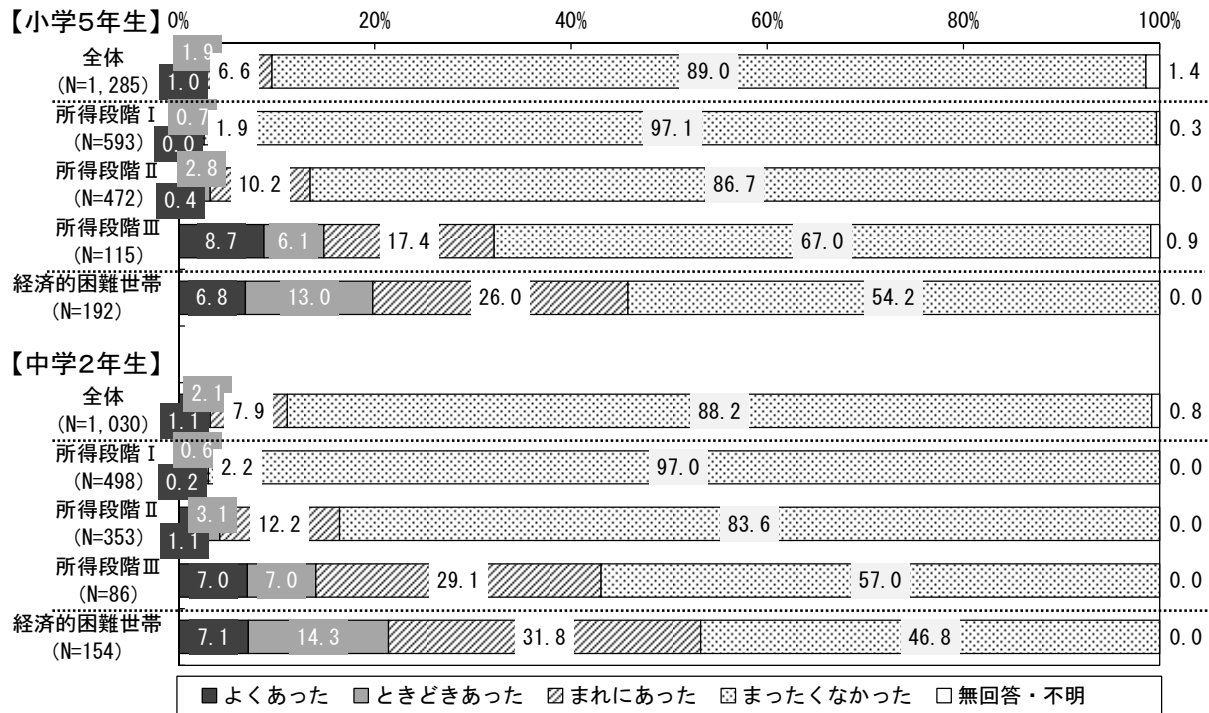
問 28 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。

所得段階Ⅲでは、約1割が「よくあった」または「ときどきあった」と回答しており、「まれにあった」を加えると、約3割が食料を買えないことがあったと回答しています。この質問は経済的困難世帯を定義する質問の一つであるため、経済的困難世帯との比較することには意味はありません（以下問31まで同様）。



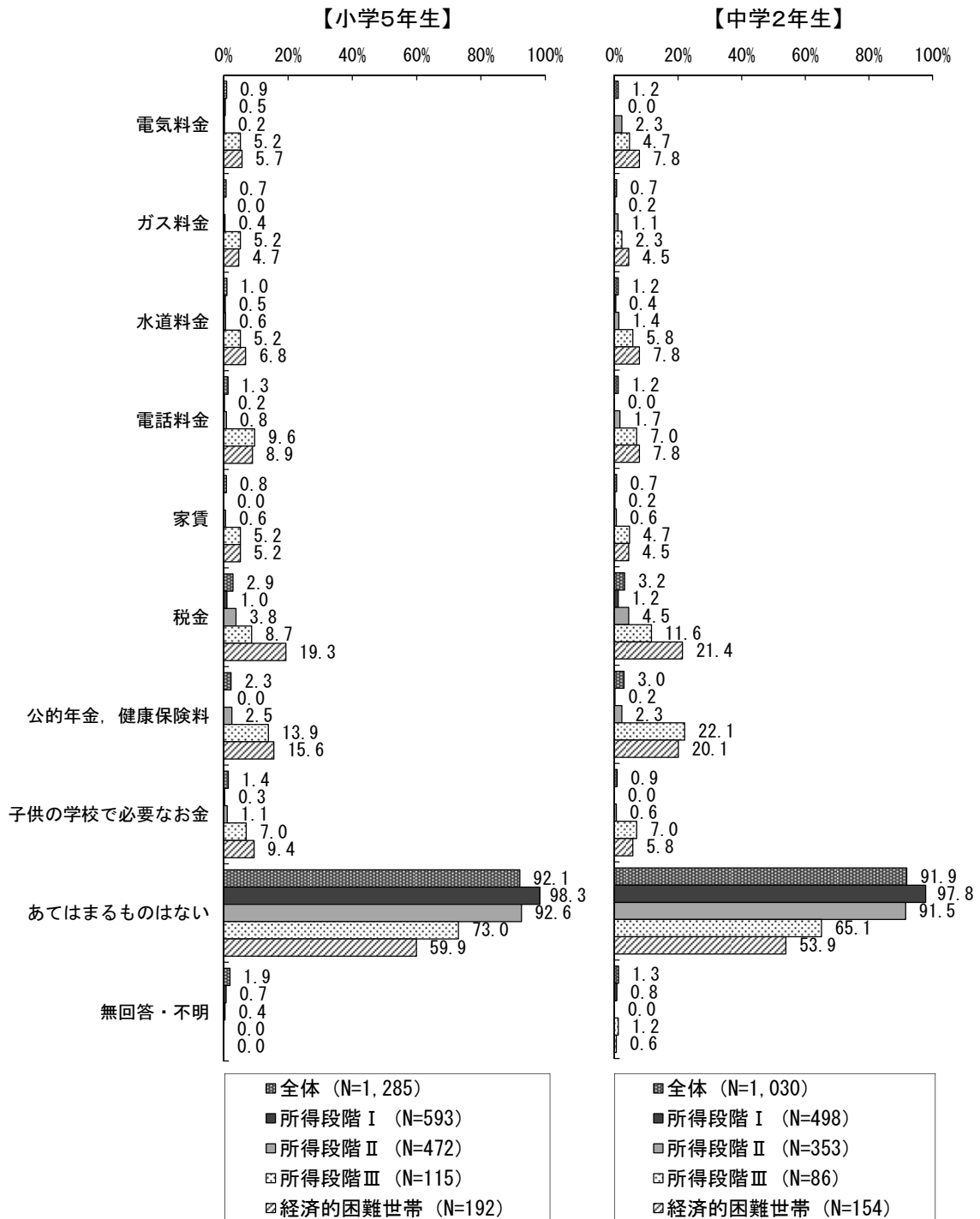
問 29 あなたのご家庭では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類が買えないことがありましたか。

所得段階Ⅲでは、約 1 割が「よくあった」または「ときどきあった」と回答しており、「まれにあった」を加えると、小学 5 年生では約 3 割、中学 2 年生では約 4 割が衣類を買えないことがあったと回答しています。



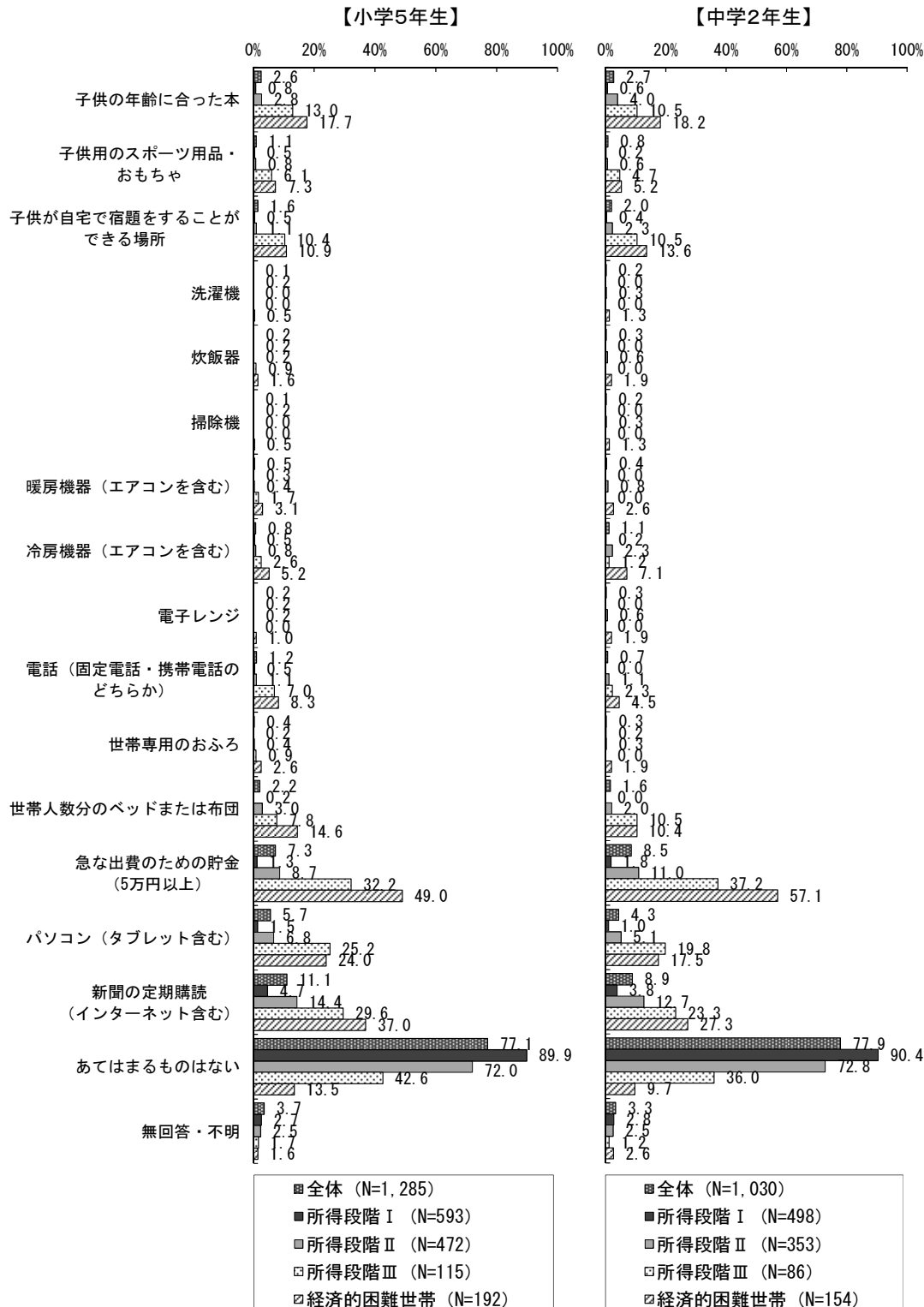
問 30 過去1年の間に、経済的な理由で、以下の料金について、支払えないことがありましたか。【複数回答】

「あてはまるものはない」は全体では9割を超えていますが、所得段階Ⅲでは7割前後にとどまっています。払えなかったという回答については、所得段階Ⅲでは「公的年金、健康保険料」が最も多くなっています。



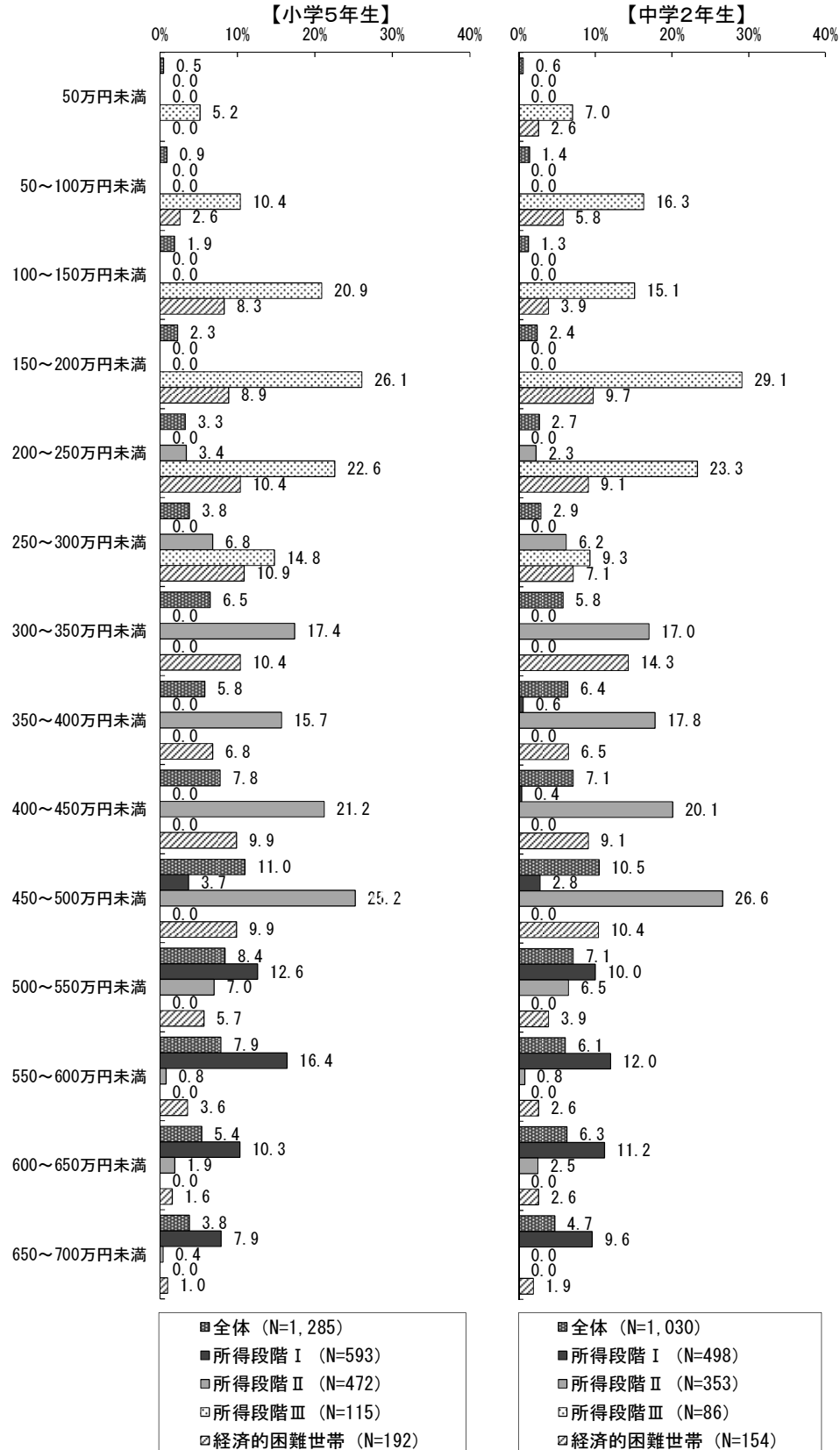
問 31 次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか。
【複数回答】

「あてはまるものはない」は全体では約8割ですが、所得段階Ⅲでは4割前後にとどまっています。世帯にないものについては、「急な出費のための貯金（5万円以上）」が最も多くなっています。

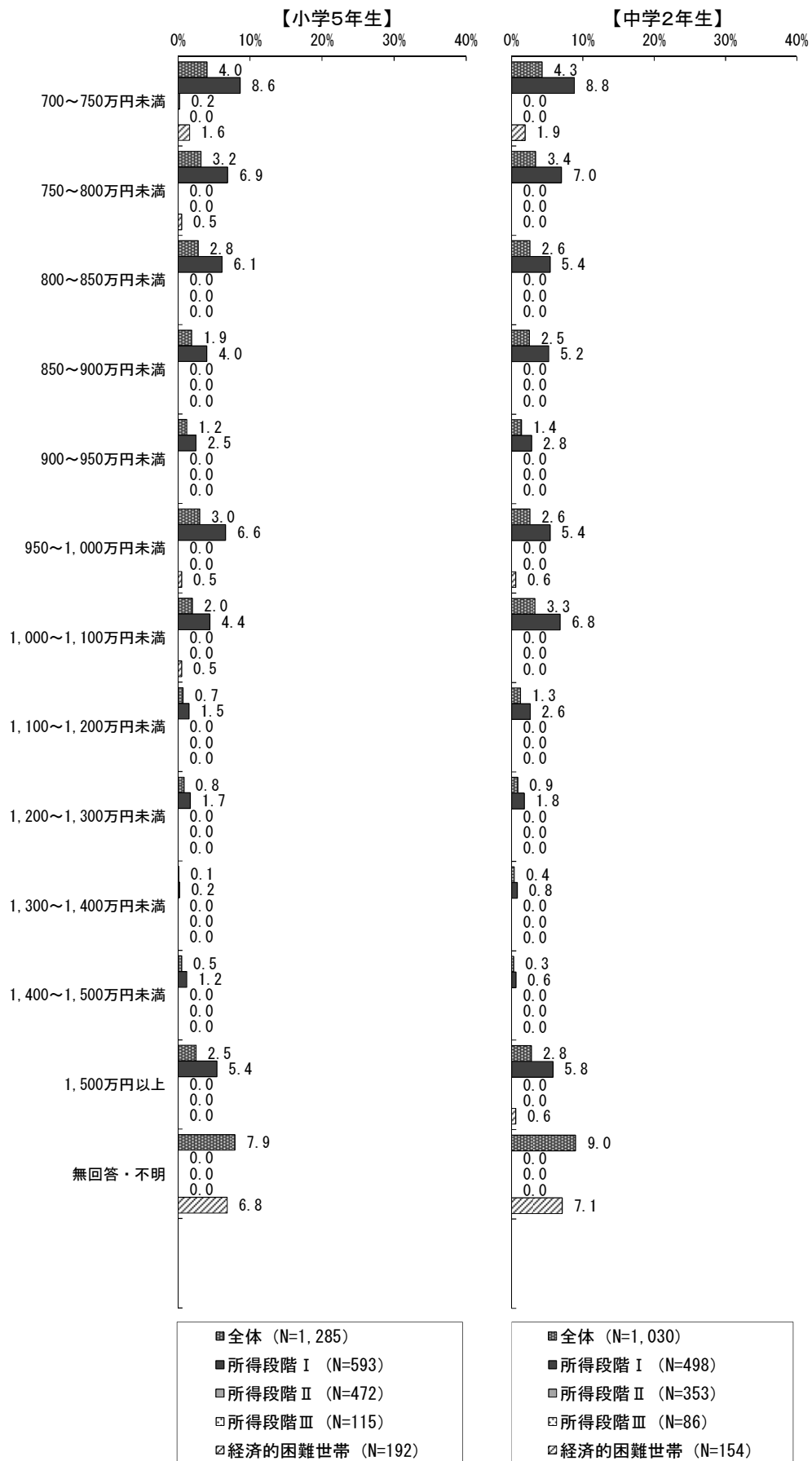


問 32 前年（2017 年）のあなたの世帯の家族全員の収入の合計額（いわゆる手取り収入）は、およそいくらでしたか。

全体の中央値は、小学5年生で「500～550万円未満」、中学2年生で「550～600万円未満となっています。所得段階Ⅲではいずれの学年も「150～200万円未満」が中央値となっています。



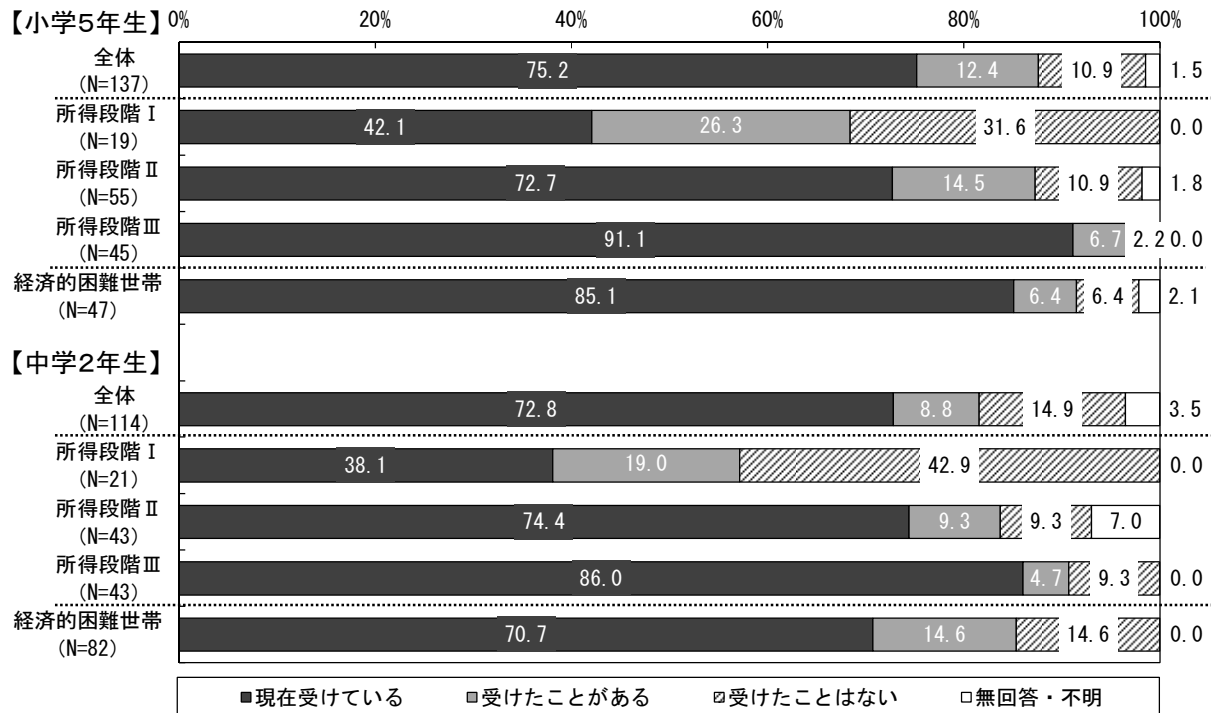
問 32 つづき



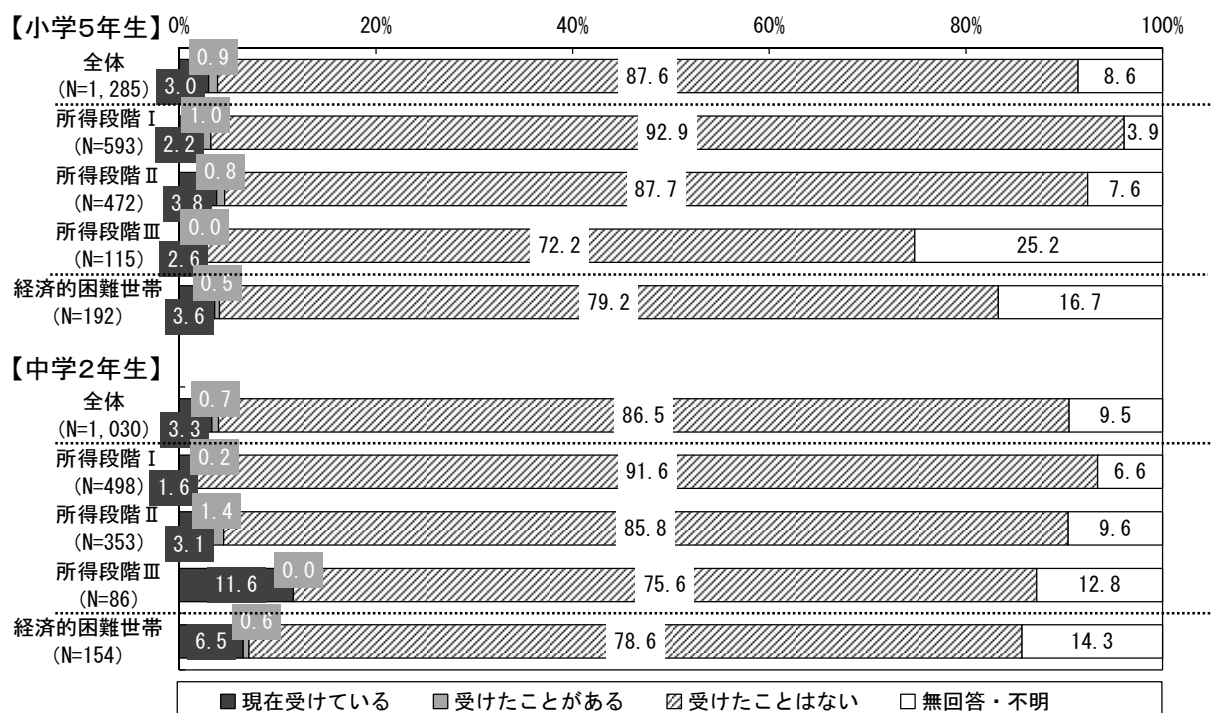
問 33 あなたの世帯では、以下の手当や援助等を受けていますか。

所得段階Ⅲではほぼ受給要件を満たすと考えられる項目のうち、児童扶養手当については「受けたことはない」は1割未満ですが、「就学援助」については2～3割となっており、既存の制度による支援が届いていない世帯がある可能性があります。

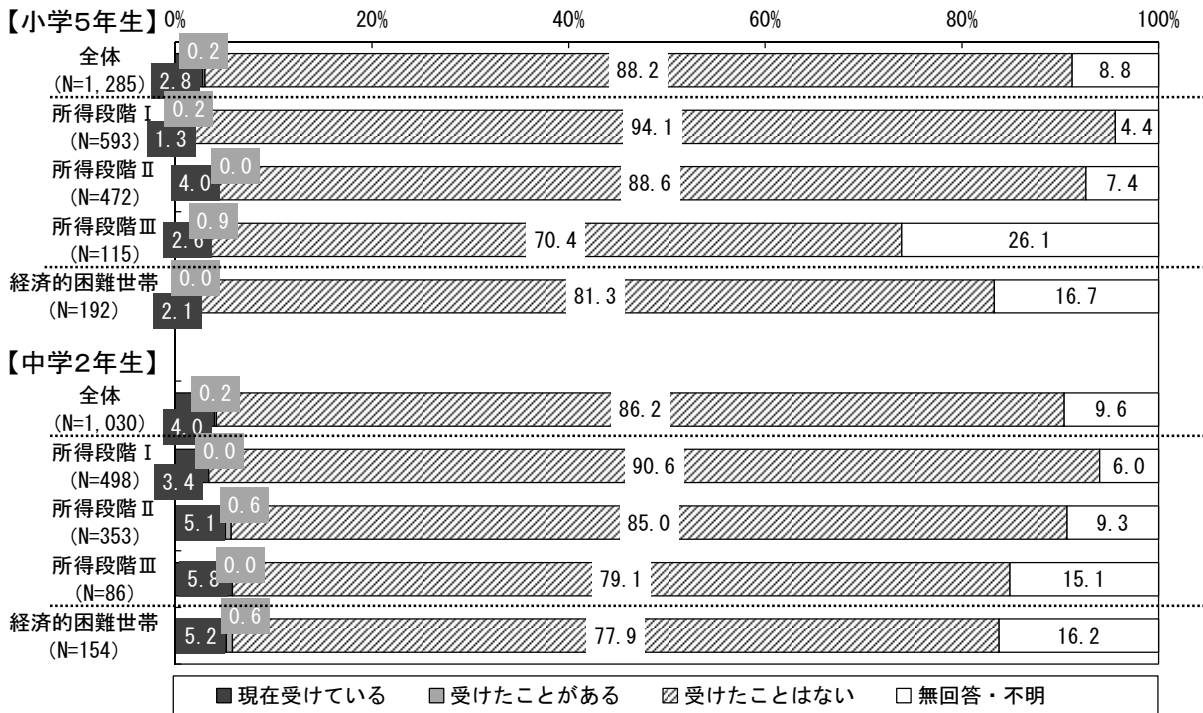
A 児童扶養手当【ひとり親世帯のみの集計】



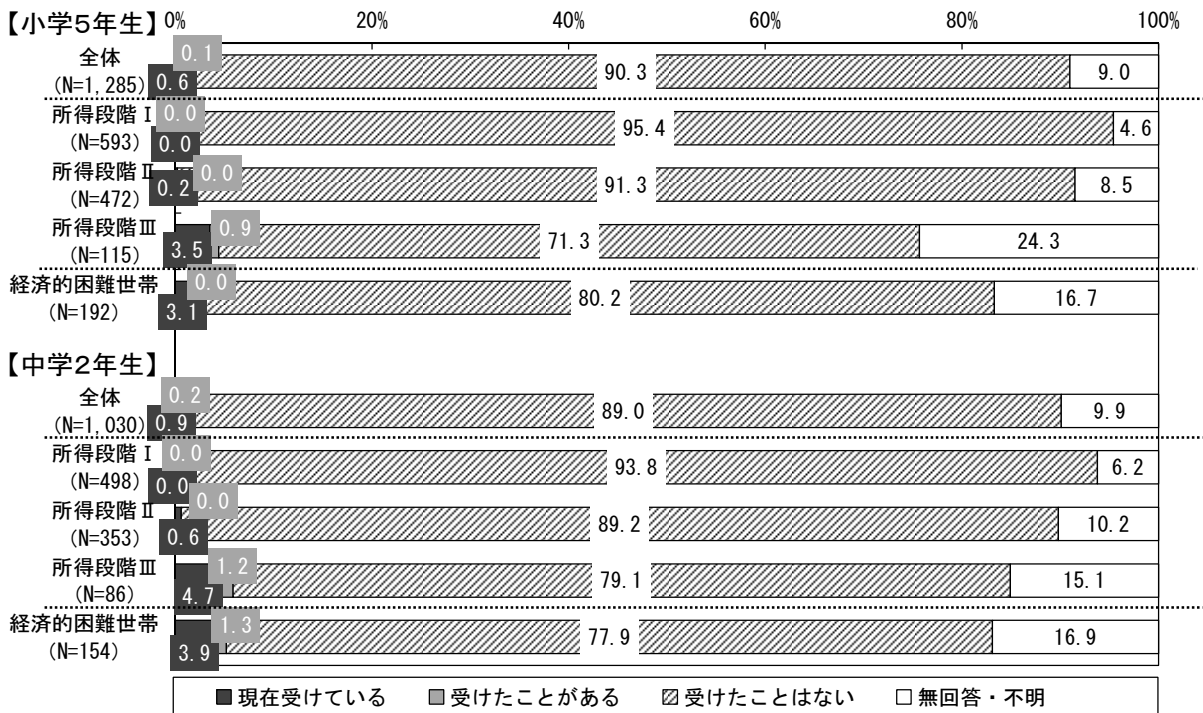
B 障害や難病の手当



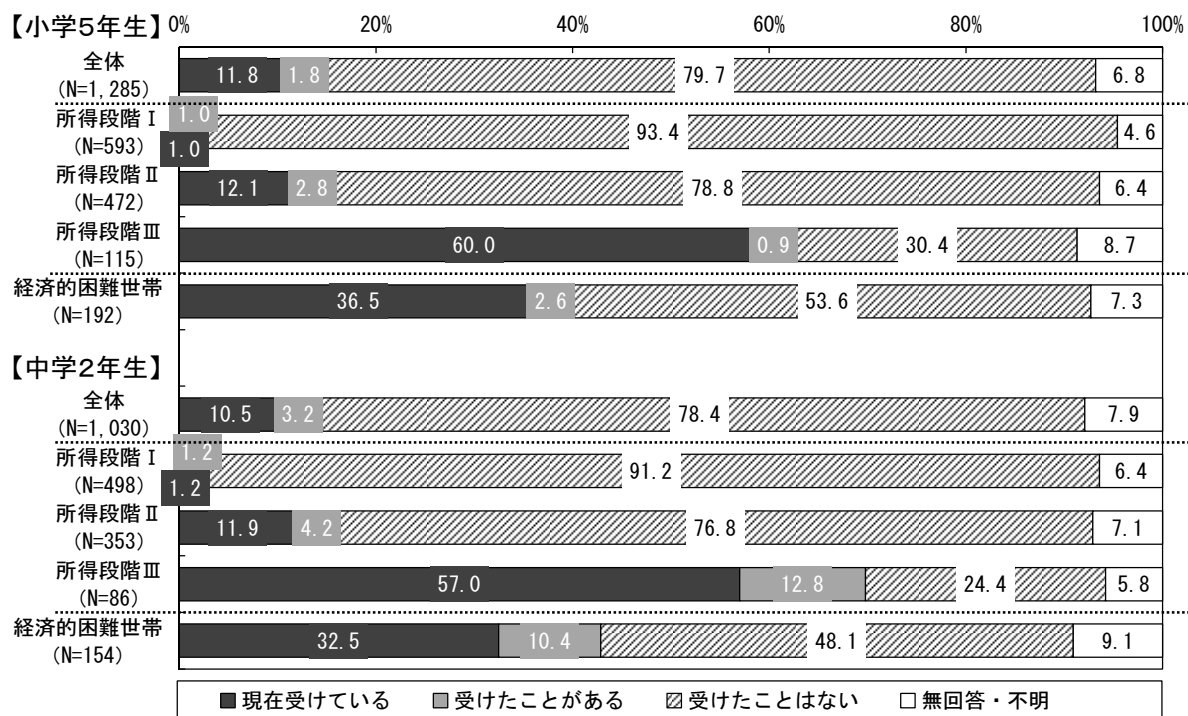
C 年金（遺族年金、老齢年金など）



D 生活保護

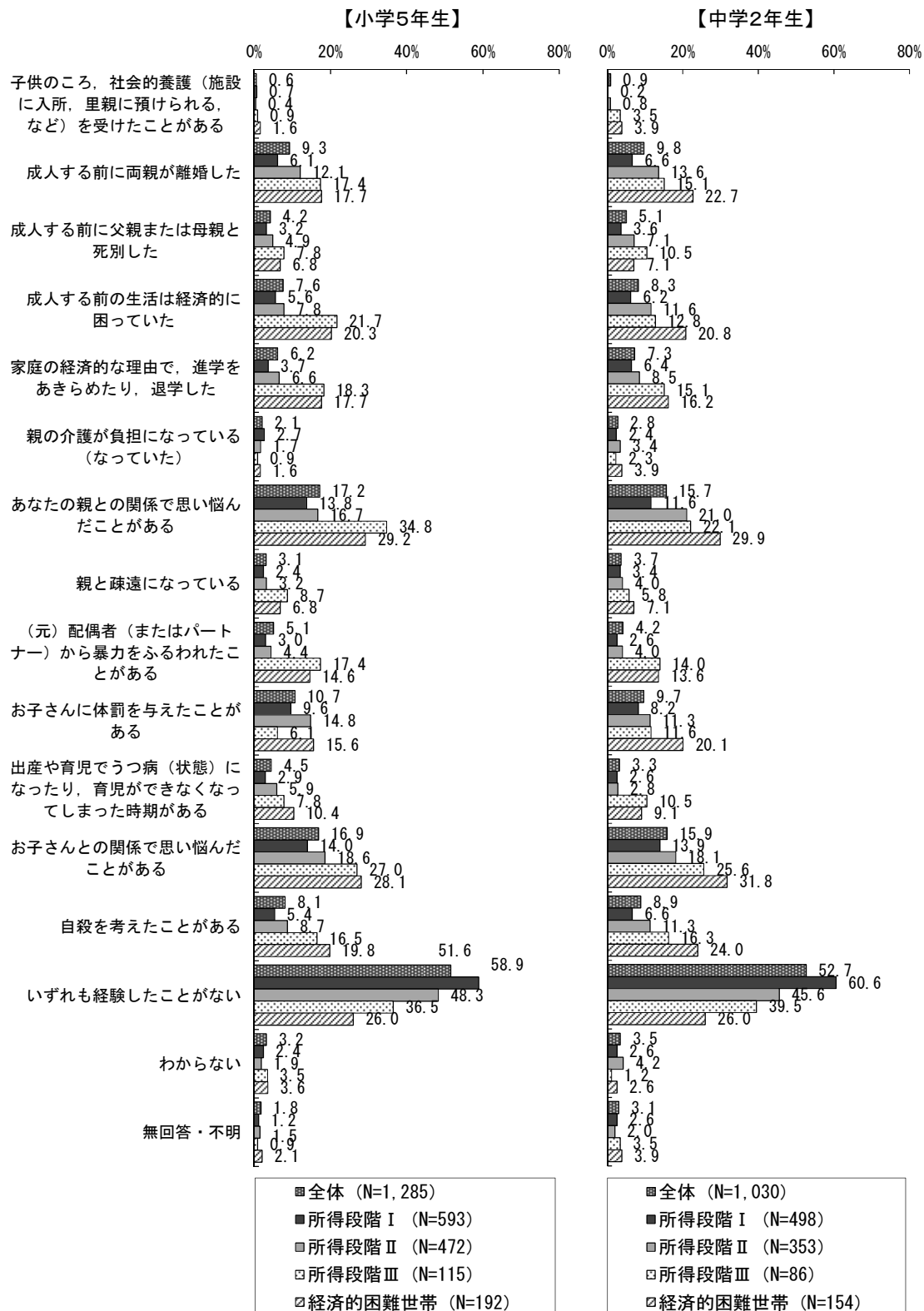


エ 就学援助 ※給食費や学用品などの費用の一部を援助する制度



問 34 あなたは、次のような経験をしたことがありますか。【複数回答】

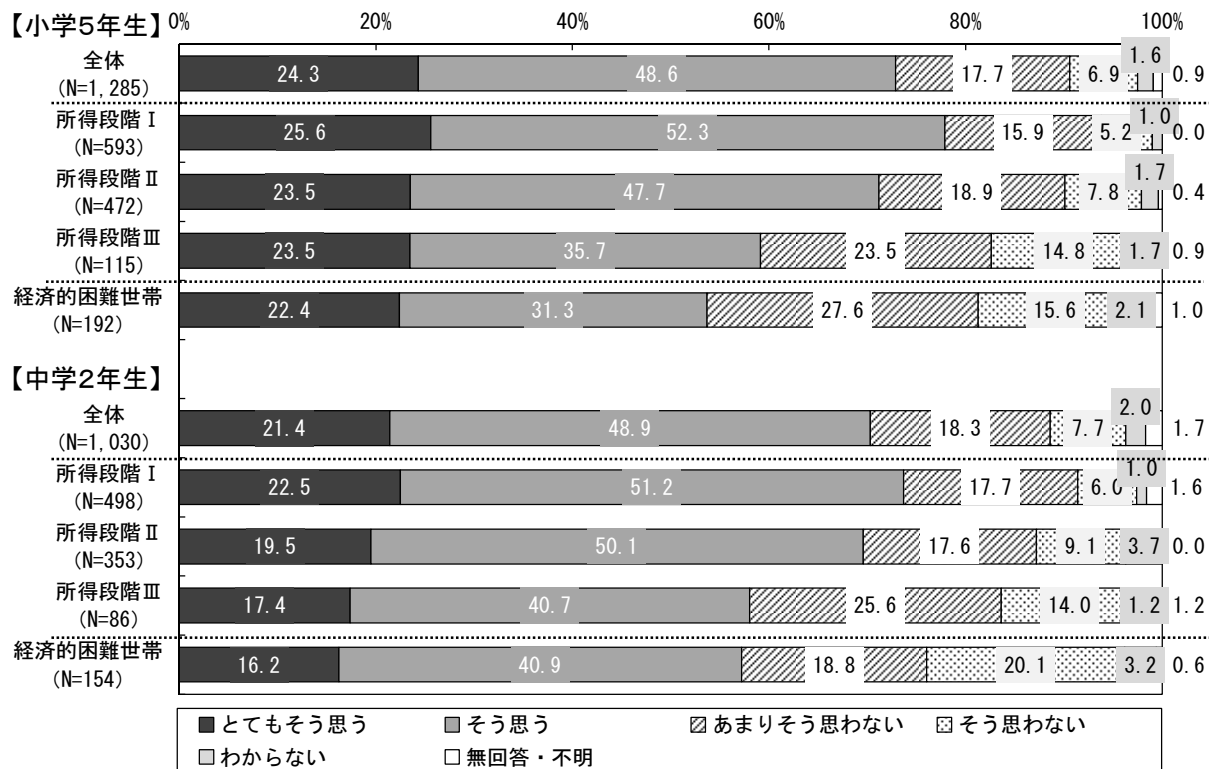
所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では、「いずれも経験したことがない」以外のほとんどすべての項目で回答が多くなっています。保護者自身が厳しい生育環境を経験してきた場合が多かったことが示されており、現在の経済状況が貧困の連鎖の結果としての側面もあることがうかがえます。



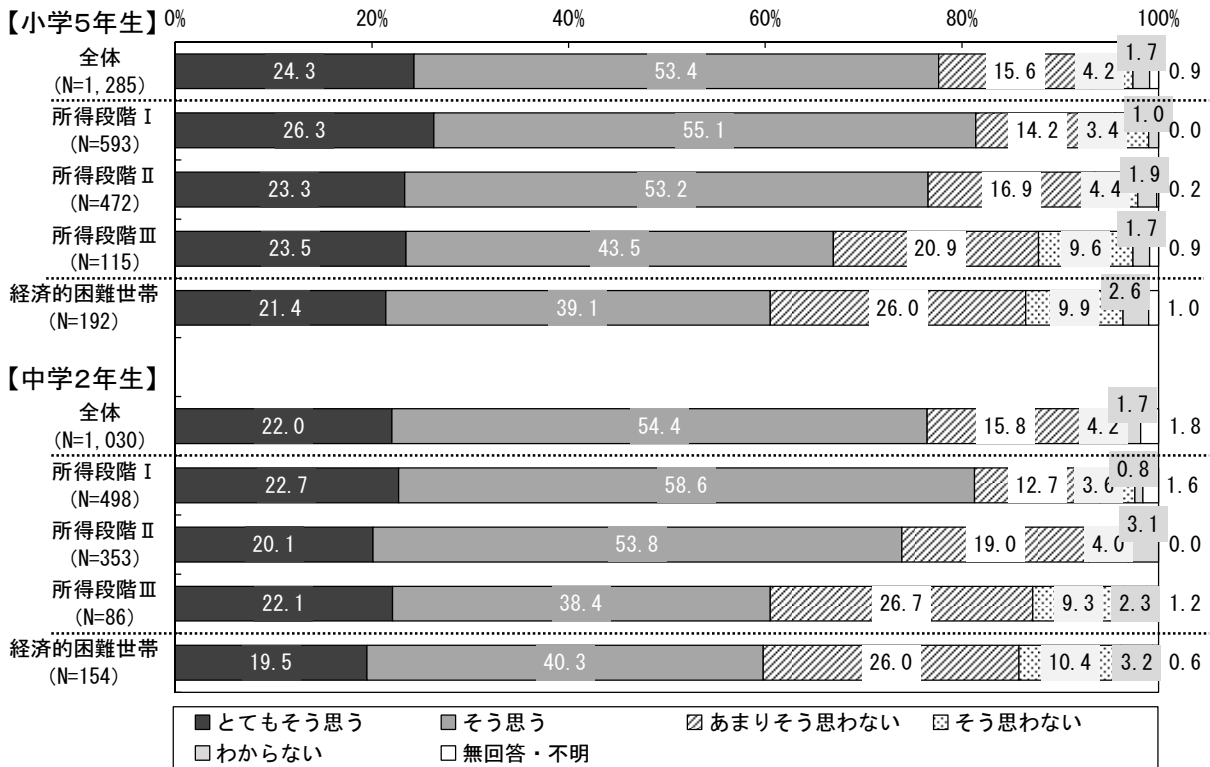
問 35 あなたの親は子供のころのあなたに対しどのように接していましたか。
最も近いと思うものに○をつけてください

所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では「一緒に楽しい時間を過ごしてくれた」「自分が喜ぶことをしてくれた」について、「とてもそう思う」または「そう思う」という回答がやや少ない一方で、「やらなければいけないことを何度も言われた」「不安や苛立ちを、ぶつけられた」については「とてもそう思う」または「そう思う」がやや多くなっています。

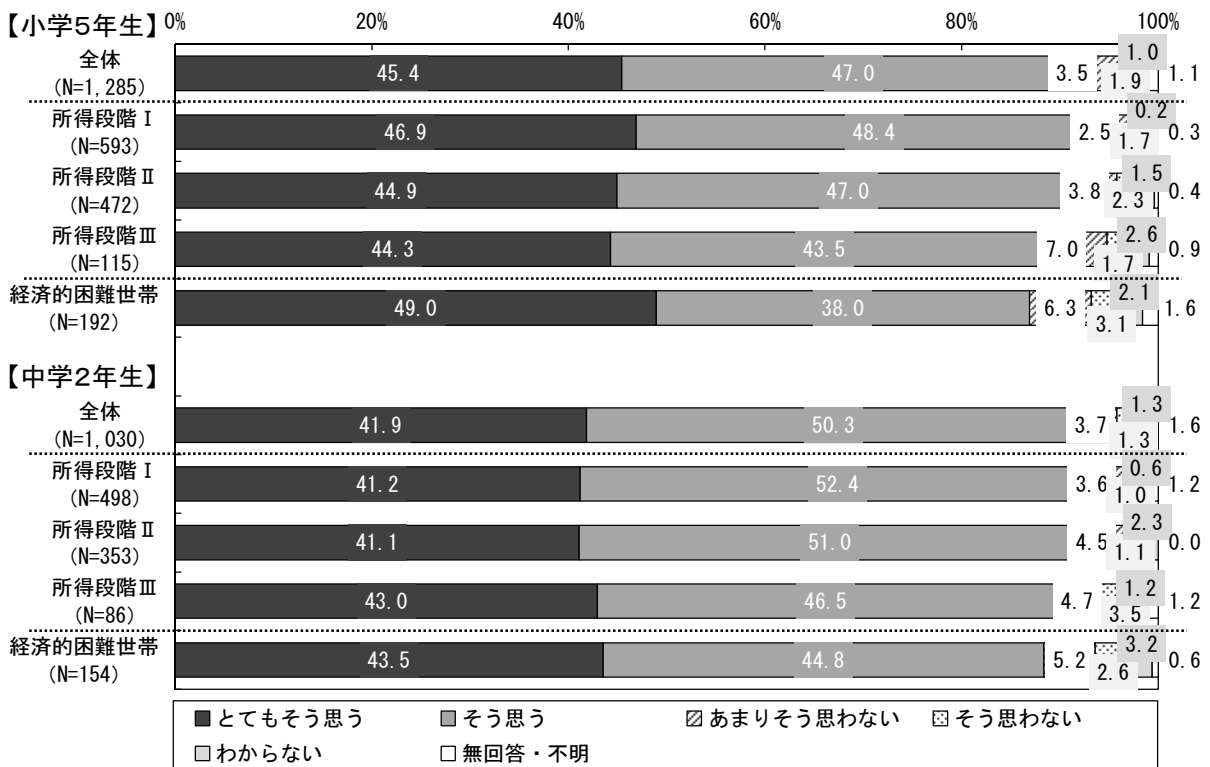
A 一緒に楽しい時間を過ごしてくれた



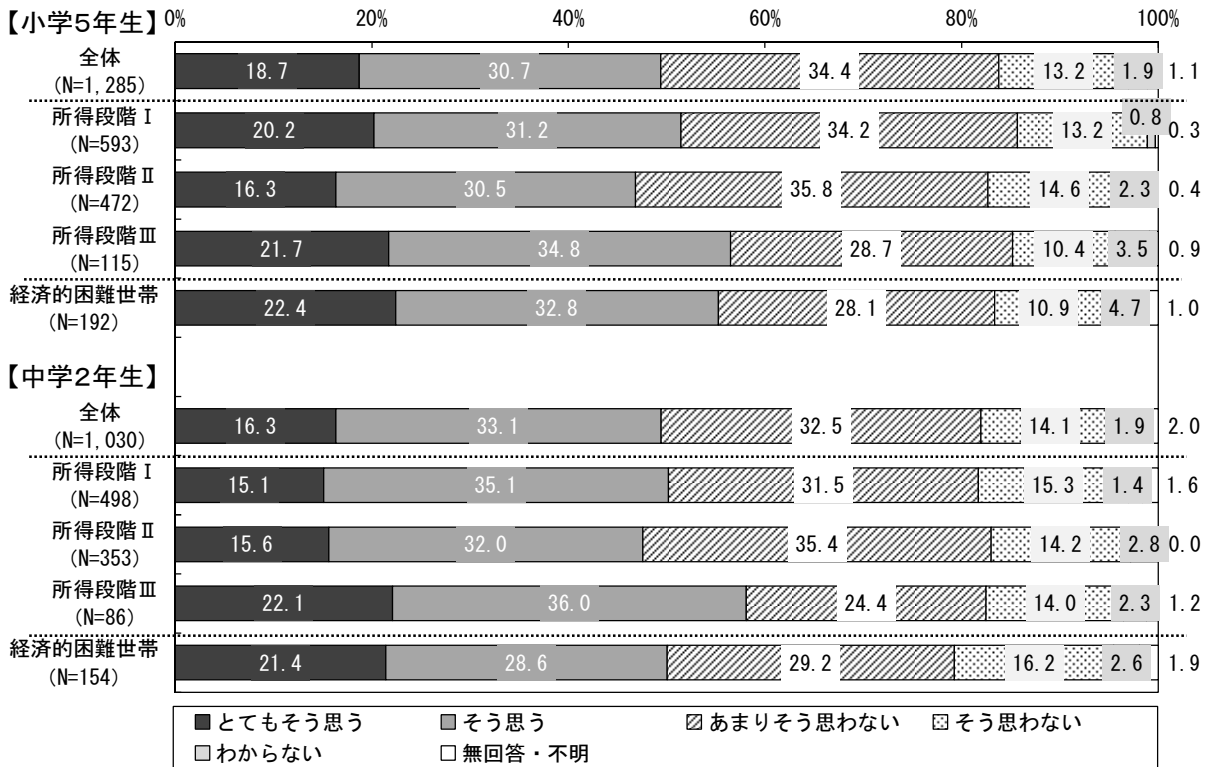
B 自分が喜ぶことをしてくれた



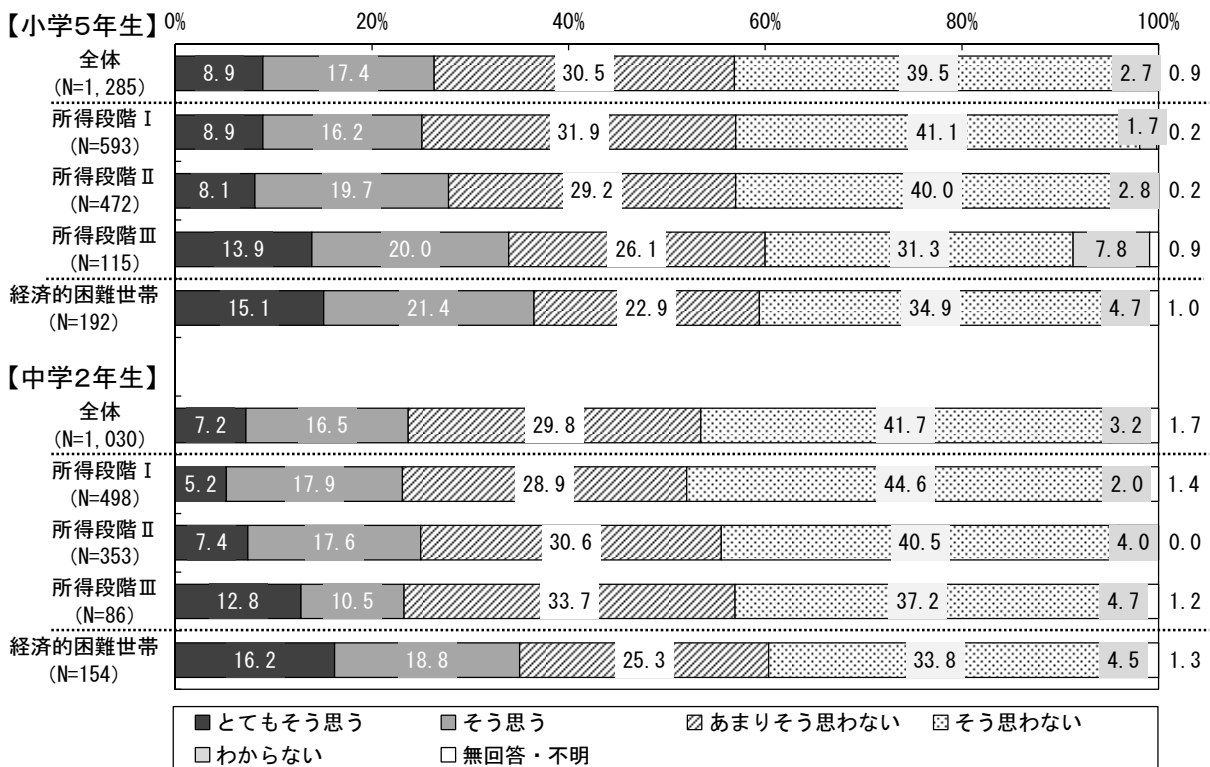
C 悪いことをするとしかられた



D やらなければいけないことを何度も言われた

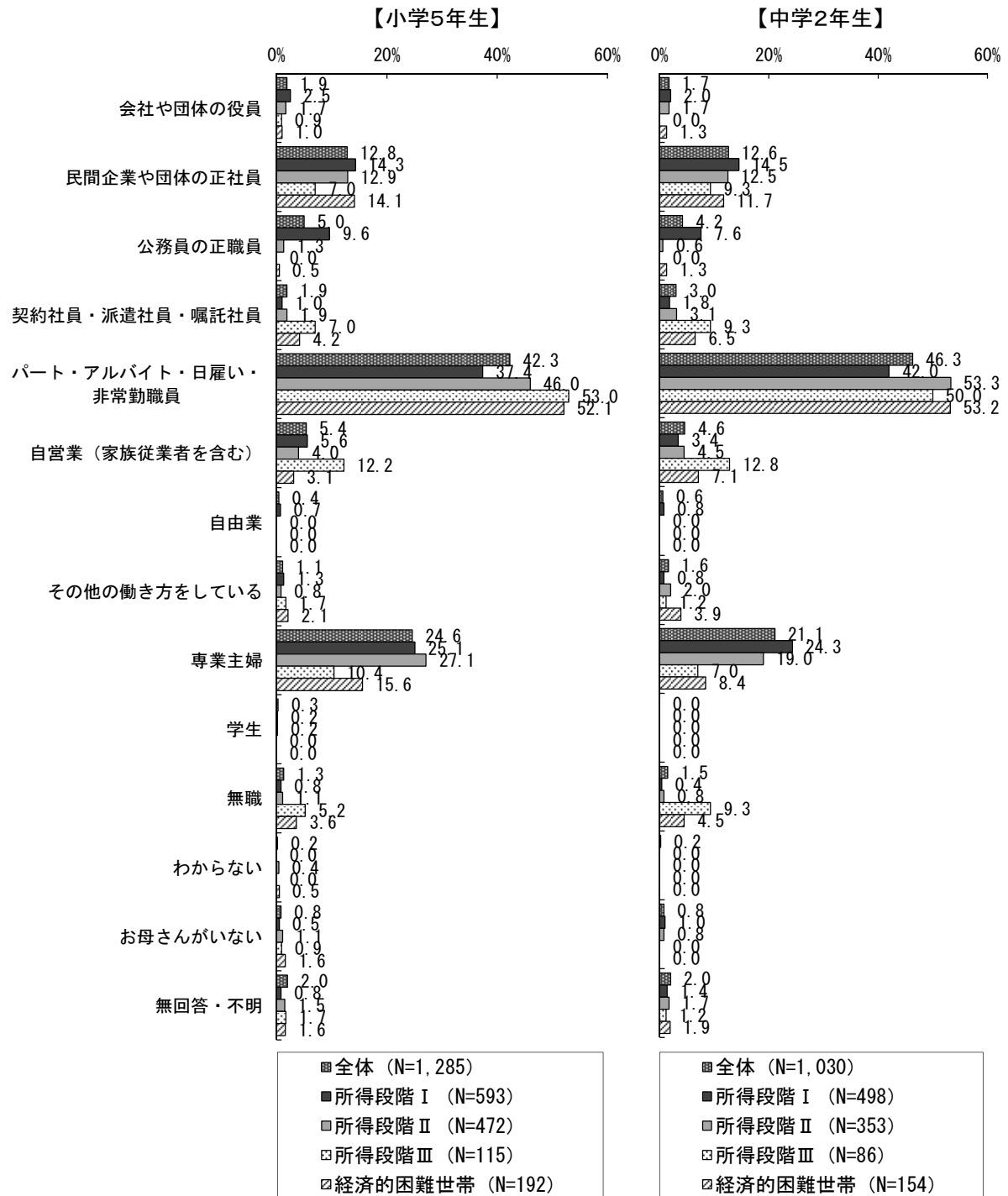


E 不安や苛立ちを、ぶつけられた



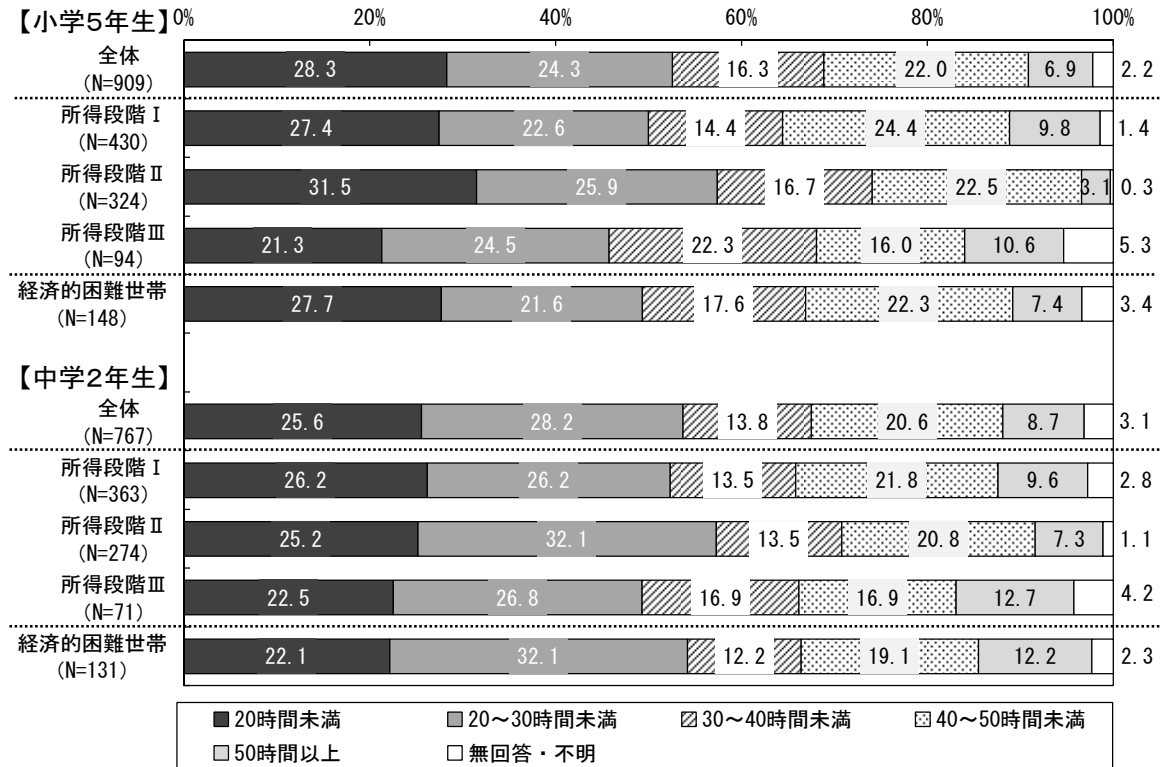
問 36 お子さんのお母さんの現在のお仕事は、次のどれに最も近いですか。

所得段階Ⅲでは、「専業主婦」が少なく、「契約社員・派遣社員・嘱託社員」「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」「自営業」が多くなっています。



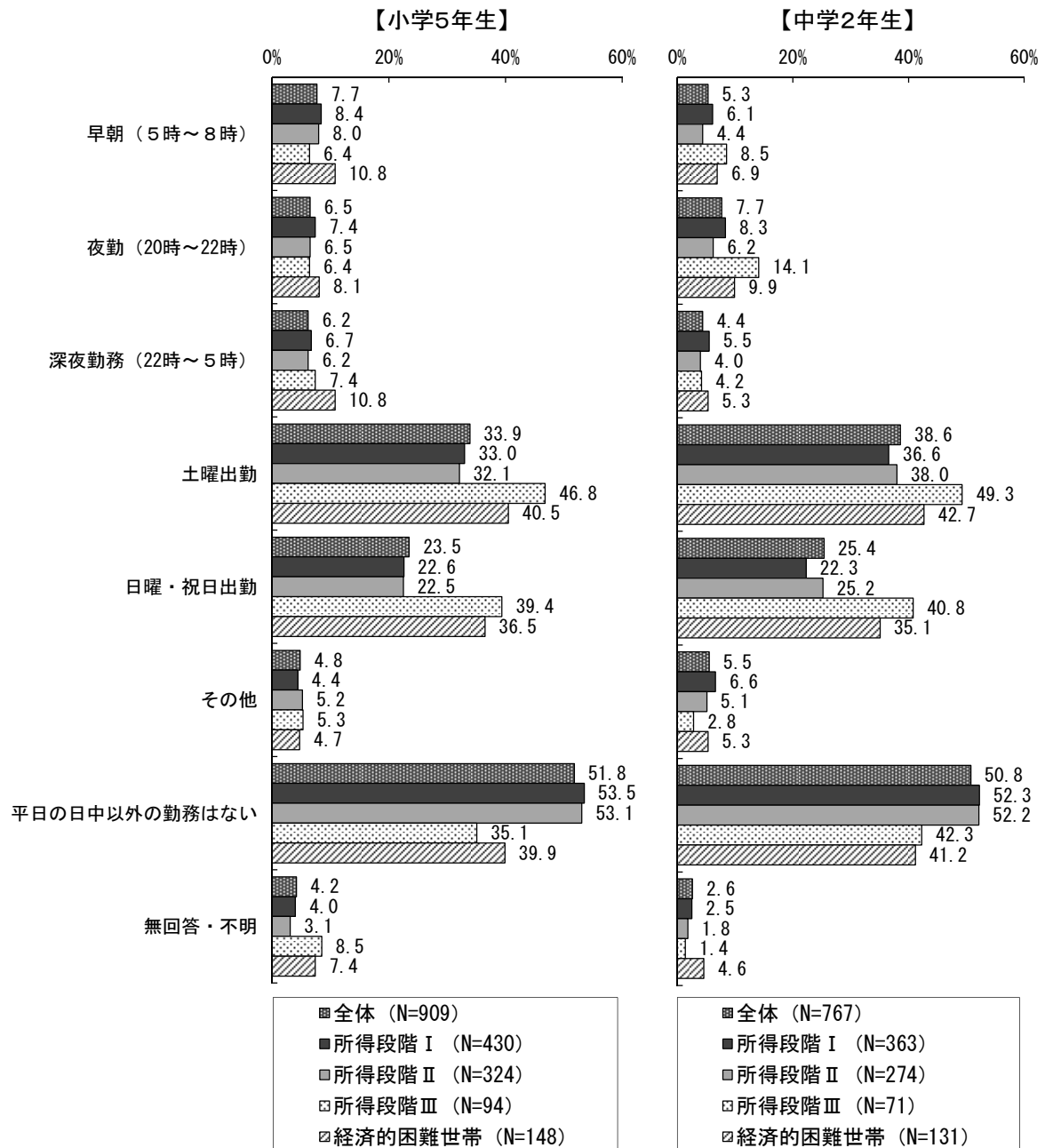
問 36- 1 (母親が働いている人のみ) お子さんのお母さんは、1週間に平均何時間、お仕事をされていますか。(複数のお仕事に従事しておられる場合は合算してください)

就労している母親の中では、所得段階Ⅲで、就労時間がやや長い傾向です。



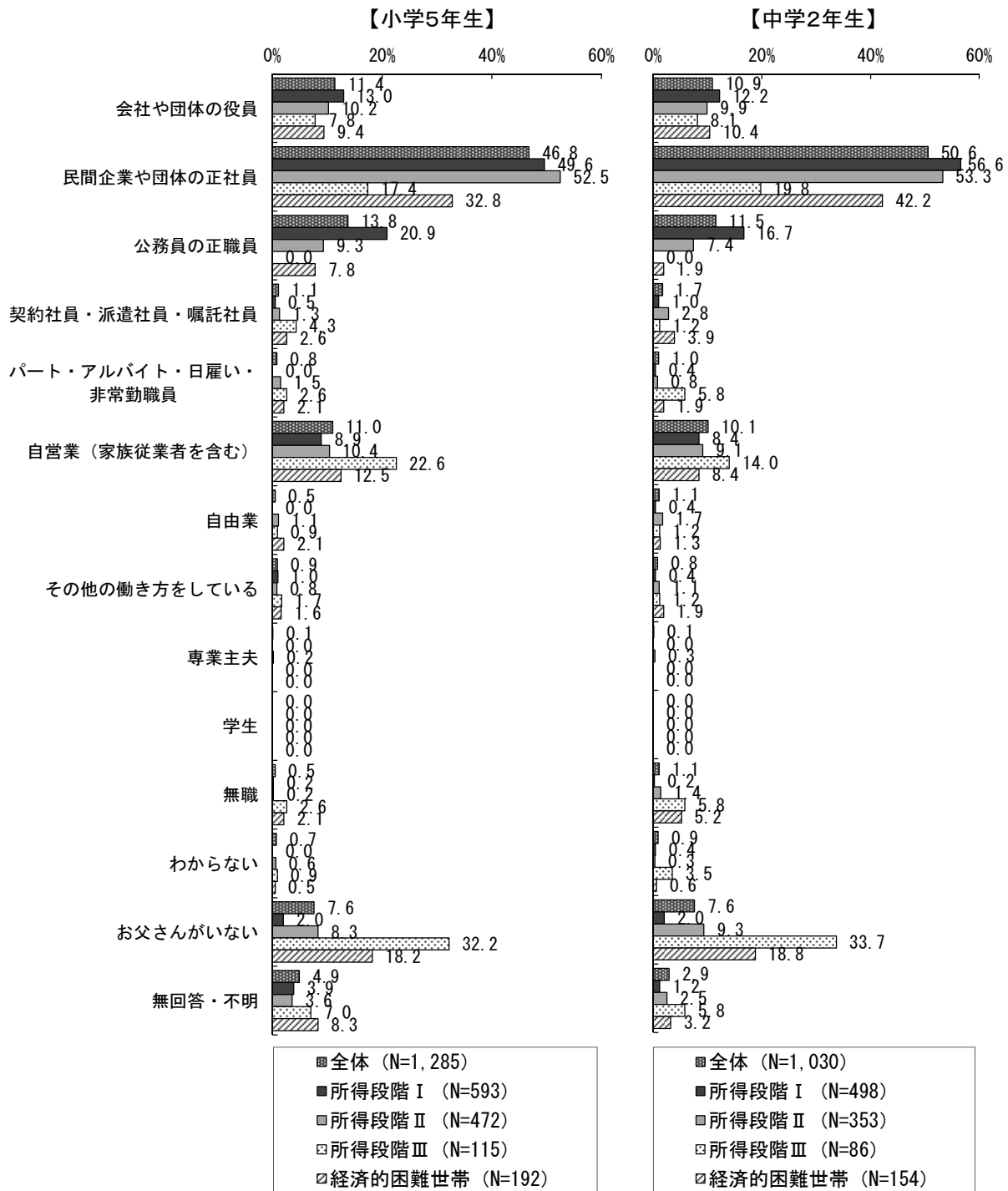
問 36-2 (母親が働いている人のみ) お母さんは、残業を含めて、平日の日中(8時~20時)以外の勤務がありますか。【複数回答】

所得段階Ⅲ・経済的困難世帯の母親の方が土曜や日曜・祝日の出勤が多くなっています。



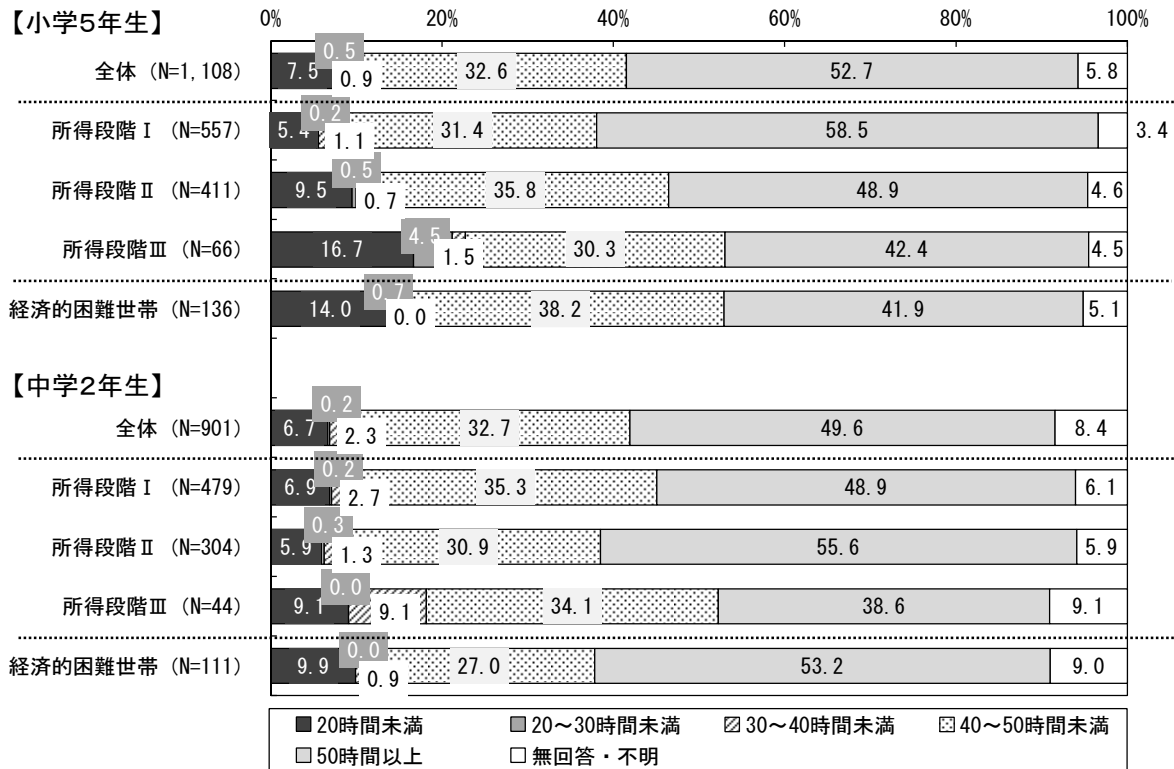
問 37 お子さんのお父さんの現在のお仕事は、次のどれに最も近いですか。

所得段階Ⅲでは、「正社員」「正職員」が少なく、非正規や「自営業」が多くなっています。



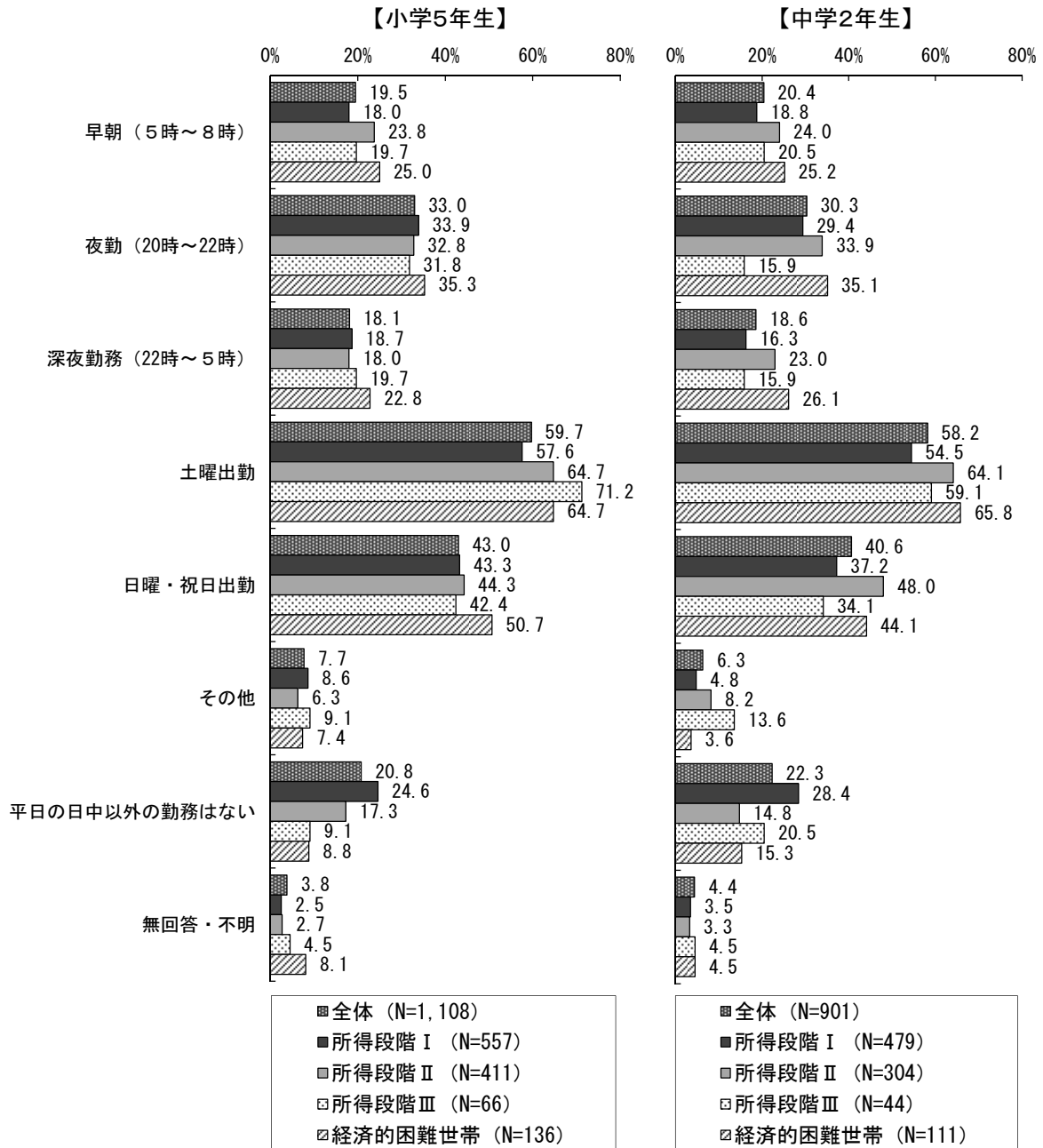
問 37-1 (父親が働いている人のみ) お子さんのお父さんは、1週間に平均何時間、お仕事をされていますか。(複数のお仕事に従事しておられる場合は合算してください。)

所得段階Ⅲ・経済的困難世帯で就労時間がやや短い傾向です。



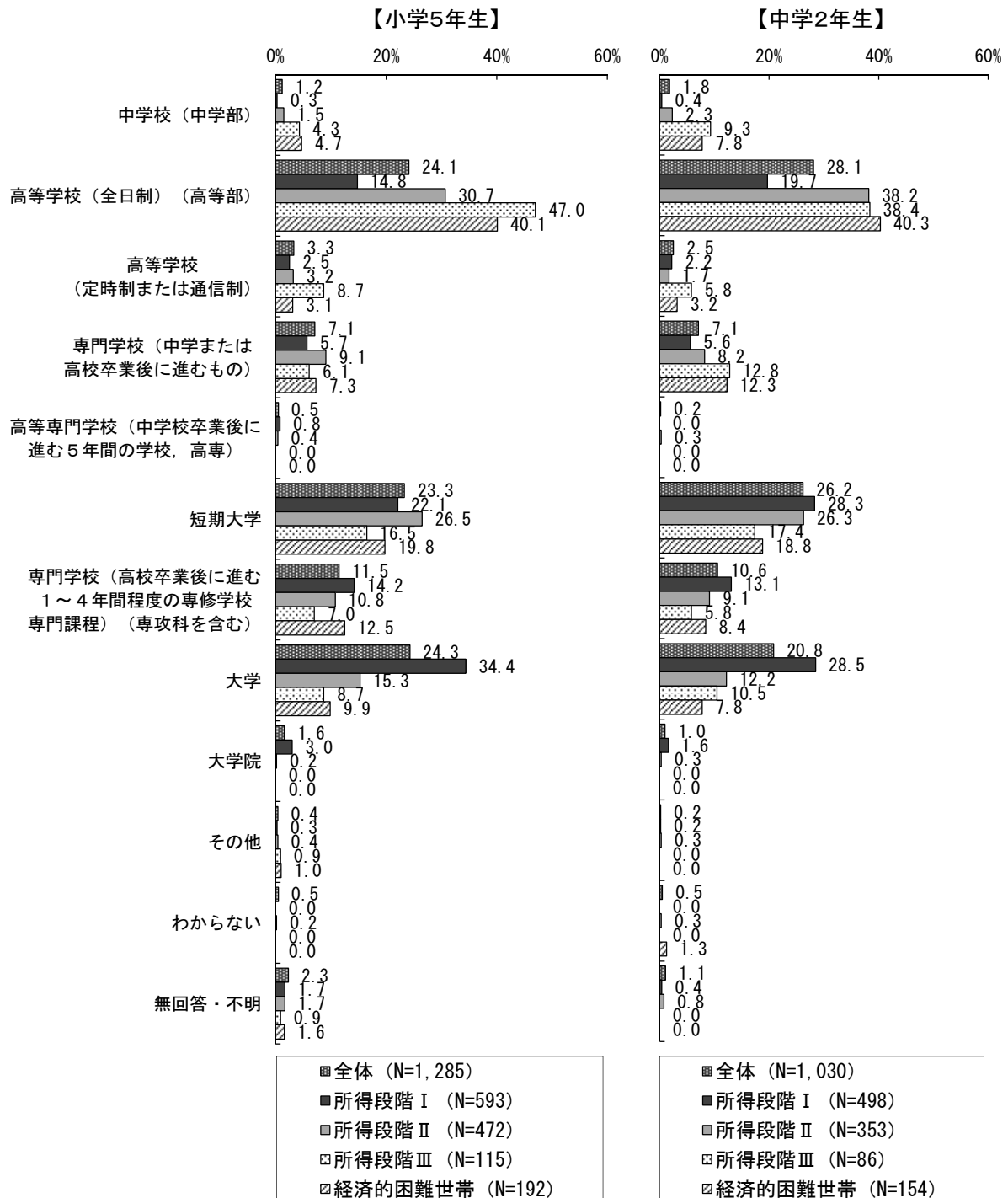
問 37-2 (父親が働いている人のみ) お父さんは、残業を含めて、平日の日中(8時~20時)以外の勤務がありますか。【複数回答】

所得段階Ⅲについては、小学5年生では「土曜出勤」が多く、中学2年生では「夜勤」「日曜・祝日出勤」が少なくなっています。



問 38 お子さんのお母さんが、最後に通われた学校は次のどれにあてはまりますか。

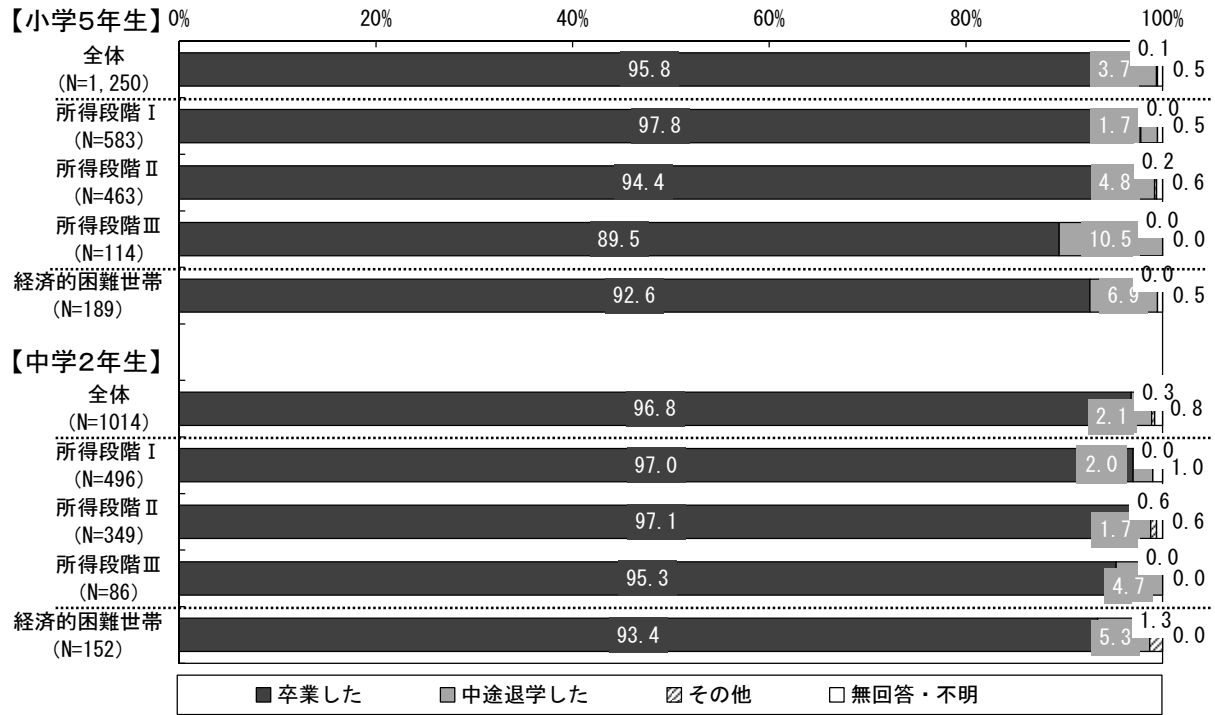
所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では、「高等学校」が多く、「短期大学」「大学」が少なくなっています。



問 38-1 (母親が最後に通った学校について「わからない」以外を答えた人のみ)

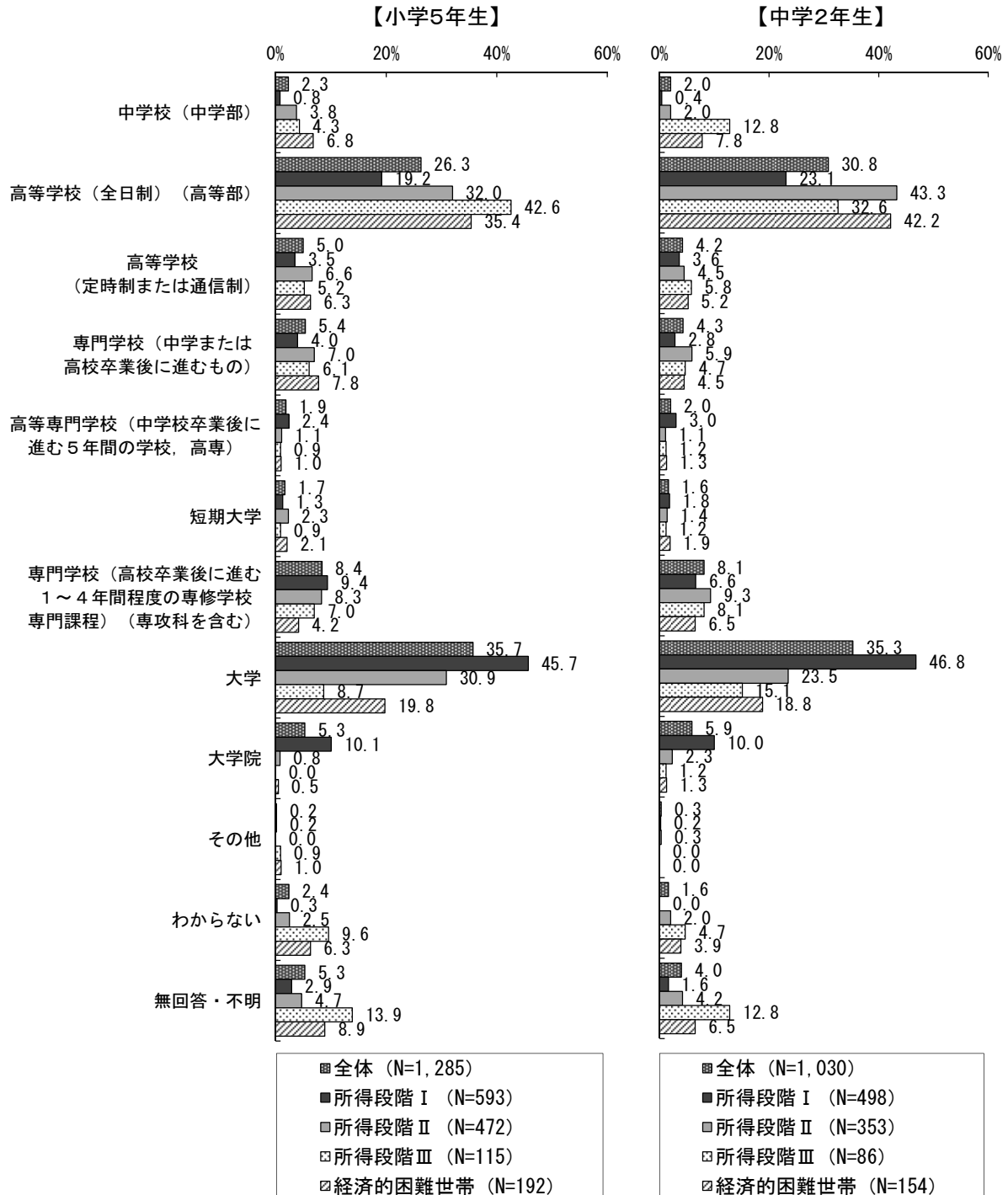
お子さんのお母さんは、前問で答えた学校を卒業されましたか。

小学5年生の所得段階Ⅲでは、「中途退学した」がやや多くなっています。



問 39 お子さんのお父さんが、最後に通われた学校は次のどれにあてはまりますか。

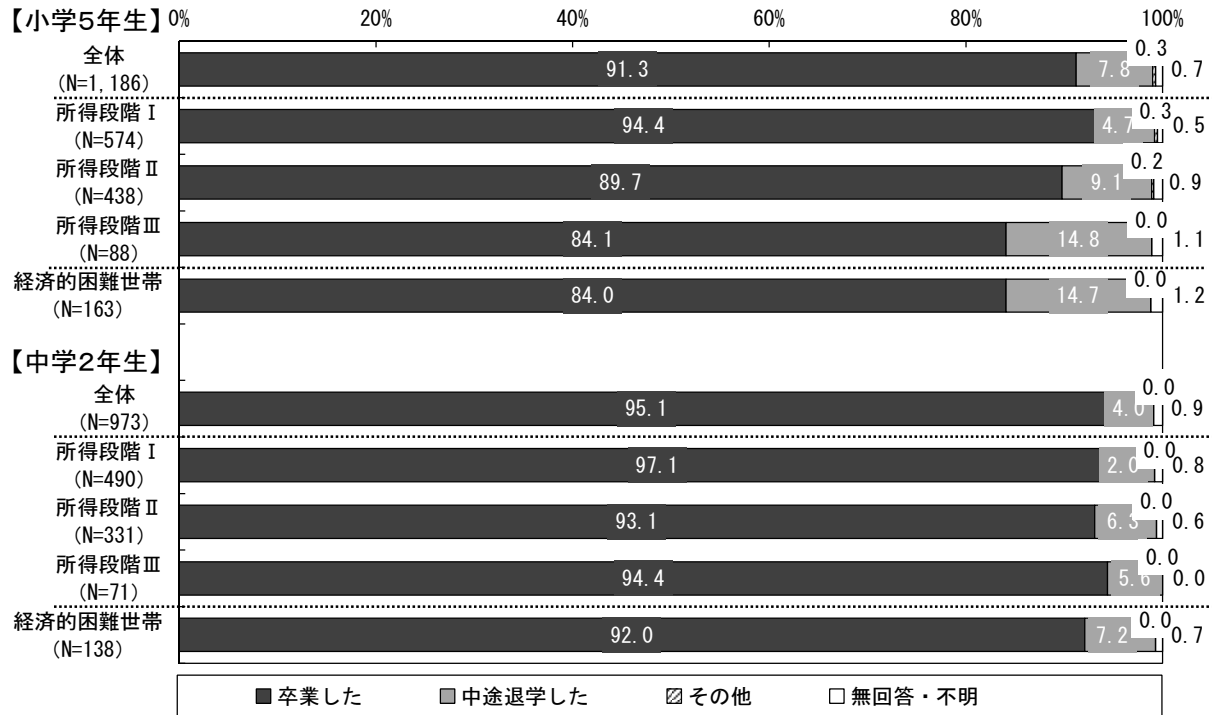
所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では「中学校」「高等学校」が多く、「大学」が少なくなっています。



問 39-1 (父親が最後に通った学校について「わからない」以外を答えた人のみ)

お子さんのお父さんは、前問で答えた学校を卒業されましたか。

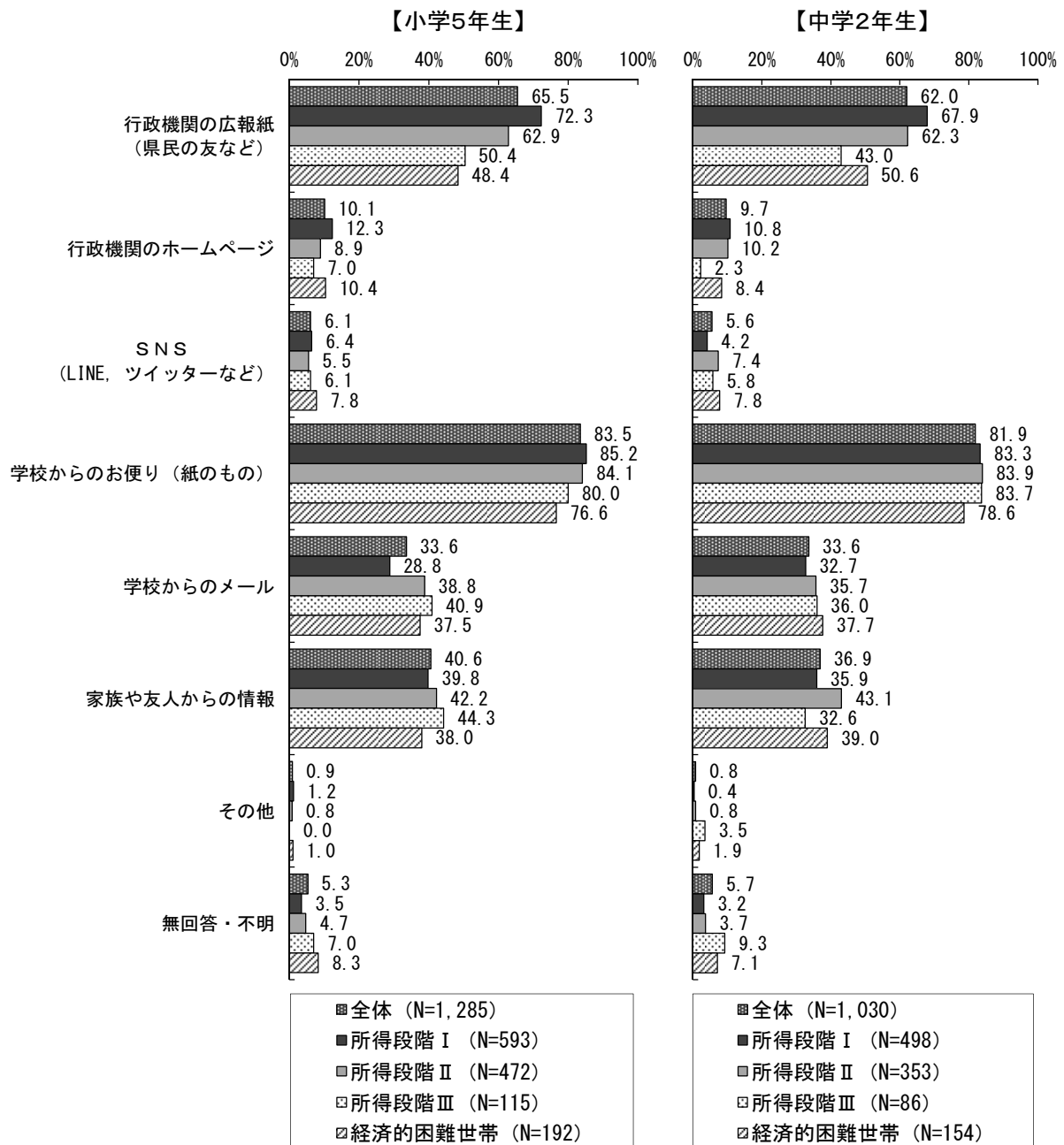
小学5年生の所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では、「中途退学した」がやや多くなっています。



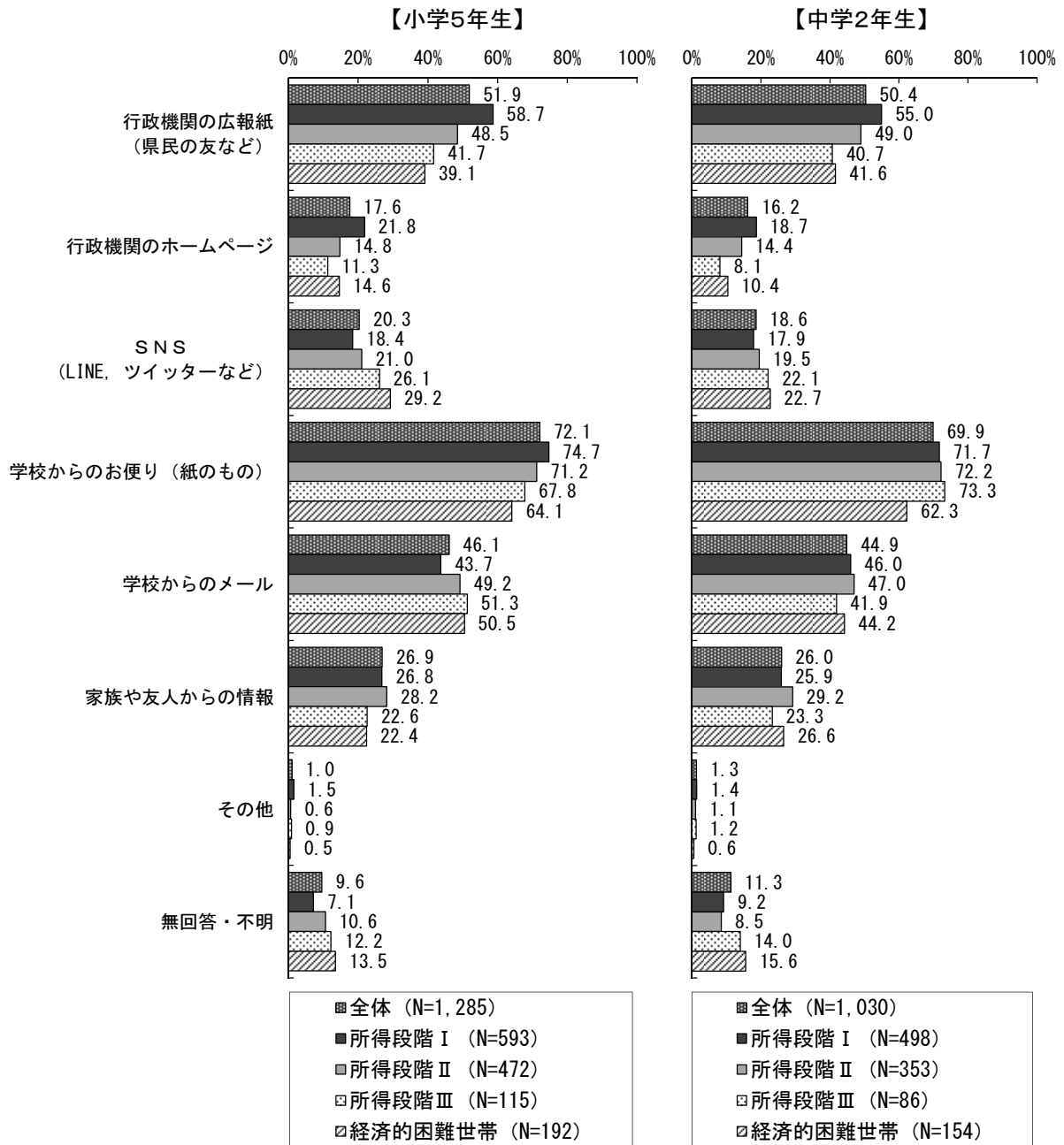
問 40 あなたは、子供に関する施策等の情報をどのような方法で受け取っていますか。
また、今後、どのような方法で受け取りたいですか。【複数回答】

所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では、現在の受け取り方法についても、今後受け取りたい方法についても、「行政機関の広報誌」が少なくなっています。

A 現在の受け取り方法



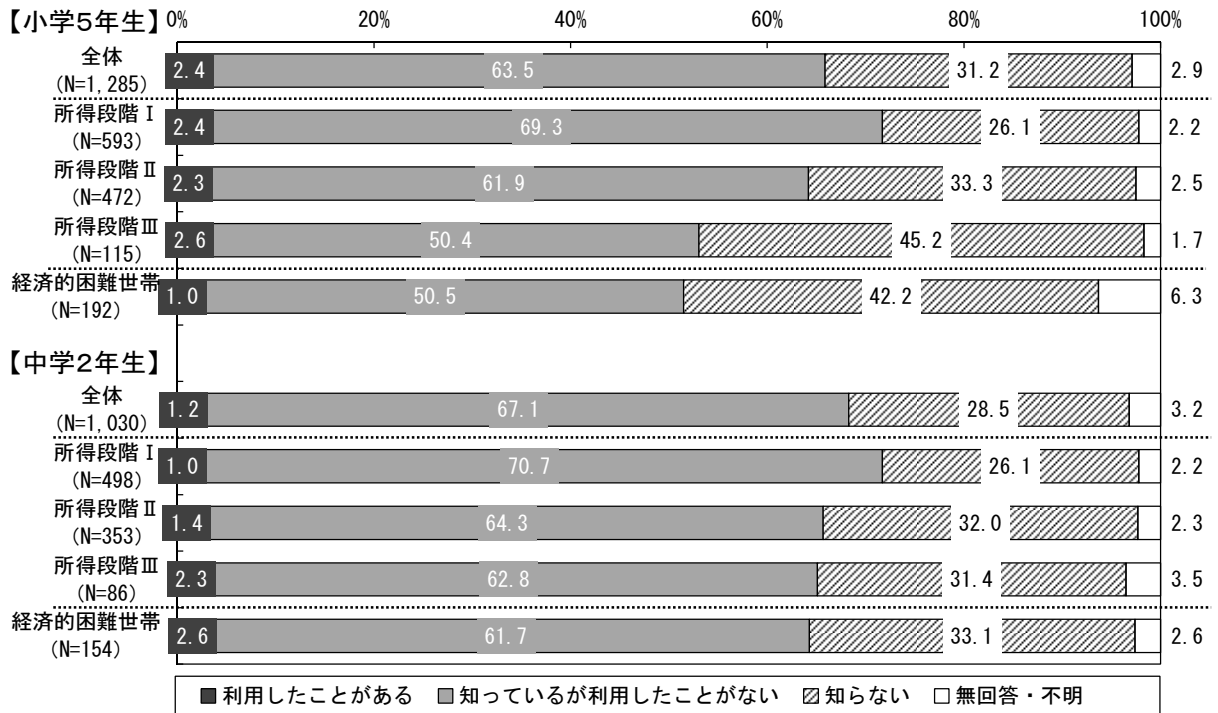
B 今後、受け取りたい方法



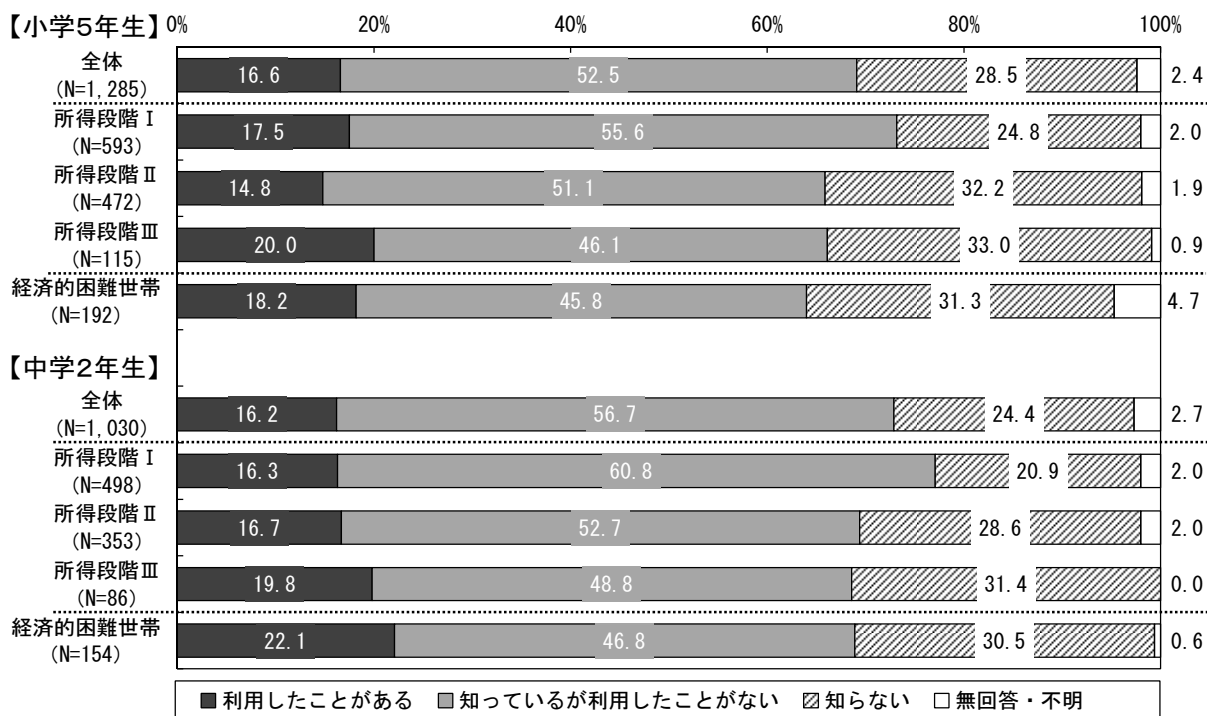
問 41 次の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。またはそれらの支援制度を知っていますか。

所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では、多くの項目で、「利用したことがある」が多い一方で、「知らない」も多くなっており、支援制度の情報の取得については遅れがあることがうかがえます。「ファミリー・サポート・センター」や「子育て世代包括支援センター」については、小学5年生では利用率も低くなっています。

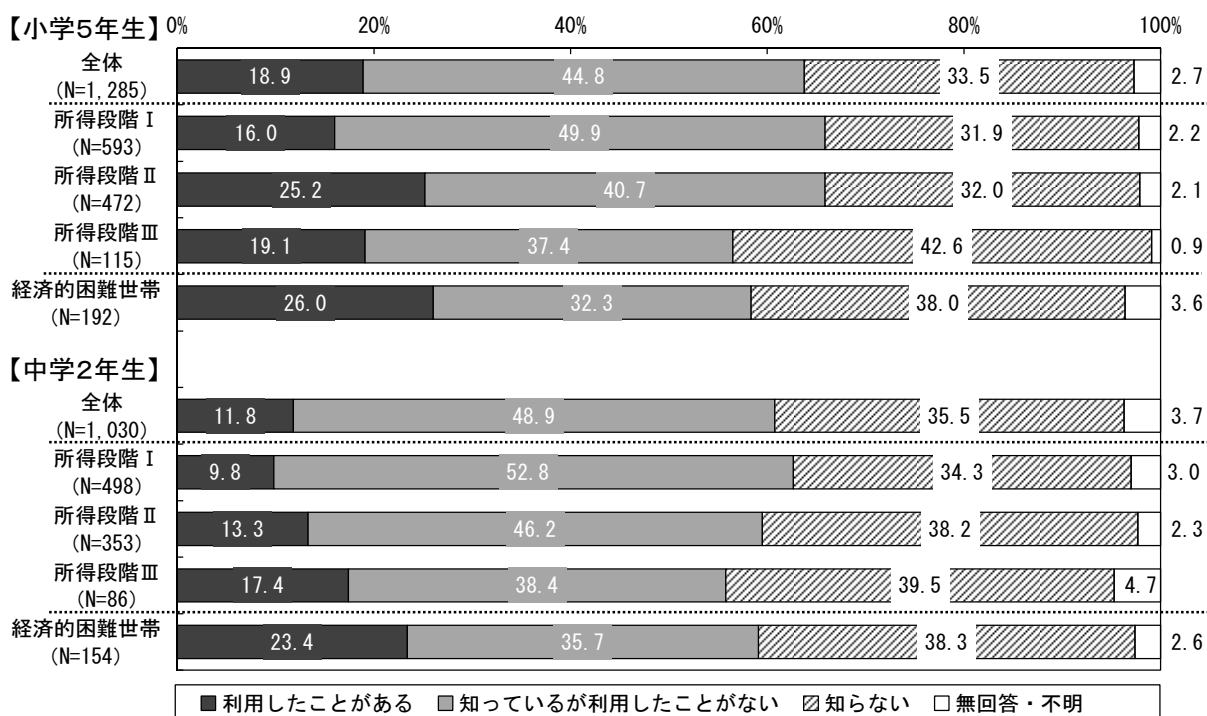
A 子ども食堂



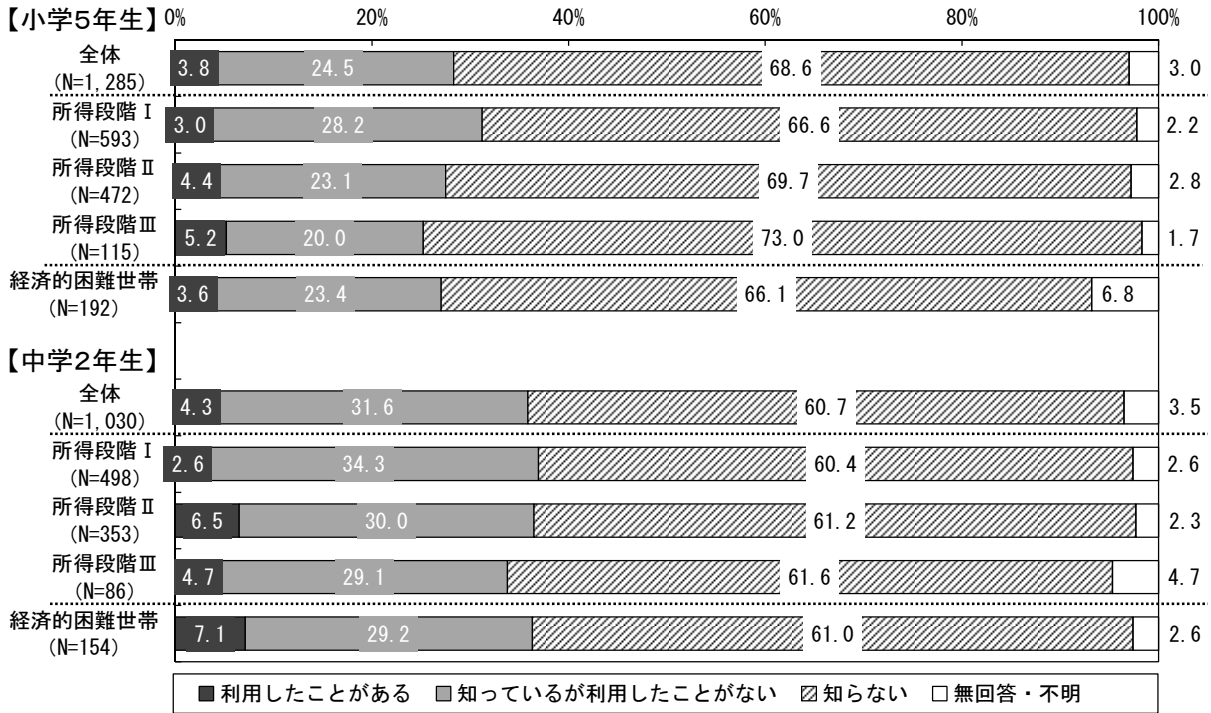
B 放課後児童クラブ



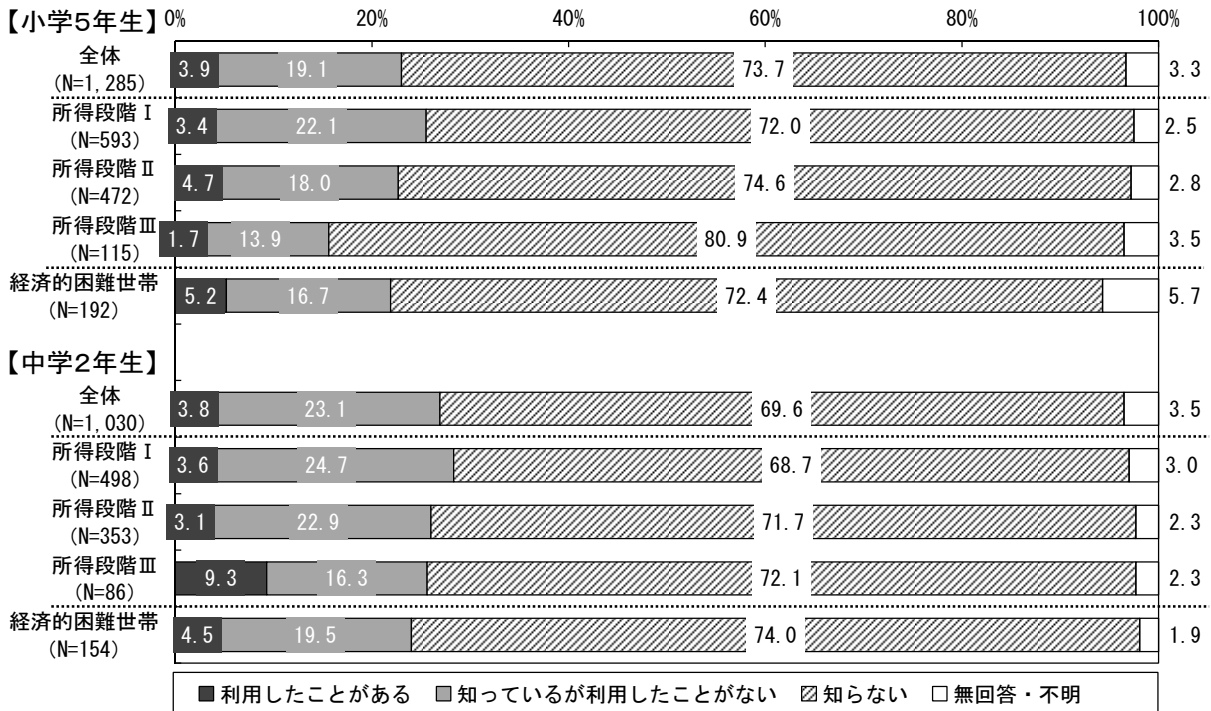
C 学校実施の補充学習（学習支援）



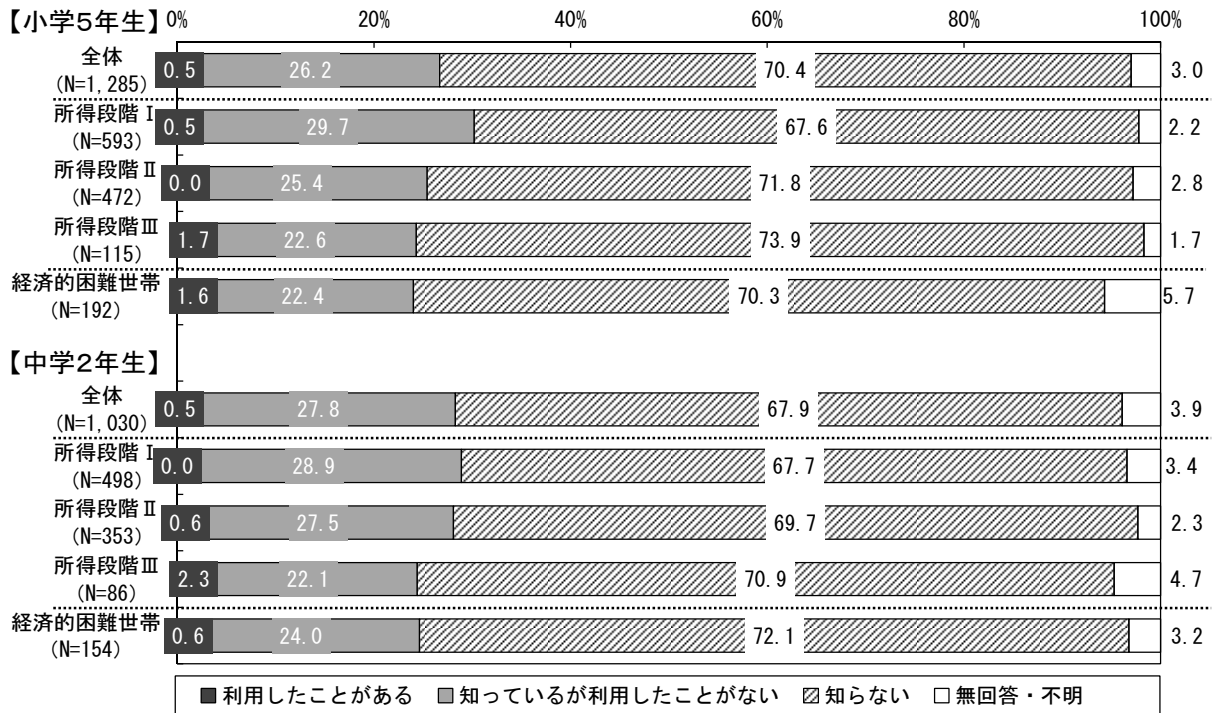
D 子ども会での学習支援



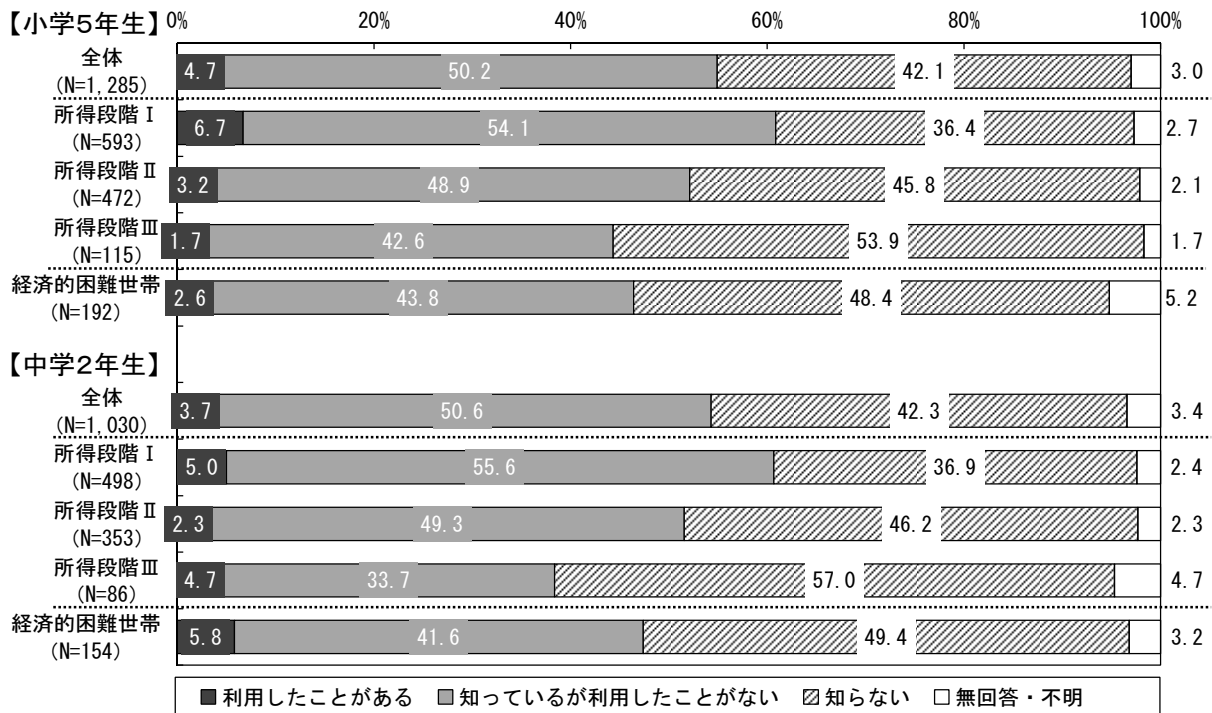
E C・D以外が実施する学習支援



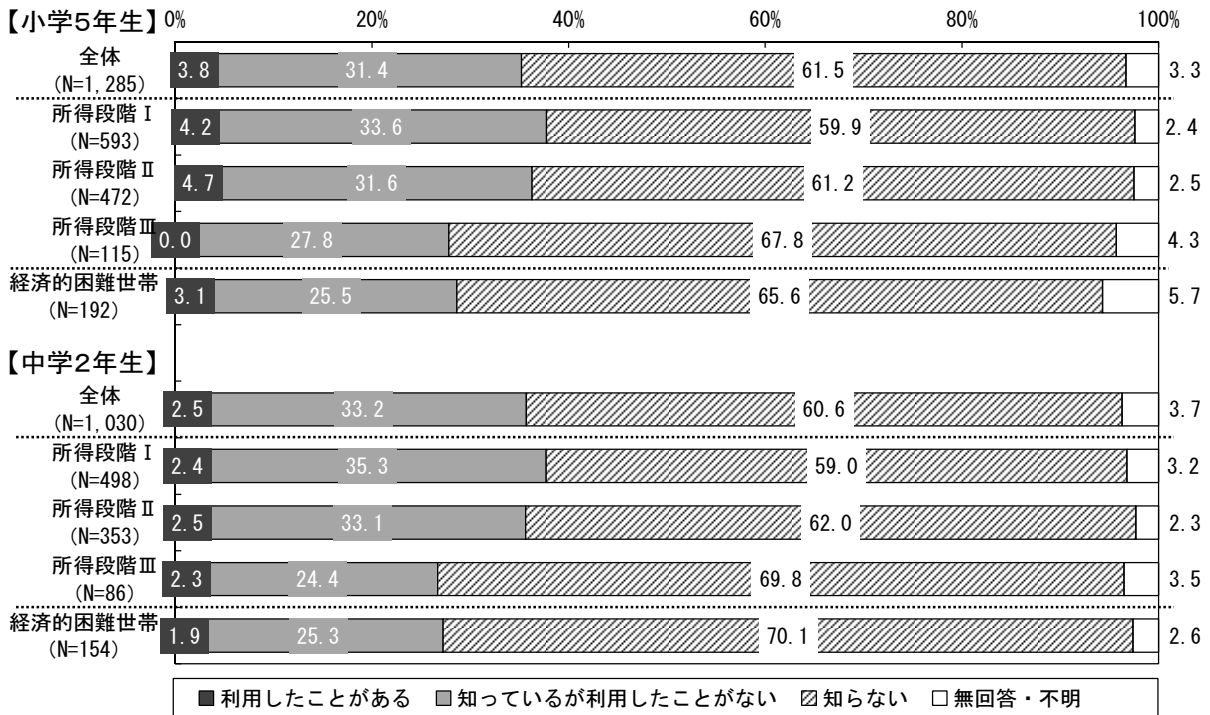
F 子育て短期支援事業（ショートステイ）



G ファミリー・サポート・センター



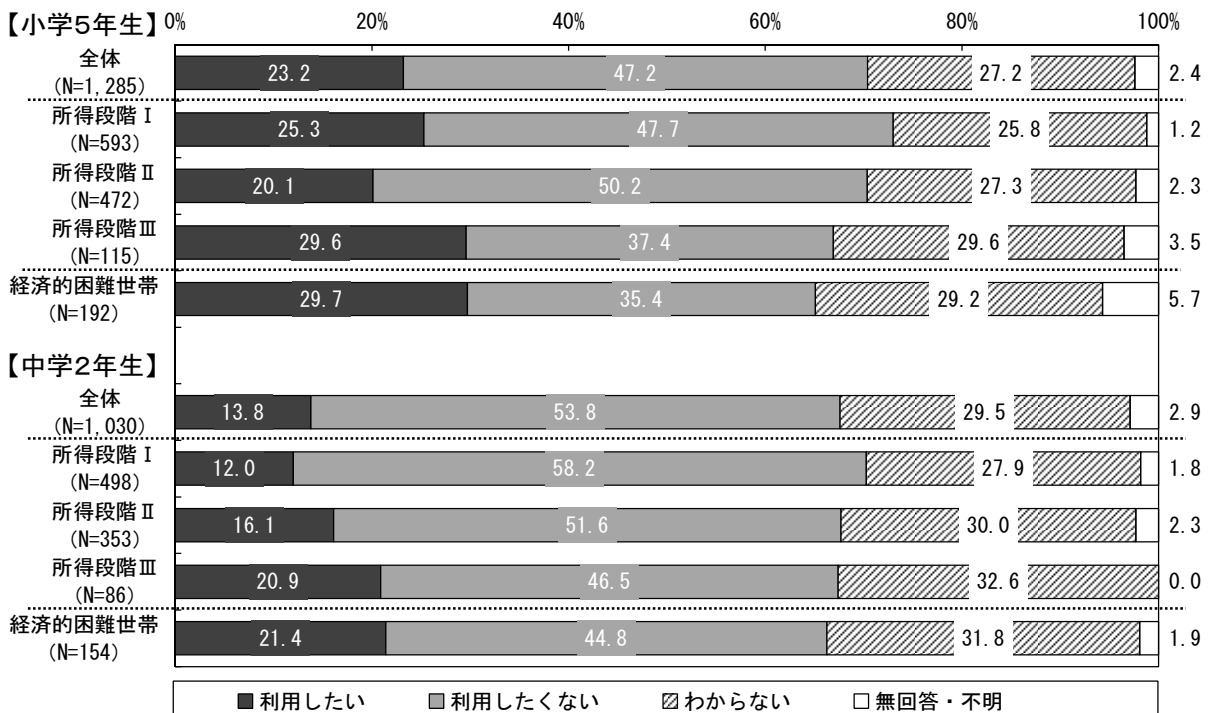
H 子育て世代包括支援センター



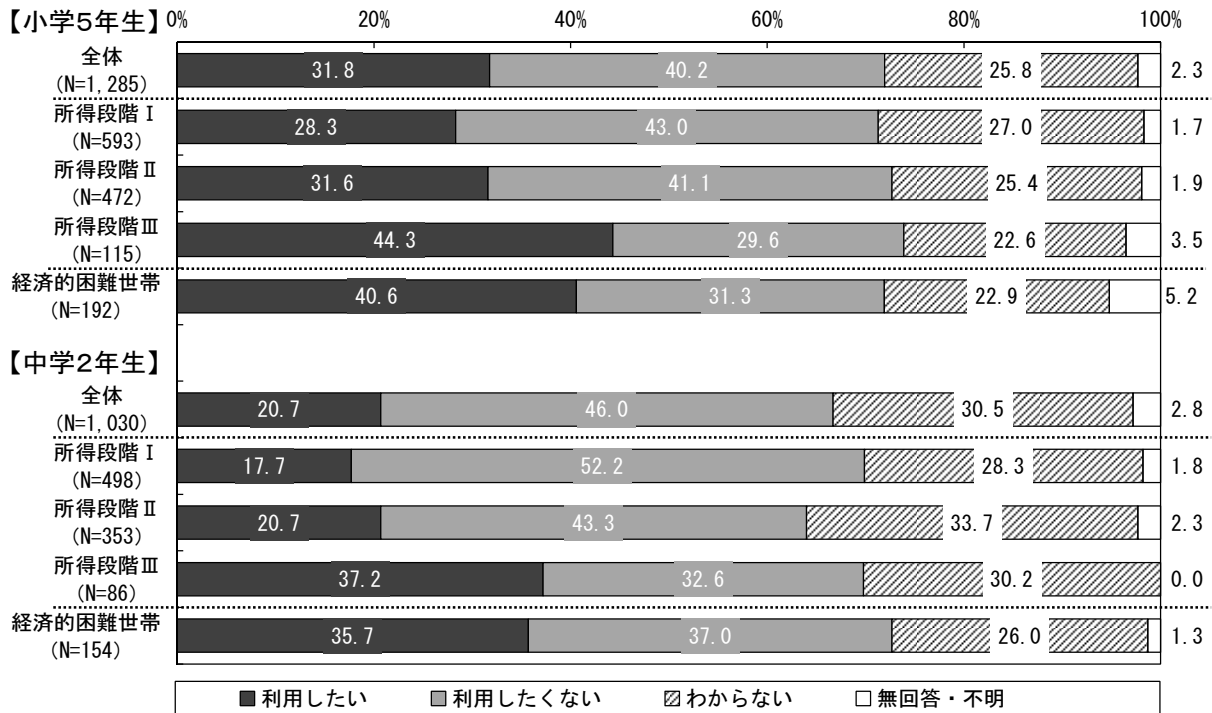
問 42 あなたは、次のような場所があれば利用したいと思いますか。

いずれの項目についても、所得段階Ⅲ・経済的困難世帯の方が「利用したい」が多くなっています。中でも、「お子さんが（家以外で）休日にいることができる場所」「お子さんが（家以外で）夕ごはんをみんなで食べることができる場所」については差が大きくなっています。

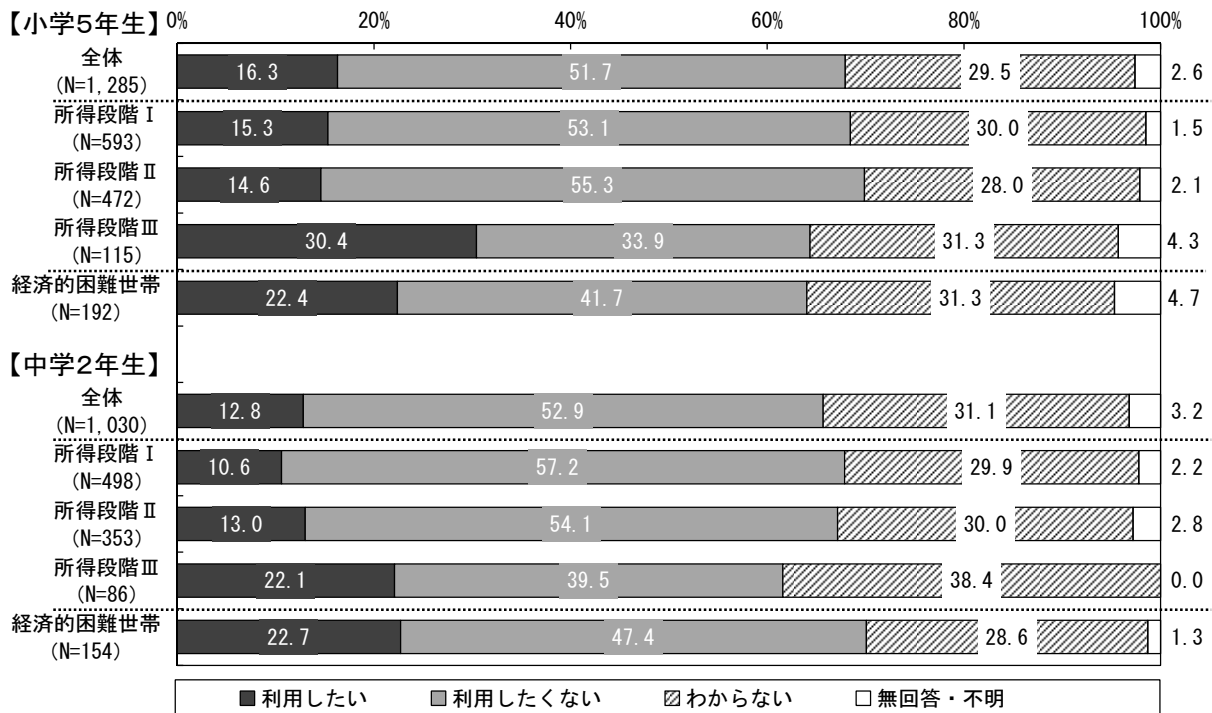
A お子さんが（家以外で）平日の放課後に夜までいることができる場所



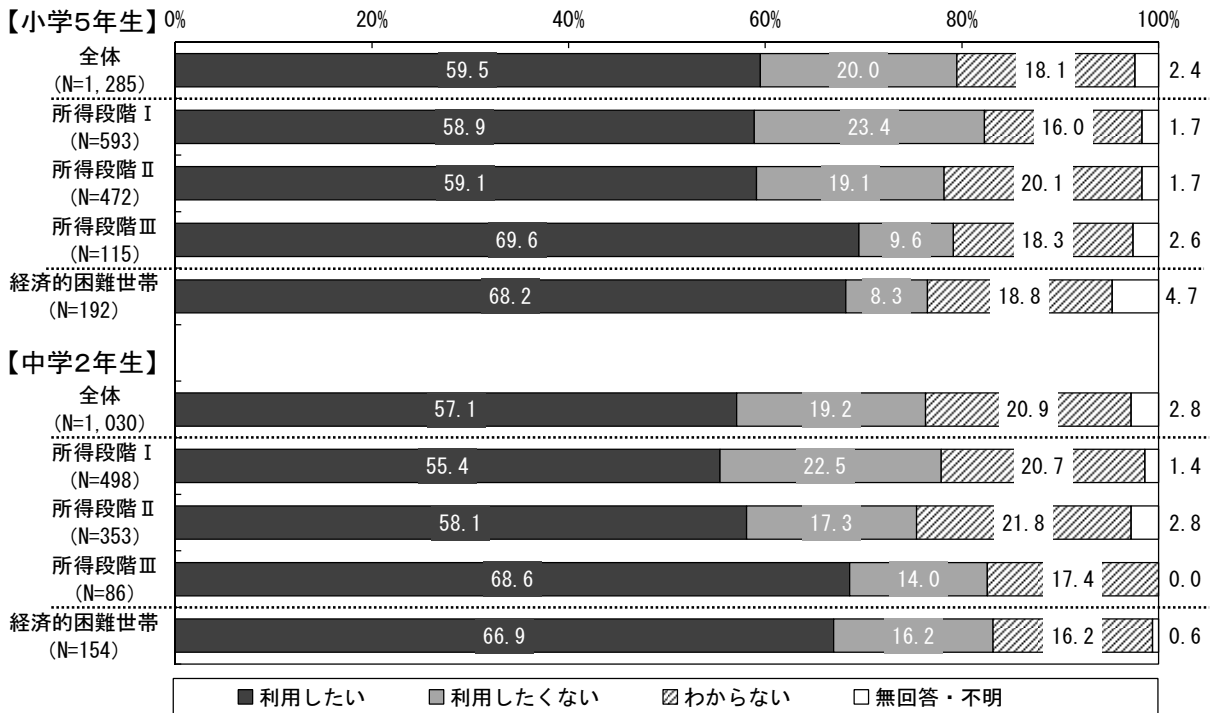
B お子さんが（家以外で）休日にいることができる場所



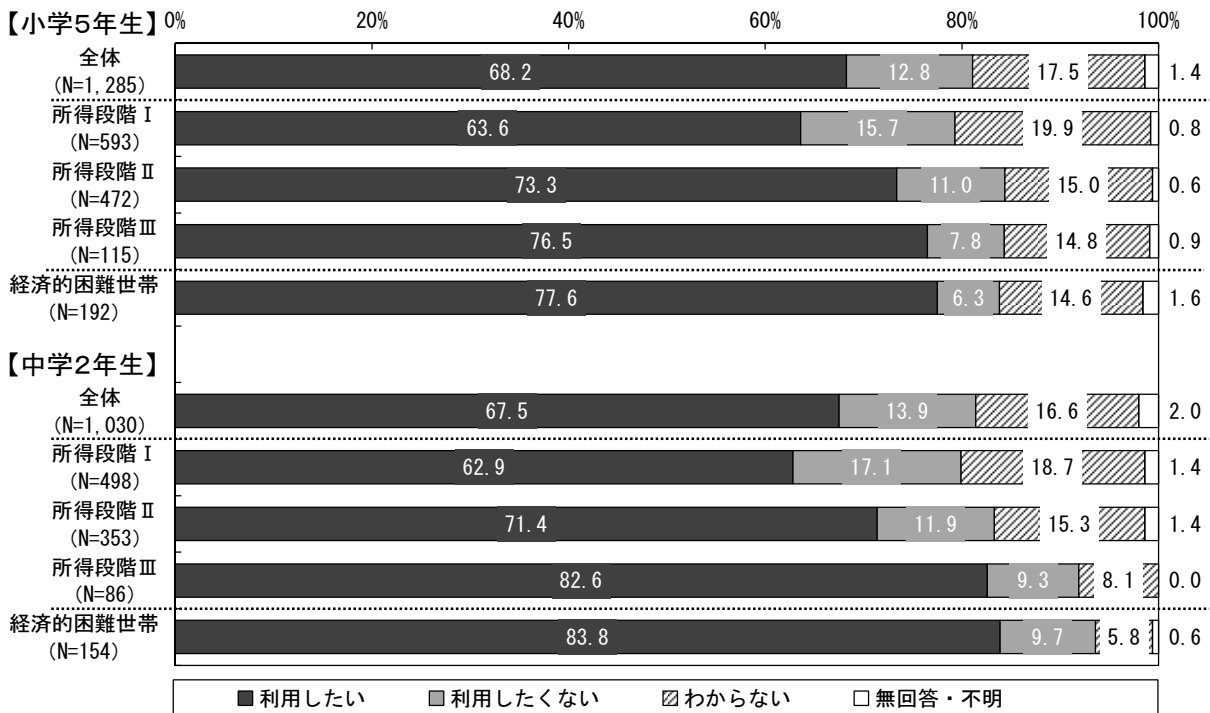
C お子さんが（家以外で）夕ごはんをみんなで食べることができる場所



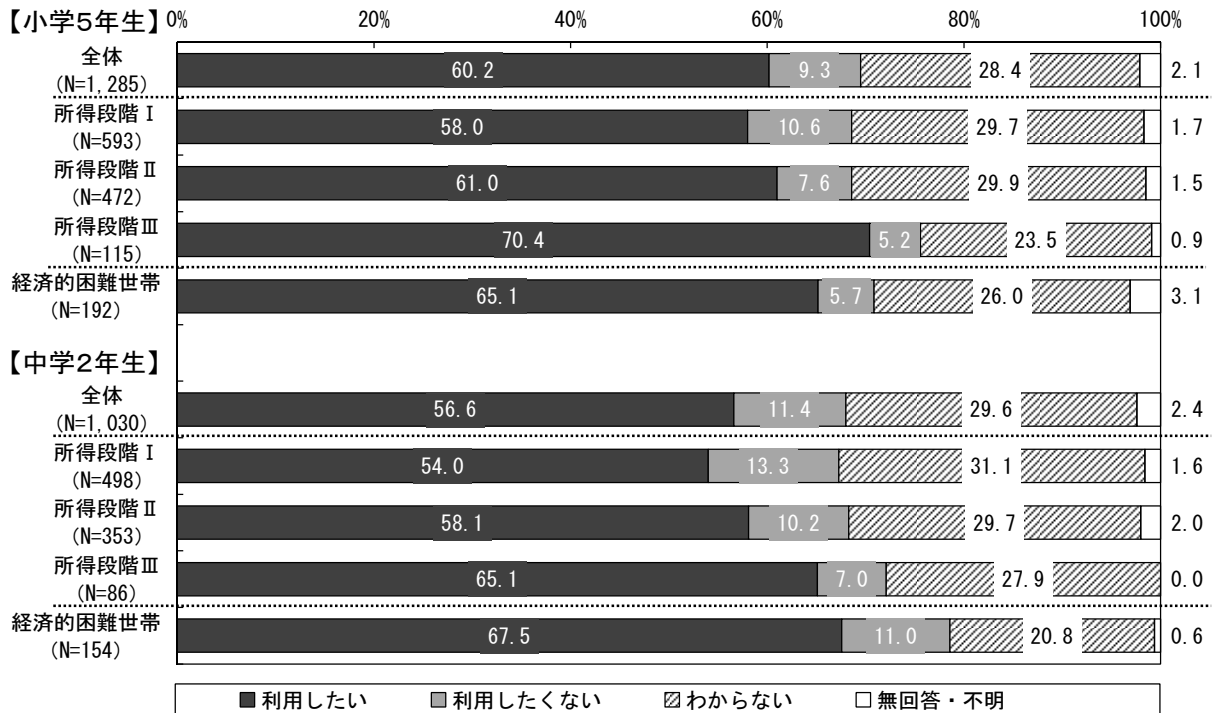
D お子さんが（家以外で）勉強ができる場所



E お子さんに大学生、地域の人などが、勉強を無料で教えてくれる場所



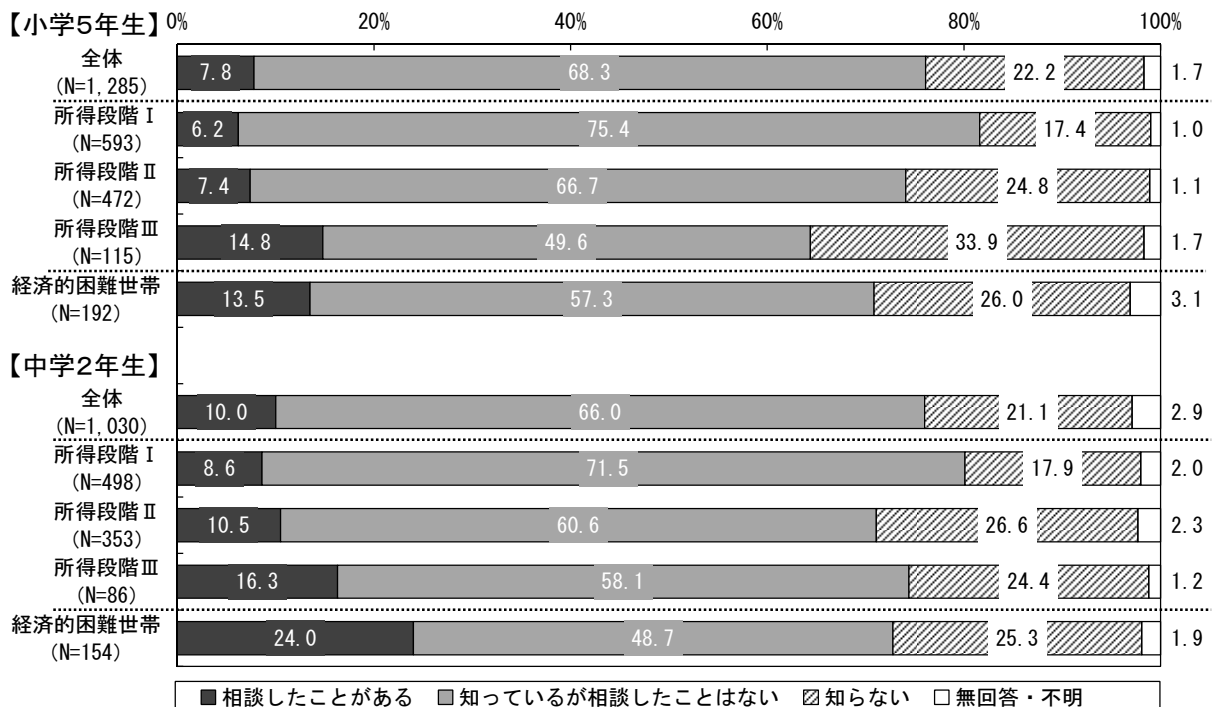
F お子さんが（学校以外で）何でも相談できる場所



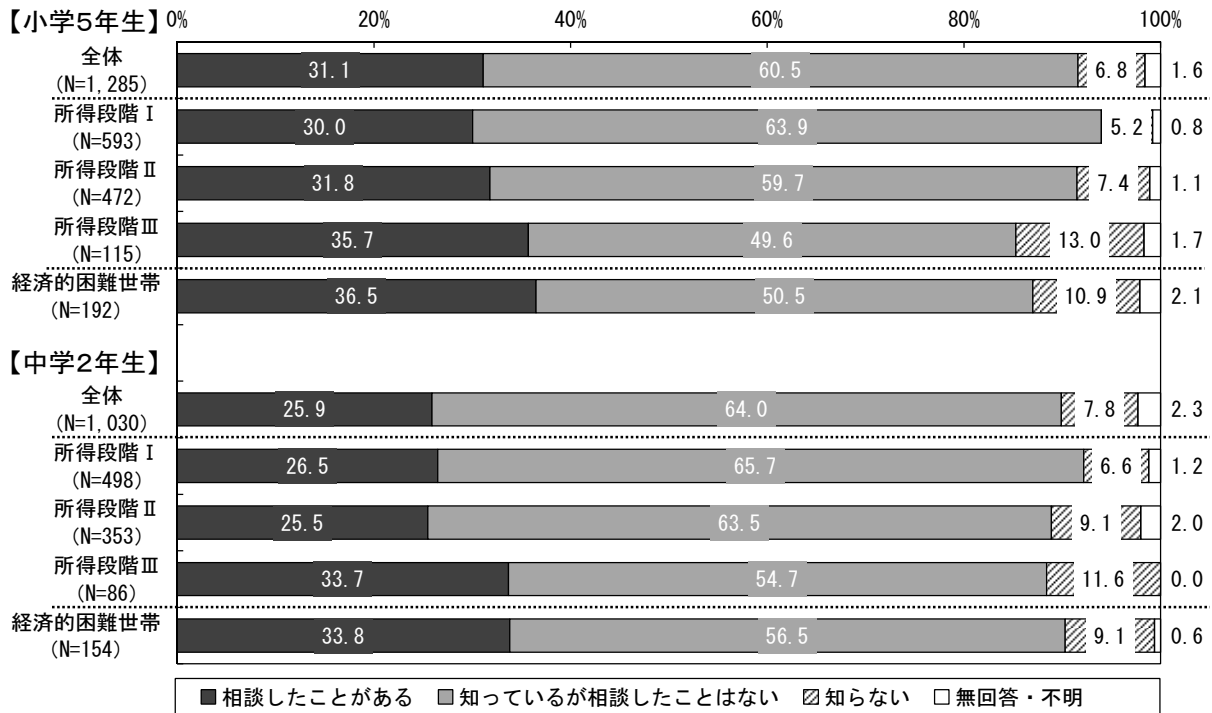
問 43 あなたは、これまでに困ったときに次のところに相談したことがありますか。またはそれらの相談窓口を知っていますか。

問 41 と同様に、所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では、ほとんどの項目で「相談したことがある」が多い一方、「知らない」も多くなっています。

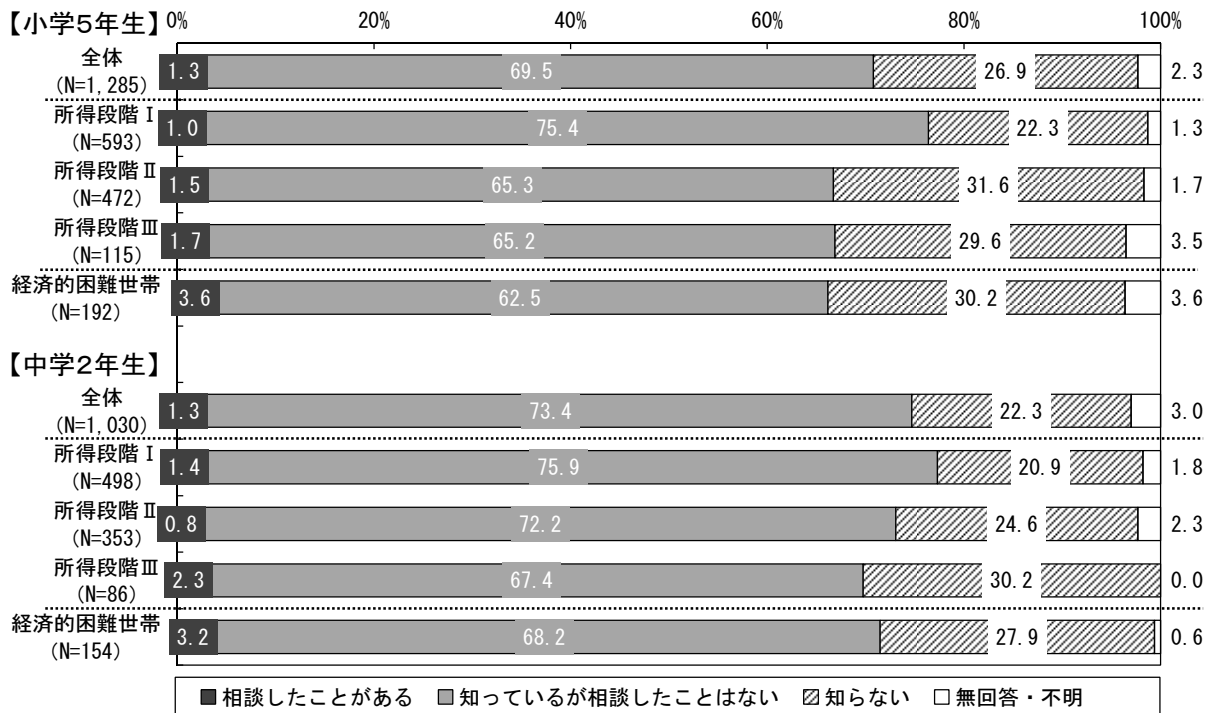
A 県・市町村の窓口



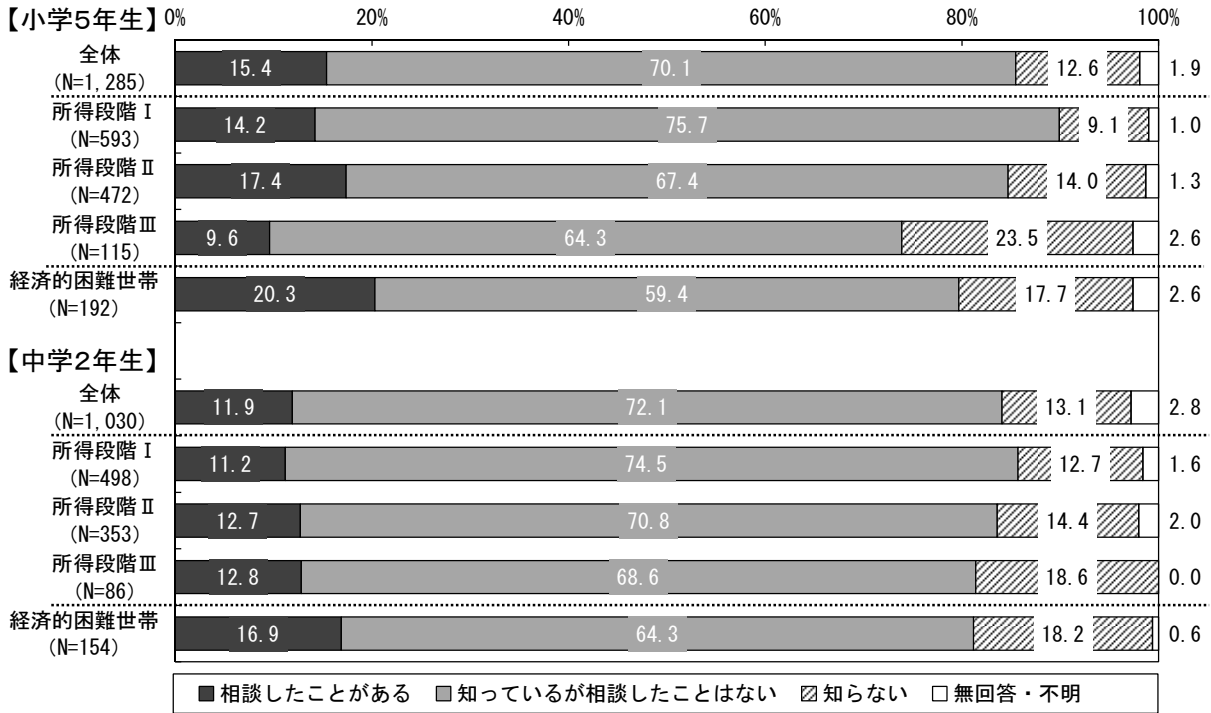
B 学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなど



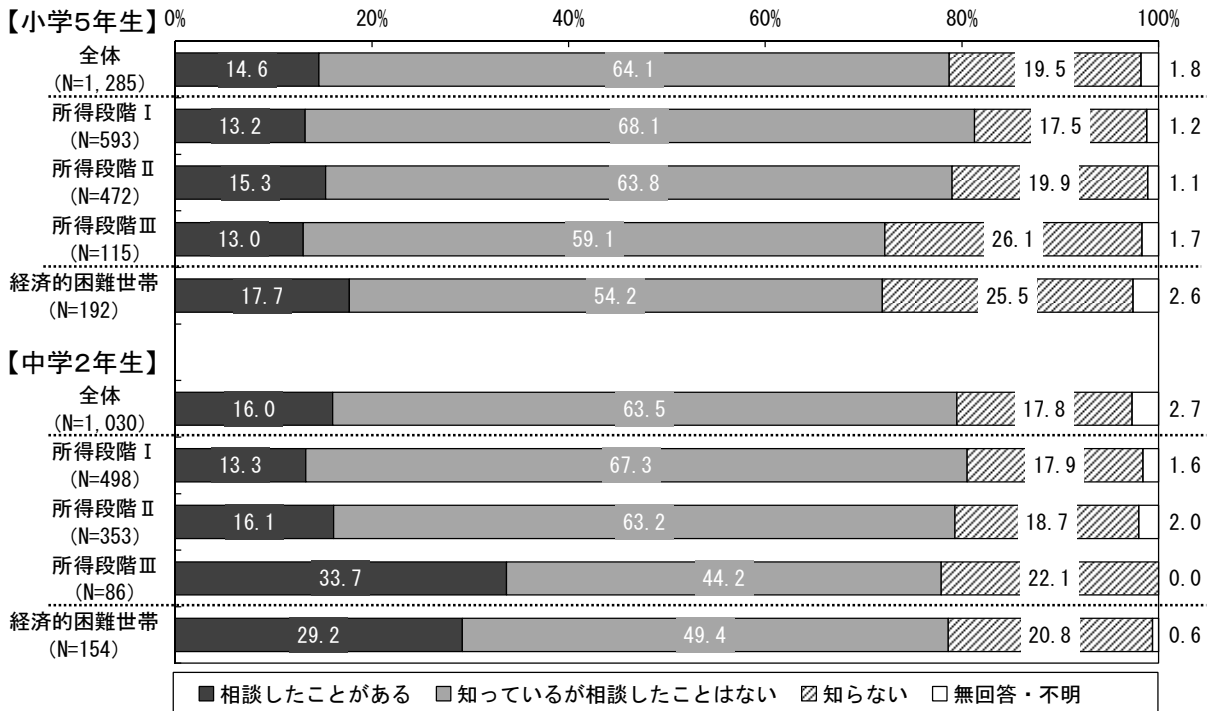
C 民生委員・児童委員



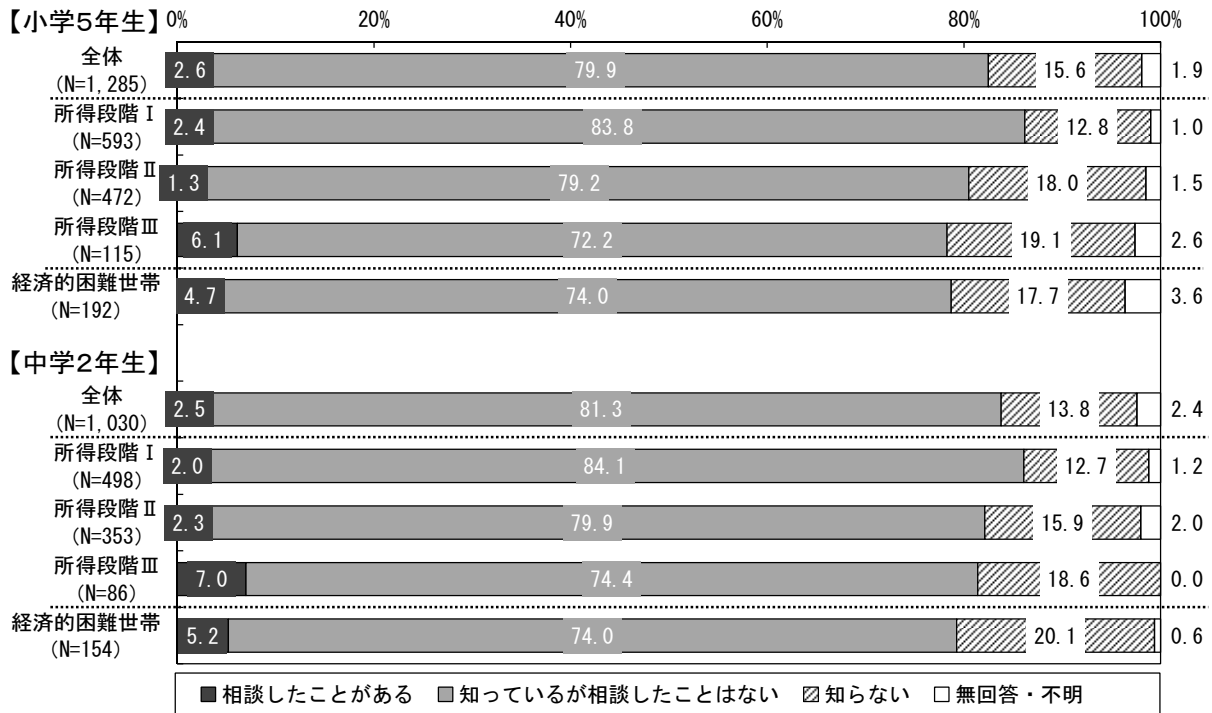
D 保健所（保健センター）



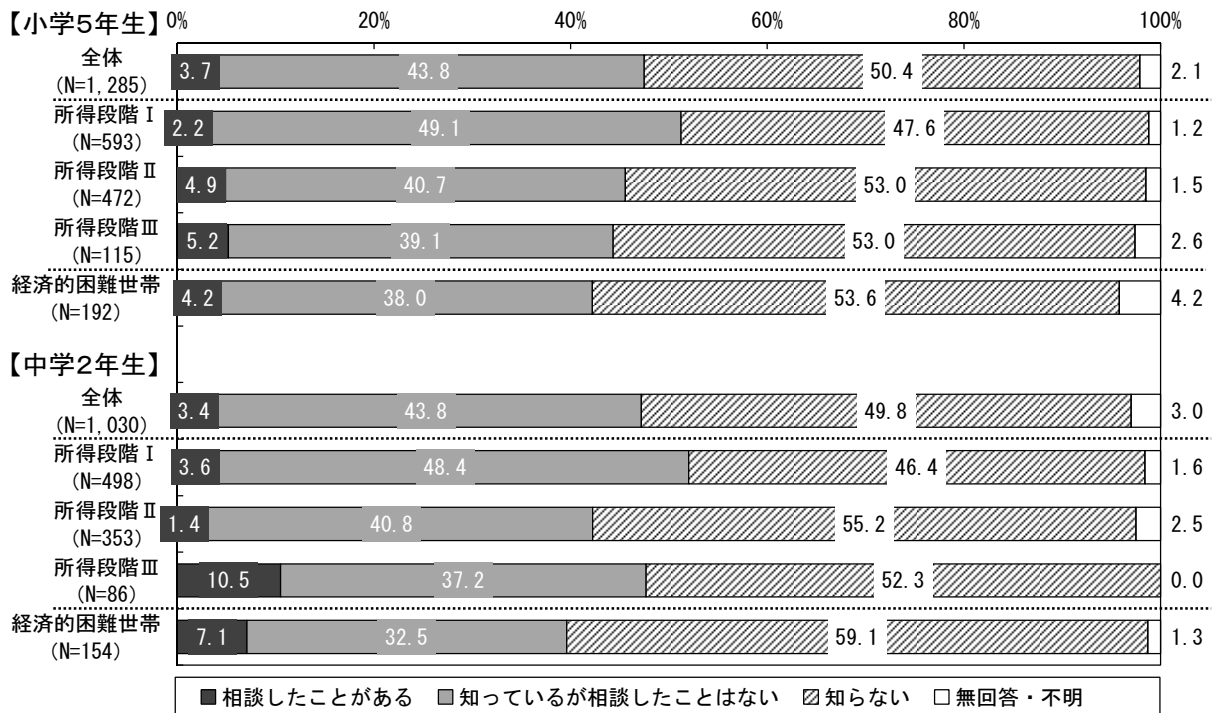
E ハローワーク



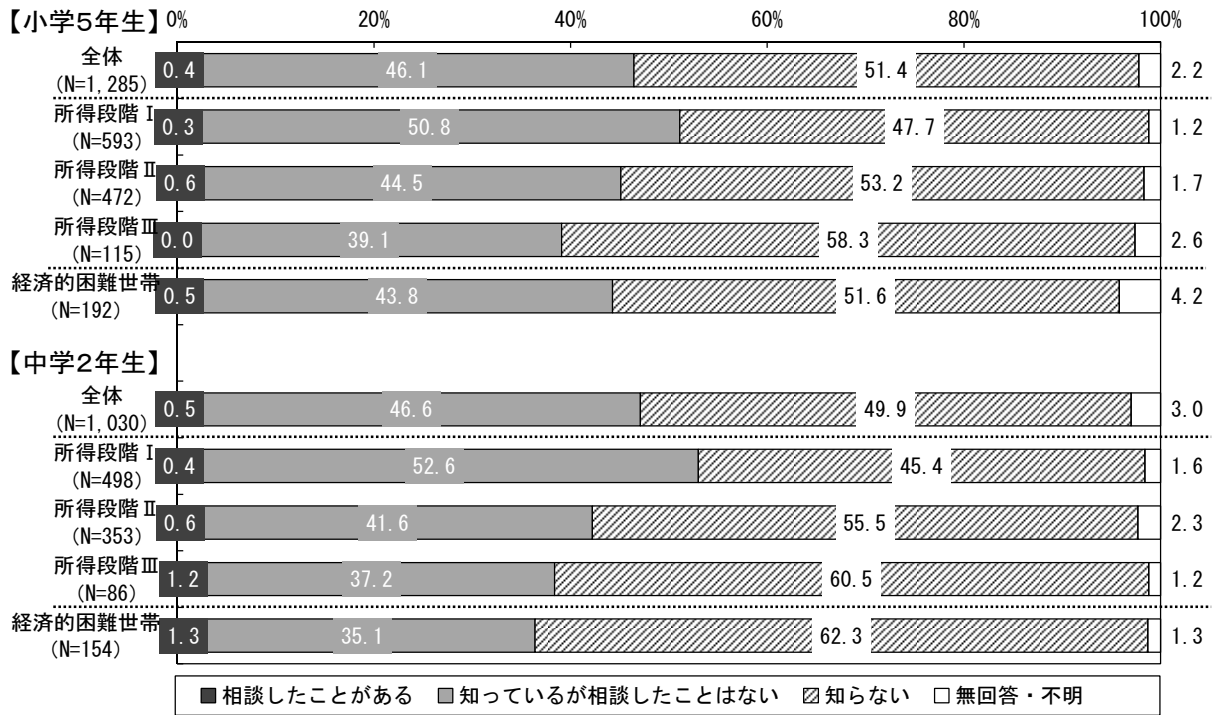
F 児童相談所



G A～F以外の公的機関

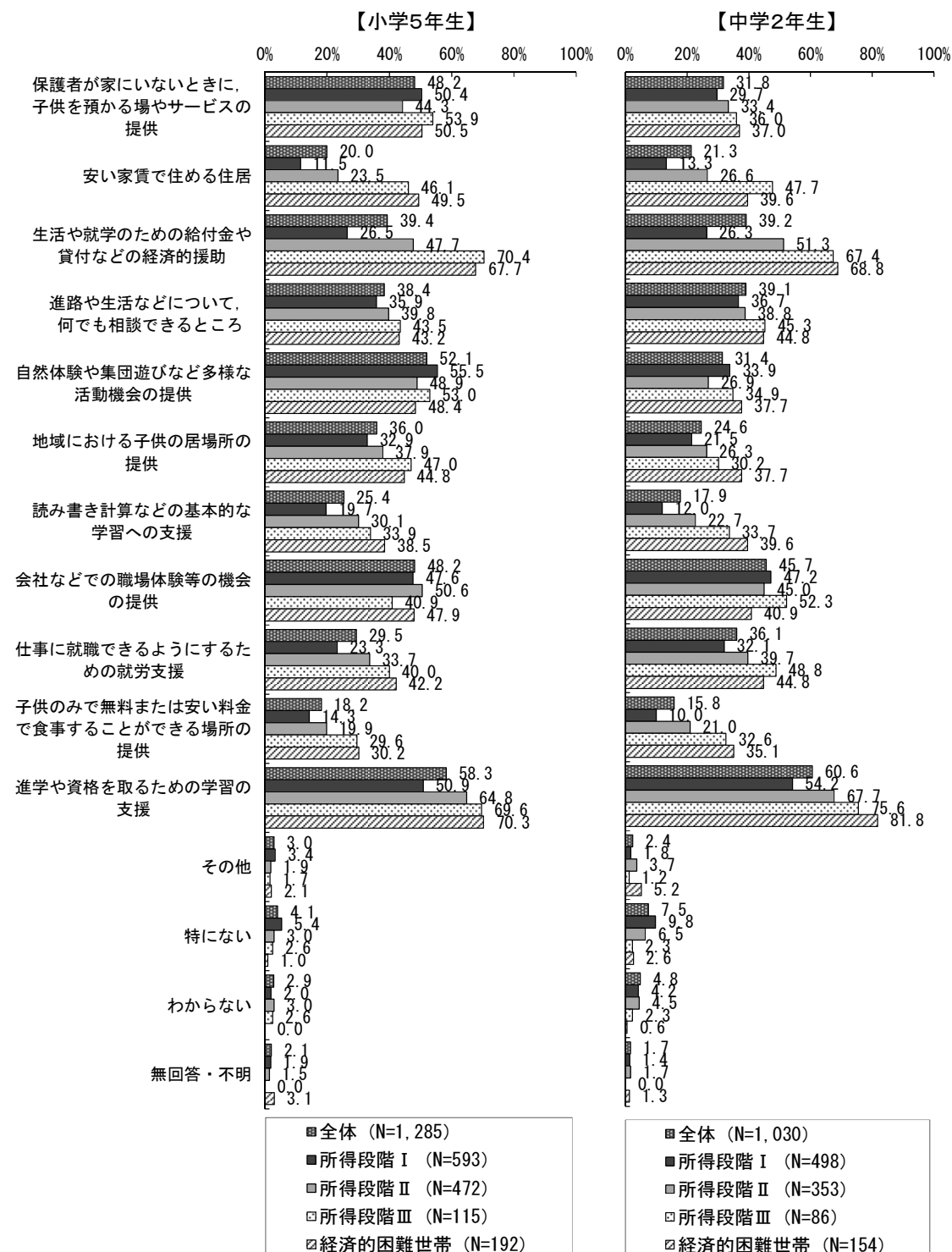


H 社会福祉協議会



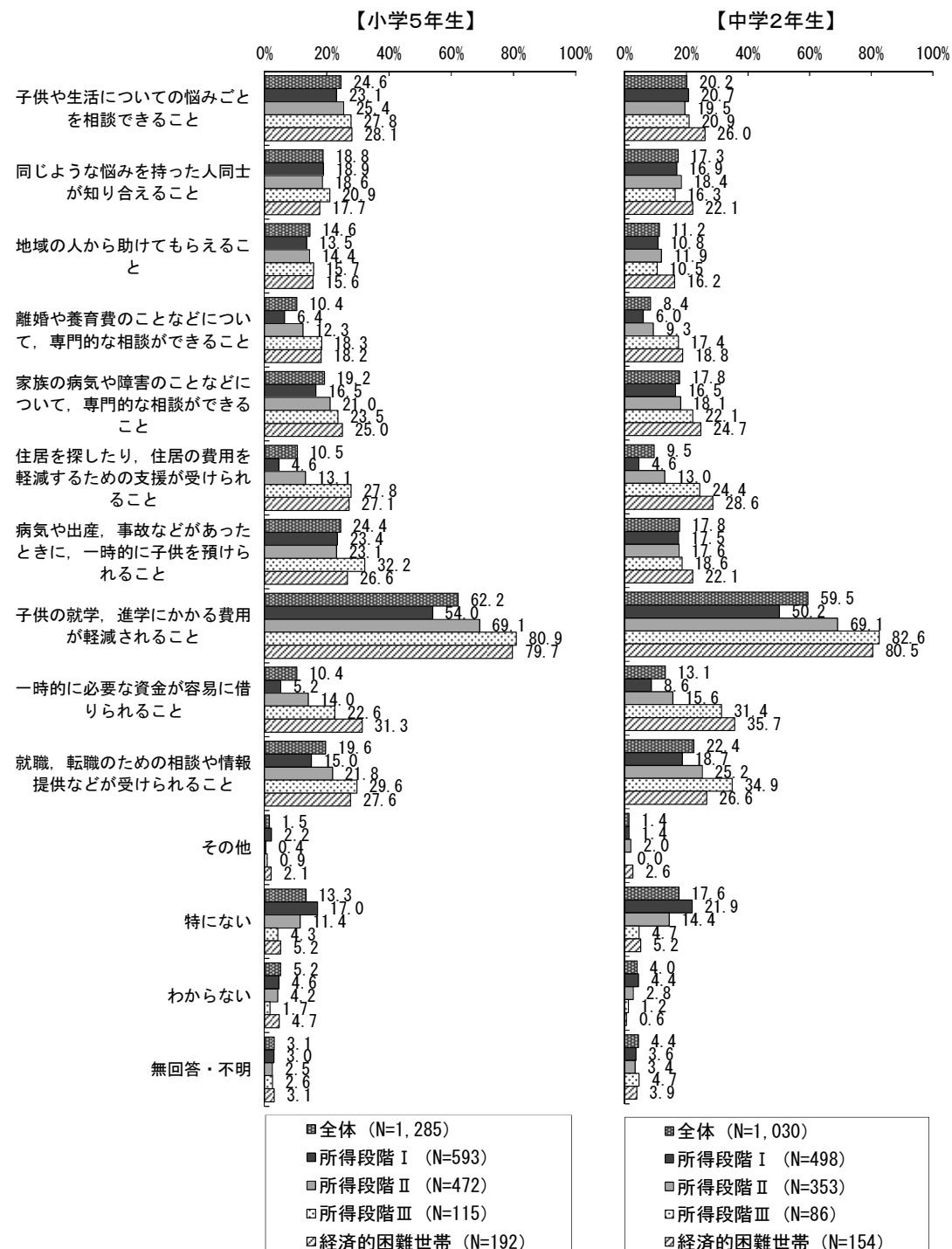
問 44 お子さんにとって、現在または将来に、どのような支援があるとよいと思いますか。【複数回答】

所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では、「安い家賃で住める住居」「生活や就学のための給付金や貸付などの経済的援助」「読み書き計算などの基本的な学習への支援」「仕事に就職できるようにするための就労支援」「子供のみで無料または安い料金で食事することができる場所の提供」といった、生活基盤や基礎的な学力に関する支援の要望について、回答が多くなっています。



問 45 あなたが、現在必要としていること、重要だと思う支援はどのようなものですか。【複数回答】

全体でも所得段階Ⅲ・経済的困難世帯でも、「子供の就学、進学にかかる費用が軽減されること」が最も多くなっています。「離婚や養育費のことなどについて専門的な相談ができること」「住居を探したり、住居の費用を軽減するための支援を受けられること」「一時的に必要な資金が容易に借りられること」「就職、転職のための相談や情報提供などが受けられること」については、所得段階Ⅲ・経済的困難世帯の回答が、全体と比べて特に多くなっています。



4. 地域ブロック別の分析

子供の生活実態の地域別に異なる状況を把握するため、教育・保育提供区域として設定している圏域（6ブロック）別に、主な調査結果を示します。

なお、本調査でここまで示してきたように、家庭の経済状況に基づく世帯区分を行ったうえで、さらにブロック別に回答を示した場合、世帯区分ごとの件数が少なく、信頼できる分析とはならないため、地域ブロック別に、全体の回答状況のみを示しています。

■教育・保育提供区域

圏域	中学校区
1ブロック	加太、西脇、貴志、河西、河北
2ブロック	楠見、有功、紀伊
3ブロック	高積、紀之川、伏虎
4ブロック	城東、日進
5ブロック	西和、西浜
6ブロック	東、東和、明和

(1) 家庭の経済状況

いずれの学年も、1ブロックと5ブロックで所得段階Ⅲが1割を超えています。小学5年生の6ブロック、中学2年生の4ブロックでも所得段階Ⅲが1割を超えています。また、中学2年生の6ブロックでは、経済的困難世帯が3割を超えて、特に多くなっています。いずれの学年も、国・県・私立学校で所得の高い世帯が多くなっており、中学2年生では国・県・私立学校の件数が増加するため、1～6ブロックでは所得段階Ⅲ、経済的困難世帯の割合が相対的に高くなっています。

■地域ブロック別にみた家庭の経済状況

	小学5年生					中学2年生				
	N	所得段階Ⅰ	所得段階Ⅱ	所得段階Ⅲ	経済的困難世帯	N	所得段階Ⅰ	所得段階Ⅱ	所得段階Ⅲ	経済的困難世帯
全体	1,285	46.1	36.7	8.9	14.9	1,030	48.3	34.3	8.3	15.0
1ブロック	253	44.7	38.7	11.1	17.0	165	39.4	40.6	12.1	18.8
2ブロック	176	39.2	43.2	6.8	14.2	96	30.2	54.2	9.4	20.8
3ブロック	155	47.7	39.4	6.5	11.0	110	40.9	42.7	9.1	13.6
4ブロック	142	49.3	35.2	7.0	15.5	93	45.2	32.3	10.8	11.8
5ブロック	161	49.1	29.2	13.0	17.4	87	39.1	35.6	13.8	14.9
6ブロック	253	38.3	41.1	11.9	16.6	132	39.4	37.9	9.1	31.1
国・県・私立学校	85	77.6	14.1	1.2	3.5	304	69.7	19.7	3.3	6.3

※上記以外に特別支援学校、民族学校等が調査対象となっておりますが、回答数が少ないため記載していません。

(2) 授業の理解度

子供調査の授業の理解度を地域ブロック別にみると、小学5年生では1ブロックで「いつもわかる」が少なくなっています。中学2年生では、5ブロックで「いつもわかる」が最も少なく、「わからない」（「あまりわからない」と「ほとんどわからない」の合計）は1ブロックで最も多くなっています。

■地域ブロック別にみた授業の理解度

	小学5年生							中学2年生						
	N	いつもわかる	だいたいわかる	どちらともいえない	わからない あまり	ほとんどわからない	不明・無回答	N	いつもわかる	だいたいわかる	どちらともいえない	わからない あまり	ほとんどわからない	不明・無回答
全体	1,281	43.3	44.0	6.2	3.3	0.5	2.7	1,026	25.1	51.6	12.4	6.4	1.9	2.6
1ブロック	254	39.4	50.0	6.7	1.2	0.8	2.0	166	21.1	48.8	13.3	10.8	3.0	3.0
2ブロック	176	41.5	49.4	5.1	0.6	0.0	3.4	97	21.6	48.5	13.4	8.2	3.1	5.2
3ブロック	158	41.8	43.7	6.3	5.1	0.6	2.5	110	23.6	52.7	11.8	4.5	4.5	2.7
4ブロック	145	52.4	38.6	2.8	4.8	0.0	1.4	94	25.5	45.7	17.0	6.4	1.1	4.3
5ブロック	164	45.1	42.7	3.7	5.5	0.0	3.0	87	16.1	60.9	14.9	4.6	1.1	2.3
6ブロック	255	42.4	40.8	8.2	5.1	1.2	2.4	132	27.3	47.0	13.6	8.3	1.5	2.3
国・県・私立学校	86	46.5	44.2	7.0	0.0	0.0	2.3	304	30.6	54.3	8.9	4.3	0.3	1.6

(3) 学習時間

平日の学校以外の学習時間については、小学5年生では6ブロックで「まったくしない」と「30分より少ない」の合計が最も多くなっています。中学2年生では5ブロック、国・県・私立学校以外のすべてのブロックで、「まったくしない」と「30分より少ない」の合計が2割以上になっています。

■地域ブロック別にみた平日の学習時間

	小学5年生							中学2年生								
	N	まったくしない	30分より少ない	1時間より少ない 30分以上	2時間より少ない 1時間以上	3時間より少ない 2時間以上	3時間以上	不明・無回答	N	まったくしない	30分より少ない	1時間より少ない 30分以上	2時間より少ない 1時間以上	3時間より少ない 2時間以上	3時間以上	不明・無回答
全体	1,281	4.2	11.8	27.9	27.8	11.5	13.7	3.1	1,026	7.7	11.6	13.7	31.2	22.5	10.1	3.1
1ブロック	254	3.5	12.2	32.7	27.6	9.4	11.8	2.8	166	7.8	19.3	13.3	28.9	19.3	8.4	3.0
2ブロック	176	3.4	11.4	30.1	29.5	11.4	10.2	4.0	97	15.5	12.4	15.5	27.8	16.5	6.2	6.2
3ブロック	158	5.1	12.0	27.2	25.3	16.5	11.4	2.5	110	12.7	10.0	10.9	36.4	22.7	4.5	2.7
4ブロック	145	2.1	11.0	29.0	24.1	9.7	22.8	1.4	94	5.3	16.0	13.8	29.8	17.0	13.8	4.3
5ブロック	164	1.8	11.6	25.0	31.1	12.8	13.4	4.3	87	2.3	14.9	28.7	27.6	20.7	3.4	2.3
6ブロック	255	7.1	14.9	26.7	27.8	9.4	11.8	2.4	132	12.9	16.7	12.1	31.1	19.7	5.3	2.3
国・県・私立学校	86	1.2	5.8	17.4	34.9	17.4	20.9	2.3	304	2.0	3.0	10.9	33.9	30.3	18.1	2.0

(4) 朝食

朝食については、小学5年生では6ブロックで、中学2年生では2ブロックで「いつも食べる」が最も少なくなっています。

■地域ブロック別にみた朝食の状況

	小学5年生						中学2年生					
	N	いつも食べる	食べるほうが多い	食べないほうが多い	いつも食べない	不明・無回答	N	いつも食べる	食べるほうが多い	食べないほうが多い	いつも食べない	不明・無回答
全体	1,281	90.8	4.4	3.2	0.3	1.3	1,026	86.8	5.8	4.9	1.7	0.8
1ブロック	254	94.5	3.1	1.2	0.0	1.2	166	86.1	4.8	4.8	3.6	0.6
2ブロック	176	88.1	5.1	2.3	0.0	4.5	97	77.3	9.3	10.3	2.1	1.0
3ブロック	158	91.8	3.2	2.5	1.9	0.6	110	89.1	5.5	4.5	0.0	0.9
4ブロック	145	89.7	4.8	5.5	0.0	0.0	94	81.9	6.4	7.4	3.2	1.1
5ブロック	164	92.1	3.7	3.7	0.6	0.0	87	88.5	6.9	2.3	2.3	0.0
6ブロック	255	87.8	6.7	3.9	0.0	1.6	132	87.9	6.1	4.5	0.0	1.5
国・県・私立学校	86	96.5	2.3	1.2	0.0	0.0	304	91.4	3.9	2.6	1.3	0.7

(5) 地域の行事への参加

地域の行事への参加については、小学5年生では1ブロック、4ブロックで「参加している」が4割台とやや少なく、中学2年生では4ブロックで2割台と少なくなっています。

■地域ブロック別にみた地域活動への参加状況

	小学5年生				中学2年生			
	N	参加している	参加していない	不明・無回答	N	参加している	参加していない	不明・無回答
全体	1,281	52.5	44.7	2.7	1,026	41.2	55.4	3.4
1ブロック	254	46.5	52.8	0.8	166	41.6	54.2	4.2
2ブロック	176	54.0	41.5	4.5	97	40.2	54.6	5.2
3ブロック	158	57.0	39.9	3.2	110	43.6	53.6	2.7
4ブロック	145	49.7	49.0	1.4	94	28.7	66.0	5.3
5ブロック	164	54.3	42.7	3.0	87	34.5	63.2	2.3
6ブロック	255	56.5	41.2	2.4	132	38.6	58.3	3.0
国・県・私立学校	86	54.7	40.7	4.7	304	48.0	49.7	2.3

(6) 経済的な理由で塾や習い事ができなかったこと

経済的な理由で、子供の塾や習い事ができなかったことについては、小学5年生、中学2年生ともに1ブロックで「あった」が最も多く、国・県・私立学校で最も少なくなっています。

■地域ブロック別に見た経済的な理由で、子供の塾や習いごとができなかったこと

	小学5年生				中学2年生			
	N	あった	なかった	不明・無回答	N	あった	なかった	不明・無回答
全体	1,285	23.6	71.7	4.7	1,030	19.6	74.8	5.6
1ブロック	253	28.5	67.2	4.3	165	30.3	64.2	5.5
2ブロック	176	19.9	73.3	6.8	96	22.9	71.9	5.2
3ブロック	155	25.2	69.7	5.2	110	17.3	79.1	3.6
4ブロック	142	24.6	70.4	4.9	93	17.2	75.3	7.5
5ブロック	161	26.1	67.7	6.2	87	25.3	63.2	11.5
6ブロック	253	24.5	73.1	2.4	132	26.5	68.9	4.5
国・県・私立学校	85	7.1	90.6	2.4	304	9.5	86.2	4.3

(7) 保護者の進学希望

保護者の進学希望については、中学2年生の「大学またはそれ以上」が1ブロックで少なく、国・県・私立学校では9割を超えています。

■地域ブロック別にみた保護者の進学希望

	小学5年生								中学2年生							
	N	中学まで	高校まで	専門学校	短大・高専	大学またはそれ以上	わからない	不明・無回答	N	中学まで	高校まで	専門学校	短大・高専	大学またはそれ以上	わからない	不明・無回答
全体	1,285	0.3	9.2	8.4	5.1	61.0	15.2	0.8	1,030	0.2	12.9	9.5	2.9	60.8	13.6	0.1
1ブロック	253	0.0	7.9	10.7	4.7	60.5	15.0	1.2	165	0.0	20.0	13.9	6.1	40.6	19.4	0.0
2ブロック	176	0.0	13.1	8.5	6.3	54.0	17.0	1.1	96	1.0	18.8	12.5	2.1	50.0	15.6	0.0
3ブロック	155	0.0	9.0	9.0	3.9	60.6	17.4	0.0	110	0.9	14.5	16.4	4.5	50.0	13.6	0.0
4ブロック	142	0.0	9.2	6.3	6.3	59.9	17.6	0.7	93	0.0	16.1	12.9	2.2	50.5	17.2	1.1
5ブロック	161	0.6	4.3	9.3	2.5	68.3	13.7	1.2	87	0.0	17.2	9.2	2.3	48.3	23.0	0.0
6ブロック	253	0.0	13.0	8.7	7.9	54.2	16.2	0.0	132	0.0	15.9	14.4	2.3	45.5	22.0	0.0
国・県・私立学校	85	1.2	2.4	2.4	0.0	90.6	3.5	0.0	304	0.0	0.7	0.3	1.0	96.1	2.0	0.0

5. 和歌山市長期総合計画に即した本市の課題

平成29年度から平成38年度までの10年間の計画期間とする第5次和歌山市長期総合計画では、4つの分野別目標の1つとして「分野別目標3 子供たちがいきいきと育つまち」を掲げ、政策課題を示しています。ここでは、本調査の結果を長期総合計画の項目に対応させ、本市の現状と課題を整理します。

(1) 安心して子供を産み育てることのできる環境の整備

①安心して子供を産み育てることのできる環境の整備

家庭の経済状況は子供の生活の幅広い範囲—所持品、健康、人間関係、日常生活習慣、学業、文化的活動、自尊感情等—に影響を及ぼしていることが、本調査から示されています。学力向上や食生活等の生活環境の改善の支援について、家庭の経済状況に注目した取り組みが求められます。所得段階Ⅲ（相対的貧困世帯）の一部においては、食料の購入すら困難な状況を経験している世帯があり（保護者調査問28）、こうした絶対的な貧困状態の存在についても留意する必要があります。

経済的支援制度の一つである、「就学援助」の受給状況をみると、世帯収入では当然対象となっていると考えられる所得段階Ⅲのうち、2～3割は「受けたことはない」と回答しており、経済的支援制度が、必要な支援対象者に届いているかどうかの検証が必要であることがうかがえます（保護者調査問33E）。

また、子ども食堂や学習支援の取り組みについては、所得段階Ⅲ・経済的困難世帯の方が利用率が高い一方で、事業の認知は低い傾向があります。これは、各種の相談窓口等の利用・認知についても同様で、支援の対象となりやすく利用率が高い一方で、これらの支援の情報が十分に対象世帯に認知されていないと考えられます。

追加分析

ひとり親世帯の相対的貧困率はひとり親ではない世帯と比べて非常に高くなっています。

■ひとり親世帯の相対的貧困率

学年	世帯区分	件数	相対的貧困	非相対的貧困	判定不能
小学 5年生	全体	1,285	8.9	82.9	8.2
	ひとり親世帯	137	32.8	54.0	13.1
	ひとり親世帯以外	1,127	5.9	86.9	7.3
中学 2年生	全体	1,030	8.3	82.6	9.0
	ひとり親世帯	114	37.7	56.1	6.1
	ひとり親世帯以外	898	4.8	86.3	8.9

ひとり親世帯では、保護者の精神的健康状態が良くない（K6得点が高い）傾向があります。

■ひとり親世帯の保護者精神的健康状態(K6得点)

学年	世帯区分	件数	1点以下	2～4点	5～8点	9点以上	判定不能
小学 5年生	全体	1,285	37.8	33.6	18.1	8.8	1.6
	ひとり親世帯	137	31.4	28.5	23.4	13.9	2.9
	ひとり親世帯以外	1,127	38.6	34.4	17.4	8.2	1.4
中学 2年生	全体	1,030	39.1	31.5	18.1	9.7	1.7
	ひとり親世帯	114	33.3	27.2	18.4	18.4	2.6
	ひとり親世帯以外	898	40.3	32.0	17.7	8.6	1.4

②和歌山市の取り組みの課題

和歌山市においては、ひとり親家庭の就業・自立支援や日常生活の支援等が実施されていますが、これらの事業の存在が、それを必要とする人にどの程度認知されているか、必要な支援が必要な人に届いているかについて、検証することが求められます。また、子育て支援や若者への支援、ひとり親の支援といった分野別に行われている取り組みについて、貧困世帯に対する支援という観点から、その対象や効果について見なおすことも考えられます。

子供の居場所作りや子育て支援の取り組みなどは、すべての市民や子供を対象とした一般的な事業として行われており、この場合情報を入手する力が比較的弱いと考えられる貧困世帯は、そうした事業に参加できなかったり、事業の効果が届かなかったりすることが多いと考えられます。本調査から明らかになった、経済的な格差が子供と保護者に及ぼす影響を考慮し、事業を必要とする子供と保護者に届くような働きかけの方法を工夫することが求められます。

(2) 社会を生き抜く子供たちの学力の育成

① 確かな学力を育む教育の推進

本調査では、所得段階が低いほど授業の理解の度合いが低い傾向があることが示されています(子供調査問 29)。同様に、所得段階が低いほど通塾率が低く(子供調査問 32)、学校以外での学習時間も短い傾向があることが示されています(子供調査問 31)。背景として、経済的に厳しい世帯では子供の勉強をみる頻度が低いこと(保護者調査問 18A)や、経済的な理由で塾や習い事ができなかった経験がある世帯が多いこと(保護者調査問 25B)、保護者の学歴が低い傾向があること(保護者調査問 38、問 39)等、複合的な要因があることがうかがえます。学力の格差は進学・就職を通じて貧困の連鎖につながる問題であり、本調査でも、家庭の経済状況によって保護者も子供も進学希望に大きな差があることが示されています(子供調査問 37、保護者調査問 12)。家庭環境に左右されず、着実に学力を身につけることができるような、教育支援体制の整備を進めることが必要となります。

また、宿題をしているかどうか、学校の決まりを守っているかどうかといった、学校への前向きな姿勢の面でも、所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では肯定的な回答が少ない傾向があり(子供調査問 34、問 35)、目標をもって前向きに学習に取り組めるような働きかけも課題となります。

追加分析

ひとり親世帯・所得段階Ⅲ(相対的貧困世帯)では保護者による教育的な働きかけが少ない傾向があります。

■ひとり親世帯の保護者の教育的働きかけ(教育姿勢得点)

学年	世帯区分	件数	高	中	低	判定不能
小学 5年生	全体	1,285	40.3	35.7	21.6	2.4
	ひとり親世帯	137	29.2	35.0	29.9	5.8
	ひとり親世帯以外	1,127	41.8	35.8	20.5	2.0
中学 2年生	全体	1,030	28.3	35.7	34.0	2.0
	ひとり親世帯	114	22.8	29.8	43.0	4.4
	ひとり親世帯以外	898	28.7	36.7	33.0	1.6

■所得段階Ⅲ(相対的貧困世帯)の保護者の教育的働きかけ(教育姿勢得点)

学年	世帯区分	件数	高	中	低	判定不能
小学 5年生	全体	1,285	40.3	35.7	21.6	2.4
	所得段階Ⅲ	115	33.0	31.3	33.9	1.7
中学 2年生	全体	1,030	28.3	35.7	34.0	2.0
	所得段階Ⅲ	86	18.6	34.9	44.2	2.3

通塾をしている子供ほど授業がわかるという回答が多くなっていますが、小学5年生の所得段階Ⅲで通塾有の場合は、全体の通塾無より「いつもわかる」が多いのに対し、中学2年生では所得段階Ⅲの通塾有は全体の通塾無より「いつもわかる」が少なくなっており、通塾の有無以上に家庭の経済状況による差が大きくなっていることがうかがえます。

■通塾の有無と授業の状況

学年	世帯区分	通塾	件数	いつもわかる	だいたいわかる	どちらともいえない	あまりわからない	ほとんどわからない	無回答・不明
小学5年生	全体	有	584	57.0	34.2	3.8	2.4	0.0	2.6
		無	631	31.9	52.9	8.2	4.0	0.8	2.2
	所得段階Ⅲ	有	33	39.4	54.5	3.0	3.0	0.0	0.0
		無	73	26.0	53.4	5.5	6.8	5.5	2.7
中学2年生	全体	有	653	28.0	52.8	10.0	5.5	1.1	2.6
		無	343	19.8	50.1	16.3	8.5	3.5	1.7
	所得段階Ⅲ	有	44	15.9	52.3	13.6	13.6	4.5	0.0
		無	41	2.4	48.8	29.3	14.6	4.9	0.0

②国内外の多様な分野で活躍できる人材を育む教育の推進

所得段階Ⅲの子供については、保護者の希望する学歴についても、子供自身が希望する学歴についても、高等教育への希望が少ない傾向が示されています（子供調査問 37、保護者調査問 12）。また、家庭における教育的な働きかけについても、子供に本や新聞を読むようにすすめていたり、英語や外国の文化に触れるよう意識している保護者は、所得段階Ⅲでは少ない傾向となっています（保護者調査問 23E、J）。家庭の経済状況が厳しい子供については、日々変化していく情勢や国際化社会に対応できる資質や能力を伸ばしていく上でのハードルが高いことがうかがえます。

追加分析

所得段階Ⅲでは、保護者が子供と将来の話をする頻度が低くなっています。

■所得段階Ⅲの保護者が子供と将来の話をする頻度

学年	世帯区分	件数	よくする	ときどきする	たまにする	ほとんどしない	無回答・不明
小学5年生	全体	1,285	24.0	34.9	34.1	6.0	1.1
	所得段階Ⅲ	115	19.1	38.3	37.4	5.2	0.0
中学2年生	全体	1,030	19.6	36.2	37.0	6.5	0.7
	所得段階Ⅲ	86	17.4	25.6	51.2	5.8	0.0

③和歌山市の取り組みの課題

学力の問題は、単に経済的な問題だけではなく、保護者の学歴や教育意識等を背景とした文化的な問題を含んでおり、進学・就職を通じた貧困の連鎖にも深くかかわる問題となっています。教育機関においては、家庭の経済状況に基づく格差が存在することを認めた上で、可能な限り平等な達成が保障され、進学や就職に前向きな展望が描けるような取り組みが求められます。

そのためには、特に家庭環境に基づく不利益をこうむりやすい子供について、積極的な支援をしていくことが求められます。国においては、学校を貧困対策のプラットフォームと位置づけ、総合的な対策の推進がうたわれていますが、学校単体でこれまで以上の取り組みを行うことは、教職員の多忙化の問題等を考慮すると、困難と言わざるを得ません。一方で、ほとんどすべての子供にアプローチできる学校は、支援が必要な子供を把握し、必要な子供に直接支援を届けるためのプラットフォームとして貴重な存在であることは明らかです。福祉部局をはじめとする関係部局と緊密に連携し、支援を行える体制づくりが求められます。スクールソーシャルワーカー等の専門職の配置の充実等についても、検討される必要があります。

(3) 生涯を通じた豊かな心と健やかな体の育成

①豊かな心を育む教育の推進

所得段階Ⅲでは、家庭における文化的な活動や体験活動の経験が少ない傾向が示されています（子供調査問 27）。習いごとについても、家庭の経済状況によって大きな差があることが示されており（保護者調査問 24）、また所得段階Ⅲでは半数以上が、経済的な理由で、子供の塾や習いごとができなかったことが「あった」と回答しています（保護者調査問 25B）。

また、「自分には、良いところがある」「自分のことが好きだ」といった自尊感情についても、所得段階Ⅲでは低い傾向が示されています（子供調査問 36A、G）。以下の追加分析に示されているように、文化的な活動や体験活動と子供の自尊感情には関連がみられており、経済的に厳しい状況にあっても、多様な文化的な活動や体験活動をしている子供は、自尊感情が高い傾向があることが示されています。豊かな心を育む多様な体験活動の場を提供していくことも、重要な支援となります。

追加分析

文化的な活動や体験活動の経験を多くしている子供ほど、自尊感情が高い傾向があります。

■文化的体験得点と子供の自尊感情得点

学年	世帯区分	文化的体験	件数	自尊感情得点			
				高	中	低	判定不能
小学 5年生	全体	高	526	57.0	29.1	10.8	3.0
		中	373	45.8	34.9	16.4	2.9
		低	336	36.0	37.5	21.4	5.1
	所得段階Ⅲ	高	21	76.2	23.8	0.0	0.0
		中	38	36.8	52.6	7.9	2.6
		低	55	27.3	40.0	29.1	3.6
中学 2年生	全体	高	430	42.8	28.1	26.5	2.6
		中	270	25.6	38.5	32.6	3.3
		低	288	25.0	35.4	37.8	1.7
	所得段階Ⅲ	高	19	36.8	10.5	52.6	0.0
		中	29	34.5	27.6	34.5	3.4
		低	37	29.7	27.0	43.2	0.0

②健やかな体を育む教育の推進

子供と保護者のいずれについても、所得段階Ⅲでは健康状態が「よい」が少ない傾向が示されています（子供調査問 26、保護者調査問 13）。保護者の精神的健康状態についても、所得段階Ⅲやひとり親世帯では、よくない傾向がみられます（保護者調査問 17）。医療面でも、所得段階Ⅲでは子供を医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことが「あった」という回答が多くなっており（保護者調査問 15）、任意接種の予防接種については受診率が

低くなっています（保護者調査問 16）。歯磨きの回数や虫歯の有無についても、世帯の経済状況による差がみられます（子供調査問 21A、保護者調査問 14）。

食生活については、所得段階Ⅲでは、朝食を毎日食べている子供の割合がやや低くなっています（子供調査問 22）。また、「野菜」「くだもの」「肉や魚」を食べる頻度が少なく、「カップめん・インスタント食品」「コンビニなどのおにぎり・お弁当」「ジュースなどの清涼飲料水」を食べる（飲む）頻度がやや高くなっています（子供調査問 25）。

家庭における健康づくりや、食生活の充実についても、家庭の経済状況による差がみられており、適切な支援が求められます。

追加分析

朝食を食べないことがある子供は、学業へ向かう態度がよくない傾向があります。

■朝食と学業態度得点

学年	世帯区分	件数	高	中	低	判定不能
小学 5年生	全体	1285	45.8	35.1	12.5	6.5
	朝食をいつも食べる	1152	47.8	35.7	11.9	4.6
	朝食を食べないことがある	99	30.3	35.4	23.2	11.1
中学 2年生	全体	1030	29.9	37.0	27.1	6.0
	朝食をいつも食べる	888	32.2	38.5	23.9	5.4
	朝食を食べないことがある	127	16.5	29.9	50.4	3.1

③人権を尊重する社会を築くための教育の推進

所得段階Ⅲの子供は学校に行きたくないと思ったり、1か月以上学校を休んだ経験を持っている割合が高くなっています（子供調査問 19A、B）。また、精神的な充実の面でも、比較的低い傾向にあることが示されています（子供調査問 38）。家庭の状況にかかわらず、誰もが安心して過ごすことのできる環境づくりや居場所作りに、引き続き取り組む必要があります。

④和歌山市の取り組みの課題

調査結果が示唆するのは、子供の自尊感情は家庭の経済状況だけに左右されるのではなく、文化的な活動や体験活動の経験の多寡とも関連しているということです。つまり、こうした活動や体験は、家庭の経済状況を部分的にせよ補う意義があることが考えられます。一方で、単に文化的な経験のための事業を行っただけでは、そうした公的な発信を受け取る力の強い家庭の子供が参加者の中心となり、経験の格差を縮小するものにはならないことも十分考えられます。必要な子供に必要な支援が届くよう、他の支援事業との連携や、周知の工夫が求められます。

食生活や医療面でも、家庭の経済状況による差があることが示されていますが、家庭への働きかけだけではなく、子供自身が生活に必要な知識と力をつけられるような支援が必要だと考えられます。

(4) 安全・安心な教育環境の整備

①安全・安心な教育環境の整備

夜遅くまで子供だけで過ごした経験は、所得段階Ⅲでやや多くなっています(子供調査問 19C)。一方で、「(家以外で) 平日の放課後に夜までいることができる場所」「(家以外で) 休日にいることができる場所」「家の人がいないとき、夕ご飯をみんなで食べることができる場所」「大学生のお兄さんやお姉さん、地域の人などが、勉強を無料で教えてくれる場所」といった子供の居場所に関する質問については、所得段階Ⅲの子供と保護者で「利用したい」が多くなっています(子供調査問 40、保護者調査問 42)。家庭だけでは十分に提供できない安全・安心な居場所作りについて、公的な支援のあり方を検討する必要があります。

地域の行事への参加については、所得段階Ⅲ・経済的困難世帯では参加率が低くなっています(子供調査問 27)。すべての子供が参加しやすい取り組みが求められます。

追加分析

小学5年生では、母親の就労状況が、「専業主婦等」「非正規就業」「正規就業」の順で、子供の勉強をみる頻度が高くなっています。

■母親の就労状況と子供の勉強をみる頻度

学年	世帯区分	件数	週5回以上	週3～4回	週1～2回	月1～2回	ほとんどない	無回答・不明
小学 5年生	全体	1,285	20.5	20.5	33.7	14.2	9.6	1.3
	正規就業	252	14.7	17.5	38.9	15.1	11.5	2.4
	非正規就業	657	19.3	20.1	33.5	17.0	9.1	0.9
	専業主婦等	337	27.9	22.3	30.9	9.8	8.6	0.6
中学 2年生	全体	1030	4.2	5.1	15.0	26.2	48.3	1.2
	正規就業	190	5.3	5.3	14.2	24.7	50.0	0.5
	非正規就業	577	3.5	5.0	13.2	27.7	49.7	0.9
	専業主婦等	232	5.2	5.2	21.1	22.8	44.4	1.3

②和歌山市の取り組みの課題

現在和歌山市では、関連する取り組みとして、子供や親子の交流の場づくりや、子供の居場所作りの事業が行われています。これらの取り組みが、厳しい経済状況にある家庭の子供が参加しやすい形で展開される必要があります。学校と家庭以外に子供にとって安心・安全な居場所を提供するという事は、特に家庭環境が厳しい子供について、効果的な取り組みとなることが考えられます。

(5) 家庭や地域における教育力の向上

①家庭や地域における教育力の向上

所得段階Ⅲでは、特に中学2年生で「ゲーム機で遊ぶ」「電話やメール、インターネットをする」時間が長い傾向があります（子供調査問 13A、C）。

所得段階Ⅲでは、ひとり親世帯の割合が高く、母親の就労時間が長い傾向があり、土日の出勤も多い傾向がある一方、専業主婦は少なくなっています（保護者調査問 36）。父親については非正規労働の割合が高くなっています（保護者調査問 37）。

こうした状況を背景として、日常生活習慣の確立や学習支援等の面においても、家庭における教育力が十分に発揮されない状況にあることが考えられます。所得段階Ⅲの保護者は、成人する前の経済的な困難や親との離死別、親や配偶者との人間関係の問題等を経験している割合が高くなっており（保護者調査問 34）、こうした経験が現在の経済状況にも反映されていることがうかがえます。このような貧困の連鎖を断ち切るためには、経済的な支援や学習面での支援だけではなく、家庭の教育力を補う支援や、保護者以外に子供にとって進学・就職のモデルとなる存在との交流など、幅広い観点からの支援の取り組みが必要だと考えられます。

経済的に厳しい状況にある家庭においては、家庭の教育力に課題があり、通塾等も困難な状況が示されています。貧困の連鎖につながる学力の問題については、学校だけの取り組みには限界があり、地域における学習支援等の取り組みの広がりが必要となります。

②和歌山市の取り組みの課題

現在和歌山市においては、こうした課題に対応した取り組みは乏しい状況です。生活困窮者や女性、ひとり親家庭の保護者の就労支援や、児童扶養手当等の経済的支援、ひとり親家庭の子供や児童養護施設等の退所児童等に対する就労支援の取り組みが存在していますが、家庭の教育力が十分に発揮されない環境にある子供への支援としての、包括的な取り組みは十分ではありません。ここでは、家庭という単位を前提としてその教育力を高めていくという支援だけではなく、家庭に十分頼ることのできない子供に対して、家庭の外から教育的な支援を届けるという方向からも検討される必要があります。経済的に厳しい状況にある世帯の子供が参加しやすい学習支援の場を、地域において広げていくことは重要な課題です。

同時に、このような学習支援や子ども食堂等の取り組みについては、単なる食事の提供や学習の場の提供にとどまらず、家庭の教育力を補い、進学・就職のモデルとなる存在との交流を含む、包括的な支援の場として充実を図っていくことが必要だと考えられます。食事、学習、居場所作りといった取り組みが、個別にばらばらに行われるのではなく、厳しい状況にある子供に対する包括的な支援として取り組まれることが、子供の貧困問題への効果的なアプローチになると考えられます。

◆分析のための指標について

本章での分析で用いた指標である、「教育姿勢得点」「文化的体験得点」「自尊感情得点」「学業態度得点」については、調査結果から以下のように算出しています。

①教育姿勢得点

保護者が子供に対して教育的な働きかけや態度をとっているかどうかの指標として、教育姿勢得点を設定しました。具体的には以下の質問と回答に基づいて指標を算出しています。

算出に用いる質問と回答	得点化の方法
<p>質問：【保護者調査】あなたのご家庭では、お子さんに対して、次のことをしていますか。</p> <p>①お子さんの良いところをほめるなどして自信を持たせるようにしている</p> <p>②お子さんが悪いことをしたらきちんとしかっている</p> <p>③お子さんに本や新聞を読むようにすすめている</p> <p>④お子さんと読んだ本の感想を話し合ったりしている</p> <p>⑤お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをした</p> <p>⑥お子さんに「勉強しなさい」とよく言っている</p> <p>⑦やるべき事ができるまで何度も細かく指示する</p> <p>⑧お子さんが英語や外国の文化に触れるよう意識している</p> <p>⑨お子さんの心配事や悩みごとの相談によく乗っている</p>	<p>①～⑨のそれぞれについて、回答を以下のように点数化します。</p> <p>あてはまる：3点 どちらかといえばあてはまる：2点 どちらかといえばあてはまらない：1点 あてはまらない：0点</p> <p>①～⑨の点数を合算した合計得点が 20 点以上を教育姿勢高、16～19 点を中、15 点以下を低とします。</p>

②文化的体験得点

家庭において文化的な活動や体験をどの程度子供がしているかの指標として、文化的体験得点を設定しました。具体的には以下の質問と回答に基づいて指標を算出しています。

算出に用いる質問と回答	得点化の方法
<p>質問：【子供調査】あなたの家では、下に書いてあるようなことをすること(したこと)がありますか。ふだんすること(したこと)があるものすべてに○をしてください。</p> <p>①小さいころに本や絵本を読んでもらう</p> <p>②手作りのおやつをつくる</p> <p>③図書館に行く</p> <p>④動物園や水族館に行く</p> <p>⑤博物館や美術館に行く</p> <p>⑥音楽会やコンサートに行く</p> <p>⑦映画や演劇を観に行く</p> <p>⑧新聞やニュースについて話す</p> <p>⑨パソコンやインターネットで調べものをする</p> <p>⑩学校の行事に家族が来る</p> <p>⑪地域の行事に参加する</p> <p>⑫泊まりで家族旅行に行く</p> <p>⑬祖父母や親せきの家に遊びに行く</p>	<p>①～⑬について、選択された数を得点とします。</p> <p>11 点以上を文化活動高、8～10 点を中、7 点以下を低とします。</p>

③自尊感情得点

子供が自分自身を良いところがあると自己評価できているかの指標として、自尊感情得点を設定しました。具体的には以下の質問と回答に基づいて指標を算出しています。

算出に用いる質問と回答	得点化の方法
<p>質問:【子供調査】あなたの思いや気持ちについて、もっとも近いものに○をつけてください。</p> <p>①自分には、良いところがある ②将来の夢や目標をもっている ③がんばれば、いいことがある ④自分は家族に大切にされている ⑤自分の将来が楽しみだ ⑥自分のことが好きだ</p>	<p>①～⑥のそれぞれについて、回答を以下のように点数化します。</p> <p>そう思う:3点 どちらかといえばそう思う:2点 どちらかといえばそう思わない:1点 そう思わない:0点</p> <p>①～⑥の点数を合算した合計得点が16点以上を自尊感情高、12～15点を中、11点以下を低とします。</p>

④学業態度得点

子供が学校や勉強に対して前向きな姿勢を持っているかどうかの指標として、学業態度得点を設定しました。具体的には以下の質問と回答に基づいて指標を算出しています。

算出に用いる質問と回答	得点化の方法
<p>質問:【子供調査】あなたの学校生活についておたずねします。次の項目について「楽しみ」から「楽しみではない」の中からもっとも近いものに○をつけてください。</p> <p>①毎日学校に通うこと ②学校の授業 ③先生に会うこと</p> <p>④質問:【子供調査】あなたは、学校の宿題をしますか。 ⑤質問:【子供調査】あなたはふだん、学校のきまりをまもっていますか。</p>	<p>①～③のそれぞれについて、回答を以下のように点数化します。</p> <p>楽しみ:3点 やや楽しみ:2点 あまり楽しみではない:1点 楽しみではない:0点</p> <p>④～⑤のそれぞれについて、回答を以下のように点数化します(括弧内は⑤の質問の選択肢)。</p> <p>している(まもっている):3点 だいたいしている(だいたいまもっている):2点 あまりしていない(あまりまもっていない):1点 まったくしていない(まったくまもっていない):0点</p> <p>①～⑤の点数を合算した合計得点が13点以上を学業態度高、10～12点を中、9点以下を低とします。</p>

和歌山市子供の生活実態調査結果報告書

平成 31 年 3 月

和歌山市 福祉局 こども未来部 子育て支援課

〒640-8511 和歌山市七番丁 2 3 番地

TEL：073-435-1329 FAX：073-435-1341

メール：kosodate@city.wakayama.lg.jp